SHARP®

取扱説明書

デジタルハイビジョンレコーダー

形名 DV-AC72（ディーブイエーシー）
DV-AC75

本体イラストは、DV-AC75を例に記載しています。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」（**7**ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- 取扱説明書は4冊あります。
  - 本書は、接続・設定・操作について説明しています。
  - 別冊の「接続・設定ガイド」は、接続と設定の基本的な手順を説明しています。
  - 別冊の「かんたん!!ガイド」は、録画、再生、予約録画の基本的な操作について説明しています。
  - 別冊の「ファミリンク操作ガイド」は、ファミリンクを楽しむための接続・設定・操作について説明しています。
- 取扱説明書では、「デジタルハイビジョンレコーダー　DV-AC72／DV-AC75」を「本機」と表現しています。
- 取扱説明書に掲載しているイラストは説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なる場合があります。
- 取扱説明書の操作手順では、おもにリモコンを使って説明しています。

目的別早見もくじ

・ご使用の前に「安全にお使いいただくために」（**7** ページ）を必ずお読みください。

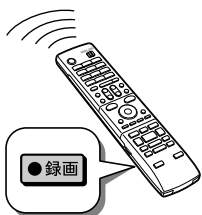
ご自分で接続・設定を行う

・アンテナ線の接続やテレビとの接続は

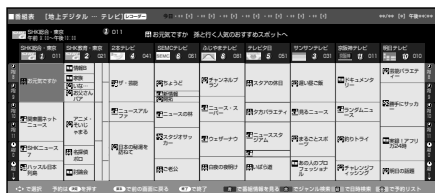
基本的な操作をテレビ画面で確かめたい

・基本的な録画や再生、予約録画などの操作方法をテレビ画面で確認できます。

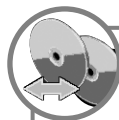
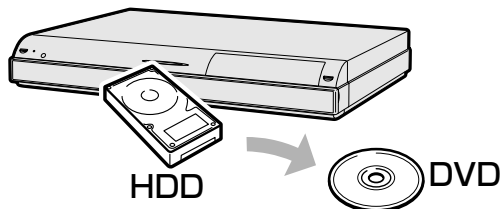
録画を行いたい

・録画したい番組を選局して、録画ボタンを押すだけで録画が行えます。

※ DVDディスクへの録画は行えません。

予約録画を行いたい

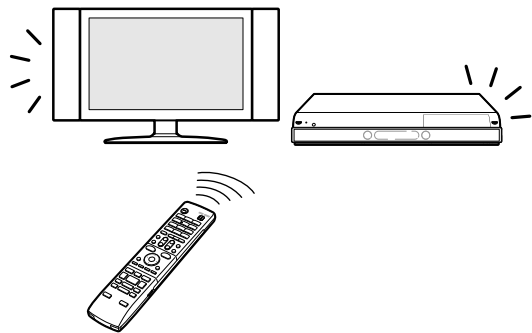
・デジタル放送は、電子番組表を使って予約できます。

※ DVDディスクへの録画は行えません。

録画した番組を再生したい

・録画した番組の再生や市販のDVDビデオの再生ができます。再生中の便利機能も試してみましょう。

HDD（ハードディスク）に録画した番組をDVDに保存したい

※DVDからハードディスクにはダビングできません。

ファミリンクで便利に使う

・シャープ製のファミリンク対応テレビ「アクオス」と本機をHDMIケーブルを使って接続することにより、テレビと本機を連動させて操作が行えます。

※ファミリンクについては、別冊の「ファミリンク操作ガイド」もご覧ください。

ファミリンク機能を搭載していないシャープ製テレビで2番組同時録画をする（ハイブリッドダブレコ）

操作ができないときは

もくじ

まずは 接続するときは別冊「接続・設定ガイド」
基本的な使いかたは別冊「かんたん!!ガイド」
さらに詳しくは 本書「取扱説明書」 をお読みください

●お使いになる前に「**安全にお使いいただくために**」（**7** ページ）を必ずお読みください。

はじめに

【確認する】

【基本の使いかた】

使ってみよう

【番組を見る】

【録画・予約録画する】

【再生する】

【編集する】

【ダビングする】

【タイトル消去・ディスク管理する】

ファミリンクで便利に使う

ファミリンク機能を搭載していないシャープ製テレビで２番組同時録画（ハイブリッドダブレコ）をする

ご自分で接続するときはここからお読みください。

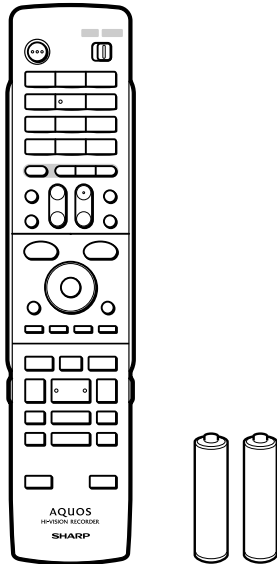
接続と設定

こんなときは

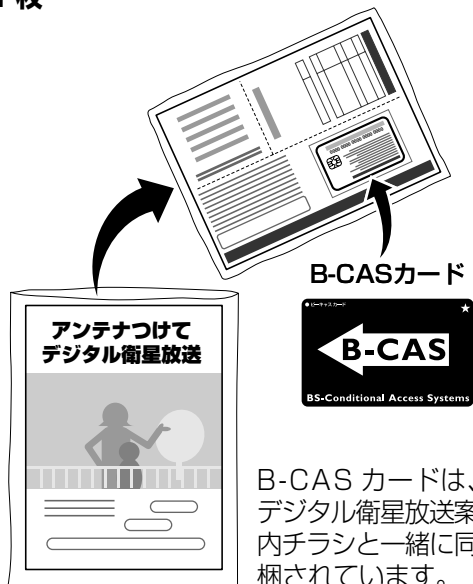
付属品

付属品

●箱を開けて、本機とつぎの付属品が揃っているか確認してください。
●B-CASカードは開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

リモコン×１個、
単４形乾電池×２個

使いかたは **20**～**22** ページ

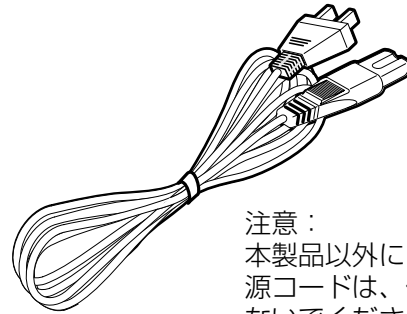
● 電池を交換する際は、アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

B-CAS（ビーキャス）カード
×１枚

B-CASカード

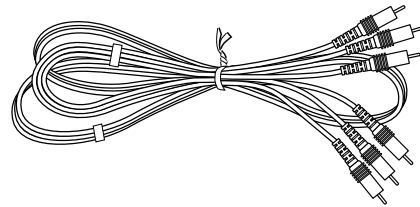
B-CAS カードは、デジタル衛星放送案内チラシと一緒に同梱されています。

（B-CAS カードユーザー登録はがき、B-CAS カード使用許諾契約約款付き）

使いかたは **188**～**189** ページ

電源コード×１本

注意：
本製品以外にこの電源コードは、使用しないでください。

使いかたは **190** ページ

映像・音声コード（約 1m20cm）×１本

使いかたは **130**、**178**、**181**～**182** ページ

アンテナケーブル（約 1m20cm）×１本
（両側Ｆ接栓ケーブル）

使いかたは **177**～**178** ページ

取扱説明書

● 取扱説明書（本書）※
● 接続・設定ガイド※
● かんたん!!ガイド※
● ファミリンク操作ガイド※

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

保証書

本機の保証書は、本機の梱包箱に貼り付けています。

安全にお使いいただくために

●「安全にお使いいただくために」は使う前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。
●この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

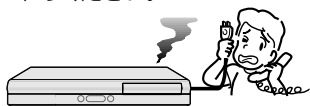
気をつける必要があることを表しています。

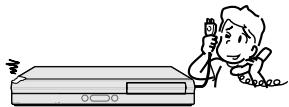
してはいけないことを表しています。

しなければならないことを表しています。

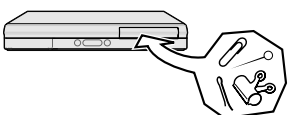
警告

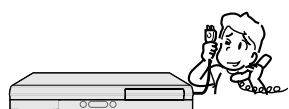
煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグを抜く

- 本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

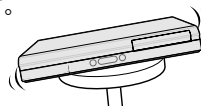
内部に物や水などを入れない

- 本機の開口部（通風孔やディスクトレイ開閉口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

- 異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

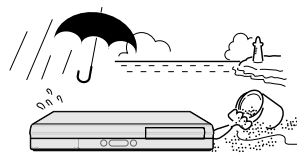
不安定な場所に置かない

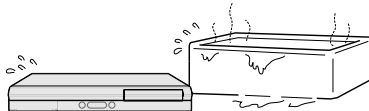
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

本機の上には花びん、水などの入った容器を置かない

- 水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

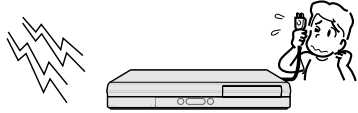
表示された電源電圧で使用する

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

100V使用

⚠警告

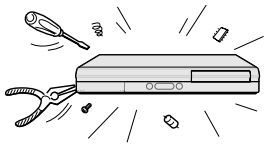
雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れない

- 感電の原因となります。

接触禁止

キャビネットは絶対に開けない

- 感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

- 本機を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目に当たると視力障害を起こす原因となります。

分解禁止
禁止

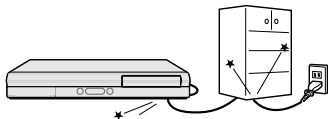
電源コードを破損するようなことはしない

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

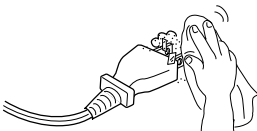
禁止

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交換を依頼する

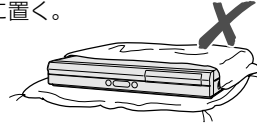
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

- そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

ほこりを取る

⚠注意

本機の通風孔をふさがない

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
  - 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  - テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。

禁止

  - あお向けや横倒し、逆さまにする。（動作姿勢水平）

重いものを置かない

- 本機に乗らないでください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

- 本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

- ディスクトレイの上にものを置かないでください。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

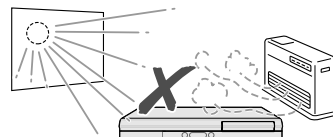
禁止

冷気が直接吹き付ける所や極端に寒い所には置かない

- つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

注意

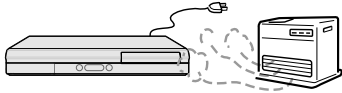
直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない

- 内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

⚠ 注意

電源コードを熱器具に近づけない

- コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

移動させるときは必ず接続コードを外す

- 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、行なってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
またディスクは取り出しておいてください。

電源プラグを抜く

- 移動させるときは、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。けがや故障の原因となることがあります。

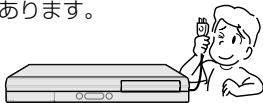
禁止

お手入れのときは電源プラグを抜く

- 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

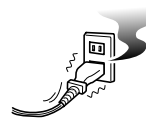
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

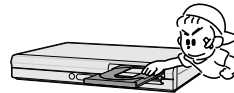
- 差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
- 金属の部分にふれると感電の原因となることがあります。

確実に差し込む

電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない

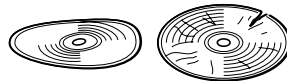
- 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

ディスクトレイ開閉口に手を入れない

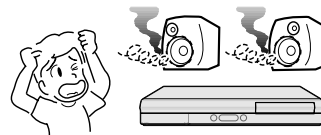
- 小さなお子さまがディスクトレイ開閉口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

指のケガに注意

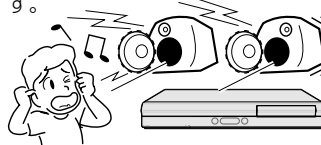
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

- 飛び散ってけがの原因となることがあります。

禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない

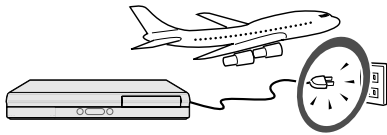
- スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源を入れる前にはテレビやアンプの音量を最小にする

- 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

音量を小さく

⚠ 注意

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

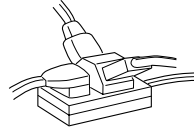
- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3年に一度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

- 本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

注意

タコ足配線をしない

- 感電・火災の原因となることがあります。

禁止

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、電気工事店などにご相談ください

- 送配電線から離れたところに設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

アンテナは強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付け設置してください。

ご相談ください

電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池は幼児の手の届く所に置かない

- 電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

禁止

電池の液が漏れたときは素手でさわらない

- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など障害の症状があるときは、医師に相談してください。

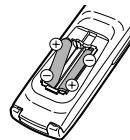
禁止

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

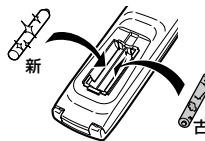
- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

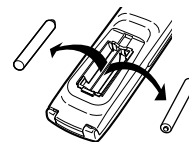
電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

- 間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

表示どおりに入れる

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

- 電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を取り出す

重要

- お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

重要 必ずお読みください

■ 大切な録画の場合は……　事前に試し録りをするなど、機器が正常に働くことを確認してから行ってください。大切な映像はHDD(ハードディスク)に録画したままではなく、DVD(DVD-RW/-R)ディスクにダビング保存しておくことをおすすめします。

■ 録画(録音)内容の補償はできません………　万一何らかの原因で本機が故障し、データが消失した場合、または不具合により録画・録音されなかった場合の録画・録音内容の補償については、ご容赦ください。

■ 著作権について…………　あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、著作権保護のための信号が記録されている放送番組の録画・録音はできません。

■ 録画防止機能について…　本機は、複製防止機能(コピーガード)を搭載しており、著作権などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

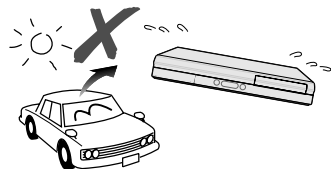
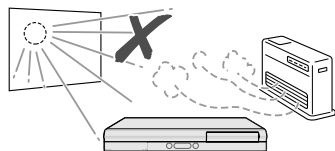
■ 保証について………………　本機を分解しますと、保証が無効になります。

■ 再生の制限について……　本機は、無許諾のディスク(海賊版など)の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

ご注意

- お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

高温の場所で使用しないでください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。本機およびディスクの周囲が高温状態にならないよう十分ご注意ください。

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

雨天・降雪中でのご使用の場合は

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機を濡らさないようにご注意ください。

本体後面のファンや通風孔をふさがないでください

- 本体を設置する際は、本体後面のファンや通風孔をふさがないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。特にテレビ台やAVラック等に収納して設置するときはご注意ください。
- 毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

ほこりや煙を避けてください

- 不安定な場所や振動の多い場所やほこり・タバコの煙の多い場所には置かないでください。故障や事故の原因になります。

設置するときは水平に置いてください

- 立てて置いたり、逆さまにするなどしたときは故障の原因となります。

本機の上には物を乗せないでください

- 本機の上に十分なスペースがとれる場所に、設置してください。
- 本機の上に、物を置かないでください。画面にノイズが出たり、キャビネットに傷がつく、キャビネットが変形するなど故障の原因となります。
- ディスクトレイの上に物を置かないでください。

取扱いはていねいに

- 落下させたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。持ち運びや移動の際にもご注意ください。

引っ越しや輸送のときは

- ディスクを取り出してから梱包してください。
また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

接続機器について

- 本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」もよくご覧ください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

- ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

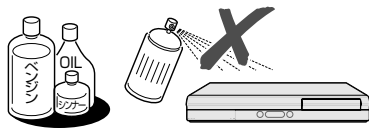
使用温度について

- 室温が5℃～35℃の状態でご使用ください。室温の温度変化は、1時間あたりの温度変化を10℃以内に保つことをおすすめします。寒冷地区でのご使用の場合は、特につゆつきにご注意ください。

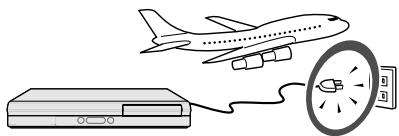
結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

キャビネットのお手入れについて

- キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

- キャビネットやリモコンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品・合成皮革などを長時間接触させたままにしないでください。塗料がはげるなどの原因となります。
- ステッカーやテープなどを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れはネルなど柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
  強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

節電について

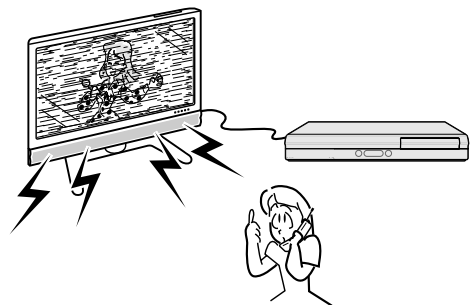
- 使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

磁気について

- 本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、画面の色が乱れたり、ゆれたり、大切な記録が損なわれたりすることがあります。

電磁波妨害について

- 本機の近くで、携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより、再生時や録画時に映像が乱れたり、雑音が発生することがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。

- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- BS・CSアンテナ用のケーブルは、必ず専用品を使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、電気工事店などにご相談ください。

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはIC（集積回路）が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して確実に差し込んでください。

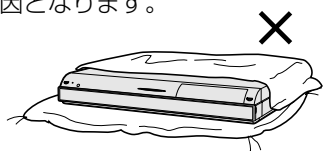
国外では使用できません

- 本機が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

取り扱いに関するご注意とお知らせ

設置時のお願い

●本体後面にある冷却ファンや通風孔をふさがないでください。
冷却ファンや通風孔をふさぐと放熱の妨げとなり、故障の原因となります。

キャビネットについて

●本機をご使用中、使用環境によっては本体（キャビネット）の温度が若干高くなりますが故障ではありません。安心してお使いください。
●「本体設定」の「アンテナ設定」で「電源・受信強度表示」の「BS・CSアンテナ電源」を「入」に設定している場合は、本機の電源を切っても本体やキャビネットが多少温かくなります。
●使用上のご注意（**11**～**12**ページ）もご覧ください。

使用前に必ず設定をしてください

●接続（**175**～**187**ページ）と準備（**188**～**190**ページ）が終わったら、必ず初期設定（**192**～**195**ページ）を行ってください。設定を行わないと、本機の操作が行えません。
●後から設定し直すときは以下のページをご覧になり、必要な設定を行ってください。
- 「オーディオ機器との接続設定をする」（**203**ページ）
- 「チャンネル設定をする（一発チャンネル設定）」（**204**ページ）
- 「地上アナログ放送のチャンネル設定をする」（**205**～**213**ページ）
- 「デジタル放送の視聴設定をする」（**214**～**225**ページ）

本機の電源について

●ダウンロードサービスによりソフトウェアの更新が行われたときは、本機の電源が自動的に入ります。
ソフトウェアの更新中は、本機前面のHDDランプとDVDランプが点滅（点灯）します。
本体表示部には「DL」の表示が出ます。
●ダウンロードサービス中は、電源コードを抜いたりリセット操作を行わないでください。
●衛星からの情報をHDD（ハードディスク）に取り込むため、電源プラグは差し込んだままにしてください。
●移動などで電源プラグを抜く場合は、HDD（ハードディスク）保護のため、「クイック起動設定」（**200**ページ）を「しない」、地上デジタル放送の「番組表取得設定」（**219**ページ）を「しない」に設定してから電源を切った状態**（本体の電源ランプが赤色点灯後、約２分程度待ってから）**で行ってください。
●電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や、停電からの復帰後は、電源を「入」にしても、システム調整のため数10秒～10分程度、動作しない場合があります。
また、テレビ画面にディスク確認中を示す表示が出たときは、ディスクの状態の確認に10分以上かかる場合があります。
●電源を入れると、冷却のため本体内部の冷却ファンが回転します。
●電源を切っていても次のような場合は内部の電源が入っているため、本体内部の冷却ファンが回転します。
- 地上デジタル放送の「番組表取得設定」（**219**ページ）が「する」に設定されているときは、設定された時刻に電源切になっていれば番組表データを取得するため約40分本体内部の電源が入った状態となります。
- 「クイック起動設定」（**200**ページ）が「する（設定1）」または「する（設定2）」に設定されているときは、電源「切」の状態からすばやく起動できるようにするため、クイック起動待機状態となります。そのため、本体内部の冷却ファンが回転します。
- 本機がB-CASカードの内容を確認しているときは、本体内部の電源が入った状態となります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

●地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は、2006年末までに放送が開始されました。
今後も受信可能エリアは順次拡大されます。
この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに、BSアナログ放送は、2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器でデジタル放送を録画するには

●別売のデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画していただけます。ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

HDD(ハードディスク)について

取り扱い上のご注意

本機の設置場所や取り扱いに十分な配慮が不足しますと、次のような症状が発生します。

- HDD(ハードディスク)が故障する
- HDD(ハードディスク)に録画した内容が損なわれる
- 動作が中断する
- ノイズが記録される

上記のようなことを避けるため、以下のことを守ってください。

次のような場所には置かないでください。

- 本体後面の冷却用ファンや通風口をふさぐような狭いところ
- 本体前面の扉が開けられないようなところ
- 傾いたところ(水平に置いてください)
- 振動の激しいところ(振動や衝撃は与えないでください)
- 湿度の高いところ
- 温度差の激しいところ
  以下のような温度差の激しいところに設置すると、「つゆつき(結露)」が起こる場合があります。
  - 暖房をつけた直後。
  - 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
  - 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

  本機の内部につゆつきが起こったままお使いになると、HDD(ハードディスク)に傷が付いて故障の原因になります。室内の温度変化は、毎時10℃以下に保つことをおすすめします。

  つゆがつくと
  信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

  つゆをとるには
  電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

電源が入っているときは次の点にご注意ください。

- 電源プラグをコンセントから抜かない
- 本機を設置してある場所のブレーカーを落とさない
- 本機を移動させない

本機を移動させるときは次の点にご注意ください。故障の原因になります。

- 「クイック起動設定」(**200**ページ)と地上デジタル放送の「番組表取得設定」(**219**ページ)をそれぞれ「しない」に設定し、電源を切った状態で(本体の電源ランプが赤色点灯後、約2分程度待ってから)、接続や電源プラグを抜いてください。
- 振動や衝撃は与えないでください。

エラーメッセージが表示されたら

- 「ハードディスクにエラーが発生しました。放送視聴のみ可能です。」などのエラーメッセージが表示されたときは、HDD(ハードディスク)が故障していることがあります。
  HDD(ハードディスク)が故障した場合、ご自身でHDD(ハードディスク)を交換することはできません。
  HDD(ハードディスク)が故障しても再生が可能であれば、録画内容をDVD-RW/-Rディスクに保存してください。その上で、お買いあげの販売店、またはシャープお客様相談センター(**265**ページ)にご連絡ください。
  ※ 本機をご自身で分解すると、保証が無効になります。
  ※ 録画した内容の修復はできません。
- エラーメッセージが表示されたとき、症状によってはHDD(ハードディスク)を「初期化」することで改善されることがあります。初期化のしかたについては**33**ページをご覧ください。
  ※ 初期化をすると、録画した内容は全て消去されます。大切な録画内容は、初期化をする前にDVD-RW/-Rディスクに保存してから初期化をしてください。

停電になったら

- 録画中、または録画予約中に停電になると、録画中の内容が損なわれることがあります。
- 再生中に停電になると、再生中の内容が損なわれることがあります。

大切な録画内容は

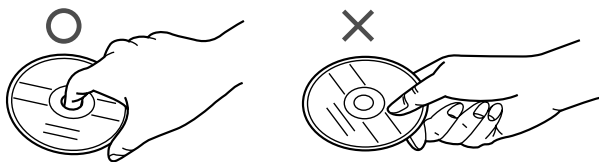
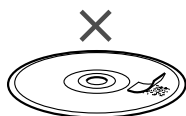
- HDD(ハードディスク)が故障すると、HDD(ハードディスク)に録画した内容が失われることがあります。大切な内容は、DVD-RW/-Rディスクに保存しておくことをおすすめします。

本機ではHDDの容量の一部を、システム管理領域として使用しています。

HDDの故障による録画・録音内容の損失など万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

ディスク（DVD・CD）について

ディスク（DVD・CD）の取り扱いはていねいに

●記録面（再生面）には手を触れないでください。

●ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスク（DVD・CD）のお手入れについて

●ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。

●汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
●シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

つゆつきについて

●以下のような温度差の激しいところに設置すると、内部のピックアップレンズやディスクに「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。
- 暖房をつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと
ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには
ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

ディスク（DVD・CD）の保管のしかた

●ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。

●直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。

●落としたり、強い振動やショックを与えないでください。

●ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。

ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れるときは

●レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。
修理は、お買い上げの販売店またはシャープお客様相談センター（**265**ページ）にご依頼ください。

停電になったら

●ダビング中に停電になると、記録が中断された時点より前の内容が数分ぶん損なわれることがあります。またDVDディスクが使用できなくなる場合があります。

登録商標

商標・登録商標など

- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のPPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）での使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- ドルビーデジタルステレオクリエーターによって、ドルビーデジタルの目の覚めるような音質でステレオ音声のDVDビデオを作成することができるようになります。
  この技術をPCM記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能となり、その結果、より高い解像度（ビットレート）の映像、または、より長い記録時間を実現することが可能になります。
  ドルビーデジタルステレオクリエーターを用いてマスタリングしたDVDは全てのDVDビデオプレーヤーで再生することが可能です。

注：使用した記録型DVDに対してプレーヤーが互換性を持っている場合。

- Dolby、ドルビーおよびダブルＤ（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTS、DTS デジタルサラウンドは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- 「スペシャライザー」は、デスパー・プロダクツ社とのライセンス契約に基づき製造されています。Spatializer® N-2-2™ とは、デスパー・プロダクツ社の商標です。
- DVDは DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- i.LINK（アイリンク）と i.LINK ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmisson Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

放送の種類について

地上アナログ放送

従来の放送です。録画やダビングが自由にできます。

地上デジタル放送

テレビ放送 データ放送

BSデジタル放送

テレビ放送 ラジオ放送 データ放送

110度CSデジタル放送

テレビ放送 データ放送

従来の放送よりも高画質・高音質な、デジタル放送です。
デジタルハイビジョン番組を、HDD（ハードディスク）に高品位で録画できます。ただし、録画やダビングに制限がある放送もあります。

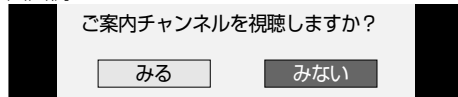
デジタル放送の特徴

テレビ放送	従来のアナログ放送にくらべて、高画質・高音質なテレビ放送が楽しめます。
ラジオ放送	CD並みの高音質な音楽放送が楽しめます。（本機への録音はできません。）
データ放送	静止画や文字によって、さまざまな情報を提供する放送です。
電子番組表	デジタル放送から送られてくる番組表データを表示させて、選局や録画予約などができます。
HD／SD放送	デジタル放送にはハイビジョン放送（HD放送）と、スタンダード放送（SD放送…従来画質の放送）があります。
字 幕	映画などの番組では、字幕が放送されます。
双方向サービス	クイズ番組に参加したり、アンケートに答えたりすることができます。

衛星デジタル放送の専用サービス

自動仮視聴サービスについて
有料で提供されるBSデジタル放送または110度CSデジタル放送をご覧になる場合は、受信契約が必要です。
ただし、放送事業者（チャンネル）によってはB-CASカードを使い始めてから一定の期間は視聴できる場合があります。（仮視聴期間といいます。）これは、契約促進を目的としたサービスです。
お客様が別途に契約を行わない場合は、放送事業者の決めた仮視聴期間を過ぎますと、番組が視聴できなくなります。（録画もできません。）

ご案内チャンネルの表示
お客様が未契約の有料放送を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示と共に、契約をご案内する番組への切換えを促す画面が表示されることがあります。

画面例

ブックマーク
コンテンツ画面にブックマークが表示されているときは、その情報を登録しておき、後でブックマークを一覧表示、選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。

ボード（掲示板）
プラットフォーム（e2 by スカパー）単位でいろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。
詳しくは**233**ページをご覧ください。

デジタル放送の「コピー制御」について

デジタル放送で視聴・録画できる番組にはコピー制御信号が含まれています。

コピー制御信号の種類
- **「録画可能」の番組：**録画できます。ダビングに制限はありません。
- **「1 回だけ録画可能」の番組：**録画できます。ただし、録画した番組は複製することができません。また、録画できるディスクに制限があります。2004 年４月からは、地上デジタル放送とBSデジタル放送のほとんどの番組が「1回だけ録画可能」の番組になりました。110 度 CS デジタル放送の番組には「録画可能」の番組もあります。
- **「録画禁止」の番組：**録画はできません。視聴のみ可能です。

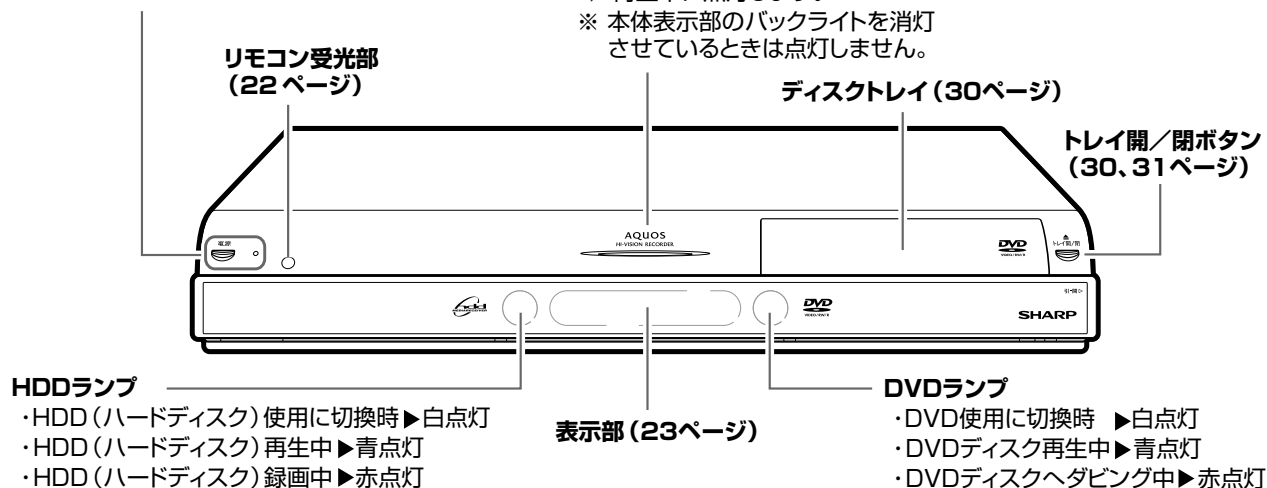
デジタル放送を録画できるディスク
- HDD(ハードディスク)

デジタル放送をダビング（記録）できるディスク
- DVD-RW Ver.1.1 **CPRM 対応**／ Ver.1.2 **CPRM 対応**のディスク（VR フォーマット）
- DVD-R Ver.2.0 **CPRM 対応**／ Ver.2.1 **CPRM 対応**のディスク（VRフォーマット）
- DVD DL Ver.3.0 **CPRM 対応**のディスク（VRフォーマット）

※「CPRM（Content Protection for Recordable Media)」とは、デジタルメディアに対する著作権保護技術です。
本機は、CPRM 著作権保護技術を採用しています。

ダビングの制限
HDD（ハードディスク）に録画した「1 回だけ録画可能」の番組を VR フォーマットの DVD-RW/-R にダビングする、または i.LINK 機器※へダビングすると、番組を複製するのではなくダビング元からダビング先へ移動（ムーブ）することになります（ダビング元からは録画した番組は消去されます）。
※ ダビングできる i.LINK 機器は、シャープ製 BD プレーヤー「BD-HP1」です。

各部のなまえとおもな機能

本体前面

本体前面（扉内）

録画ランプ（赤）（57、63、162ページ）
・ハードディスク録画中／予約録画中に点灯します。
・DVDへのダビング中に点灯します。

再生ボタン（44、84ページ）
・HDD（ハードディスク）やDVDディスクを再生します。

HDDモード選択ボタン（45、78、80ページ）
・HDD（ハードディスク）モードに切り換えます。

録画ボタン（54、55ページ）
・視聴中の番組を、HDD（ハードディスク）に録画します。

停止ボタン（44、78、84ページ）
・再生を停止します。
・タイムシフト視聴中は、現在放送中の場面に戻ります。

扉のくぼみに指をかけ手前に引く

録画停止ボタン（55、58ページ）

選局ボタン（36、54ページ）

B-CAS（ビーキャス）カード（付属品）

地上A/地上D/BS/CS ボタン（36、54ページ）
・放送の種類を切り換えます。

B-CAS（ビーキャス）カードスロット（189ページ）

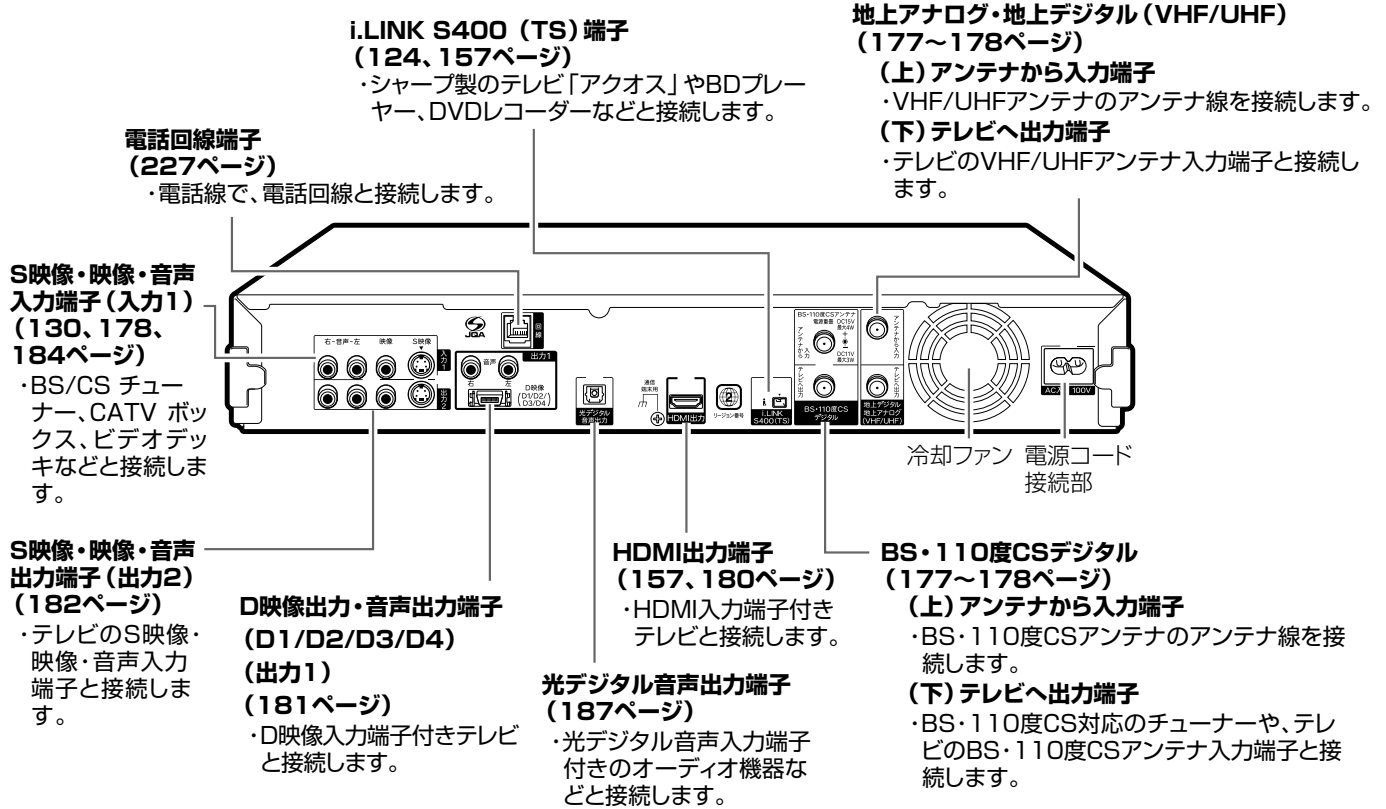
i.LINK録画ランプ（赤）（165、166、170、172ページ）
・i.LINK入力録画中に点灯します。

DVDモード選択ボタン（78、84ページ）
・DVD モードに切り換えます。

同じ名称の扉内の操作ボタンとリモコンのレコーダー操作ボタンとは、同じ働きをします。

本体後面

- 接続について詳しくは

175ページ

確認
基本
視聴
録画・予約
再生
編集
ダビング
消去・管理
各種設定
ファミリンク
2番組同時録画
接続・設定
基本設定
こんなときは

リモコン

- 本機のリモコンで、本機とテレビを操作することができます。
- リモコンのテレビメーカー指定を「シャープC」（シャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」）に設定しているときは「テレビの操作をする」ボタンすべてが操作できます。「シャープA」、「シャープB」および他メーカーのテレビでは、「電源」、「音量」、「選局」、「入力切換」のみ操作できます。（メーカー指定操作 ☞197 ページが必要です。）

※ **197** ページのテレビメーカー指定で設定したテレビで操作できるボタンです。
その他のテレビ操作ボタンは、テレビメーカー指定「シャープC」でのみ操作できるボタンです。

テレビに向けて操作します。

テレビ

テレビの操作をする

ふたを開けたところ

本機に向けて操作します。

レコーダー

レコーダーの操作をする

画面サイズ
・画面サイズを切り換えます。

テレビ／レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもテレビを操作できます。

i.LINK
・テレビをi.LINK入力に切り換えます。

ファミリンク対応テレビ専用ボタン

機能選択
・ファミリンク機能選択メニューを表示させます。

音声 ・音声を切り換えます。

映像 ・映像を切り換えます。

字幕 ・字幕を切り換えます。

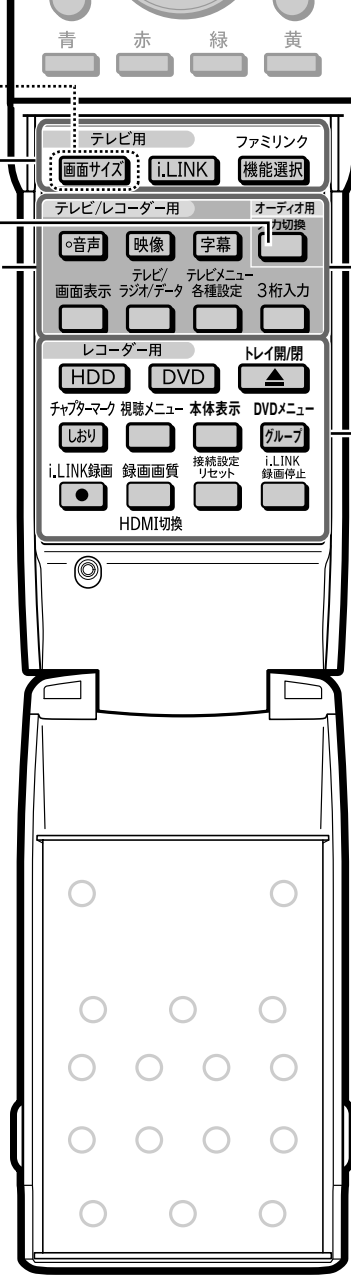
画面表示
・画面表示を入／切します。

テレビ／ラジオ／データ
・デジタル放送の種類を切り換えます。

テレビメニュー
・テレビのメニュー画面表示を入／切します。

3桁入力
・デジタル放送の視聴中に、3桁のチャンネル番号で選局するときに押します。

アクオスオーディオなどに向けて操作します。

オーディオ用入力切換
・シャープ製オーディオ機器と接続している場合、オーディオ機器の入力を切り換えます。

音声（42、92ページ）
・音声を切り換えます。

映像（43、93ページ）
・映像を切り換えます。

字幕（43、93ページ）
・字幕を切り換えます。

画面表示（28ページ）
・画面表示を入／切します。
・デジタルハイビジョン対応テレビと接続時、電子番組表の表示（縦にチャンネルを並べた、6時間/3時間）を切り換えます。

テレビ／ラジオ／データ（36ページ）
・デジタル放送の種類を切り換えます。

各種設定（143ページ）
・各種設定画面を表示します。

3桁入力（37ページ）
・デジタル放送の視聴中に、3桁のチャンネル番号で選局するときに押します。

テレビ／レコーダー切換スイッチがどちらの場合でもレコーダーを操作できます。

HDD DVD（45、78、80、84ページ）
・HDD（ハードディスク）やDVDの操作モードを切り換えます。

トレイ開/閉（30ページ）
・ディスクトレイを開/閉します。

チャプターマーク（しおり）
（55、75ページ）
・HDDの録画中や再生中にチャプターマークを記録します。

視聴メニュー（43、86、98ページ）
・視聴／再生中に、番組や録画した番組の音声や字幕を切り換えるための設定メニューを表示します。

本体表示（23ページ）
・本体表示部の情報を切り換えます。

DVDメニュー（84ページ）
・DVDビデオのディスクメニュー画面を表示します。

グループ（80ページ）
・録画済みの番組を仕分けるグループの一覧を表示します。

i.LINK録画（165、170ページ）
・i.LINK機器からの入力を本機に録画します。

録画画質（54、131、145ページ）
・録画画質を選びます。

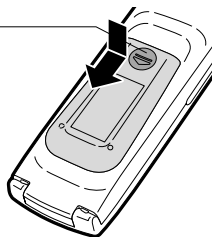
HDMI切換（180ページ）
・長押しして映像出力をHDMI出力に切り換えます。

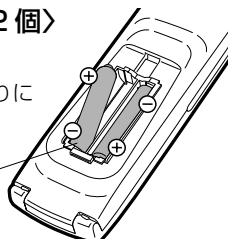
接続設定リセット（201ページ）
・停止中に5秒以上押すとかんたん設定画面が表示されます。

i.LINK録画停止（165、170ページ）
・i.LINK録画を停止します。

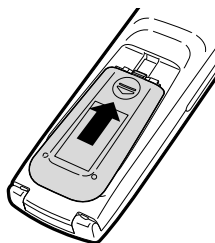
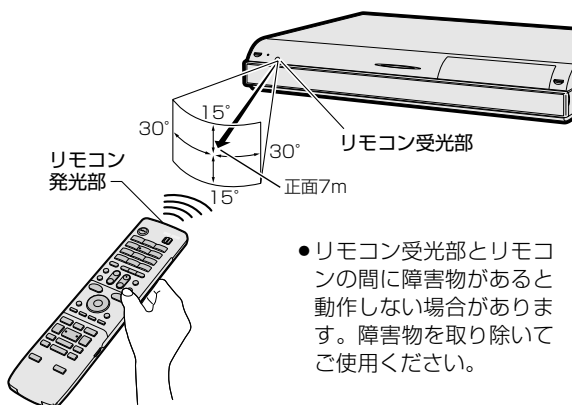
・テレビ側でのリモコンボタンの機能と操作については、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

電池の入れかたと操作範囲

①裏ぶたを開ける

②付属の乾電池〈単４形×２個〉を入れる

● 収納部の ⊕⊖ の表示どおりに正しく入れてください。

● 新しい乾電池を交換する際は、アルカリ乾電池をご使用ください。

③裏ぶたを閉める

● カチッと音がするまで確実に閉めてください。

リモコンの操作範囲

● リモコン受光部とリモコンの間に障害物があると動作しない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。

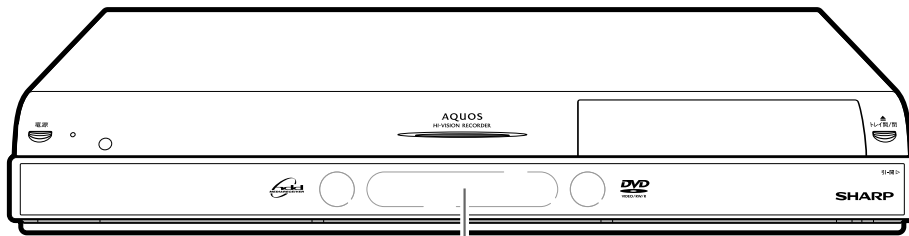
⚠注意　乾電池使用上のご注意

乾電池は誤った使いかたをすると、液もれや破れつを起こすことがありますので、次の点について特にご注意ください。

- **乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおりに正しく入れてください。**
- **乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。**
- **乾電池は種類によって特性が異なります。**
  種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- **新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。**
  新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- **乾電池が使えなくなったら…**
  液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- **不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示(条例)に従って処理してください。**

重要

- リモコンには衝撃を与えないでください。
- リモコンのふたに強い力を加えないでください。故障の原因となる恐れがあります。
- リモコンを、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- 乾電池を入れ換えたとき、リモコンが正しく動作しないことがあります。このようなときは、乾電池をいったんリモコンから取り外し、５分以上たってから入れ直してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが正しく動作しないことがあります。照明または本体の向きにご注意ください。
- **付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。**早めに新しい乾電池と交換してください。（寿命は通常６カ月〜１年が目安です。）
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。
- 長時間（約１日）電池のない状態が続いたときは「リモコン番号」（**198**ページ）や「メーカー指定」（**197**ページ）がリセットされますので、設定し直してください。
- リモコンの「テレビ入力自動切換」は、電池がなくなるとリセットされますので、設定し直してください。（**173**ページ）

表示部の動作表示例

表示部

選局時（停止時）

地上アナログ放送選局中　A: 62

地上デジタル放送選局中　D:052

BS デジタル放送選局中　B: 103

110 度 CS デジタル放送選局中　C:320

ケーブルテレビ（CATV）放送選局中　A:c 63

外部入力選択中（入力 1）

ダウンロード中

「DL」表示　DL

ダウンロードサービスについて

- 電源が切れた状態でも、電波を通して本機の機能を改善させるソフトウェア更新サービスを行うことができます。このサービスをダウンロードサービスといいます（**151** ページ）。
- ソフトウェアのダウンロードサービス中は、本機の電源が入るため、後面ファンが回転し、本体表示部に「DL」の表示が出ます。また、本体のHDD（ハードディスク）ランプ、DVD ランプが点滅（点灯）します。
- ダウンロードサービス中は、電源コードを抜いたりリセット操作を行わないでください。

表示部のバックライトを消したいときは

- スタートメニューから「各種設定」－「機能切換」－「液晶設定」（**150** ページ）で設定してください。

再生・録画時

カウンター表示（i.LINK 録画はカウンター表示されません。）

- 録画のカウンター表示中にリモコンふた内の［本体表示］を押すと、録画しているチャンネル表示になります。もう一度［本体表示］を押すと、録画のカウンター表示になります。

メニュー画面の操作時

「MENU」表示

i.LINK 入力での録画時

i.LINK(TS)入力録画の表示

B-CAS カード通信中／電話回線使用中

「ACCESS」表示

- 有料放送を番組購入した場合など、番組情報の取得が必要なときは、数時間「ACCESS」の表示が出たままになることがあります。通信しているためで故障ではありません。
- 「ACCESS」表示中は、本体電源が入るため、冷却ファンが回転します。

番組表取得中

電子番組表表示

D 映像／ HDMI 出力切換

D 映像出力時　D - oP

HDMI 出力時　H - oP

時計を表示させるには

時計表示

- 「電源オフ時計表示設定」（**150**ページ）を「する」に設定している場合は、電源を切ると時計が表示されます。
- 「電源オフ時計表示設定」を「しない」に設定している場合は、リモコンふた内の［本体表示］を押すと、時計が表示されます。（約 1 分後に消えます。）

おたすけ博士（ヘルプ機能）で操作を覚える

「おたすけ博士」（ヘルプ機能）で基本的な操作を画面で案内する機能です。

はじめに

●操作を始める前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

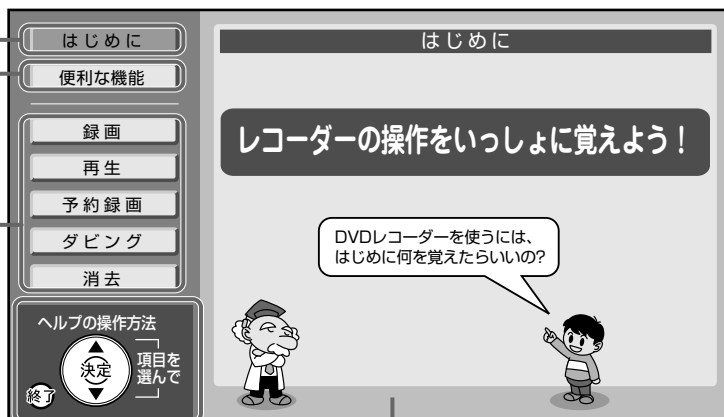
便利な機能

●本機を活用していくうえで便利な機能を紹介しています。

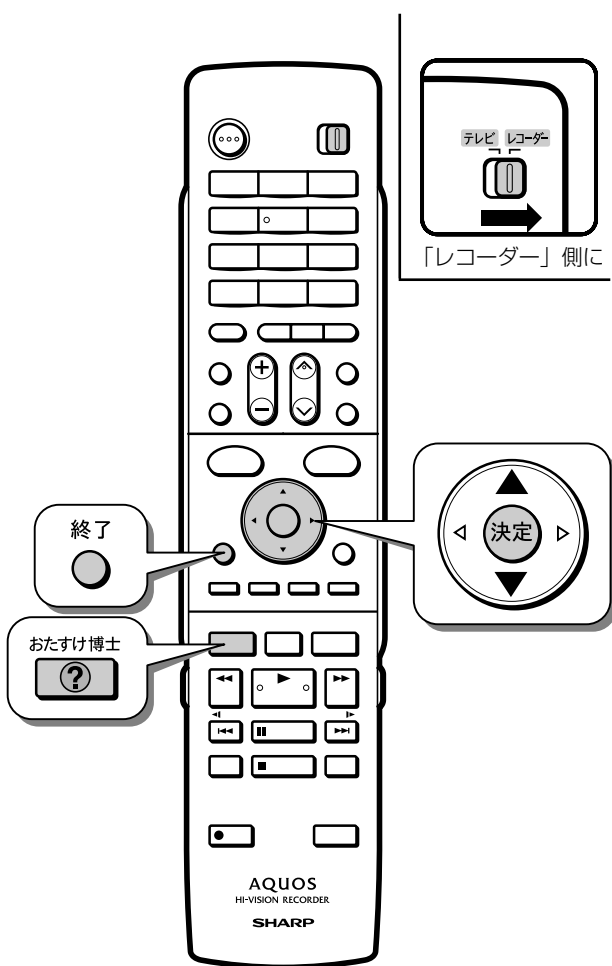
基本的な操作の説明

●録画、再生、予約録画、ダビング、消去の操作方法を説明しています。

●画面の操作を案内しています。

▼「おたすけ博士」の画面

●具体的な説明が表示されます。

●見ている画面が何番目の画面かわかります。

●操作で使うリモコンのボタンが表示されます。

ご注意

・電子番組表やメニュー画面などの画面表示中は「おたすけ博士」は表示されません。
　リモコンの 終了 を押して画面表示を消してから おたすけ博士 ? を押して操作してください。

・「おたすけ博士」は本機が停止中に使える機能です。録画や再生などの動作をしているときは、表示できません。

〔例〕録画の操作方法について調べるとき

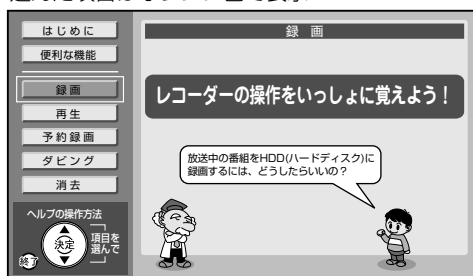
1 テレビと本機の準備をします

35ページ

2 「おたすけ博士」を表示させます

3 知りたい項目を選んで決定します

（例：「録画」を選ぶ場合）

選んだ項目はオレンジ色で表示

4 ① 画面を見ながら操作方法を画面と音声で学びます
② 「次へ」を選んで決定します

選んだ項目はオレンジ色で表示

- 「前へ」を選んで (決定) を押すと前の説明に戻ります。
- 「次へ」を選んで (決定) を押すと次の説明に進みます。
- ほかの項目の説明が読みたい場合は「はじめの画面へ」を選んで (決定) を押して、操作をくり返してください。

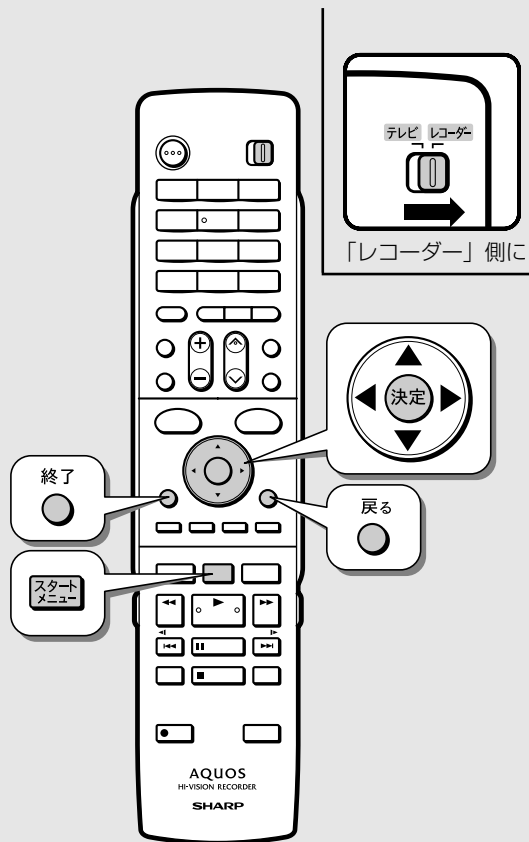
5 手順 4 をくり返します

6 操作を終わるとき

⇨「おたすけ博士」終了

確認 基本 視聴 録画・予約 再生 編集 ダビング 消去・管理 各種設定 ファミリンク 2番組同時録画 接続・設定 基本設定 こんなときは

スタートメニューの使いかた

スタートメニューから本機のほとんどの操作・設定ができます。

・スタートメニュー画面を表示後約１分間何も操作をしないと、画面は自動的に消えます。
・スタートメニュー画面が表示されない場合は、「故障かな？と思ったら」（**254** ページ）をお読みください。

1 テレビと本機の準備をします 35 ページ

2 スタートメニューを表示させます

スタートメニュー　押す

3 項目を選んで決定します

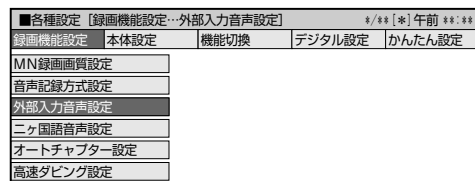
（例：「各種設定」を選んだとき）

再生・編集　予　約　ダビング
消　去　放送視聴 外部機器　ディスク管理
各種設定　お知らせ
で選択し 決定 を押す　戻る で前の画面に戻る　スタートメニュー で終了

⇨選んだ項目の画面

4 さらに項目を選んで決定します

（例：「各種設定」－「録画機能設定」－「外部入力音声設定」を選んだとき）

■各種設定［録画機能設定…外部入力音声設定］　＊/＊＊［＊］午前 ＊＊:＊＊
録画機能設定　本体設定　機能切換　デジタル設定　かんたん設定
MN録画画質設定
音声記録方式設定
外部入力音声設定
ニヶ国語音声設定
オートチャプター設定
高速ダビング設定

⇨選んだ項目の画面

5 設定します

・戻る ◯ を押すと、１つ前の画面に戻れます。

6 設定を終了します

⇨スタートメニュー画面終了

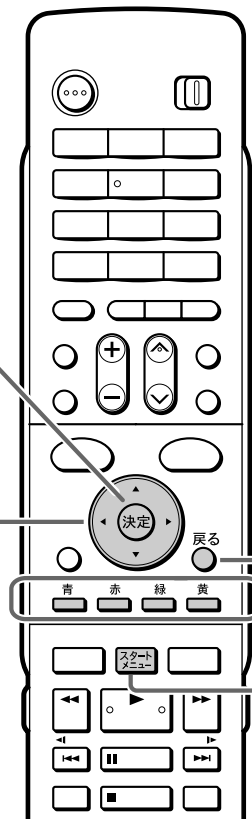
・終了 ◯ を押して設定を終了させることもできます。

■高精細表示設定について

- スタートメニューは、デジタルハイビジョン対応テレビと次の接続・設定をしている場合、高精細画面で表示されます。
  - ・D 映像ケーブルで接続し、「D 映像出力設定」を「1125i 優先」にしているとき
  - ・HDMIケーブルで接続し、「HDMI映像出力設定」を「オート」または「1125i 固定」にしているとき
- 高精細画面でない場合でも、スタートメニューの表示内容、操作方法などは基本的に変わりません。
- 「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「高精細表示設定」（**149** ページ）で表示のしかたを選ぶことができます。

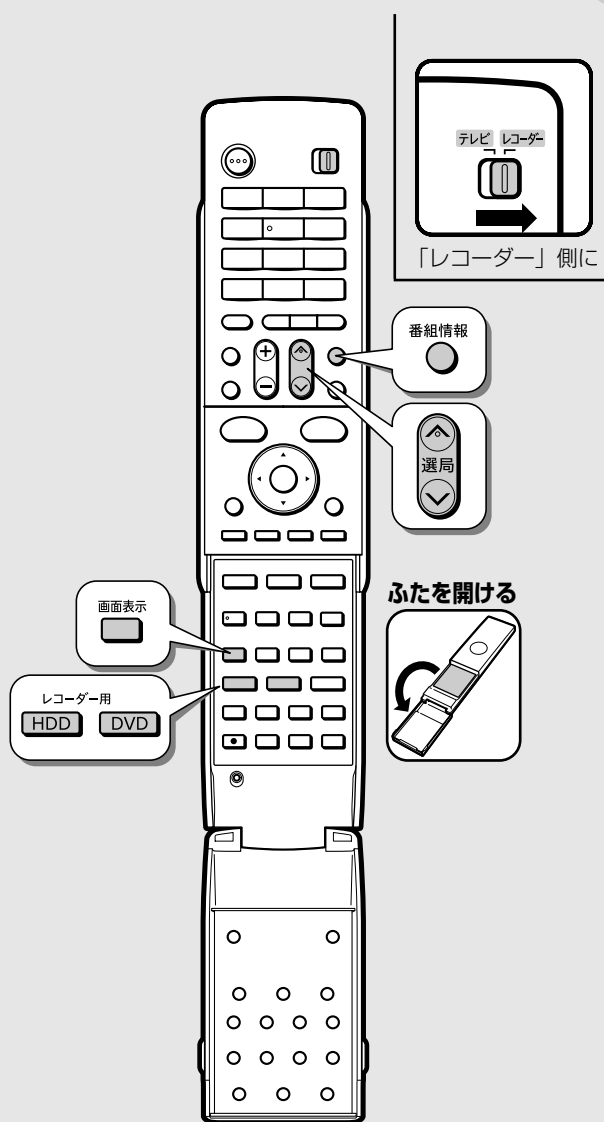
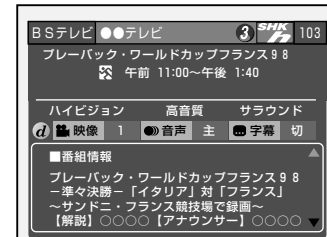
■スタートメニューのあらまし

未読の受信メッセージがあるときは、スタートメニューのお知らせ表示が「 」になります。

お知らせ

テレビ画面表示について

番組情報やディスクの残り時間などの情報をテレビ画面に表示できます。

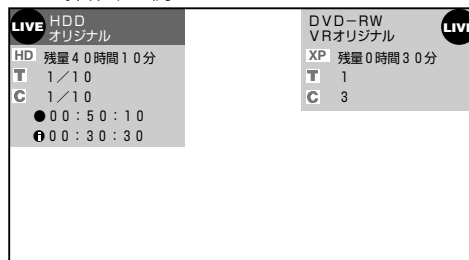
・ディスク残量表示は、目安です。録画中の残量表示と録画停止時点での表示が一致しないこともあります。
・デジタル放送受信中に表示されるHD/SD残時間は、BSデジタルの録画残量時間です。
・コンセントから電源コードを抜いたあと再び接続して電源を入れた場合、あるいはリセット操作（**241** ページ）を行うと以下の表示が出ることがあります。表示が消えるまでお待ちください。

ディスクを確認しています。
完了まで１０分以上かかる場合があります。

チャンネル表示と番組情報

●もう一度押すと消えます。

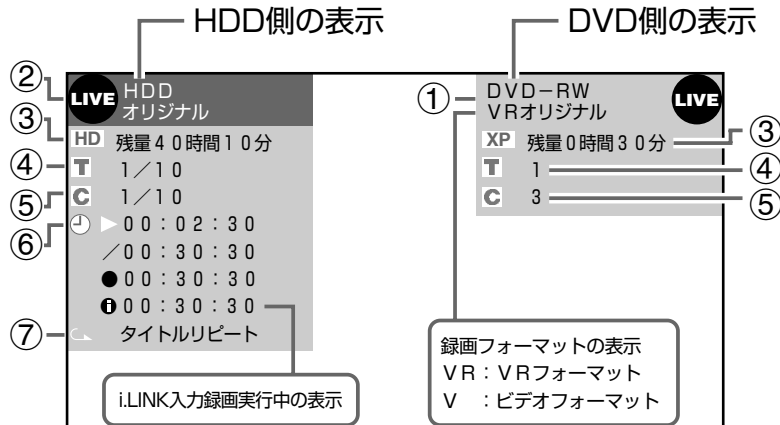
ディスクの残り時間やカウンター表示

（ふた内）

⇨ディスクの残り時間やカウンター表示
（約１分後に自動的に消えます）

HDD 操作中の例

・HDD モード中に HDD を押すか、DVD モード中に DVD を押しても表示されます。

● もう一度 画面表示 を押すと、消えます。
再生／録画中であればカウンター表示だけになります。
カウンター表示を消すには、もう一度 画面表示 を押してください。

■ディスク情報表示例

① **ディスクの種類／録画フォーマットを表示**
- オリジナルタイトルを再生するかプレイリストを再生するかを表示
- DVDディスクを再生するときは、録画フォーマットを表示

② **動作表示**

再生中（青いマーク）	録画停止時（赤いマーク）
再生停止時（青いマーク）	録画中（赤いマーク）
録画開始時（赤いマーク）	停止中（青いマーク）

③ **選択されている録画画質と、その録画画質での残量時間（録画可能時間）を表示**
- 表示される残時間は、その時点で選択されている録画画質でのきめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像が録画できる時間の目安です。
- デジタル放送受信中に表示されるHD/SD（録画画質）の残量時間は、BSデジタルの録画残量時間です。
- 地上デジタル放送のHD/SD（録画画質）の残量時間は、表示できません。
- 録画できないディスクがセットされたときは、ディスク残量表示部が空欄または「残量0時間00分」と表示されます。
- ファイナライズしたビデオフォーマットのディスクをセットしたとき、および、ファイナライズしたVRフォーマットのDVD-Rをセットしたときは「ファイナライズ済」の表示になります。

④ **再生中または録画中のタイトル番号／そのタイトル数を表示**

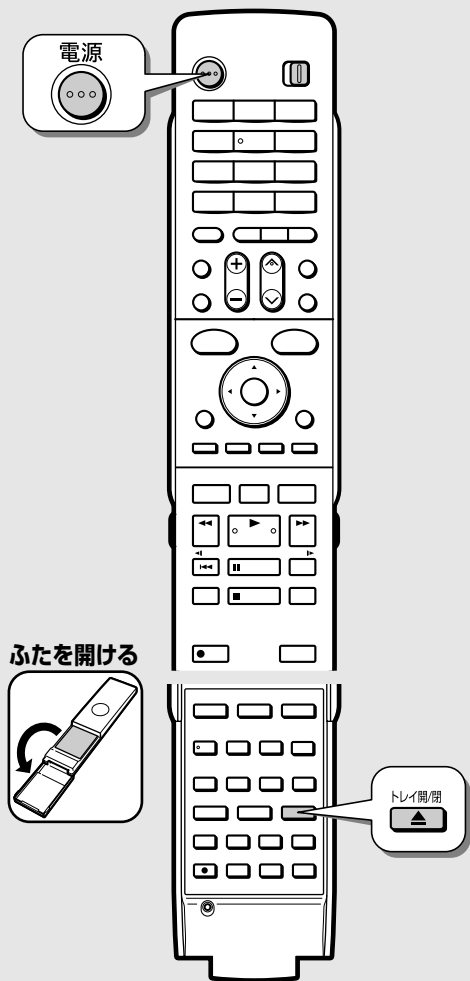
⑤ **再生中または録画中のチャプター番号／そのタイトルの総チャプター数を表示（停止中はディスク内の総チャプター数を表示）**

⑥ **カウンター／再生中のタイトルの総時間を表示**

⑦ **リピート再生をしているときに表示**

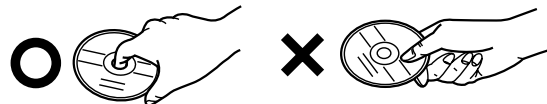
- 選択している録画画質でHDD（ハードディスク）の残時間が3時間を切ったときは、画面左下に「 」のマークが表示されます。

DVD ディスクの入れかた・出しかた

DVD ディスクの入れかたと取り出しかたです。

お知らせ

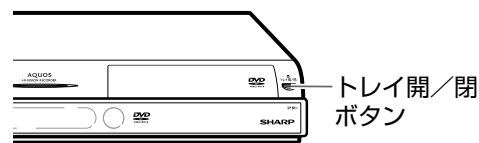
・本機にディスクを入れる前に、「本機で使えるディスクについて」(**237** ページ)をご覧ください。
・DVD ディスクにダビングする前に、録画フォーマットや初期化についてご確認ください。(**32**、**33**、**236** ページ)
・新品のDVD-RWディスクをセットしたときは、自動的にVRフォーマットで初期化が始まります。初期化が完了したら、録画可能になります。
・新品のDVD-R(CPRM)ディスクをセットしたときは、VR フォーマットで初期化するためのメッセージが表示されます。VRフォーマットでご使用になる場合は、「初期化実行」で決定するとVR フォーマットで初期化されます。
DVD-RディスクをVRフォーマットで初期化したあとは、ビデオフォーマットで初期化し直すことはできません。
・ディスクトレイにセットできるディスクは１枚です。2枚以上セットすると、故障の原因となります。
・１回の録画の最長時間
DVD ディスク(片面一層 4.7GB):約 8 時間(録画画質「MN01」)
DVD-R DL(2 層) VR フォーマット:9 時間
ビデオフォーマット:約 14時間30分(録画画質「MN01」)
・録画できる番組数
DVD ディスク:99 番組

ディスクの持ちかた

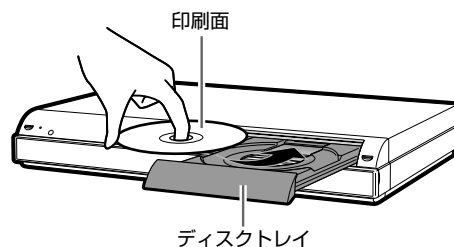
●光っている面に手を触れないように持ってください。
指紋などがつくと、録画や再生ができなくなる場合があります。

●DVDディスクに紙やラベル、シールなどを貼らないでください。

ディスクの入れかた

1 本機の電源を入れます

2 リモコンふた内の[トレイ開/閉]または本体のトレイ開/閉ボタンを押してディスクトレイを開けます

⇨ ディスクトレイが開きます。

・電源が切れているときにトレイ開/閉ボタンを押した場合、電源が入り、ディスクトレイが開きます。

3 ディスクトレイにディスクを置きます

●印刷面を上にして置きます。
●両面記録のディスクは、録画または再生したい面を下にして置きます。

4 リモコンふた内の［トレイ開/閉 ▲］または本体のトレイ開/閉ボタンを押してディスクトレイを閉めます

⇨ ディスクトレイが閉まります。

ディスクの出しかた

リモコンふた内の［トレイ開/閉 ▲］または本体のトレイ開/閉ボタンを押してディスクトレイを開けます

▶ディスクを取り出す

ディスクを初期化する

新品の DVD ディスクにダビングする場合やディスクの残量を増やすため初期化をします。

ご注意

- 初期化をすると、「タイトル保護設定」(**132**ページ) されたものも含めてそれまでに記録された番組がすべて消去されます。内容を良くご確認のうえ、初期化してください。
- 「DVDディスク保護設定」されたディスクは初期化できません。（ディスク保護設定を解除してから初期化を行ってください。）（**133**ページ）
- DVD-RW Ver.1.0ディスクはビデオフォーマットでの初期化はできません。
- DVD-R は記録後の初期化が行えません。
- お使いになる前のHDD(ハードディスク) の初期化は不要です。HDDの内容をすべて消したい場合に初期化してください。（大切なタイトル（録画した番組）はあらかじめDVDにダビング(**120**ページ) してください。）
- デジタル放送をDVDにダビングするにはCPRM対応のDVDディスクが必要です。

お知らせ

- デジタル放送をダビングしたい場合はCPRM対応のDVD-RW/-Rを「VRフォーマット」で初期化し、ダビングしたディスクを他の機器で再生したい場合はDVD-RW/-Rを「ビデオフォーマット」で初期化することをおすすめします。
- 工場出荷時設定では、新品のDVD-RWディスクをセットすると自動的に「VR フォーマット」で初期化されます。新品の DVD-RW をビデオフォーマットで初期化、あるいは新品の DVD-R を VR フォーマットで使いたい場合にのみ初期化操作を行ってください。

■録画フォーマットについて

VRフォーマット
・デジタル放送を記録できる（CPRM対応の場合）

ビデオフォーマット
・市販のDVDプレーヤーなどで再生できる

■新しい DVD ディスクの初期化について

ディスクの種類	新品のディスクへの初期化（フォーマット）
DVD-RW CPRM対応 DVD-RW	**VRフォーマットで使いたい** → 自動でVRフォーマットに初期化を行います。（工場出荷時）（**33**ページ） **ビデオフォーマットで使いたい** → 初期化が必要です。（DVD ビデオフォーマット）（**33**ページ）
DVD-R CPRM対応 DVD-R	**VRフォーマットで使いたい** → 初期化が必要です。（DVD VRフォーマット）（**33**ページ） **ビデオフォーマットで使いたい** → 初期化の必要はありません。

■HDD（ハードディスク）の初期化について

- お買い上げ時、ハードディスクは初期化された状態ですので初期化の必要はありません。

こんなときに初期化をします

- ハードディスク内の番組を消去しても空き容量（残量時間）が増えないとき。
- 本機のエラーが発生し、リセット操作をしても改善されないとき。
- ハードディスク内のタイトル（録画した番組）をすべて消去し、リフレッシュさせたいとき。

ディスクの初期化

1 テレビと本機の準備をします 35 ページ

2 DVD ディスクの初期化の場合、ディスクをセットします 30 ページ

3 スタートメニューを表示させます

スタートメニュー 押す

4 ①「ディスク管理」を選んで決定します
②「ディスク初期化」を選んで決定します

5 ① 初期化の種類を選んで決定します
②「する」を選んで決定します

6「はい」を選んで決定します

⇨初期化実行

7「確認」で決定します

決定 決定する

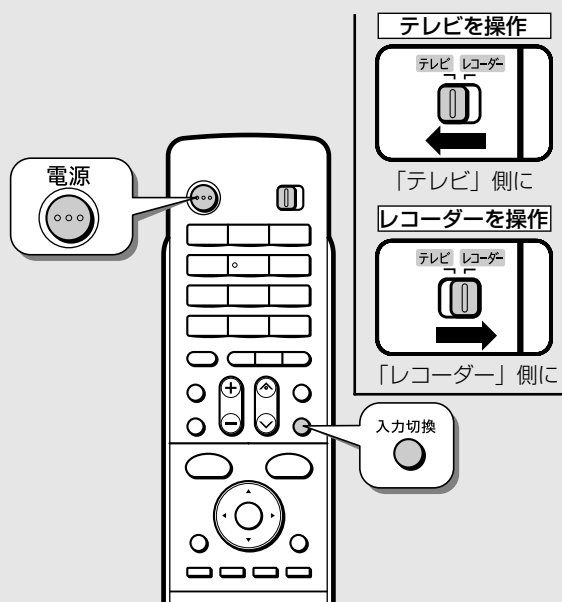
8 設定を終了します

終了 押す

使ってみよう

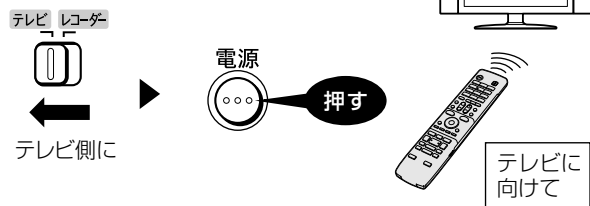
この章では、放送中の番組を選局して
ハードディスクに録画・予約録画する方法、
再生・編集・ダビングする方法について
説明しています。

テレビと本機の準備をする

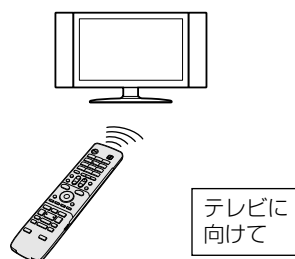
テレビと本体の電源を入れ、本機を操作するための準備をします。

ご注意

・本機のリモコンでテレビを操作する場合に、初期状態で操作できるテレビは、デジタルチューナー内蔵の液晶テレビ「アクオス」です。それ以外のシャープ製テレビや、シャープ製以外のテレビを操作するときは、テレビメーカー指定で設定をしてください。（**197** ページ）

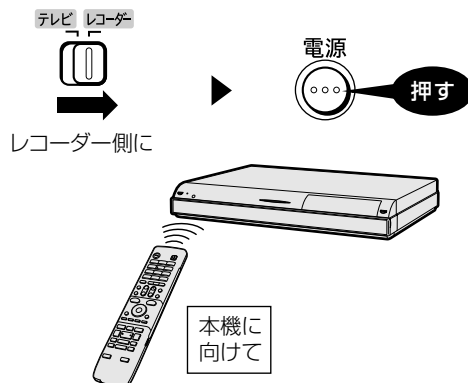
・リモコン操作をすると他のシャープ製 DVD レコーダーや DVD プレーヤーも動作してしまうときは、「リモコン番号」を設定してください。（**198** ページ）

1 テレビの電源を入れます

● リモコンでお使いのテレビを操作するには、「メーカー指定」操作を行う必要があります。（**197** ページ）

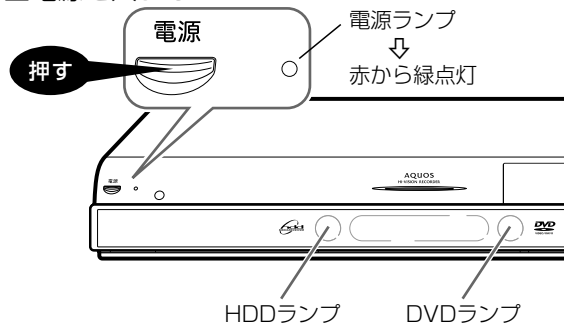
2 入力切換 をくり返し押して、テレビの入力を本機を接続した入力（「入力1」など）に切り換えます

テレビに
向けて

3 B-CAS カードを本機にセットしていることを確認します

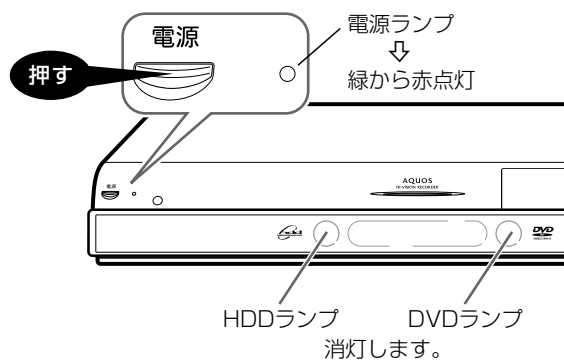
189 ページ

4 本機の電源を入れます

● もう一度押すと本機の電源が切れます。

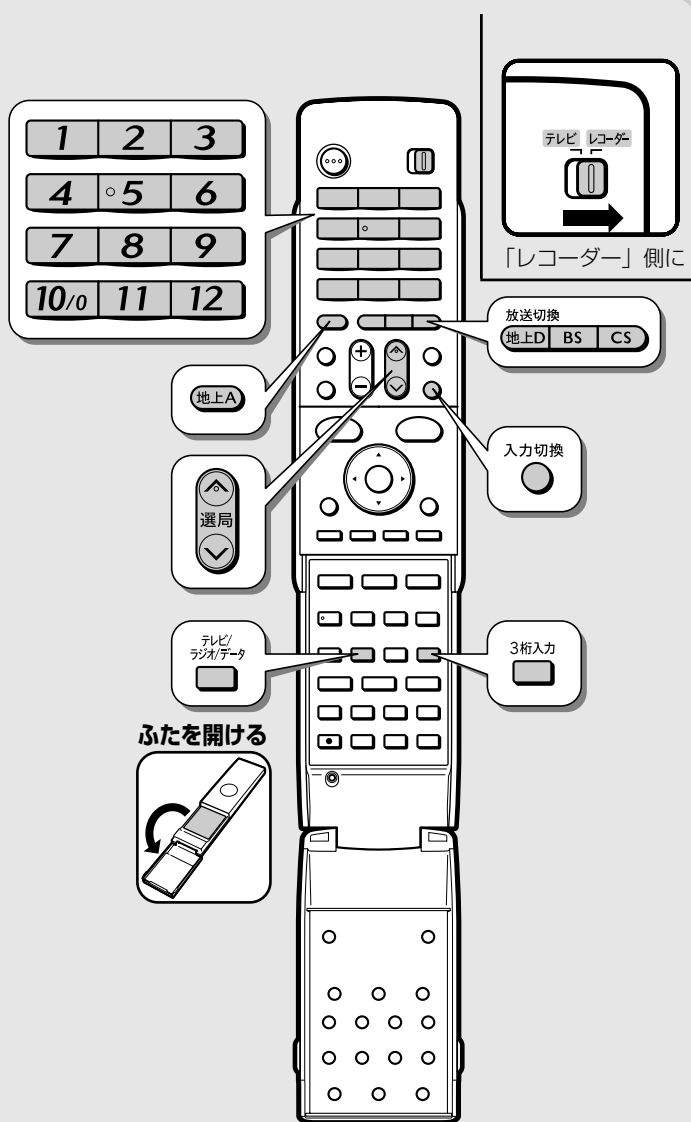
本体ボタンでの本機電源の入／切

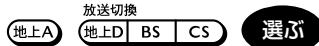
■電源を入れる

● 電源を入れると、本体のHDDランプ･DVDランプが点滅します。点滅中は操作のための準備を行っていますので、点滅が終了するまでお待ちください。

● 接続後はじめて電源を入れたときは、「初期設定」画面になります。（**192** ページ）

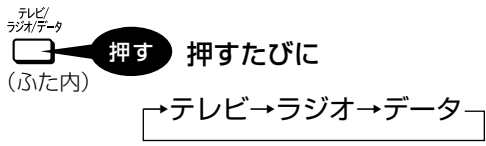
■電源を切る

● 電源を切った直後は、再度電源ボタンを押しても電源が入らない場合があります。そのようなときは少し待ってから再度電源を入れてください。

チャンネルを選ぶ

本機のチューナーでテレビ番組を選びます。

1 テレビと本機の準備をします 35 ページ

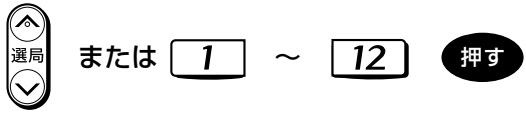
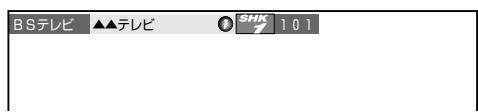
2 放送を選びます

3 データ放送やラジオ放送を選ぶ場合

テレビ/ラジオ/データ（ふた内） 押す 押すたびに

→テレビ→ラジオ→データ

- ラジオ放送（BS デジタル放送のみ）
- データ放送（BSデジタル放送・110度CSデジタル放送のみ）

• デジタル放送を 3 桁入力で選ぶ場合はこの操作は必要ありません。

4 選局します

選局 または 1 ～ 12 押す

⇨選局したチャンネルの情報表示（自動的に消えます。）

•放送の種類（地上A/ 地上D/BS/CS）の選択やチャンネルの選局は、本体前面（扉内）のボタンでも操作できます。本体の地上A/ 地上D/BS/CSボタンをくり返し押すと放送の種類が選択できます。

重要

- WOWOW放送や、スターチャンネル、110度CSデジタル放送は有料放送です。事業者との受信契約が必要です。
- 放送局との契約については、**189** ページをご覧ください。
- 付属の B-CAS カードは、必ずセットしてください。B-CAS カードをセットしないと、デジタル放送がご覧になれません。

ご注意

- 録画中は、選局の操作ができません。
- 放送番組によっては、上下に黒い帯や上下左右に黒い帯が付いて見える場合があります。（放送局の送信データによるもので、本機の故障ではありません。）

外部入力を選ぶには（入力切換）

- 押すたびに、次のように切り換わります。
  L1（外部入力1）←→ 放送（現在のチャンネル）
- 本機で外部機器の映像を録画するときは、外部入力に切り換えます。

デジタル放送のチャンネルを入力するには（3桁入力）

選局時に

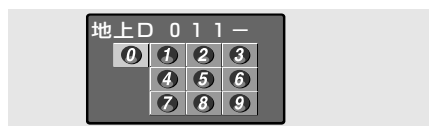
▶ チャンネルボタンで「3桁入力」

BS 161

- 番号を間違えたときは、もう一度 3桁入力 を押してから、チャンネル番号を入力し直してください。

地上デジタル放送の「枝番選択」について

- チャンネル番号が重複している放送局がある場合は、3桁目を入力すると、下の画面になります。チャンネルボタンで4桁目の番号を入力して選局してください。（枝番選択）

4桁目の入力画面例

工場出荷時に設定されているチャンネル一覧

- 数字ボタンを押して選局できる放送局です。

関東の東京で受信できるチャンネルです。

BS（BSデジタル放送）チャンネル			地上デジタルチャンネル		
チャンネルボタン	テレビ放送を選んだとき 放送局名	チャンネル番号	チャンネルボタン	放送局名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	1	NHK総合・東京	011
2	NHK BS2	102	2	NHK教育・東京	021
3	NHK ハイビジョン	103	3	－	－
4	BS 日テレ	141	4	日本テレビ	041
5	BS 朝日	151	5	テレビ朝日	051
6	BS-i	161	6	TBS	061
7	BS ジャパン	171	7	テレビ東京	071
8	BS フジ	181	8	フジテレビジョン	081
9	WOWOW	191	9	東京MXテレビ	091
10/0	スターチャンネル	200	10/0	－	－
11※	日本BS放送	211	11	－	－
12※	ワールド・ハイビジョン・チャンネル	222	12	放送大学	121

- BSデジタル放送のラジオ放送やデータ放送、110度CSデジタル放送は設定されていません。
- 110度CSデジタル放送は設定されていません。電子番組表または 選局 で放送局を選んでください。
- 登録されていないチャンネルをリモコンの数字ボタンで選局したいときは、チャンネル設定を行ってください。（**220**～**225**ページ）
- チャンネルプランは2007年8月現在のもので、変更されることもあります。

※ 2007年12月にスタート予定の放送です。

メモ

- データ放送の視聴方法は、各放送局によって異なります。
- 選局ボタンで選ぶ場合、スキップ設定(**213**、**221**、**224**ページ）したチャンネルは飛び越します。
- リモコンの数字ボタンに登録されているチャンネルの確認や変更については、**220**、**225**ページ

デジタル放送を電子番組表で選ぶ

電子番組表でデジタル放送の番組を番組表から選ぶことができます。

電子番組表の表示について

・本機の電子番組表は、デジタルハイビジョン対応テレビと以下の接続をしているときは、チャンネルを縦に並べ表示する（モード１）と新聞のテレビ欄のようにチャンネルを横に並べ表示する（モード２）の２つの番組表を表示できます。（工場出荷時は、モード２となっております）。設定は「各種設定」－「デジタル設定」－「番組表設定」－「表示方式設定」で行います。（**151**、**220** ページ）

－ D 映像ケーブルで接続し、「D 映像出力設定」（**147** ページ）を「1125i 優先」にしているとき

－ HDMI ケーブルで接続し、「HDMI 映像出力設定」（**147** ページ）を「オート」または「1125i 固定」にしているとき

・上記以外のテレビ（S 映像ケーブルや AV ケーブル接続にしている）では、チャンネルが縦方向に並んだ３時間表示の番組表となります。

・デジタルハイビジョン対応テレビと接続していてチャンネルを縦方向に並べた番組表（モード１）にしているときは、高精細表示（6 時間表示）と３時間表示の選択ができます。

切り換えは次の方法で行えます。

・リモコンふた内の［画面表示］を押す。

高精細表示（6 時間表示）⇔３時間表示と切り換わります。

・「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「高精細表示設定」（**149** ページ）で切り換えられます。

新聞のテレビ欄のように、チャンネルを横に並べ表示（モード２）の画面例（高精細表示のみ）

電子番組表がモード2（高精細表示）のとき、1つの放送局から2つ以上の番組が放送される場合に番組枠が表示されます。
（十字キー）で番組枠を選ぶと、番組情報が番組表の上部に表示されますので内容を確認できます。
（決定）を押せば、選局・録画予約を行うことができます。

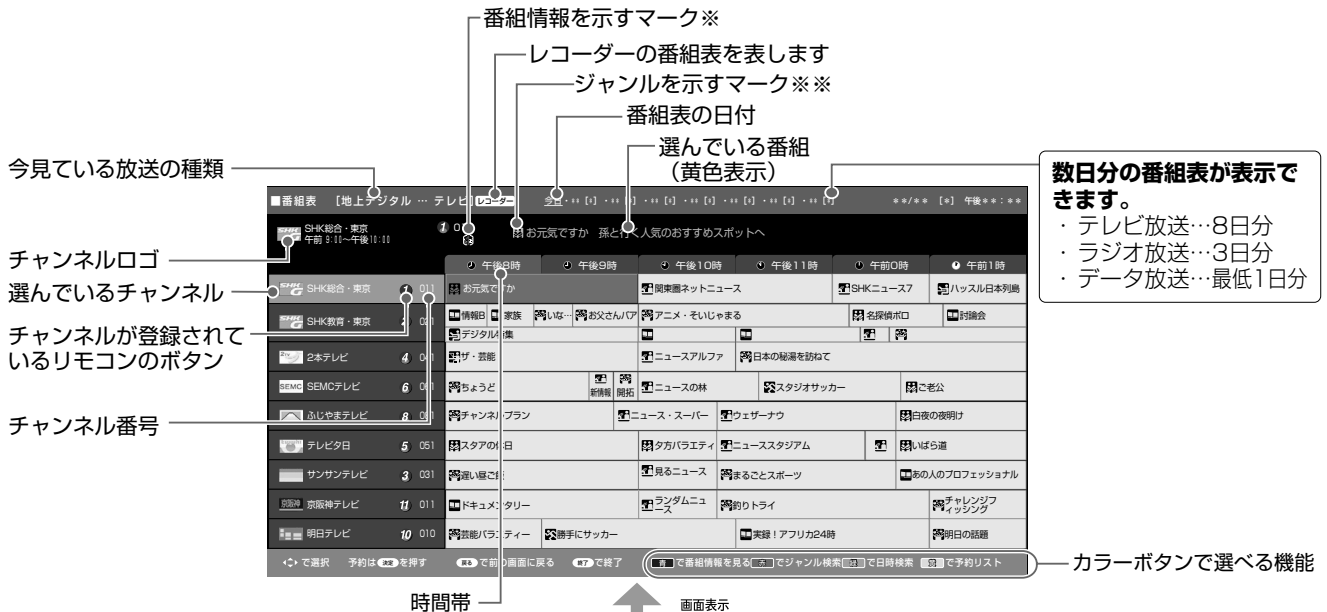
※番組情報を示すマーク

マーク	内　容
※	録画予約（本体のHDD）している番組
	有料放送
	録画できない番組
	1回だけ録画可能な番組

※ 毎週・毎日予約している場合は、番組欄には表示されません。

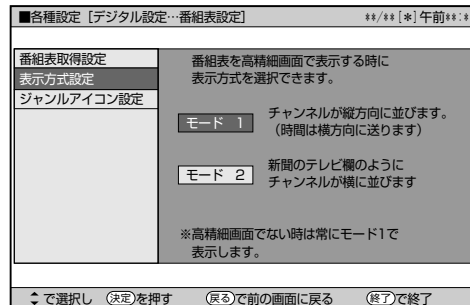
※※ジャンルを示すマーク

マーク	ジャンル	マーク	ジャンル
	ニュース・報道		映画
	スポーツ		アニメ・特撮
	情報・ワイドショー		教養・ドキュメンタリー
	ドラマ		劇場・講演
	音楽		趣味・教育
	バラエティー		福祉

縦にチャンネルを並べ、横に６時間分を表示（モード１）の画面例

縦にチャンネルを並べ、横に３時間分を表示（モード１）の画面例

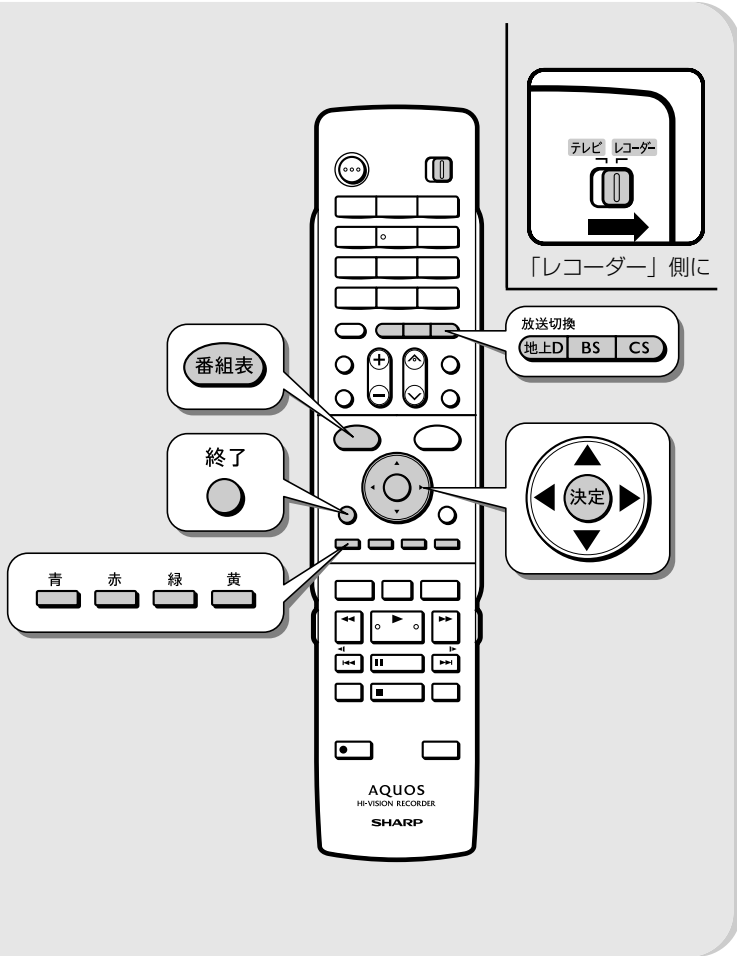
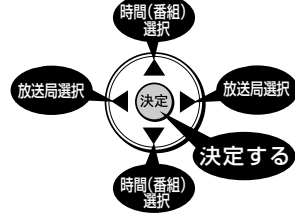
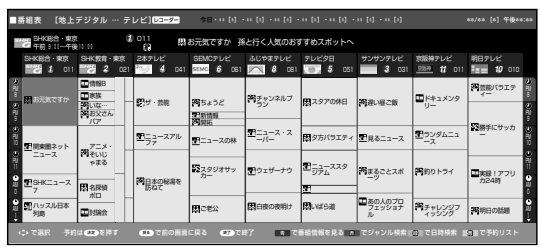
高精細番組表の表示方法を切り換える

・「スタートメニュー」－「各種設定」－「デジタル設定」－「番組表設定」－「表示方式設定」で、「モード１」または「モード２」のいずれかを選んで切り換えることができます（**220**ページ）。

・高精細表示設定（**149**ページ）が「しない」に設定されているときは「モード１」の表示のみとなります。

ご注意

・各放送局が随時最新のデータを送信しています。
・地上デジタル放送は、電源を切っていれば決められた時間（**219**ページ）に番組表データを自動で取得します。
・番組表データ取得中は、本体表示部に「EPG」が表示されます。データ取得中は電子番組表が表示されるまでしばらく時間がかかったり、本機の電源操作ができない場合があります。
・電源を入れてすぐに電子番組表を表示させたときや、本機が番組予約の情報を取得する動作をしているときは、電子番組表は表示されません。（空白となります。）

お知らせ

・電子番組表が表示されない場合については「故障かな？と思ったら」（**245**ページ）をお読みください。
・デジタル放送の電子番組表に何も表示されない放送局がある場合は、その放送局を選局してしばらくすると番組表が表示できるようになります。
・「ジャンルアイコン設定」（**151**ページ）により、番組表の「ジャンルを示すマーク」を目立たせることができます。

4 番組を選んで決定します

［例］ 6時間表示（モード2）

- 画面は、ハイビジョン対応テレビと、D映像ケーブルまたはHDMIケーブルで接続した場合を例に説明しています。それ以外のテレビでは、3時間表示の番組表（モード1）となります。
  詳しくは**38**～**39**ページをご覧ください。

放送中の番組⇨**視聴**

未放送の番組⇨**予約録画完了** **56**、**57**ページ

- 番組表を消すには

番組表 押す または 終了 押す

番組を選ぶには

1 テレビと本機の準備をします **35**ページ

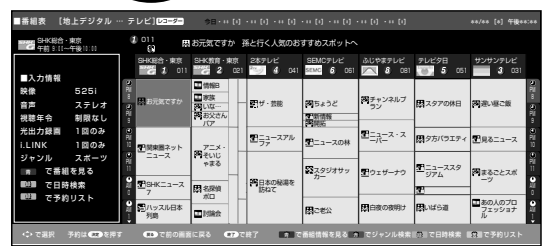
2 デジタル放送を選びます

・データ放送やラジオ放送の場合

36ページ

3 電子番組表を表示させます

選んだ番組の情報を見るには

1 番組情報を表示します

2 見たい番組を選びます

- 番組情報が2ページ以上あるときは、緑(前ページ)や黄(次ページ)を押してページを切り換えられます。
- 番組表に戻したいときは 青 押す

メモ

・**現在見ている番組を録画することができます。（54ページ）**

番組表を表示する日時を選ぶ

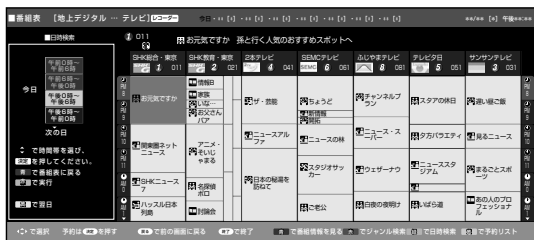
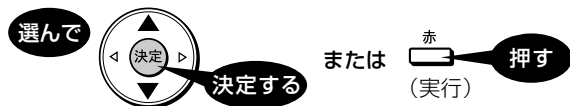
1 電子番組表を表示させます

2 日時検索画面を表示させます

3 日付を選びます

- 黄 を押すたびに日付が進みます。
- 日付を戻したいときは緑を押します。

日付が変わります。

4 時間帯を選んで決定します

5 番組を選んで決定します

放送中の番組 ⇨視聴
未放送の番組 ⇨予約録画完了

☞ 56、57ページ

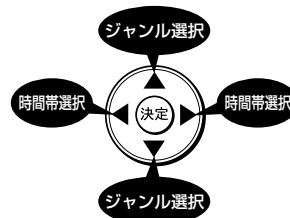
- 3時間表示と6時間表示では情報量が異なります。

お好みのジャンルの番組をさがす

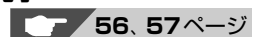
1 電子番組表を表示させます

2 ジャンル検索を表示させます

3 ジャンルを選んで決定します

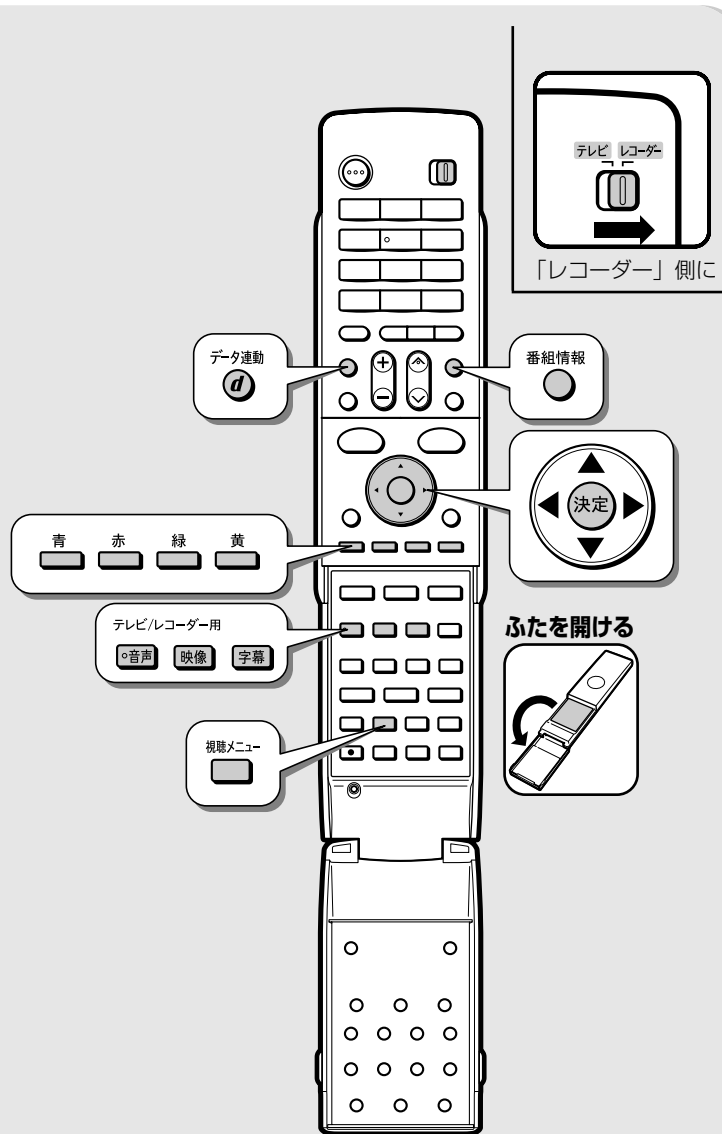
4 時間帯を選び、番組を選びます

- 電子番組表（モード1）（**39** ページ）を3時間表示にしているときは、ジャンル検索の画面に番組終了時刻は表示されません。
- 黄を押すと、番組表示を次のページに送ることができます。前のページに戻るときは、緑を押します。
- 画面は、ハイビジョン対応テレビと、D映像ケーブルまたはHDMIケーブルで接続した場合を例に説明しています。それ以外のテレビでは、3時間表示の番組表（モード1）となります。
  詳しくは、**38** ページをご覧ください。

5 決定します

放送中の番組 ⇨視聴
未放送の番組 ⇨予約録画完了

☞ 56、57ページ

- 3時間表示と6時間表示では情報量が異なります。

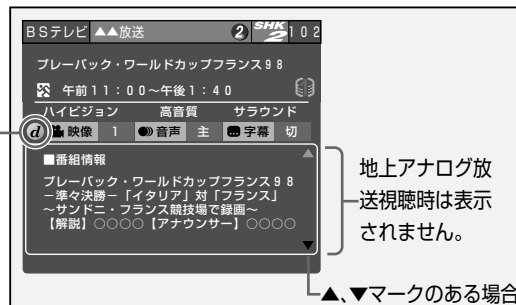
番組を見ながら使えるボタン

番組情報や連動データ放送を見たり、音声、字幕、映像を切り換えます。

マルチビューサービス放送などをHDD（ハードディスク）に録画して再生する場合は

・主映像以外の映像を再生した場合、データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。このような制限が出る場合は、主映像でお楽しみください。

番組情報・連動データ放送を見るには

1 視聴中に番組情報を表示させます

●もう一度押すと番組情報が消えます。

デジタル放送で *d* マークのあるとき

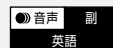
2 連動データ放送を表示させます

・画面の指示に従って操作してください。

主音声・副音声を切り換えるには

番組情報に「音声」表示がある場合

（ふた内）

●ボタンを押すたびに音声が切り換わります。

二重音声番組のとき

●主 → 副 → 主／副 → 主

マルチ音声番組のとき

●音声１→音声２……音声８※→音声１

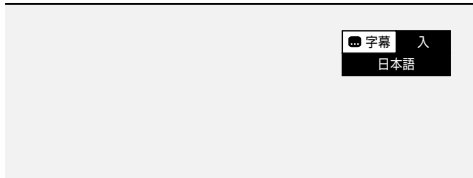
※番組により音声の数は異なります。

●モノラル放送やステレオ放送の音声は切り換わりません。

字幕を切り換えるには

番組情報に「字幕」表示がある場合

（ふた内）

- ボタンを押すたびに字幕が切り換わります。

主映像と副映像を切り換えるには

番組情報に「映像」表示がある場合

（ふた内）

- ボタンを押すたびに映像が切り換わります。

お知らせ

音声切り換えについて

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択に関わらず「音声１」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。
- 二重音声放送を録画する場合について、「よくあるお問い合わせ」（**257**ページ）をご覧ください。

字幕を消したいときは

- 視聴メニューで「切」を選んでください。
- 「字幕表示設定」（**151**ページ）が「する」に設定されているときは、字幕は消せません。「しない」に設定してください。

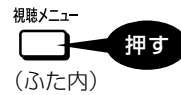
メ　モ

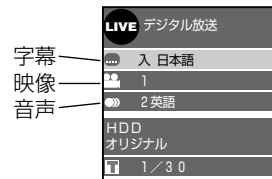
連動データ放送の録画について

- テレビ放送と同時に送られてくる連動データ放送は、録画画質（**50**ページ）を「AUTO」（予約録画時は「HD/SD（放送画質）」）に設定して録画すると、テレビ放送と共に録画（記録）されます。
- 連動データ放送のある番組を「AUTO」（予約録画時は「HD/SD」）以外で録画しているときは連動データ放送に切り換えることはできません。
- 「AUTO（HD/SD）」で録画（記録）した連動データ放送は、放送視聴時と同じ操作で再生することができます。（再生時の制限を行っている放送局もあります。）

視聴メニューによる切り換え

1 視聴中に視聴メニューを表示させせます

（ふた内）

2 機能を選んで決定します

（例：字幕を選んだとき）

3 機能を切り換えます

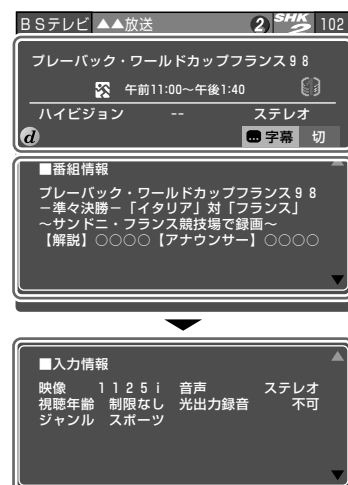
- 字幕を消したいときは「切」にして下さい。

メ　モ

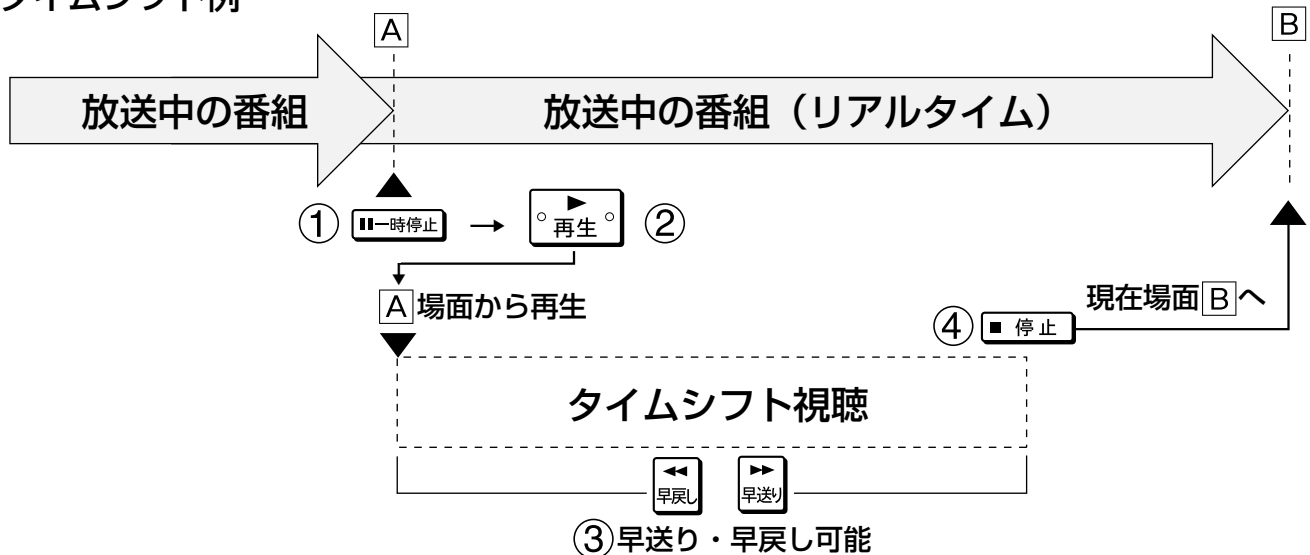
再生時の番組情報について

- HDD（ハードディスク）に録画画質「HD/SD（放送画質）」で録画した番組を再生したときも、番組情報 を押すと録画した番組の番組情報を表示して確認することができます。
  ※HDD（ハードディスク）に「HD/SD（放送画質）」以外の録画画質録画したタイトル（録画した番組）やDVDディスクに記録されたタイトル（記録された番組）の場合、番組情報表示画面は表示されません。

番組情報表示画面

HDD HD / HDD SD / HDD VR XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

本機のチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする(タイムシフト)

放送中のデジタル放送番組を一時停止して、つづきから再生して見ることができます。
タイムシフトの設定は、「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「タイムシフト視聴設定」で 30 分、60 分、90 分の設定ができます。

■タイムシフト例

タイムシフトの種類

■「ちょっと待って」視聴

来客などでテレビの前を離れるとき「一時停止」
用事が終わってテレビの前に戻ってきて「再生」
① 一時停止した箇所から「タイムシフト視聴」開始

■「今のシーンをもう一度」視聴

見逃したシーンを見たいとき
⇨戻した箇所から「タイムシフト視聴」開始

■タイムシフト視聴中に

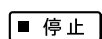
・早送りや早戻ししたいとき

・不要な箇所（CMなど）を 30 秒単位で飛ばしたいとき

30秒送り

・「今のシーンをもう一度見たい」ときに

10秒戻し

・現在時刻の放送に戻りたいとき

次の場合はタイムシフト視聴はできません。
・タイムシフトを「しない」にした場合（「タイムシフト視聴設定」（150 ページ）で設定してください。）
・ラジオ放送またはデータ放送、アナログ放送、外部入力の場合
・録画禁止の番組や著作権保護による場合
・DVD 使用中（本機の DVD ランプが点灯しているとき）
・i.LINK 入力録画中
・HDD の残量が少ないとき
タイムシフト視聴を停止すると、タイムシフトの中のシーン（場面）には戻れません。
・タイムシフトを設定したときは、本機が自動的に、タイムシフトのための一時的な録画をします。
タイムシフト視聴をするときの画質について
・録画画質「HD/SD（放送画質）」となります。

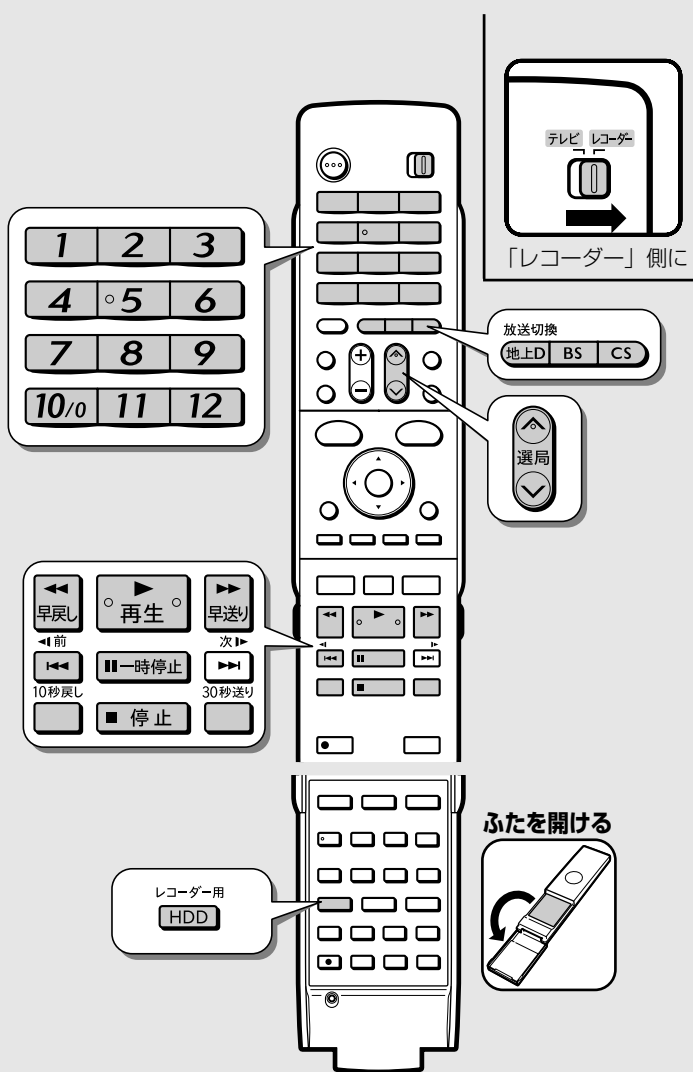
・タイムシフト視聴は、本機の HDD（ハードディスク）のタイムシフト用エリアに視聴中のデジタル放送を常に自動録画することにより行われます。
・さかのぼって視聴できる時間は、初期設定や「タイムシフト視聴設定」で設定した時間（30 分 /60 分 /90 分）の範囲です。
・タイムシフト視聴中に録画予約がスタートすると、タイムシフト視聴が停止され、録画されるチャンネルの現在放送画面に変わります。

タイムシフトの設定は 150 ページ

メモ

タイムシフト視聴中の早戻し／早送り速度
・デジタル放送視聴時
(約2倍速)→(約10倍速)→(約30倍速)

・タイムシフト中に早送りをして放送に追いついたときは、現在の放送に戻ります。

タイムシフト視聴を停止したときは
・タイムシフト中のシーン（場面）には戻れません。

タイムシフト操作

1 HDDモードを選びます

（ふた内）

2 タイムシフトの操作をします

■「ちょっと待って」視聴

一時停止 押す ⇨画面が止まる

一時停止マーク
（タイムシフト中は四角のマーク表示）
・マークはしばらくすると自動的に消えます。

3 停止したところからタイムシフト視聴を開始します

⇨続きが始まる

再生マーク

■「今のシーンをもう一度」視聴

■タイムシフト視聴中の早戻し／早送り

・押すごとに早送り／早戻しの速度が変わります。
・現在放送されている番組の手前になると現在の放送に戻ります。

4 タイムシフトを終わるとき

録画をする前に

本機のHDD（ハードディスク）に録画・予約録画をする前にお読みください。

録画の種類について

今見ている番組を録画したい → 放送中の番組録画 ▶ 54ページ

デジタル放送を予約録画したい → 電子番組表から ▶ 56ページ／日時・チャンネル指定 ▶ 62ページ

地上アナログ放送を予約録画したい → 日時・チャンネル指定 ▶ 62ページ

ケーブルテレビ放送や外部チューナーから予約録画したい → 日時・チャンネル指定 ▶ 64ページ

予約設定・変更などについて

予約の詳細設定をしたい → 65ページ

予約内容を確認・変更・取消したい → 70ページ

・外部入力および放送を直接DVDディスクに録画することはできません。HDD（ハードディスク）に録画した後、DVDディスクにダビングしてください。
・予約の最大件数は65番組です。それ以上の予約はできません。（件数には電子番組表予約、日時指定予約、ダビング予約、休止中の予約が含まれます。）
・65件を超える録画予約を完了しようとするとメッセージが表示されます。不要な予約を取り消してください。
・HDD（ハードディスク）からDVDディスクへのダビング中は、予約録画ができません。予約開始時刻までにダビングを終了してください。
・通常の録画をしている状態で予約録画の開始時刻になると、通常の録画を停止し、予約録画を開始します。

メ モ

■本体表示部のあかりが気になるときは
・電源を切った状態で予約録画が始まると、本体表示部のバックライトが点灯します。就寝中などであかりが気になる場合は、バックライトを点灯しないようにすることもできます。（**150**ページ「液晶設定」）

お知らせ

■予約録画のしかた
・番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
・時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
・既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作し直してください。

■操作中に録画開始時刻が近づいた場合
・DVDディスク再生中であれば、テレビ画面にメッセージが表示されます。
・HDD（ハードディスク）の編集中であれば、編集は中断されて予約録画が行われます。
・DVDディスクのタイトル名変更などの操作中であれば、変更は中断され、予約録画が行われます。

こんな録画のしかたがおすすめです

ハイビジョン放送をそのままの画質で録画するには

放送中の番組は、録画画質「AUTO」でHDD（ハードディスク）に録画してください。（**54**ページ）
予約録画する場合は、HDD（ハードディスク）に録画画質「HD/SD」で予約してください。（**56**ページ）

録画した後で編集するには

・HDD（ハードディスク）に録画した映像は、不要なシーンのカットなどの編集が行えます。（**102**ページ）

らくらくダビング

・かんたんな操作でHDD（ハードディスク）に録画した番組を、DVDディスクにダビングできます。

短時間でダビングするには

HDD（ハードディスク）からDVDディスクへ高速ダビングできます。（**115**～**118**、**120**～**123**ページ）
ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクに高速ダビングする場合は、録画前に以下の設定が必要です。
・「高速ダビング設定」を「する」に設定する（**146**ページ）
・予約録画時は、「詳細設定」の「高速ダビング優先」を「する」に設定します。（**65**、**68**ページ）
・録画画質を「XP」「SP」「LP」「MN○○」のいずれかに設定します。（「高速ダビング設定」を「する」に設定すると、フレーム単位の編集ができないなど制約が生じます。）

二重音声放送を録画するとき

下記の場合は二重音声放送の主音声と副音声を同時に記録できません。録画時に選んでいた音声のみが記録され、再生中に音声を切り換えることはできませんのでご注意ください。
・「高速ダビング設定」を「する」に設定して視聴中の番組を録画した場合
・「音声記録方式設定」（**145**ページ）を「リニアPCM」に設定して録画画質「XP」で録画した場合

DVDディスクにダビングした後でほかのDVDプレーヤーなどで見るには

HDD（ハードディスク）に録画した番組は、DVDディスクにダビングできます。（**120**ページ）
ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクにダビングして、ファイナライズ（**141**ページ）を行えば、ほかのDVDプレーヤーなどで再生できます。
・再生する機器が「DVD-RW COMPATIBLE」と表示されていてVRフォーマットに対応しているDVDプレーヤー/レコーダーであれば、VRフォーマットのDVD-RW/-Rディスクにダビングした映像も再生できます。
・CPRMに対応したDVDプレーヤー/レコーダーであれば、デジタル放送をダビングした映像も再生できます。

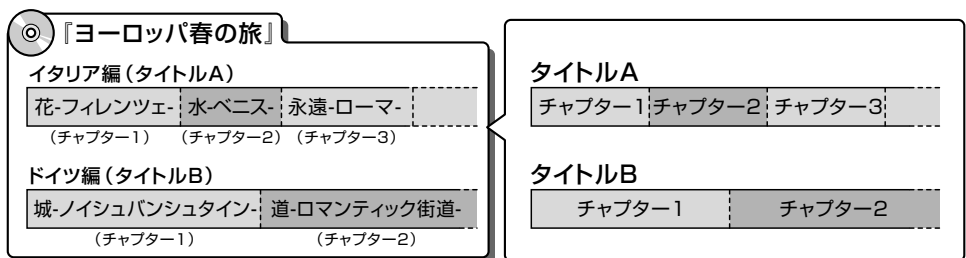
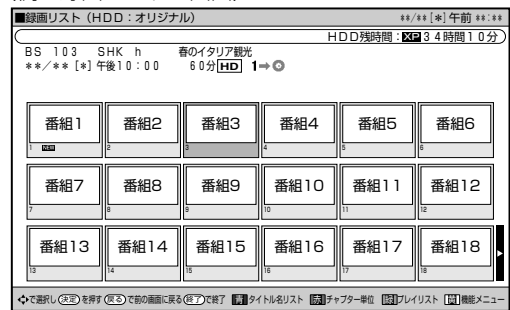
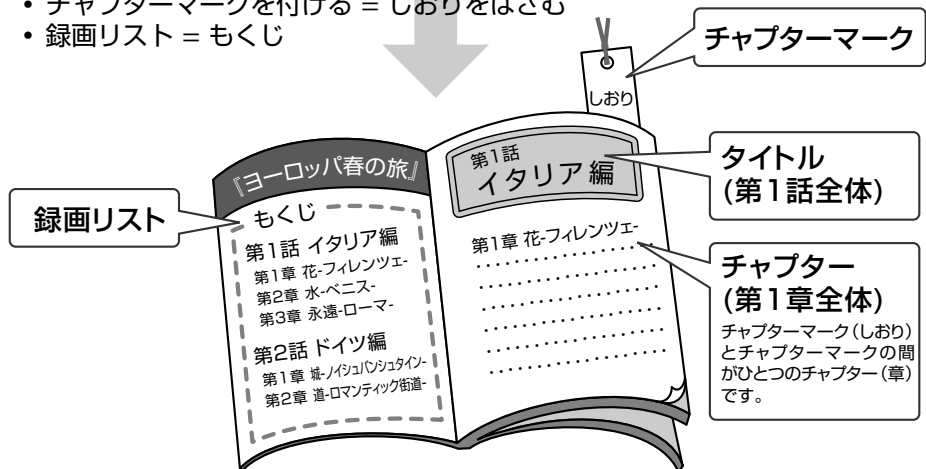
延長される可能性のある番組の録画をするには

デジタル放送の場合、電子番組表からの予約録画で「延長」を「入」に設定してください。（**57**、**58**ページ）
・毎週/毎日予約設定したドラマなどで最終回の放送時間が拡大した場合などに、「延長」を設定しておけば自動で録画時間を延長できます。（**60**ページ）

録画した番組の構成

録画した番組は、1回の録画ごとに**「タイトル」**として記録されます。各タイトルは「録画リスト」に一覧表示され、再生や編集ができます。（**76**ページ）

- タイトルは**「チャプター」**マークをつけることによりさらに区切ることができ、あとから検索するときに便利です。（**55**ページ）
- 「オートチャプター設定」をしておけば、録画時、自動的に一定時間ごとにチャプターが区切られます。（**145**ページ）
- 「タイトル」「チャプター」「録画リスト」の関係は以下のとおりです。

（例：録画リストの画面）

これを短編小説に例えると、次のような関係になります。
- タイトル = 話
- チャプター = 章
- チャプターマークを付ける = しおりをはさむ
- 録画リスト = もくじ

ディスク残量（残量時間）の確認

1 ディスク情報を表示させます

（ふた内）

2 表示を切り換えます

（ふた内）

押すごとに「残量時間」→「カウンター表示※」→「消える」

※録画・再生・タイムシフト視聴の時にカウンター表示します。

お知らせ

- 残量が足りない場合は、録画や予約ができない場合があります。
- 表示される残時間は、その時点で選択されている録画画質でのきめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像が録画できる時間の目安です。
- デジタル放送受信中に表示されるHD/SD（録画画質）の残量時間は、BSデジタルの録画残量時間です。
- 地上デジタル放送のHD/SD（録画画質）の残量時間は表示できません。
- 録画できないDVDディスクがセットされた場合は、「残量０時間００分」や空欄で表示されます。

デジタル放送の録画について

■ハイビジョン放送をそのままの画質で録画するには

「HDD（ハードディスク）」に以下の録画画質で録画する必要があります。

視聴中の番組：「AUTO」
予約録画の場合：「HD/SD」

・放送内容に合わせてHD（ハイビジョン画質）やSD（標準画質）で録画されます。

■デジタル放送の二重音声を録画しているとき

● デジタル放送の二重音声放送を録画画質「AUTO」（予約録画時は「HD/SD」）以外で録画しているとき、本機から出力される音声は主音声と副音声の両方が出力されます。
録画中は音声の切換はできません。
・録画中に音声を切り換えて視聴したいときは、録画画質を「AUTO」（HD/SD）で録画してください。
・録画した番組を再生したいときは音声の切り換えができます。

ご注意

・プレイリストでの編集はできません。

■連動データ放送の録画をするには

「HDD（ハードディスク）」に以下の録画画質で録画する必要があります。

放送中の番組：「AUTO」
予約録画の場合：「HD/SD」

・テレビ放送と同時に送られてくる連動データ放送が、テレビ放送とともに録画（記録）されます。
・録画した番組は、再生時も放送視聴時と同じ操作で連動データ放送を見られますが、放送局によっては再生を制限している場合があります。

ご注意

・連動データ放送のある番組をAUTO（HD/SD）以外の録画画質で録画しているときは、連動データ放送に切り換えることはできません。

■DVDディスクにデジタル放送をダビングするには

「CPRM」対応のDVD-RW/-Rディスクをご使用ください。

・録画前に「CPRM」対応のDVD-RW/-RディスクをVRフォーマットで初期化してください。（**32**ページ）
・DVD-RWディスクの場合は、新品をセットすると自動的にVRフォーマットで初期化されます（工場出荷時設定）。
・新品のDVD-R（CPRM対応）ディスクをセットしたときはVRフォーマットで初期化するためのメッセージが表示されます。「初期化実行」を選び決定するとVRフォーマットで初期化されます。

マルチビューサービス放送などをHDD（ハードディスク）に録画して再生する場合は

・主映像以外の映像を再生した場合、データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。

■コピー制御信号について

デジタル放送には次の３種類のコピー制御信号が含まれています。

録画可能	：制限なしに録画・ダビングが可能です
録画禁止	：録画できません（視聴のみ）
１回だけ録画可能	：録画できますが、HDD→DVDへダビングするとHDDのデータが消えます（ムーブ）

録画画質と録画時間

録画・ダビングをする前に録画画質を決める必要があります。録画画質によって録画できる時間に大きな差が生まれますので、目的によって録画画質を切り換えてください。（下記の表を参照ください。）

- 画質がきれいになるほど記録するデータ量が多くなるため、HDD（ハードディスク）にたくさんの空きが必要になります。つまりきれいな画質で録画するほど、録画できる時間が短くなります。
- MN（マニュアル）では、さらに細かく65段階で録画モードが選べますので、ディスクの残量に応じてできるだけきれいな画質で録画設定することが可能です。録画前に設定してください。（**52**ページ）

- 録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。
- タイムシフト(**150**ページ)を設定している場合は下記の表より録画時間が短くなります。
- デジタル放送受信中に表示されるHD/SD(録画画質)の残量時間は、BSデジタルの録画残量時間です。

※地上デジタル放送のHD/SD（録画画質）の残量時間は表示できません。

HDD（ハードディスク）の録画画質と録画時間

録画画質 ＼ 形名			DV-AC72	DV-AC75
AUTO（自動設定） デジタル放送をそのままの画質で録画したいときは、「AUTO」を選んでください。	デジタル放送の場合は、HD/SD（放送画質）に自動設定	HD（BS/CS ハイビジョン）放送 HD（地上Ｄハイビジョン）放送	約22時間 約31時間※	約44時間 約63時間※
		SD（標準）放送	約66時間	約134時間
	地上アナログ放送の場合は、XP（高画質）に自動設定		約60時間	約121時間
XP（高画質）			約60時間	約121時間
SP（標準画質）			約106時間	約214時間
LP（2倍長時間）			約212時間	約429時間
EP（3倍長時間）			約319時間	約644時間

DVDディスクの録画画質と録画時間

録画画質 ＼ ディスクの種類	DVD-RW（片面１層4.7GB） DVD-R（片面１層4.7GB）	DVD-R DL （片面２層8.5GB）
XP（高画質）	約60分	約111分
SP（標準画質）	約120分	約215分
LP（2倍長時間）	約240分	約431分
EP（3倍長時間）	約360分	約646分

HDD(ハードディスク)の録画画質と録画時間

録画画質	DV-AC72 録画時間	DV-AC75 録画時間
MN01	約425時間	約859時間
MN02	約399時間	約805時間
MN03	約372時間	約751時間
MN04	約345時間	約698時間
EP MN05	約319時間	約644時間
MN06	約306時間	約617時間
MN07	約292時間	約590時間
MN08	約279時間	約565時間
MN09	約266時間	約537時間
MN10	約252時間	約510時間
MN11	約239時間	約483時間
MN12	約226時間	約456時間
LP MN13	約212時間	約429時間
MN14	約204時間	約411時間
MN15	約195時間	約393時間
MN16	約186時間	約375時間
MN17	約177時間	約358時間
MN18	約168時間	約340時間
MN19	約164時間	約331時間
MN20	約159時間	約322時間
MN21	約155時間	約313時間
MN22	約150時間	約304時間
MN23	約146時間	約295時間
MN24	約141時間	約286時間
MN25	約138時間	約279時間
MN26	約135時間	約273時間
MN27	約133時間	約268時間
MN28	約129時間	約261時間
MN29	約126時間	約255時間
MN30	約124時間	約250時間
MN31	約120時間	約243時間
MN32	約117時間	約238時間
MN33	約115時間	約232時間
MN34	約112時間	約227時間
MN35	約110時間	約221時間
MN36	約108時間	約218時間
SP MN37	約106時間	約214時間
MN38	約103時間	約209時間
MN39	約102時間	約205時間
MN40	約99時間	約200時間
MN41	約97時間	約196時間
MN42	約95時間	約193時間
MN43	約94時間	約189時間
MN44	約93時間	約187時間
MN45	約91時間	約184時間
MN46	約89時間	約180時間
MN47	約88時間	約179時間
MN48	約86時間	約175時間
MN49	約85時間	約171時間
MN50	約84時間	約170時間
MN51	約82時間	約166時間
MN52	約81時間	約164時間
MN53	約79時間	約161時間
MN54	約78時間	約157時間
MN55	約77時間	約155時間
MN56	約75時間	約152時間
MN57	約73時間	約148時間
MN58	約72時間	約146時間
MN59	約70時間	約143時間
MN60	約69時間	約139時間
MN61	約67時間	約136時間
MN62	約65時間	約132時間
MN63	約63時間	約128時間
MN64	約62時間	約125時間
XP MN65	約60時間	約121時間
SD	約66時間	約134時間
HD（地D）	約31時間	約63時間
HD	約22時間	約44時間

DVD-RW/-Rディスクの録画画質と録画時間

録画画質	VRフォーマット 録画時間	ビデオフォーマット 録画時間
MN01	約480分	約480分
MN02	約450分	約450分
MN03	約420分	約420分
MN04	約390分	約390分
EP MN05	約360分	約360分
MN06	約345分	約345分
MN07	約330分	約330分
MN08	約315分	約315分
MN09	約300分	約300分
MN10	約285分	約285分
MN11	約270分	約270分
MN12	約255分	約255分
LP MN13	約240分	約240分
MN14	約230分	約230分
MN15	約220分	約220分
MN16	約210分	約210分
MN17	約200分	約200分
MN18	約190分	約190分
MN19	約185分	約185分
MN20	約180分	約180分
MN21	約175分	約175分
MN22	約170分	約170分
MN23	約165分	約165分
MN24	約160分	約160分
MN25	約156分	約156分
MN26	約153分	約153分
MN27	約150分	約150分
MN28	約146分	約146分
MN29	約143分	約143分
MN30	約140分	約140分
MN31	約136分	約136分
MN32	約133分	約133分
MN33	約130分	約130分
MN34	約127分	約127分
MN35	約124分	約124分
MN36	約122分	約122分
SP MN37	約120分	約120分
MN38	約117分	約117分
MN39	約115分	約115分
MN40	約112分	約112分
MN41	約110分	約110分
MN42	約108分	約108分
MN43	約106分	約106分
MN44	約105分	約105分
MN45	約103分	約103分
MN46	約101分	約101分
MN47	約100分	約100分
MN48	約98分	約98分
MN49	約96分	約96分
MN50	約95分	約95分
MN51	約93分	約93分
MN52	約92分	約92分
MN53	約90分	約90分
MN54	約88分	約88分
MN55	約87分	約87分
MN56	約85分	約85分
MN57	約83分	約83分
MN58	約82分	約82分
MN59	約80分	約80分
MN60	約78分	約78分
MN61	約76分	約76分
MN62	約74分	約74分
MN63	約72分	約72分
MN64	約70分	約70分
XP MN65	約60分	約60分

お知らせ

- HDD（ハードディスク）の録画時間は目安です。また、DVD ディスクの録画時間は 4.7GB のディスクを使用したときの録画時間の目安です。
- 録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により表記の時間を下回る場合があります。
- 録画画質の数値が大きいほど高画質で録画でき、数値が小さいほど録画時間が長くなります。
- 上の表では、画質が大きく変わる録画画質を太線で示しています。HDD※、VR フォーマットの DVD-RW/-R ディスクとビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスクでは、画質が大きく変わる録画画質がそれぞれ異なります。
  ※高速ダビング設定を「しない」に設定して録画したとき。
- 録画画質 MN01 ～ MN04 は、本機で録画・再生するための長時間録画画質です。他の機器では再生できない場合があります。

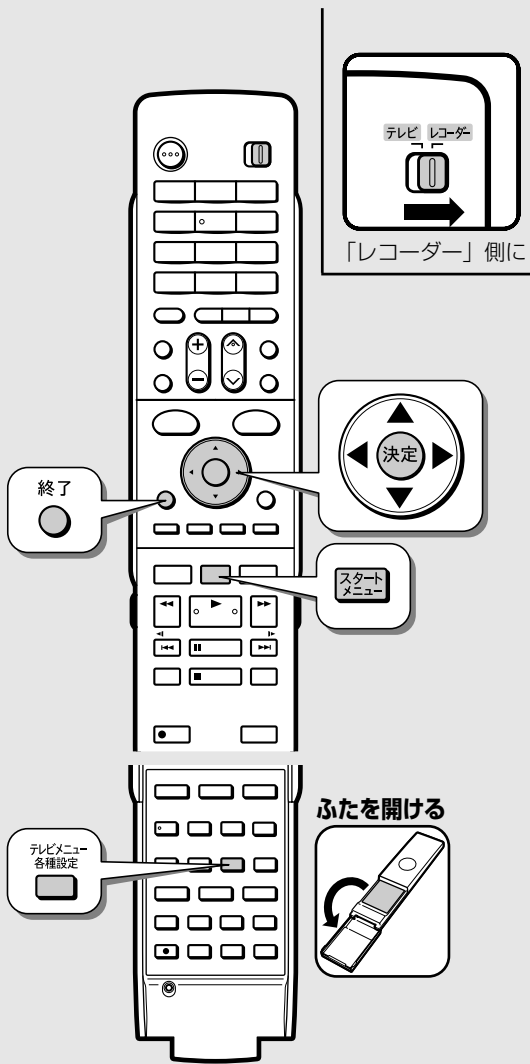
マニュアル録画画質「MN ○○」を設定する

お好みの録画画質を 65 段階の中から手動で設定できます。

ご注意

・録画前に設定しておいてください。

お知らせ

・MN ○○の数字が大きいほど高画質で録画できますが、録画時間は減ります。
・各録画画質と録画時間についての一覧表は、**51** ページ

録画時、録画画質「MN ○○」を選択した際の画質を設定します。録画画質の設定は **54** ページをご覧ください。

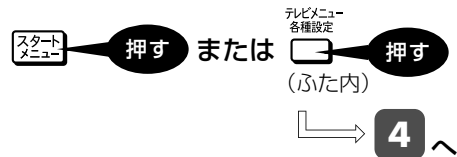
AUTO ↔ XP ↔ SP ↔ LP ↔ EP ↔ MN○○

ここに切り換えたときの設定値の設定です。

1 テレビと本機の準備をします

35 ページ

2 スタートメニューを表示させます

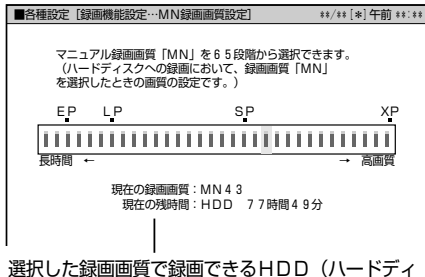
4 へ

3 「各種設定」を選んで決定します

4 「録画機能設定」－「MN録画画質設定」を選んで決定します

■各種設定［録画機能設定…MN録画画質設定］ **/**［*］午前 **:**

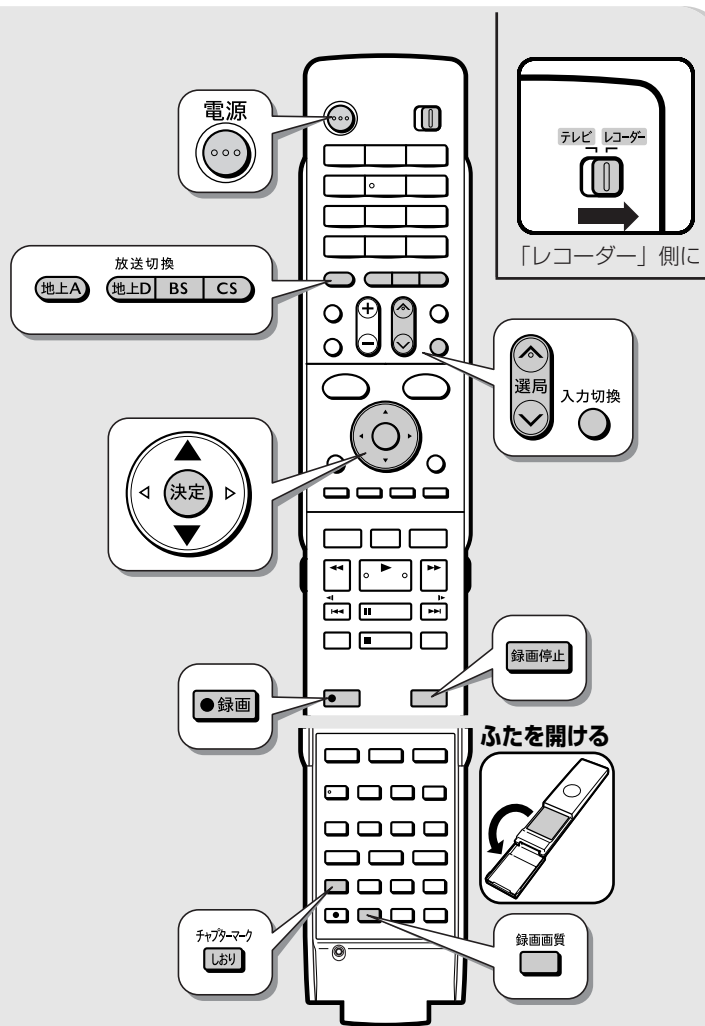
録画機能設定	本体設定	機能切換	デジタル設定	かんたん設定
MN録画画質設定				
音声記録方式設定				
外部入力音声設定				
二ヶ国語音声設定				

5 録画画質を設定します

録画画質(MN ○○)を

選択した録画画質で録画できるHDD（ハードディスク）の録画可能時間表示

6 設定画面を消すには

放送中の番組を録画する

今見ている番組をその場でHDD（ハードディスク）に録画します。

1 テレビと本機の準備をします 35ページ

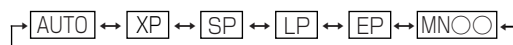
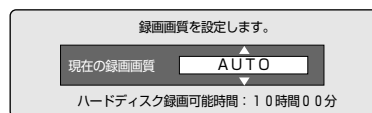
2 録画したい番組を選局します

・外部機器（ケーブルテレビなど）を録画するときは 入力切換 で接続した外部入力名（L1など）を選んでください。

3 録画画質設定画面を表示させます

（ふた内）

4 録画画質を選んで決定します

AUTO ↔ XP ↔ SP ↔ LP ↔ EP ↔ MN○○

・録画画質については、**50**ページ
・ハイビジョン放送をそのままの画質で録画する場合は「AUTO」を選んでください。
・MN○○の設定については、**52**ページ
・残量を確認したいときは、**49**ページ

5 録画を始めます

⇨HDDランプが赤点灯に
⇨テレビ画面左上に REC マーク表示

ご注意

・放送中の番組をDVDディスクに録画することはできません。
・1回の録画の最長時間
　HDD（ハードディスク）：12時間
・録画できる番組数
　HDD（ハードディスク）：録画画質「AUTO(HD/SD)」で999・それ以外で999番組(計1998番組)
・「録画予約」の開始時刻になると、録画が停止されます。(録画予約優先)
・録画が禁止されている番組や独立データ放送やラジオ放送は録画できません。
・録画禁止の番組が始まったりデジタル放送の電波状況が悪くなった場合は、録画が停止・一時停止する場合があります。
・デジタル放送を「AUTO(HD/SD)」以外の録画画質で録画しているとき、データ連動放送の視聴はできません。
・録画中に停電になったときや誤って電源プラグを抜いたときは、その番組は保存されません。

お知らせ

・録画画質と録画時間については、**50**ページ
・録画画質の「AUTO」について
　HDD（ハードディスク）：デジタル放送：「HD/SD（放送画質）」/ 地上アナログ放送:「XP（高画質）」
・ハイビジョン放送をそのままの画質で録画したい場合、デジタル放送のさまざまな機能を録画後も楽しみたい場合は、HDD（ハードディスク）に「AUTO」で録画してください。

6 録画の終了時刻を確認します

- デジタル放送を録画したときは、テレビ画面に録画終了時刻のメッセージが表示されます。
- 終了時刻より前に録画を止める場合は、録画停止を続けて2回押してください。

録画終了時刻のメッセージ例

この番組を最後まで録画します。
終了時刻　午後　9：00

録画終了時刻の表示について

- 以下の場合は番組終了時刻が設定されず、メッセージが表示されません。
  - 地上アナログ放送や外部チューナーなどから録画したとき。
  - 番組終了の2分前を過ぎているとき。
  - 録画開始時に、番組の終わりまでが12時間を越える番組。
  - 録画した番組の終了時刻と重複する予約があるとき。
  - 残量が不足するとき。
  - ケーブルテレビ（CATV）などの外部入力を録画するとき。
- 終了時刻が表示されないときは、録画停止を押すまで録画が続きます。必要に応じて録画停止を押し、録画を止めてください。

「この番組の最後まで」を設定したとき

- 設定した時点での番組表情報に従い、番組終了時刻が設定されます。
- 実際の放送が延長されても、延長部分は録画されません。

録画終了時刻を設定したとき

- 録画終了時刻が設定されます。設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。
- **録画停止後に電源が切れるようにしたいときは、**終了時刻を設定した後に 電源 を1回押します。

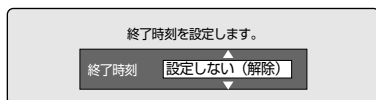
・「この番組の最後まで」は、設定時点での番組情報に基づいて録画を行います。
そのため、設定後に番組延長情報が更新されていた場合などは、番組の最後まで録画されないことがあります。

録画終了時刻を設定し直すには

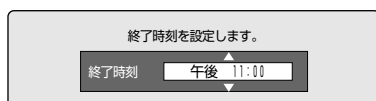
1 終了時刻設定画面を表示させます

録画中に

●録画　押す

終了時刻を設定します。
終了時刻　設定しない（解除）

- 電子番組表で番組情報が取得されていないときや、地上アナログ放送では、「この番組の最後まで」は設定できません。

2 終了時刻を選んで決定します（15分単位）

終了時刻を設定します。
終了時刻　午後　11:00

- 設定を解除したい場合は、「設定しない（解除）」を選びます。

録画中に別の番組を見たいときは

テレビのチャンネルを切り換えて別の番組をご覧ください。

チャプターマーク（しおり）を付けるには

あとで編集するときや頭出しのために、録画中にチャプターマーク（しおり）を記録できます。

■チャプターマークとは

映像の区切りのことです。（本にたとえると「しおり」のようなものです。）お好みの場所に記録させておくと、再生時の頭出しや編集するときに便利です。

HDDの録画中や再生中に

マークを付けたい箇所で

（ふた内）

⇨ チャプターマークを記録しました。

・同時録画再生中は、再生側にチャプターが追加されます。

メ　モ

- 通常の再生時にもチャプターマーク記録操作ができますが、追いかけ再生中（95ページ）はできません。
- 1タイトルごとに記録できるチャプター数
  録画画質「HD/SD」　：99
  録画画質「HD/SD」以外：999
- 記録できるチャプター合計数
  録画画質「HD/SD」で4000・録画画質「HD/SD」以外で4000（計8000）
- DVDディスクのタイトルにチャプターマークを付けることはできません。

HDD HD / HDD SD | HDD VR XP SP LP EP | DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ | DVD-R VR / DVD-R ビデオ | 市販の DVD ビデオ | 音楽用 CD

デジタル放送を電子番組表で予約する（らくらく一発予約）

デジタル放送を電子番組表から希望の番組を選ぶだけで予約設定できます。7 日先まで予約録画できます。
アナログ放送の電子番組表は表示できません。

ご注意

- 番組が始まるまで 2 分を切ると、予約ができません。
- B-CAS カードを必ずセットしてください。
- 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などは予約を行っても録画できません。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 放送は i.LINK（TS）端子からは出力されません。
- 地上アナログ放送は、日時指定予約（**62**ページ）で予約してください。

お知らせ

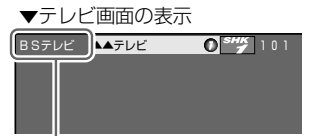
- 放送を選んでから「スタートメニュー」-「予約」-「番組表予約」を選んでも電子番組表が表示されます。
- PPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）を予約した場合は、番組の購入予約操作をしてください。（**65** ページ「追加購入グループ」）
- 放送局で番組の開始時刻が変更されると予約した録画が行われない場合があります。（「受信機レポート」にメッセージが出ます。（**234** ページ））
- 電源を切っても、予約録画は行われます。予約後に電源を切った場合、あるいは録画予約中にリモコンの電源ボタン（電源）を 1 回押した場合は、予約録画終了後に自動的に電源が切れます。
- 予約録画に関する注意事項については「録画をする前に」（**46** ページ）や「故障かな？と思ったら」（**247** ページ）、「よくあるお問い合わせ」（**256** ページ）を参照ください。

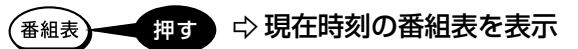
1 テレビと本機の準備をします

☞ 35 ページ

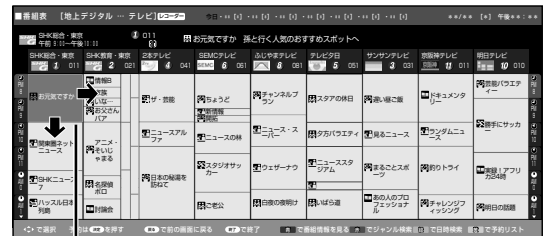
2 予約したいデジタル放送を選んで決定します

放送切換 地上D BS CS　選ぶ

▼テレビ画面の表示

画面左上で、選んだ放送の種類が確認できます。

3 番組表を表示させます

番組表 押す ⇨ 現在時刻の番組表を表示

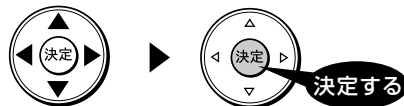
4 予約する番組を選んで決定します

・翌日以降の番組を予約するときやジャンルで検索する番組など、電子番組表の使い方について詳しくは **38** ページをご覧ください。

▶ →放送局の続きがあります

▼7 日先までの
↓続きがあります

選んでいる番組
（黄色で表示されます）

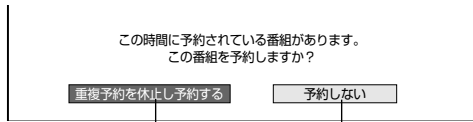
選ぶ
番組選択

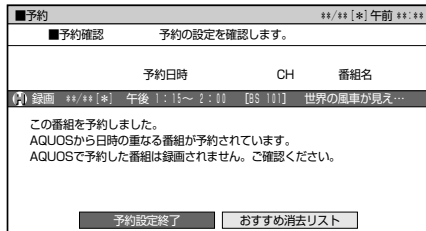
決定する

決定した番組に
Ⓗが表示されます。

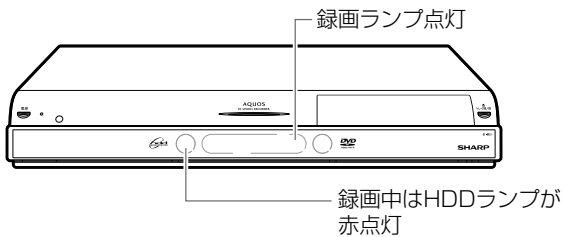
⇨HDD（ハードディスク）に HD/SD 録画画質で録画予約が完了します。

・毎週（毎日）予約や延長予約をしたいときは、**60** ページをご覧ください。

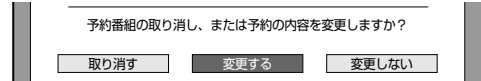
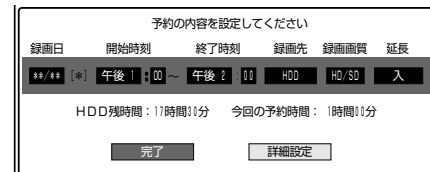
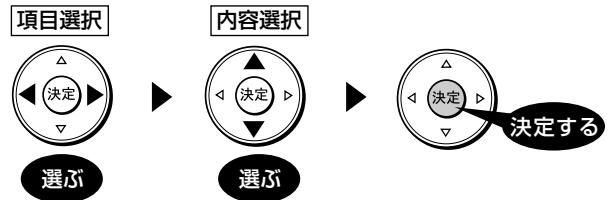
■予約の重複について

既存の予約と重複すると次のような画面になります。どちらかを選んで決定を押してください。

ファミリンク対応アクオスからの予約と重複した場合

・次のような画面になります

- 予約設定を終了すると本機の予約が実行されAQUOSで予約した番組は録画されません。
- 両方の番組を録画したいときは、ハイブリッドダブレコをしてください。ファミリンク予約［1］（標準）との重複予約については、**164**ページをご覧ください。

開始時刻になると、録画が始まります。

予約の内容を変更するには

1 予約した番組を選んで、決定を押します

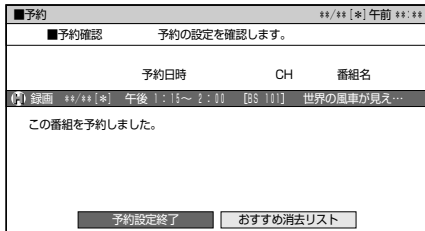
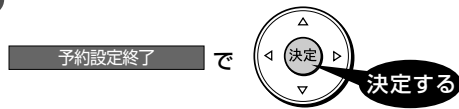
2 「変更する」を選んで、決定を押します

3 設定内容を変更します

- 録画日、開始時刻、終了時刻、録画画質、延長などの項目ごとに内容の変更が行えます。

- 設定内容について詳しくは、**63**ページ
- 詳細設定 については、**65**ページ

■延長予約について

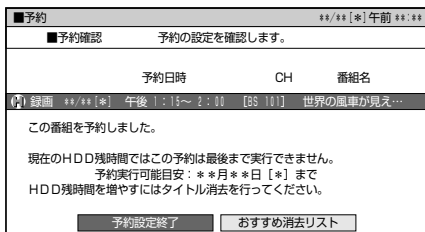
- 電子番組表で予約した番組は、「延長」が、自動的に「入」に設定されます。
  ・録画日/録画開始/終了時刻を変更した場合は、延長設定ができません。

・予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されないか、または番組の途中から予約が実行されます。（**59**、**60** ページ）

次ページへつづく

4 予約内容を確認します

⇨ 予約が完了し、電子番組表に戻ります。

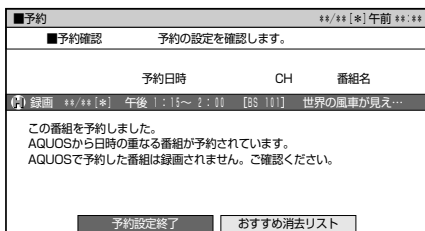
HDD（ハードディスク）の残量が足りないときは

・次のような画面になります

・「おすすめ消去リスト」を選ぶと、録画リストからタイトル（録画した番組）を選んで消せます。（**72** ページ）

ファミリンク対応アクオスからの予約と重複した場合

・次のような画面になります

5 電子番組表を消すには

メ モ

■ドラマ延長予約について

・録画日を「毎週」「毎日」に設定したときは、延長設定で「ドラマ」を選んでドラマ延長予約（最終回が通常放送より延長されるなどに対応）ができます。（**60** ページ）

■予約録画中に録画を停止するには

録画停止 を続けて２回押す

■予約設定後に確認・変更・取り消しなどをするには

70 ページをご覧ください。

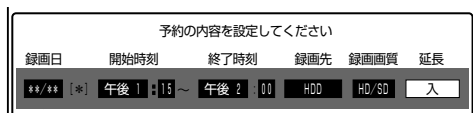
■録画中の番組をはじめから見るには

95 ページをご覧ください。

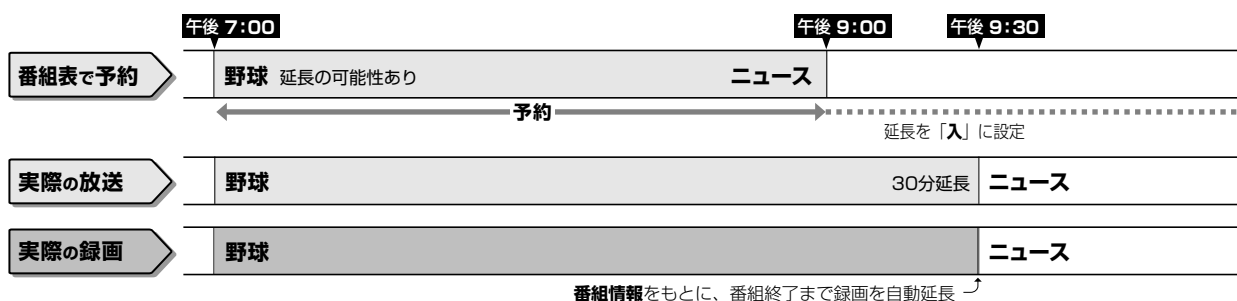
■録画しながらほかのタイトル（録画した番組）を見るには

97 ページをご覧ください。

電子番組表でのデジタル放送の延長予約について

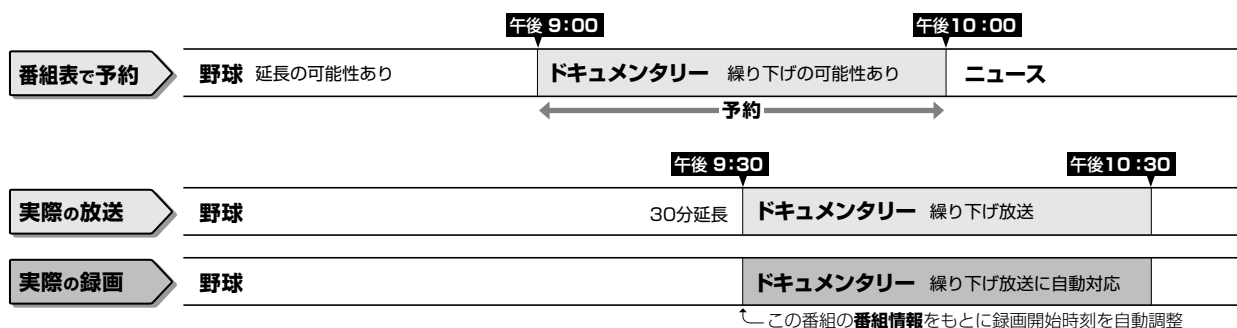
- スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を予約するときは、予約録画の終了時刻を延長できます。
- 予約を延長させたいときは、予約の設定画面で「延長」を「入」に設定します。
  ※電子番組表で予約した場合は、「延長」は自動的に「入」に設定されます。
- 連続ドラマなどの延長予約については、**60** ページ

延長を「入」にした場合

- 番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。

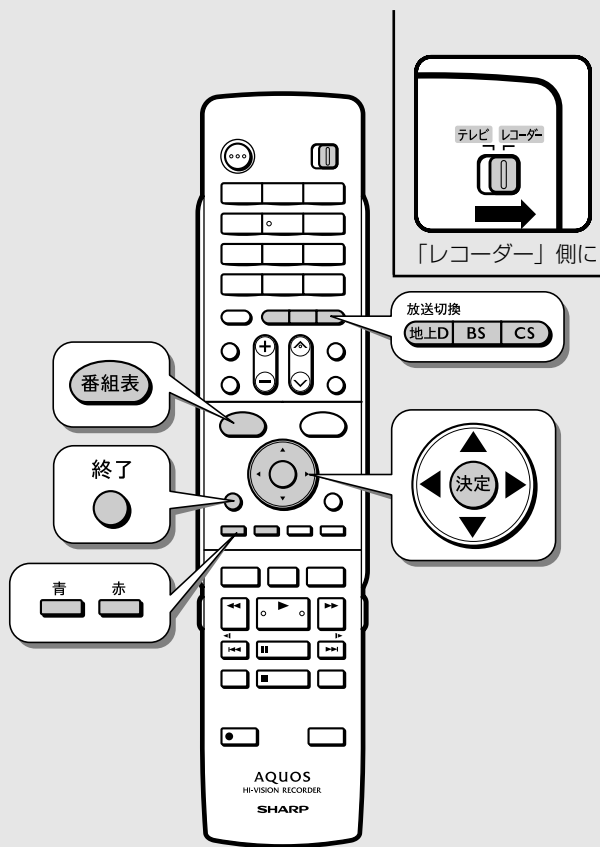
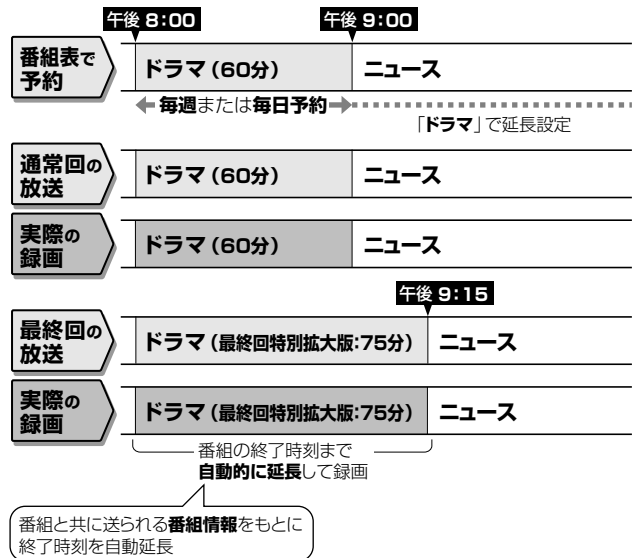
スポーツ番組を延長「入」で予約録画したとき

・予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。

前の番組が延長になった場合

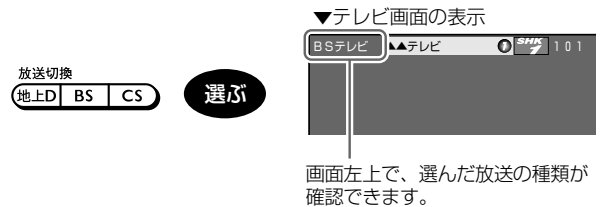
- 前の番組が延長されて予約録画した番組が繰り下げられたときでも、予約録画した番組の最後まで録画します。

繰り下げの可能性がある番組を予約録画したとき
（延長する、しないにかかわらず働きます）

- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をし直した時刻で録画されます。

連続ドラマなどの延長予約をする

電子番組表から連続ドラマなどを毎週（毎日）予約すると、拡大版（通常の放送時間より長い）などに自動的に対応した録画ができます。

「毎週・毎日」予約録画を「ドラマ」に設定したとき

1 テレビと本機の準備をします

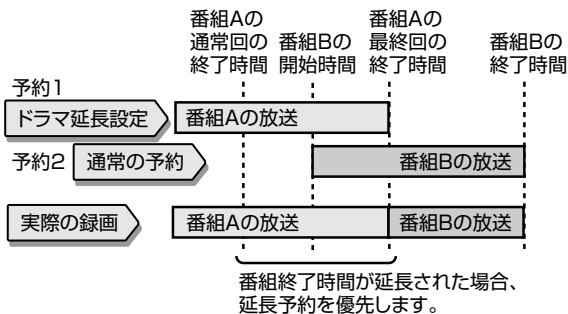
35 ページ

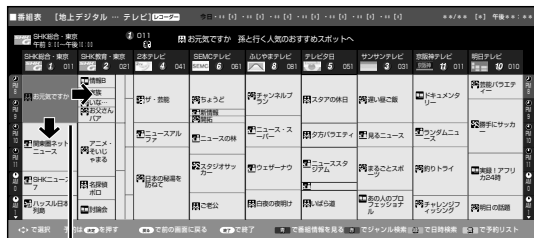
2 予約したいデジタル放送を選びます

3 番組表を表示させます

ご注意

・開始時刻が変更になった場合、放送内容が変更された場合には対応できません。設定した内容で録画されます。

お知らせ

・初回の放送が拡大された場合は、その終了時刻が次回以降の終了時刻として設定されます。2 回目の放送時に再度設定し直すことをおすすめします。
・録画時に付くタイトル名は、録画開始時に送られている電子番組表のタイトル名になります。
・延長機能が働いて、その後の予約と重複したときは、「ドラマ」予約が優先され、あとの番組は途中から録画されます。

4 予約する番組を選んで決定します

・翌日以降の番組を予約するときやジャンルで検索する番組など、電子番組表の使い方について詳しくは**38**ページをご覧ください。

▶→放送局の続きがあります

▼7 日先までの
↓続きがあります

選んでいる番組
（黄色で表示されます）

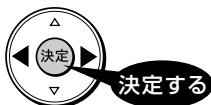
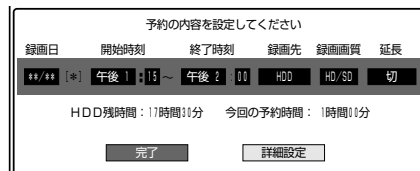
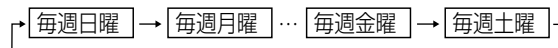
番組選択

決定した番組に
Ⓗが表示されます。

⇨HDD（ハードディスク）にHD/SD録画画質で録画予約が完了します。

5 番組表で予約した番組を再度選んで、決定を押します

6 「変更する」を選んで、決定を押します

選んで 決定する

7 毎週予約の場合

赤 押す 曜日を選択する

毎日予約の場合

青 押す 曜日を選択する

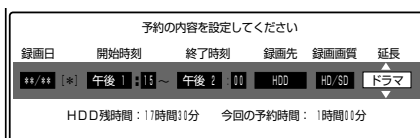
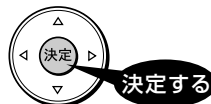
・毎週予約、毎日予約した番組は、番組表にⒽは表示されません。

8 「延長」を「ドラマ」にします

選ぶ 選ぶ

「延長」を選択 「ドラマ」を選択

9 設定を完了します

完了 で

10 設定を終了します

予約設定終了 で

11 電子番組表を消すには

終了

または

確認 基本 視聴 録画・予約 再生 編集 ダビング 消去・管理 各種設定 ファミリンク 2番組同時録画 接続・設定 基本設定 こんなときは

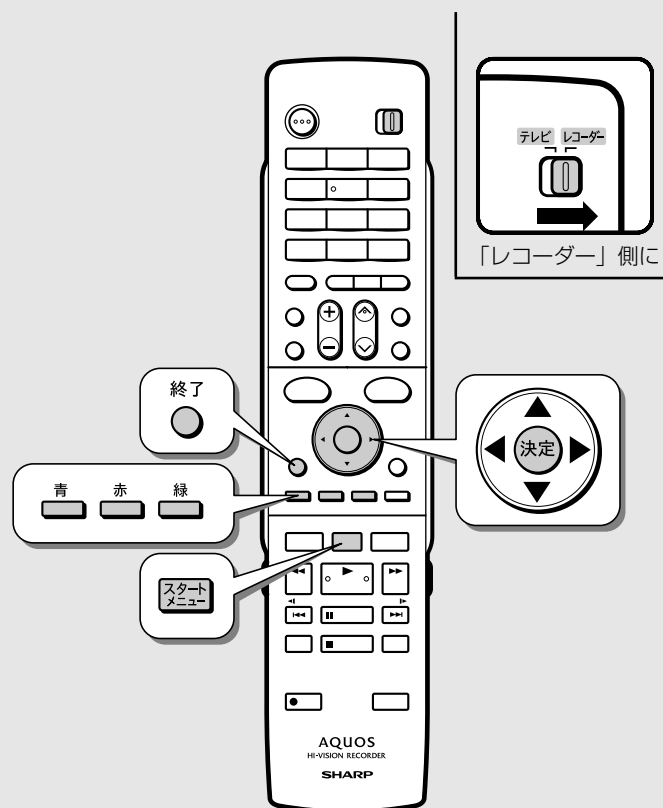
HDD HD HDD SD HDD VR XP SP LP EP DVD-RW VR DVD-RW ビデオ DVD-R VR DVD-R ビデオ 市販の DVD ビデオ 音楽用 CD

地上アナログ放送を予約する（日時指定予約）

番組が放送される日時とチャンネルを入力して予約します。
デジタル放送を日時指定予約をすることもできます。

・予約を始める前に、時計合わせ（**196**ページ）、チャンネル設定(**204**ページ）を行ってください。
・番組が始まる３分前までに予約を完了してください。
・ケーブルテレビ(CATV)など、外部機器からの映像を録画するときは、外部機器の電源を入れてください。

お知らせ

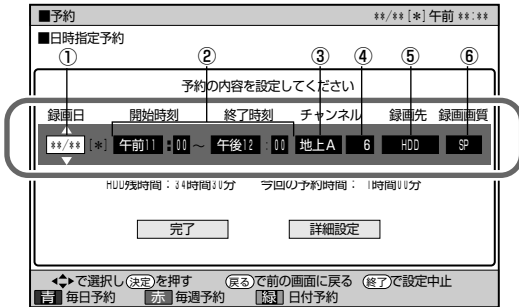
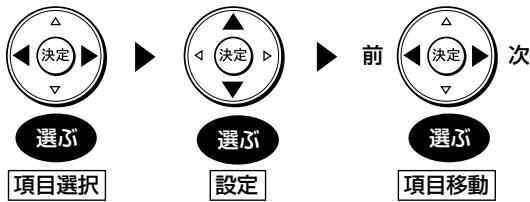
・HDD(ハードディスク）には最大 12 時間まで連続して録画できます。
・二重音声を録画する場合についてなど予約録画に関する注意事項については「録画をする前に」(**47**ページ）や「故障かな？と思ったら」（**247**ページ)、「よくあるお問い合わせ」(**257**ページ）を参照してください。

1 テレビと本機の準備をします 35 ページ

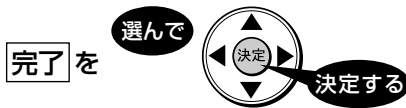
2 スタートメニューを表示させます

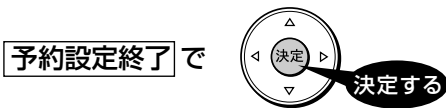
3 「予約」を選んで決定します

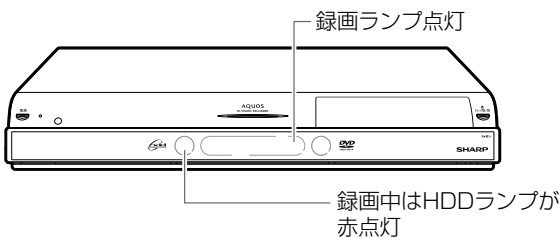
4 「日時指定予約」を選んで決定します

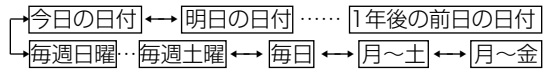
・65件を超える録画予約を完了しようとするとメッセージが表示されます。不要な予約を取り消してください。

5 設定したい項目を設定します

- 詳細設定 については、**65** ページ
- ドラマ延長予約 については、**60** ページ

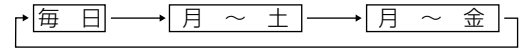
6 設定内容を確認して完了します

- 予約の重複については、**57**、**69**、**73** ページ
- HDD の残量が足りないときは、**58** ページ 手順 **4**
- おすすめ消去リストについては、**72** ページ

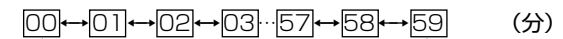
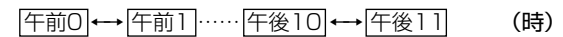
7 予約設定を終わります

8 設定画面を消すには

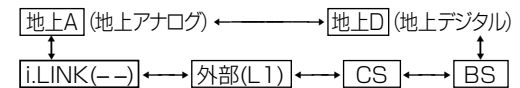
開始時刻になると、録画が始まります。

予約内容の設定項目

① 録画日

毎日予約したいときは、 青 押す

毎週予約したいときは、 赤 押す

毎週日曜 → 毎週月曜 … 毎週金曜 → 毎週土曜

- 日付を入力し直すときは、 緑 押す

② 録画開始時刻・終了時刻

- 録画開始時刻の3分前をきったときは、「予約可能時間を超過しました。予約できません。」の表示が出ます。予約開始時刻を現在時刻より3分以上あけて設定し直してください。

③放送の種類

- ケーブルテレビ（CATV）や外部チューナーなどを予約するときは、「外部」を選びます。（**64**ページ）
- i.LINK設定で録画できるi.LINK機器はシャープ製のテレビのみです。（アナログ放送は録画できません。）あらかじめ接続（**157**ページ）と「機器選択」（**160**ページ）をしておいてください。

④ チャンネル

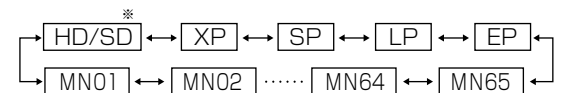
- 選んだ放送によって異なります。
- スキップを「する」に設定したチャンネルは表示されません。（**213**、**221**、**224**ページ）

ケーブルテレビ(CATV)など、外部機器を予約するときは

- 「地上A」を選び、「外部」に変更した後、チャンネル表示を「L1」（外部機器を接続しているチャンネル）に設定します。

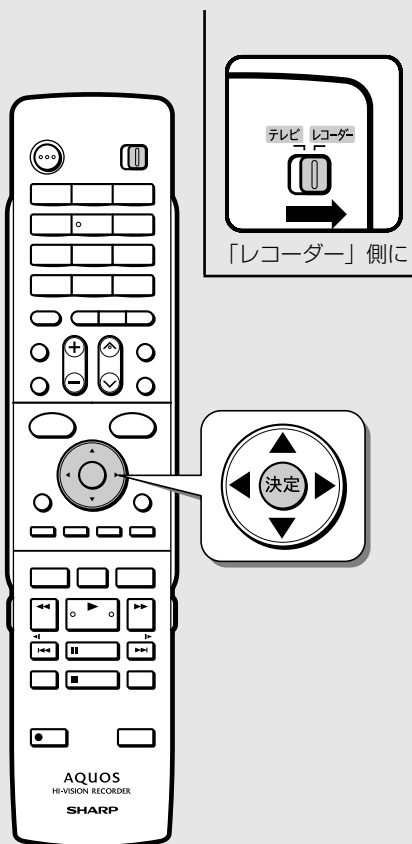
⑤ 録画先

- 変更できません。

⑥ 録画画質

※
- 「HD/SD」は、デジタル放送を予約するときにのみ選択できます。
- 放送の種類を「i.LINK」にしているときは、録画画質は「HD/SD」に固定されます。

HDD HD HDD SD **HDD VR** XP SP LP EP DVD-RW VR DVD-RW ビデオ DVD-R VR DVD-R ビデオ 市販の DVD ビデオ 音楽用 CD

ケーブルテレビ（CATV）や外部チューナーからの番組を予約する

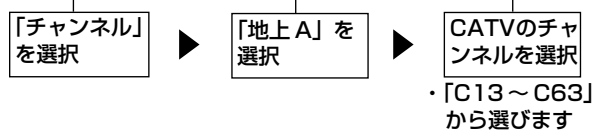
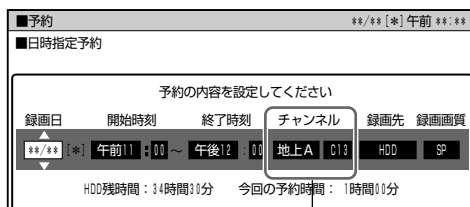
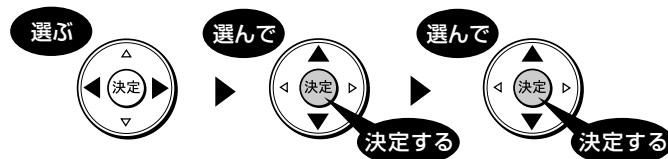
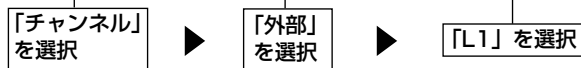
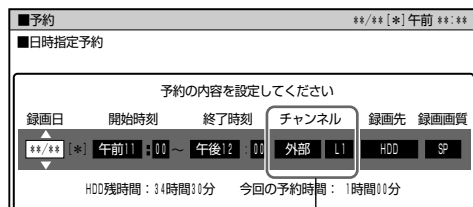
ケーブルテレビ（CATV）や外部チューナーからの映像を予約録画できます。

お知らせ

・ケーブルテレビ（CATV）ボックスの接続や操作について詳しくは、ケーブルテレビ（CATV）会社にお問い合わせください。
・スカパーチューナーの接続や操作について詳しくは、製造業者にお問い合わせください。

1 62ページの 1 〜 4 を行います

2

ケーブルテレビ（CATV）ボックスを接続しないで、ケーブルテレビ（CATV）を視聴している場合

・「C13〜C63」から選びます

ケーブルテレビ（CATV）ボックスやスカパーチューナーを本機入力1に接続している場合

3 画面に従って予約の操作を続けます

ケーブルテレビ（CATV）ボックスやスカパーチューナーを本機に接続している場合

① ケーブルテレビ（CATV）ボックスやスカパーチューナーの電源を入れます
② 録画したい番組を選局します
- ケーブルテレビ（CATV）ボックスやスカパーチューナーに番組予約機能があるときは、番組を予約します。

詳細設定する

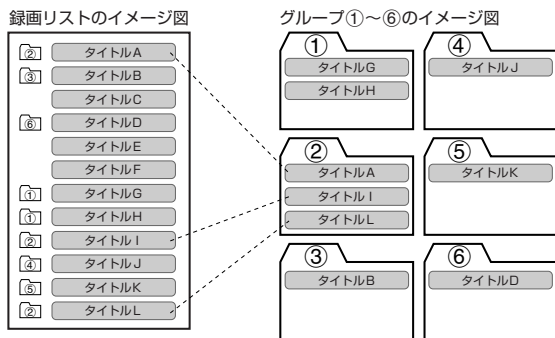
録画予約時、以下のような便利な詳細設定ができます。

設定できる項目

■予約名設定・変更（67 ページ）

- 番組のタイトル名などを自由に変更／入力することができます。

■グループ設定（67 ページ）

- 録画予約する番組を６つのグループに分けて分類･整理できます。

■保存設定（67 ページ）

- 録画した番組の保存方法を設定できます。

消さないで：予約録画した番組を誤って消去しないように設定します。
重ね録り：毎日･毎週予約録画をするとき、古い番組を消去して新しい番組を上書き録画するように設定できる機能です。

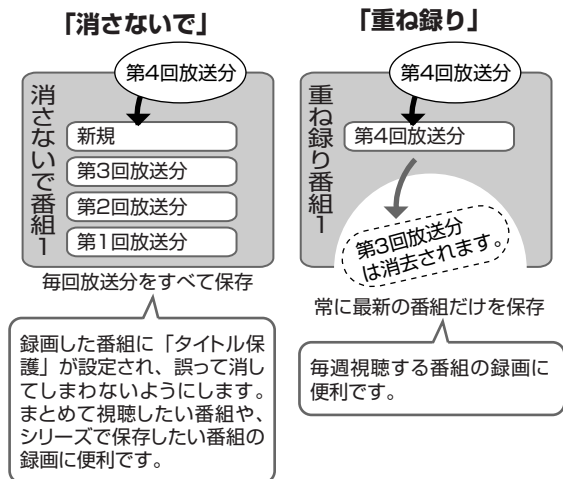
※ 録画後に「消さないで」を解除したい場合は、「タイトル保護設定」（**132** ページ）で「保護解除」します。

「重ね録り」

毎回放送分をすべて保存

録画した番組に「タイトル保護」が設定され、誤って消してしまわないようにします。まとめて視聴したい番組や、シリーズで保存したい番組の録画に便利です。

常に最新の番組だけを保存

毎週視聴する番組の録画に便利です。

お知らせ

・重ね録りで録画した番組を再生中に、重ね録り設定されている予約が始まったときは再生が停止し、その番組は重ね録りされます。

■高速ダビング優先（68 ページ）

- HDD（ハードディスク）に録画した番組をビデオフォーマットのDVDディスクに高速ダビングすることを前提に録画する場合に設定します。画質の劣化がないダビングができます。

※ デジタル放送を録画画質「ＨＤ／ＳＤ（放送画質）」で録画予約したときは、設定できません。
※「高速ダビング優先」を設定して二重音声放送の番組を録画するとき、記録される音声は「二ヶ国語音声設定」（**145** ページ）で選択されている音声（主または副）です。（主音声と副音声の両方は記録できません。）
※「高速ダビング優先」を設定して録画した番組を編集するとき、フレーム単位の編集精度にはなりません。

■番組詳細情報取得（68 ページ）

- 番組の詳細情報を取得すると、予約時にＰＰＶ（ペイ･パー･ビュー、有料番組）の購入手続きができます。また、複数の映像や音声のある番組の場合、それらを選択することができます。

※ 録画画質「ＨＤ／ＳＤ（放送画質）」で録画するときは全て記録するのでこの設定は不要です。
※ 地上アナログ放送を予約するときは、設定できません。
※ 番組詳細情報の取得には数分かかることがあります。

■追加購入グループ（68 ページ）

- 「追加購入グループ」とは、映像･音声･字幕などの種類の組み合わせで、この中からお好みのグループを選んで購入することができるものです。
  予約する番組に複数の映像･音声･字幕などが含まれている場合、その情報が「追加購入グループ」として表示されます。

※ HDD（ハードディスク）へ「HD/SD（放送画質）」で録画するときに設定できます。

■映像設定（68 ページ）

- デジタル放送を録画画質「ＨＤ／ＳＤ（放送画質）」以外で予約録画するとき、または複数映像のある番組の場合、映像を選択することができます。

※ HDD（ハードディスク）へ録画画質「ＨＤ／ＳＤ（放送画質）」で録画するときは不要です。

■音声設定（68 ページ）

- デジタル放送を録画画質「ＨＤ／ＳＤ（放送画質）」以外で予約録画するとき、または複数音声のある番組の場合、音声を選択することができます。

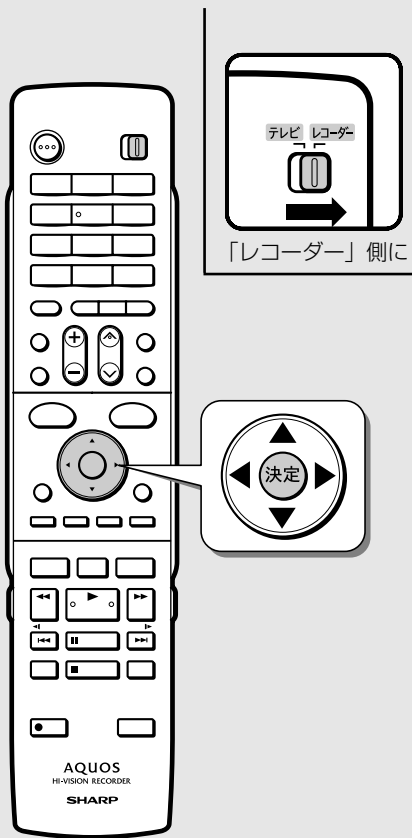
※ HDD（ハードディスク）へ録画画質「ＨＤ／ＳＤ（放送画質）」で録画するときは不要です。

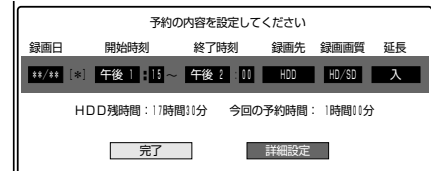
■予約設定完了

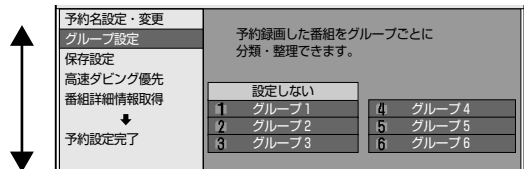
- 予約の詳細設定を完了させ、予約確認画面に進みます。（おすすめ消去リスト画面でHDD（ハードディスク）に録画した番組を消去することができます。）

ご注意

・デジタル放送を予約するときと地上アナログ放送を予約するときでは、設定できる項目が異なります。
・録画画質により設定できる項目が異なります。

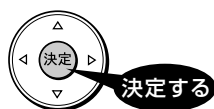
詳細設定のながれ

1 各録画予約画面で「詳細設定」を選んで決定します

画面例

・予約完了後に詳細設定がしたい場合は、予約リスト画面から「変更する」を選んで決定し、行ってください。（**70** ページ）

2 設定項目を選んで決定します

・予約録画の条件によって選べる項目が異なります。

3 各項目を設定します（次項参照）

4 設定が終われば「予約設定完了」を選んで決定します

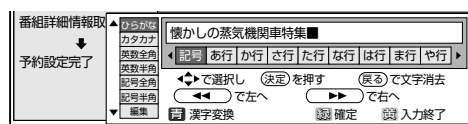
5 予約内容を確認します

6 詳細設定を終了します

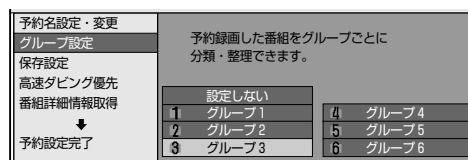
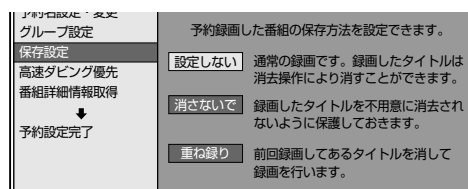
条件別の設定可能項目一覧

■デジタル放送を予約録画する場合
- 予約名設定・変更 （下記参照）
- グループ設定 （下記参照）
- 保存設定 （下記参照）
- 高速ダビング優先（HD/SD 録画画質以外の場合）（**68** ページ）
- 番組詳細情報取得 （**68** ページ）
  HD/SD 録画画質の場合 ：・追加購入グループ
  HD/SD 録画画質以外の場合：・映像設定
  ・音声設定

■アナログ放送を予約録画する場合
- 予約名設定・変更 （下記参照）
- グループ設定 （下記参照）
- 保存設定 （下記参照）
- 高速ダビング優先（HD/SD 録画画質以外の場合）（**68** ページ）

各項目の設定

■予約名設定・変更
① 詳細設定画面で「予約名設定・変更」を選んで決定します
②「する」を選んで決定します
③ 文字を入力し、確定します
・文字入力のしかたについては、**138** ページ

・録画した番組のタイトル名は、変更しない場合は予約録画開始時の番組名ですが、変更すればその名前がタイトル名となります。

■グループ設定
① 詳細設定画面で「グループ設定」を選んで決定します
②「グループ 1 ～ 6」のいずれかを選んで決定します

■保存設定
① 詳細設定画面で「保存設定」を選んで決定します
②「消さないで」あるいは「重ね録り」を選んで決定します

■高速ダビング優先（HD/SD 録画画質以外の場合）

① 詳細設定画面で「高速ダビング優先」を選んで決定します

②「する」を選んで決定します

■番組詳細情報取得（デジタル放送の場合）

① 詳細設定画面で「番組詳細情報取得」を選んで決定します

②「する」を選んで決定します

●追加購入グループ（HD/SD 録画画質の場合）

① 番組詳細情報を取得します

② 詳細設定画面で「追加購入グループ」を選んで決定します

③ 購入グループを選んで決定します

④「する」を選んで決定します

●映像設定（HD/SD 録画画質以外の場合）

① 番組詳細情報を取得します

② 詳細設定画面で「映像設定」を選んで決定します

③ 映像の種類を選んで決定します

●音声設定（HD/SD 録画画質以外の場合）

① 番組詳細情報を取得します

② 詳細設定画面で「音声設定」を選んで決定します

③ 音声の種類を選んで決定します

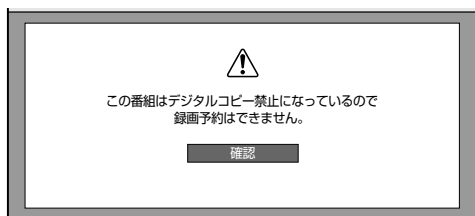
■設定が終われば

「予約設定完了」を選んで決定し、内容を確認して設定を終了してください。（**67** ページ）

予約設定時のメッセージについて

「番組詳細情報取得」(**68**ページ) を行うと、電子番組表でデジタル放送の番組を予約した時に、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

・予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

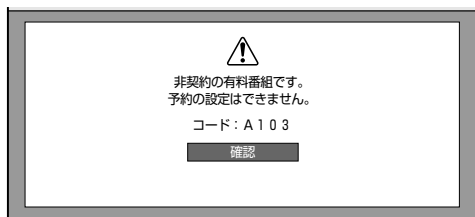
■デジタル録画禁止の番組を予約したとき

●「確認」で決定を押してください。

■B-CAS カード未挿入で有料番組を予約したとき

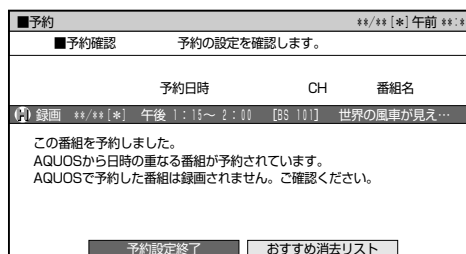
●「確認」で決定を押してください。

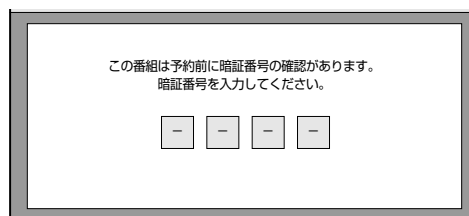
■非契約の有料番組を予約したとき

番組単位で購入契約が必要な有料番組です。画面上で購入手続きを行うことにより視聴できるようになります。

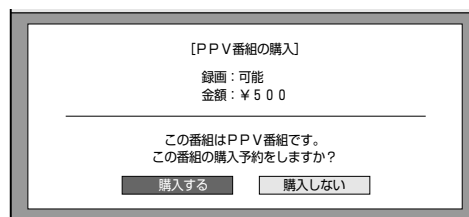
録画料金と視聴料金とで異なる場合がありますのでご注意ください。

●「確認」で決定を押してください。

■ファミリンク［1］（標準）予約（テレビの番組表からの予約）と本機の予約が重なったとき

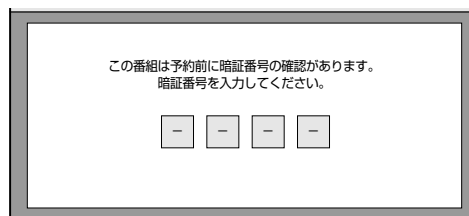
予約が重なっているとファミリンク［1］（標準）予約が実行できないため、お知らせメッセージが表示されます。

■PPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）を予約したとき

PPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）判定制限

●**数字ボタンで暗証番号を入力してください。**

※暗証番号の設定については、**152**ページをご覧ください。

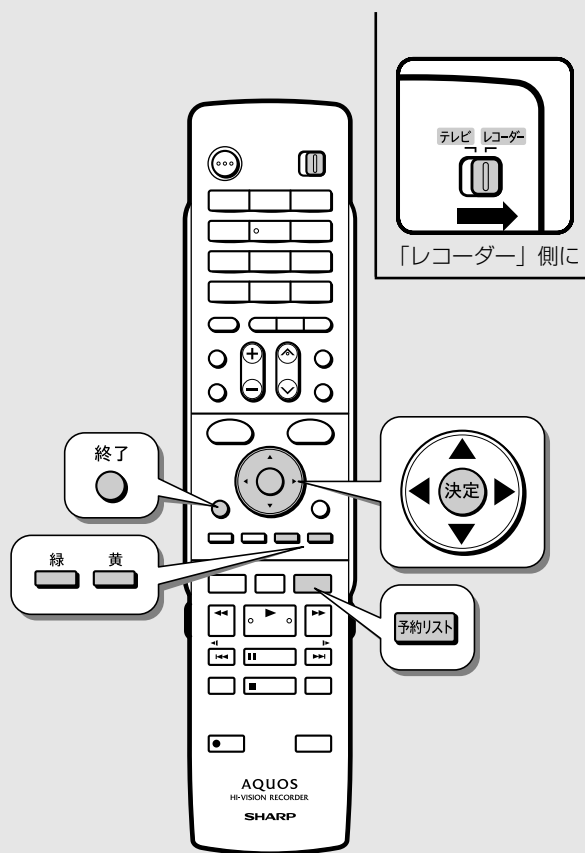
PPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）の購入予約

●「購入する」を選び、決定を押してください。

●「購入しない」を選んだときは、予約の設定はできません。

PPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）購入金額判定

●数字ボタンで暗証番号を入力してください。

※暗証番号の設定については、**152**ページをご覧ください。

予約を確認・変更・取り消す

予約内容を確認・取り消し・休止・変更できます。

・「スタートメニュー」－「予約」－「予約リスト」を選んでも予約リスト画面が表示されます。

1 テレビと本機の準備をします

35 ページ

2 予約リスト画面を表示させます

● 確認する ⇨ 3 へ

● 変更する ⇨ 4 へ

・「スタートメニュー」－「予約」－「予約リスト」でも表示できます。

3 予約の内容を確認します（次ページ参照）

確認だけの場合

4 変更・取り消したい番組を選んで決定します

■予約　　　**/** [*] 午前 **:**
地上A　6

	予約日時	ＣＨ	録画先	録画画質	延長	実行
1	9/15 [金] 午前 9:30〜午前 9:50	[地A 6]	HDD 1	SP		○
2	9/18 [月] 午後 9:00〜午後10:00	[地D041]	HDD 3	HD/SD		○
3	9/21 [木] 午後10:00〜午後11:00	[地A 6]	HDD 6	XP		休
4	9/27 [水] 午後 7:00〜午後 8:00	[BS 101]	HDD 4	HD/SD	入	○
5	9/30 [土] 午後 9:00〜午後11:00	[地A 4]	HDD	XP		

実行可能なHDD録画予約：１２／２６[火]まで

⇕ で選択し 決定 を押す　戻る で前の画面に戻る　終了 で終了
緑 予約休止入／切　黄 おすすめ消去リスト

5 実行したい項目を選んで決定します

予約番組の取り消し、または予約の内容を変更しますか？

取り消す　変更する　変更しない

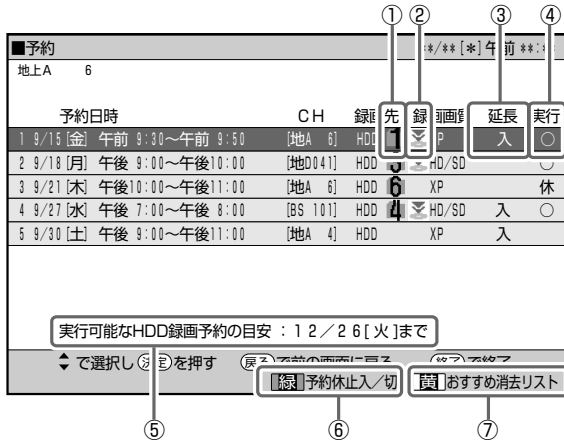
● 予約を取り消す場合

この番組の予約を取り消しますか？

する　しない

● 予約を変更する場合

変更する ⇨ 各予約設定画面表示へ
63 ページ 5 〜 8 の手順で変更できます。

予約リスト画面

予約リストに表示されるマークについて

（保護マーク）	予約録画の詳細設定で保護設定の「消さないで」を設定した予約
（重ね録りマーク）	予約録画の詳細設定で保護設定の「重ね録り」を設定した予約
1	予約録画の詳細設定で「グループ設定」した予約

① **録画先として指定されたグループ**

② **保存設定表示**

：消さないで予約

：重ね録り予約

③ **予約録画延長設定表示／ドラマ延長設定表示**

④ **予約実行可能表示**

○ ：HDD（ハードディスク）の残時間を判定し、録画可能であることを表します。

× ：HDD（ハードディスク）の残時間が不足しているため予約録画が実行できないことを表します。

休 ：予約休止状態になっていることを表します。

空白（表示なし）： 録画先が「ダビング予約」のときは何も表示されません。
残時間の判定は行いません。

※「毎日予約」「毎週予約」の場合は、次回の録画が実行可能かどうかを表示します。

⑤ **HDD（ハードディスク）に予約録画ができる日付のめやす**

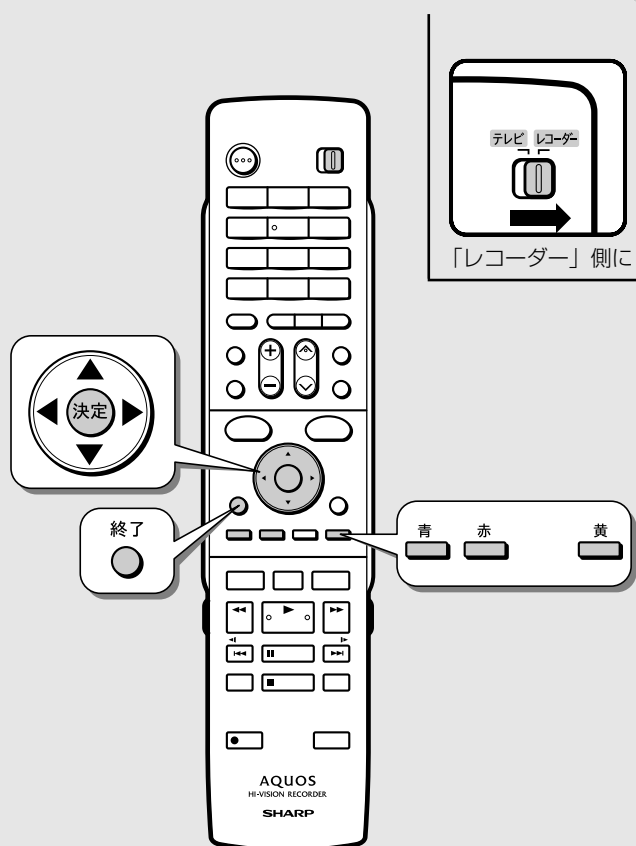
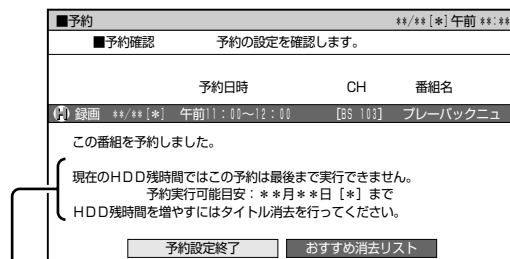
⑥ **録画予約を休止状態にしたり、休止状態になっている予約を、予約実行可能状態にします。（緑）**

（同じ日時に設定された予約がある場合は、その予約が休止状態になります。）

※ 休止した予約は録画開始時刻を過ぎると取り消されます。

⑦ **おすすめ消去リストを表示して、不要なタイトル（録画した番組）を消せます。（黄）**

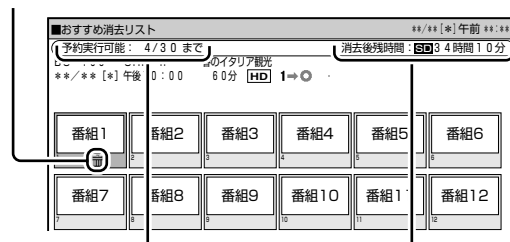
おすすめ消去リストでタイトル（録画した番組）を消す

不要なタイトル（録画した番組）を消去することにより、HDD の残時間を増やすことができます。

1 予約確認画面で おすすめ消去リスト を選びます

⇨ おすすめ消去リスト画面

●HDD（ハードディスク）の容量が少なく、設定されている予約録画のすべてが実行できないときに表示されます。

・予約リスト画面（**71** ページ）で 黄（おすすめ消去リスト）を押しても表示できます。
・スタートメニューの「消去」を選んでもタイトルを消去することができます。

2 消去したいタイトルを選んで決定します

●決定したタイトルには「🗑」マークがつきます。

決定したタイトルを消去した後の予約可能日の目安を表示します。

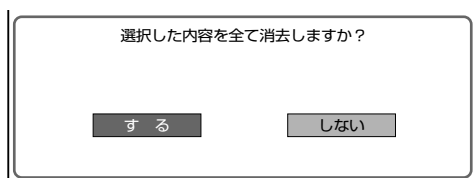
決定したタイトルを消去した後のハードディスク残時間です。

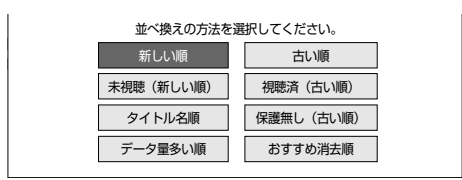
● 最大 20 タイトルまで選ぶことができます。

・選んだタイトルを再度選ぶと解除されます。

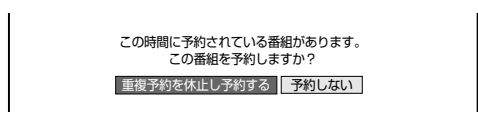
3 消去実行を選びます

⇨ 消去実行確認画面

4 確認して決定します

⇨ 手順 **2** 画面に戻ります。続けて消去する場合は手順 **2**〜**4** をくり返してください。

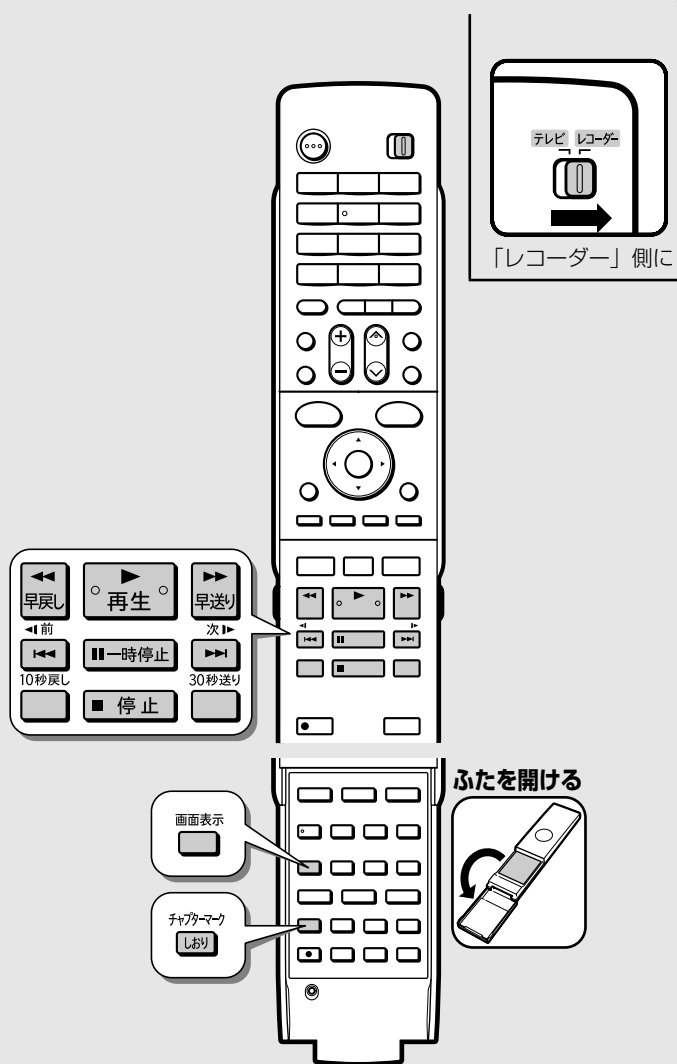
5 消去が終われば

予約中に重複メッセージが出たら

■通常予約と重なったとき
■地上アナログ放送と既存の予約が重なったとき

この時間に予約されている番組があります。
この番組を予約しますか？
重複予約を休止し予約する　予約しない

- **「重複予約を休止し予約する」**を選んだ場合、既存の予約は休止状態となり、新しい予約が実行されます。
- **「予約しない」**を選ぶと、予約の設定を中止して電子番組表の画面に戻ります。

予約の「休止」について
- 「休止」と「実行」は予約リスト画面で切り換えることができます。切り換えの操作については**71**ページをご覧ください。

再生のあらまし

録画した番組やDVDディスクなどを再生する前にお読みください。

目的別再生の種類

目的	参照
HDD（ハードディスク）に録画した番組を再生したい	録画リストから再生する▶**78**ページ グループまたはジャンル別リストからタイトルを探して再生する▶**80**ページ ・アナログ放送は、「その他」のジャンルに分類されます。
DVDディスクにダビングした番組を再生したい	録画リストから再生する▶**78**ページ
市販のDVDビデオ（映画など）を再生したい	市販のDVDビデオを再生する▶**84**ページ
他機で録画したDVDディスクを再生したい	ファイナライズしたDVDディスクを再生する▶**85**ページ
音楽CDを再生したい	音楽CDを再生する▶**86**ページ

■放送を見ているとき

⇨最後に録画または再生したタイトルが再生されます。

・前回再生を途中で停止していた場合は、その箇所から再生が始まります（つづき再生）。
・最初から再生したい場合は録画リスト(**78**ページ）画面リストで「黄」ボタンを押し、「再生」→「最初から」を選んでください。

ご注意

・HDD（ハードディスク）とDVDの同時再生はできません。
・一般にDVDの再生音量は小さく感じられるため、HDDとDVDを切り換えたとき、突然音が大きくなったり小さくなったりする場合があります。DVD再生時にテレビやアンプの音量を上げたときは、再生後必ず音量を下げてください。

お知らせ

・再生についてお困りのときは「故障かな？と思ったら」(**248**ページ)をご覧ください。
・デジタル放送を「録画画質：HD/SD以外・録画先：HDD」で予約した録画開始時は、再生は停止されます。
・HDD再生中に、重ね録り設定されている予約が始まったときは再生が停止します。
・i.LINK入力録画中は、HDD、DVDの再生はできません。
・ビデオCDの再生は保証しておりません。

再生中の便利機能

■いろいろな再生 ▶ 89 ページ

サーチやスロー再生、スキップなど、ボタンを押すだけでいろいろな再生ができます。

■追いかけ再生 ▶ 95 ページ

現在録画している番組を、最初から再生することができます。

■同時録画再生 ▶ 97 ページ

HDD(ハードディスク) へ録画中に、すでに HDD に録画されている別番組を再生することができます。

■くり返し再生する ▶ 94 ページ

番組全体、あるいは一定の範囲をくり返し再生できます。

■音声や字幕、映像 / アングルなどの切り換え ▶ 92 ページ

・「視聴メニュー」を使ってもさまざまな操作ができます。(**98** ページ)

■チャプターマーク(しおり)をつける

好みの場所で

⇨チャプターマーク記録
(ふた内)

・あとから頭出しなどをするときに便利です。
・チャプターマークについて詳しくは、**55** ページ

■カウンターなどの確認 ▶ 28 ページ

(ふた内)

メ モ

・HDD(ハードディスク) に「HD/SD」画質で録画した番組の場合、再生時に番組情報を表示できます。(**42** ページ)
・再生中にチャプターマークを記録できるのは、HDD に録画したタイトルです。DVD ディスクには記録できません。

録画リスト表示について

■高精細表示設定について

- 本機の録画リストは、デジタルハイビジョン対応テレビと次の接続・設定をしている場合、高精細画面で表示されます。
  - ・D映像ケーブルで接続し、「D映像出力設定」を「1125i優先」にしているとき
  - ・HDMIケーブルで接続し、「HDMI映像出力設定」を「オート」または「1125i固定」にしているとき
- 「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「高精細表示設定」(**149**ページ)で表示のしかたを選べます。

高精細表示「する」の画面例

■画面リスト

青

画面リストとタイトル名リストが切り換わります

■タイトル名リスト

高精細表示「しない」の画面例

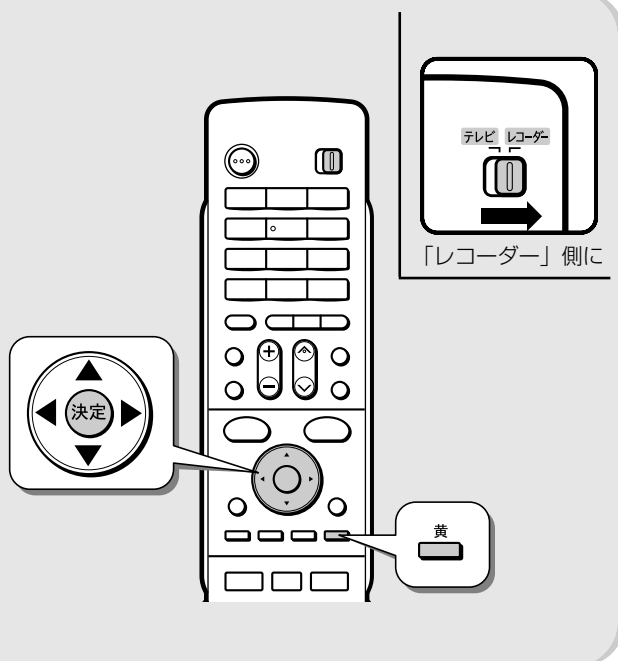
■画面リスト

■タイトル名リスト

ご注意

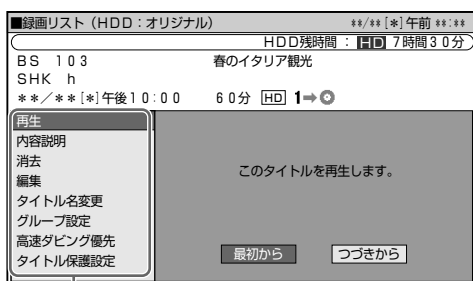
- 上はHDD（ハードディスク）の画面リストの例です。DVDディスクの画面リストの場合は、表示される内容が異なります。

- ハイビジョン対応テレビとD映像ケーブルで接続し、初期設定でハイビジョン対応テレビを選択・設定しているときや、かんたん設定でハイビジョン対応テレビを選択・設定したとき、HDMIケーブルで接続したときは自動的に「高精細表示」となります。
- ハイビジョン対応以外のテレビと接続したときや、S映像ケーブル、映像ケーブルで接続したときは、高精細表示されません。

録画リストの表示の切り換えかたや、チャプター（章）、プレイリストの表示については、**79**ページをご覧ください。

録画リストから各種機能設定をするには

先にタイトル（録画した番組）を選んでから編集などを行うには、録画リストでタイトルやチャプターを選んでから機能メニューによって各種機能を呼び出す方法が便利です。

1 録画リストで「機能メニュー」を選びます

- 録画リストでの切り換え（タイトル名リスト／チャプターリスト、オリジナル／プレイリスト）によって、表示される機能は異なります。

機能メニュー

2 それぞれの設定をします

- 操作については、それぞれの参照ページをご覧ください。

機能メニューでは、次のような機能を呼び出すことができます。操作について詳しくは、それぞれの参照ページをご覧ください。

■再生（78ページ） HDD DVD-RW/-R ビデオ DVD-RW/-R VR

録画リストで選んだタイトル（またはチャプター）を再生します。一度再生し、途中で停止したタイトルをはじめから見たいときに選択します。

※DVD-RW/-Rビデオフォーマットディスクをファイナライズすると録画リストはご覧いただけません。タイトルメニュー画面になります。

■内容説明 HDD

録画画質「HD/SD（放送画質）」（AUTO）で録画したデジタル放送番組の内容を表示します。
（「HD/SD（放送画質）」（AUTO）以外の録画画質で録画した番組や地上アナログ放送を録画したときは、内容説明の表示は出ますが空欄となります。）

■消去（134〜136ページ） HDD DVD-RW/-R ビデオ DVD-RW/-R VR

録画リストで選んだタイトル（またはチャプター）を消去できます。ＤＶＤディスクのタイトルは、チャプター単位の消去はできません。

■編集（101ページ） HDD

HDD（ハードディスク）に録画した番組は、編集の操作でコマーシャルなどをカットしたりすることができます。

■タイトル名変更（137ページ） HDD DVD-RW/-R ビデオ DVD-RW/-R VR

タイトル名を変更することができます。番組名など、わかりやすいタイトル名に変更しておくと再生するときに便利です。

- ビデオフォーマットのDVD-RWディスクおよびDVD-Rディスクは、ファイナライズを行うとタイトル名変更ができません。

■グループ設定（82〜83ページ） HDD

録画リストで選んだタイトルを、グループに分けて分類・整理できます。

■高速ダビング優先 HDD

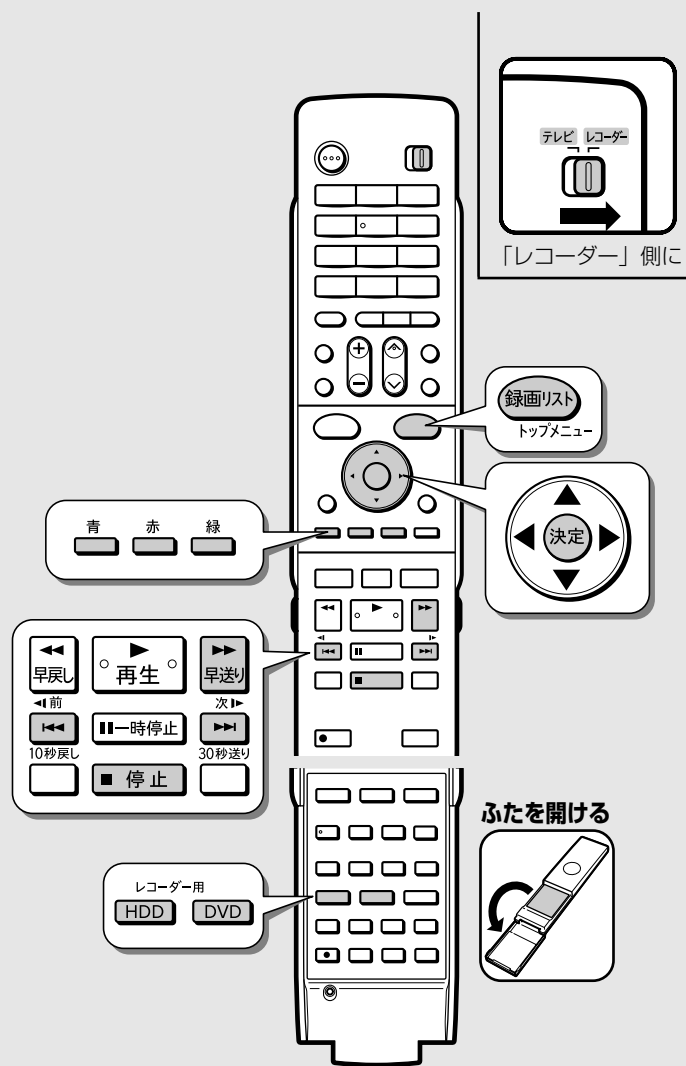
HDD（ハードディスク）に録画した番組に高速ダビングをするための設定が行われている場合、高速ダビングをするための設定を解除できます。録画後の再設定はできません。

■タイトル保護設定（132ページ） HDD

タイトルを保護します。
誤って編集や消去をしないようにするときに設定します。

HDD HD / HDD SD / HDD VR XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

録画リストから再生する

録画した番組を小画面のリストなどから選んで再生します。

1 テレビと本機の準備をします ☞ 35ページ

2 見たいタイトル（録画した番組）の録画先を選びます

（ハードディスクに録画した番組）または

（DVDにダビングした番組）

- DVDの場合、ダビングしたディスクをセットしてください。

3 録画リストを表示させます

4 見たいタイトル（録画した番組）を選んで決定します

選んで 決定する ⇨ 再生

画面リストの画面例

- 画面リストの場合、小画面を選ぶと自動的に小画面のまま再生されて内容を確認できます。
  （早送り で小画面早送り）
- ページが複数あるときは：前 次 でページ切換

■再生が終わると

HDD（ハードディスク）⇨放送中のテレビ番組映像
DVD ⇨次のタイトルを再生

5 再生を止めるときは

- 再生をタイトルの途中で止めたときは、つづきから再生することができます。
  - つづき再生について ☞ 87ページ

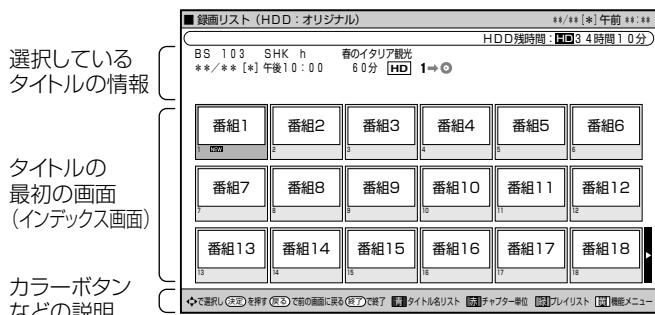
ご注意

- ファイナライズを行ったビデオフォーマットのDVDディスクは、録画リストの代わりにタイトルメニューの画面が表示されます。（**85**ページ）

お知らせ

- 録画リストに表示されるタイトル名は、最大でHDD40文字（DVD32文字）です。本機以外で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「＊」表示となります。
- DVDでは、ディスクを一度トレイから取り出すと、録画リストに「XP」や「SP」などの画質表示が出なくなります。
- まだ再生していないタイトル（録画した番組）には「NEW」が表示されますが、DVDディスクにダビングした番組の場合、ダビングしたあとディスクを取り出すと、その後表示されません。
- 録画リストについてお困りの際は「故障かな？と思ったら」（**249**ページ）をご覧ください。

いろいろなリスト表示

■画面リスト

・本機からテレビへ 1125i の解像度で映像出力している場合、メニューの「機能切換」-「高精細表示設定」を「する」にすることで、画面リストを高精細表示にすることができます（18 画面表示されます）。

149ページ

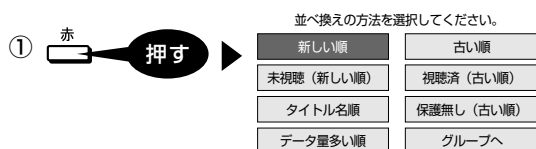
■タイトル名リスト

1 画面リストで「タイトル名リスト」を選びます

- 押すたびに「画面リスト」⟷「タイトル名リスト」表示となります。

2 タイトル名リストで選びます

並べ換えたいとき

①

② **並べ換え方法を選ぶ**
⇨ 並べ換えられたタイトル名リストが表示されます。

- **各画面下に操作に使うボタンの説明が表示されますので、参考にしてください。**

- HDD モードでは、「グループへ」を選択すると、グループリスト（**80** ページ）が表示されます。

録画リストに表示されるマーク

マーク	説明
NEW	まだ再生していないタイトル（録画した番組）。
(保護マーク)	「タイトル保護」が設定されているタイトル（録画した番組）。予約録画時に詳細設定で「消さないで」を設定して録画した番組。
(重ね録りマーク)	「重ね録り番組」として録画された番組。 HDD のみ
1➡◎	「1 回だけ録画可能」の番組。 HDD のみ
(高速ダビングマーク)	「高速ダビング優先」または「高速ダビング設定」を設定して録画された番組。 HDD のみ
(グループマーク)	HDD（ハードディスク）に録画したタイトルを選択し、そのタイトルがグループ設定されているときに表示します。（グループ設定により、1 ～ 6 が表示されます。） HDD のみ
チャプター	画面リストに表示されているのがチャプター（章）であることを示します。

■チャプター（章）単位表示

1 画面リストで「チャプター単位」を選びます

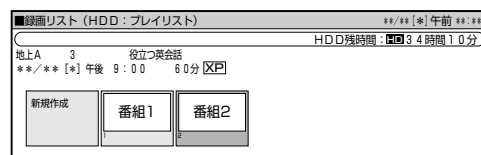
2 チャプターを選び、決定します ⇨ 再生

・チャプターについて 48 ページ

- タイトル単位に戻すときは、赤（タイトル単位）を押します。

■プレイリスト表示

1 画面リストまたはタイトル名リストで「プレイリスト」を選びます

- 押すたびに「オリジナル」⟷「プレイリスト」表示となります。

2 リストを選び、決定します ⇨ 再生

・プレイリストについて 100 ページ

確認 基本 視聴 録画・予約 再生 編集 ダビング 消去・管理 各種設定 ファミリンク 2番組同時録画 接続・設定 基本設定 こんなときは

HDD HD HDD SD | HDD VR XP SP LP EP | DVD-RW VR DVD-RW ビデオ | DVD-R VR DVD-R ビデオ | 市販の DVD ビデオ | 音楽用 CD

グループリスト／ジャンル別リストから再生する（HDD）

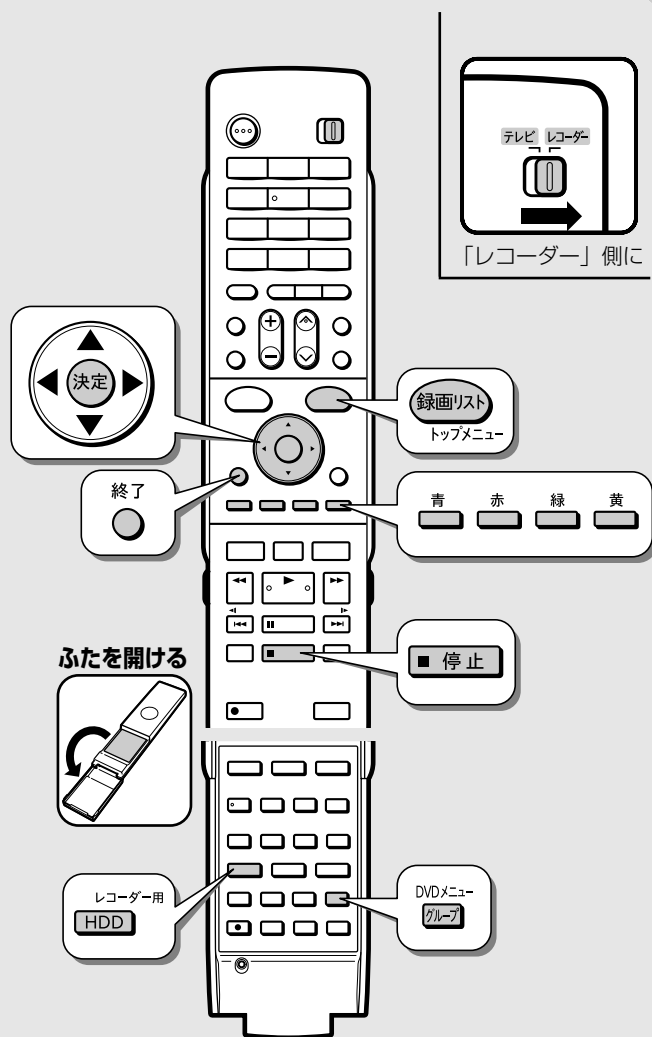
グループに含まれないタイトル（録画した番組）を再生する

・放送中の番組を録画した場合やグループ設定をしないで予約録画した場合は、どのグループにも含まれないタイトルになります。
・どのグループにも含まれていないタイトルは、グループリストからは選べません。リモコンの 録画リスト（トップメニュー） を押し、録画リストから選んで再生してください。
・グループリストから選びたい場合は、タイトルをいずれかのグループに設定してください。

グループリストから再生する

1 テレビと本機の準備をします 35 ページ

2 HDD モードを選びます

（ふた内）

3 グループリストを表示させせます

（ふた内）

4 グループを選んで決定します

● ジャンル別リストの場合は 緑（グループへ）を押します。

■グループリスト［グループ1］ **/** [*] 午前 **:**
HDD残時間：HD 3 4時間 1 0分
グループを選択してください。

1	グループ 1	6 タイトル
NEW 2	グループ 2	10 タイトル
3	グループ 3	8 タイトル
4	グループ 4	21タイトル
5	グループ 5	4タイトル
6	グループ 6	11タイトル

まだ視聴していない番組があるときに表示

5 見たいタイトル（録画した番組）を選んで決定します

■グループリスト ［グループ1］ **/** [*] 午前 **:**
HDD残時間：HD 3 4時間 1 0分
BS 103 SHK h 春のイタリア観光
/ [*] 午後10：00 60分 HD 1⇒

番組1	番組2	番組3	番組4	番組5	番組6
番組7	番組8	番組9	番組10	番組11	番組12

・グループリスト画面も録画リスト画面と同様に操作できます。 78 ページ

● 再生が終わると、放送中のテレビ番組映像になります。

6 再生を止めるときは

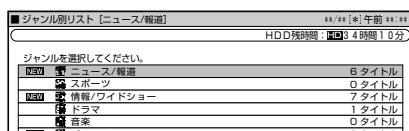
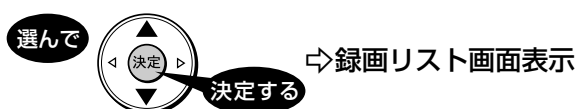
ジャンル別リストから再生するには

1 グループリスト画面でジャンル別リストを表示します

- アナログ放送を録画した番組は、「その他」のジャンルに分類されます。

2 ジャンルを選びます

■ ジャンル別リスト［ニュース/報道］ HDD残時間：HD 3 4時間10分
ジャンルを選択してください。

	ジャンル	タイトル数
NEW	ニュース/報道	6 タイトル
	スポーツ	0 タイトル
NEW	情報/ワイドショー	7 タイトル
	ドラマ	1 タイトル
	音楽	0 タイトル

3 見たいタイトル（録画した番組）を選んで決定します

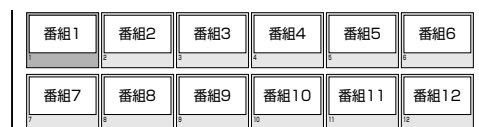
- カラーボタンを押して、タイトル名リストまたは画面リストを表示させることができます。

4 再生を止めるときは

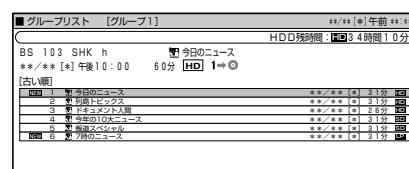
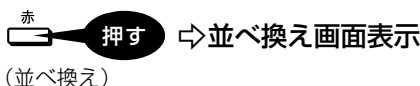
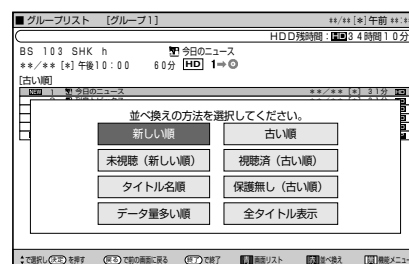
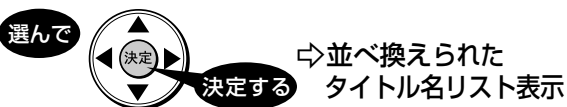
グループリスト内のタイトルを並べ換える

1 80ページの手順 3～4 を行い、グループリストからグループを選びます

2 グループリストのタイトル名リストで並べ換えを選びます

画面リストの画面例

- 画面リストを表示しているときは、青（タイトル名リスト）を押して、タイトル名リストを表示させせます。

■ グループリスト ［グループ1］ HDD残時間：HD 3 4時間10分
BS 103 SHK h 今日のニュース
[古い順]

	No.	タイトル	日付	時間
NEW	1	今日のニュース	**／** [*]	31分
	2	列島トピックス	**／** [*]	31分
	3	ドキュメント人間	**／** [*]	26分
	4	今年の10大ニュース	**／** [*]	31分
	5	報道スペシャル	**／** [*]	31分
NEW	6	7時のニュース	**／** [*]	31分

3 並べ換えの方法を選択します

- 「全タイトル表示」を選んだときは、タイトル名リストになります。

見たいタイトルを チャプター（章）単位から選ぶ

1 ジャンル別リストの画面リストで チャプター単位を選びます

⇨チャプター画面表示

2 チャプターを選んで決定します

⇨

- チャプターについて 48ページ

グループ内のタイトルを 他グループへ設定し直すには

1 グループリスト画面を表示させます

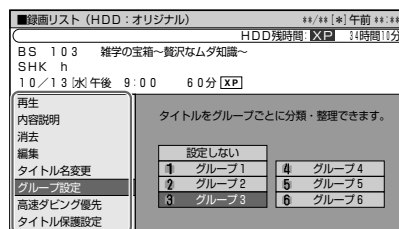
（ふた内）

2 移動したいタイトルの入っているグループを選んで決定します

3 グループリスト画面で 移動したいタイトルを選びます

4 機能メニューを表示させます

5 「グループ設定」を選んで決定します

6 移動先のグループを選んで決定します

⇨選んだタイトルが移動先のグループへ

・「設定しない」を選ぶとどのグループにも含まれなくなります。

7 設定を終了します

グループ設定していないタイトルをグループ設定するには

1 録画リストを表示させます 78ページ

2 移動したいタイトルを選びます

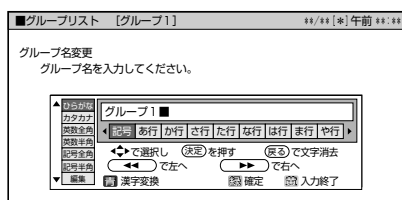
3 左記 4 ～ 7 の手順で操作します

グループの名前を変えるには

1 グループリスト画面でグループ名を変えたいグループを選びます

2 文字入力画面を表示させます

3 グループ名を入力します

- 最大で全角８文字のグループ名が入力できます。

- 文字入力のしかた 138ページ

市販の DVD ビデオを再生する

市販の DVD ビデオディスク（映画など）を再生します。

お知らせ

- ・市販のDVDビデオディスクには、自動的に再生が始まるものや、「トップメニュー」や「ディスクメニュー」が記録されているものがあります。
- ・メニューが記録されている場合は、再生したいタイトルや字幕設定を選べることがあります。
- ・市販のDVDビデオを再生するときは、ディスクの取扱説明書や画面の案内に従って操作してください。
- ・海外テレビ番組のDVDビデオなどで、吹き替えの音源がない部分がオリジナル音源（外国語）になり日本語と交互に切り換わる場合があります。
- ・DTS 音声は本機のみでは楽しめません。DTS デジタルサラウンドデコード機能を搭載しているプロセッサーまたはアンプとデジタル接続してください。

メ　モ

・ディスクによってはトップメニューを「タイトル」と呼んでいるものもあります。この場合も「トップメニューを表示させるには」と同じ操作で表示できます。

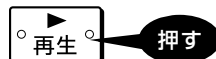
1 テレビと本機の準備をします 35 ページ

2 DVD モードを選びます

（ふた内）

3 ディスクをセットします 30 ページ

・セットすると自動的に再生が始まるディスクもあります。

4 再生を始めます

・まず自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示に従って操作してください。

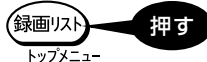
5 再生を止めるときは ■ 停止 押す

・本体前面の再生ボタンと停止ボタンでも再生、停止の操作ができます。

トップメニューを表示させるには

（DVD ビデオにトップメニューがある場合）

1 トップメニューを表示させます

トップメニュー

● 画面に従って操作してください。

トップメニューの例

トップメニュー

1 ジャズ	2 ラテン音楽
3 クラシック	4 ロック

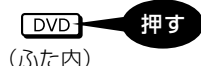
ディスクメニューを表示させるには

（DVD ビデオにディスクメニューがある場合）

1 ディスクをセットします

2 ディスクメニューを表示させます

（ふた内）

ディスクメニューの例

お知らせ

- ・ディスクに記録されているメニュー画面などを、再生中に表示させたい場合は、録画リスト（トップメニュー）または DVDメニュー グループ（ふた内）を押します。
- ・トップメニューやディスクメニューの表示のさせかたはディスクによって異なる場合があります。詳しくは、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

他機で録画された DVD を再生する

ファイナライズされた DVD ディスクであれば他機で録画した DVD も再生できます。

ご注意

- 本機以外で録画したDVD-R DL（2層）ディスクは、再生できない場合があります。
- ビデオフォーマットで録画したディスクをファイナライズすると、録画リストがタイトルメニューなどの画面に変更されます。（タイトルの内容は変わりません。）
- 他のDVDレコーダーで付けたタイトル名で本機で表示できない文字は、「＊＊＊＊・・・・」（最大 32 文字分）の表示となります。
- 他のレコーダーでフレーム単位の編集をしたディスクを再生したときは、開始地点、終了地点がずれたりインデックス画面が異なる場合があります。

お知らせ

- 本機でのファイナライズ操作については、**141** ページ
- ビデオフォーマットで録画したディスクをファイナライズ（**141** ページ）すると、他のDVDプレーヤーでも再生できるメニュー画面が自動的に作成されます。そのため、ファイナライズ前とファイナライズ後ではメニュー画面が異なります。
- 他機でファイナライズされたディスクは、タイトルメニューなどの画面がそれぞれ異なりますが、再生できます。

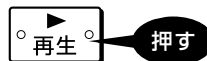
1 テレビと本機の準備をします 35 ページ

2 DVD モードを選びます

（ふた内）

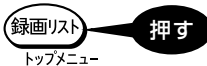
- 本体のDVDボタンを押してもDVDモードを選べます。

3 ディスクをセットします 30 ページ

4 再生を始めます

⇨最初から再生されます。

5 再生を止めるときは

タイトルを選んで再生させるには

1 停止中にタイトルメニューを表示させます

2 タイトルを選んで決定します

タイトルメニュー例

- タイトルメニューが表示されない場合は、一度再生させて停止し、手順 1 を再度行ってください。
- 他の機器で付けたタイトル名で本機で表示できない文字は、「＊＊＊・・」（最大 32 文字）表示となります。

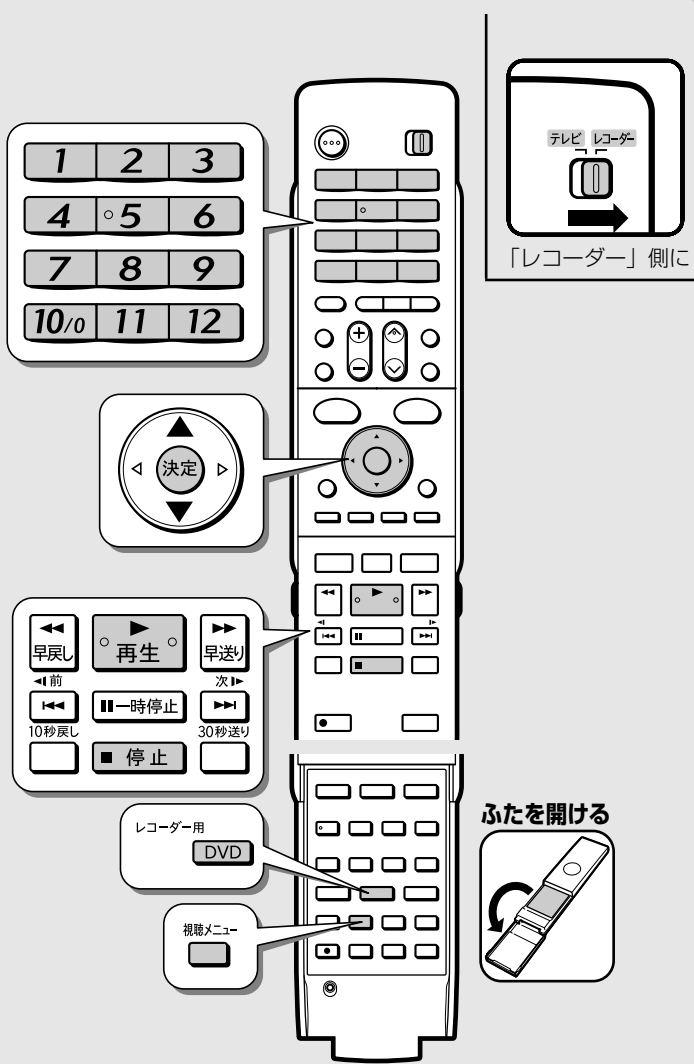
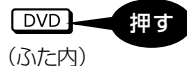
音楽CDを再生する

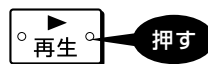
音楽CDを再生することができます。

・ビデオCDの再生は保証しておりません。

1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 DVDモードを選びます

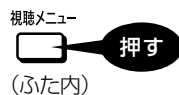
（ふた内）

3 CDをセットします 30ページ

4 再生を始めます

➪最初から再生されます。

5 再生を止めるときは 停止 押す

曲を選んで再生させるには

1 CDをセットして視聴メニューを表示させます

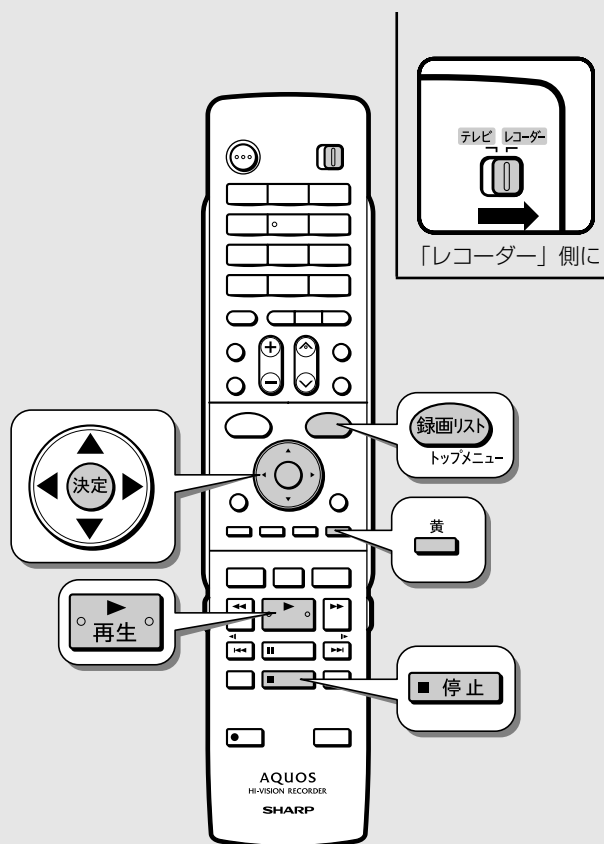
（ふた内）

2 「T」を選んで決定します

3 曲番号を選んで決定します

➪選んだ曲から再生されます

・リモコンの番号ボタンで指定して決定することもできます。
・再生時の視聴メニューについては、**98**～**99**ページをご覧ください。

停止した場所からつづけて再生する（つづき再生）

前回停止したところから、つづきを再生できます。

ご注意

・市販のDVDビデオ、ファイナライズしたビデオフォーマットのDVD-RW/-Rと音楽用CDのつづき再生は、ディスクを取り出す、HDD/DVDの切り換え操作をする、電源を切る、などの操作を行うと働かなくなります。
・ディスクのつづき再生は、ディスクを取り出すと働かなくなります。
・その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。
・ビデオCDの再生は、保証しておりません。

再生ボタンでつづき再生するには

HDD HD / HDD SD / HDD VR XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

1 再生を停止します

2 つづき再生します

⇨前回停止箇所から再生

録画リストからつづき再生するには

HDD HD / HDD SD / HDD VR XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

1 録画リストを表示させます 78ページ

2 つづき再生したいタイトルを選んで決定します

選んで 決定 決定する ⇨ 再生

⇨前回停止箇所から再生

次ページへつづく

はじめから再生するには

HDD HD HDD SD HDD VR XP SP LP EP DVD-RW VR DVD-R VR DVD-RW ビデオ DVD-R ビデオ 市販の DVD ビデオ 音楽用 CD

- ▶再生 を押すとつづき再生になる場合でも、「機能メニュー」を使って、はじめから再生できます。

1 録画リストで再生したいタイトルを選びます

2 機能メニューを選びます

黄 押す ⇨機能メニュー表示

3 「再生」を選んで決定します

4 「最初から」を選んで決定します

⇨選んだタイトルが最初から再生されます。

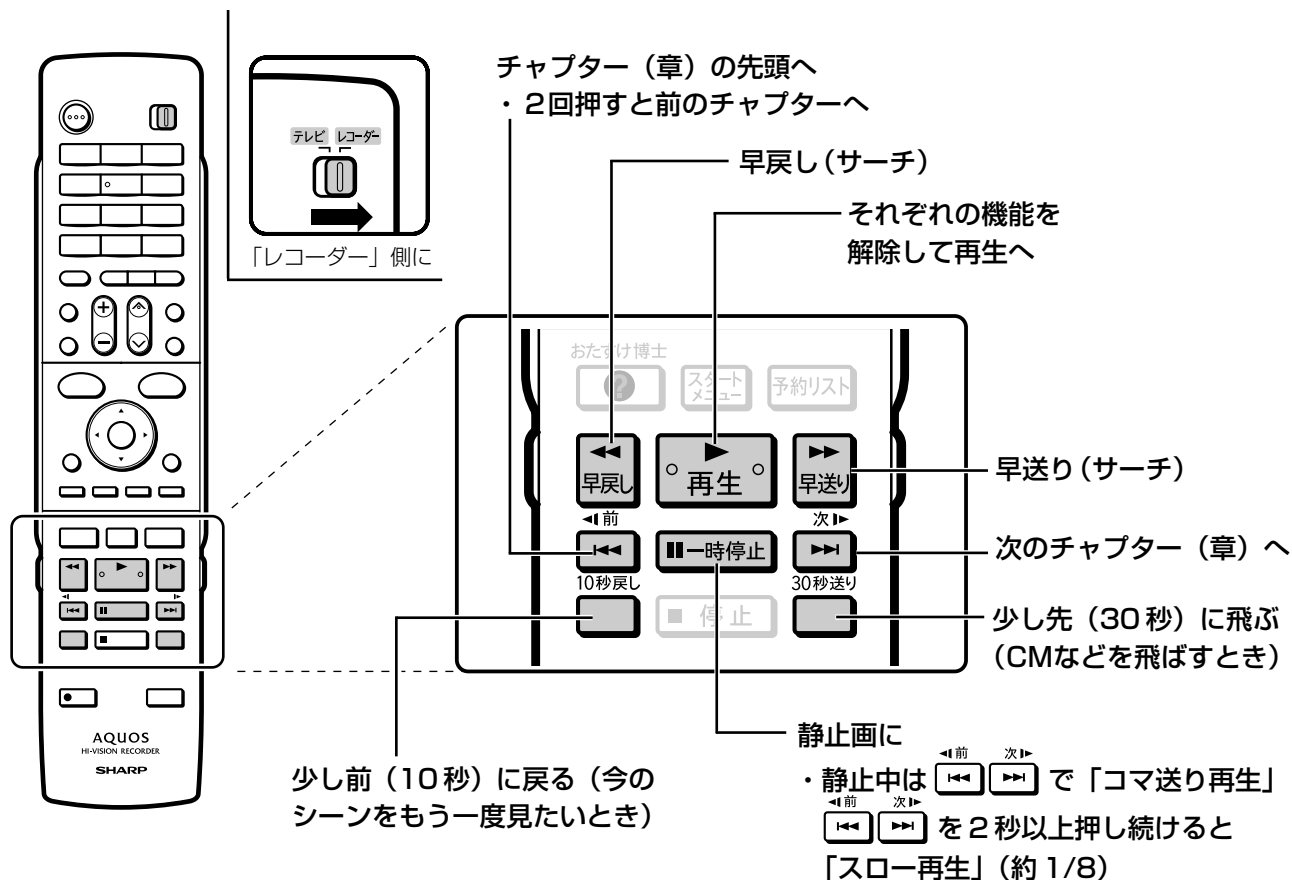
■ DVD ビデオや音楽用 CD などの場合

HDD HD HDD SD HDD VR XP SP LP EP DVD-RW VR DVD-R VR DVD-RW ビデオ DVD-R ビデオ 市販の DVD ビデオ 音楽用 CD

- ■ 停止 を2回押して停止した後、▶再生 を押すと、はじめから再生されます。

再生をしながら使えるボタン

HDD（ハードディスク）やDVDディスクの再生中に使えるいろいろな機能です。

各ボタンのおもなはたらき

ご注意

・各機能は、ディスクによって操作が異なったり、禁止されている場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

音楽用CDの再生では、次の操作ができません。
・スロー再生・逆スロー再生・コマ送り／コマ戻し

早送り／早戻しについて
・早送り／早戻し中は、字幕は再生されません。
・ディスクや再生しているシーンによっては、早送りをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。

スロー再生について
・タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。

静止画再生／コマ送り再生について
・VRフォーマットのDVD-RW/-R以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
※DVDビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送りの操作が禁止されているものもあります。

マルチビューサービス放送などをHDD（ハードディスク）に録画して再生する場合は
・主映像以外の映像を再生した場合、データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。このような制限が出る場合は、主映像でお楽しみください。

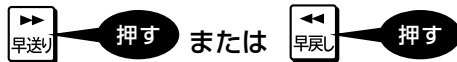
以下のときは、「故障かな？と思ったら」（249ページ）をご覧ください。
・早送り／早戻しがうまくいかないとき
・スキップ（前 次）が働かないとき
・静止画再生／コマ送り（戻し）再生がうまくいかないとき
・スロー再生がうまくいかないとき

早送り/早戻しするには（サーチ）

HDD HD / HDD SD　HDD VR XP SP LP EP　DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ　DVD-R VR / DVD-R ビデオ　市販の DVD ビデオ　音楽用 CD

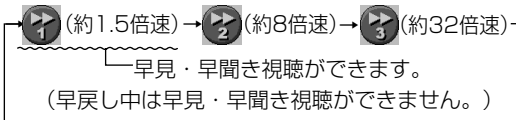
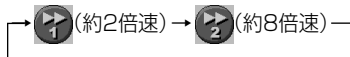
再生中の映像を早送り／早戻しして見ることができます。

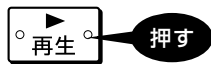
- HDD（ハードディスク）に「HD/SD（放送画質）」以外の録画画質で録画した番組やDVD-RW/-Rディスクの再生時に（早送り 1）にすると、早見・早聞き視聴が楽しめます。

1 再生中に

⇨押すたびに次のようにサーチの速さが変わります。

HDD（ハードディスク）に録画画質「HD/SD（放送画質）」（AUTO）で録画した番組を再生しているとき

HDD（ハードディスク）に録画画質「HD/SD（放送画質）」（AUTO）以外で録画した番組やDVDディスクを再生しているとき

早見・早聞き視聴ができます。
（早戻し中は早見・早聞き視聴ができません。）

音楽用 CD を再生しているとき

- 音楽用 CD の早送り・早戻し中は、音声が出ます。

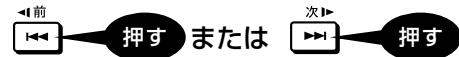
2 サーチを解除するときは

⇨サーチが解除され、再生画面に戻ります。

- タイトルをまたぐサーチはできません。
- HDD（ハードディスク）の場合は、タイトルの最後までサーチすると、再生が停止します。

チャプター（章）の頭出しをするには（スキップ）

HDD HD / HDD SD　HDD VR XP SP LP EP　DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ　DVD-R VR / DVD-R ビデオ　市販の DVD ビデオ　音楽用 CD

チャプター（章）やトラック（曲）などを飛ばして頭出しができます。

1 再生中に

- 次 を押すと、次のチャプター（トラック）を頭出しします。
  前 を押すと、いま見ているチャプター（トラック）の先頭に戻ります。2 回続けて押すと、前のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。
- HDD（ハードディスク）の場合は、タイトルをまたぐ頭出しができません。最後のチャプター（トラック）まで進むと、画面に END が表示され、静止画になり、放送視聴の画面に戻ります。

静止画にするには（静止画再生）

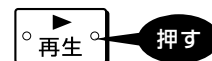
HDD HD / HDD SD　HDD VR XP SP LP EP　DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ　DVD-R VR / DVD-R ビデオ　市販の DVD ビデオ　音楽用 CD

静止画再生ができます。

1 再生中に

⇨静止画再生になります。

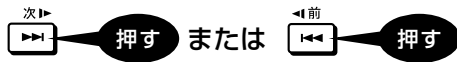
- 音楽用CDを再生しているときは、一時停止の状態になります。

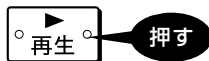
2 静止画再生を解除するときは

⇨静止画再生が解除され、再生画面に戻ります。

コマ送り/コマ戻しするには（コマ送り再生）

HDD HD / HDD SD / HDD VR XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

コマ送り再生できます。

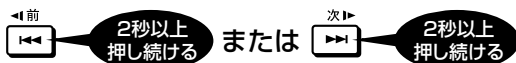
1 静止画再生中に

- 次 を押すと、コマ送りされます。
- 前 を押すと、コマ戻しされます。

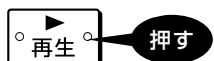
2 コマ送り／コマ戻し再生を解除するときは

⇨コマ送り／コマ戻し再生が解除され、再生画面に戻ります。

スローモーションで見るには（スロー再生 / 逆スロー再生）

HDD HD / HDD SD / HDD VR XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

スローモーション再生できます。

1 静止画再生中に

- スロー再生は約 1/8 倍速のスロー再生となります。
- HDD（ハードディスク）に録画画質「HD/SD（放送画質）」で録画した番組を逆スロー再生したときは約 1/16 倍速の逆スロー再生となります。

2 スロー再生を解除するときは

⇨スロー再生が解除され、再生画面に戻ります。

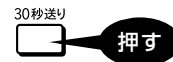
- タイトルをまたぐスロー再生はできません。

少し先に飛ぶには（30 秒送り）

HDD HD / HDD SD / HDD VR XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

約 30 秒先に送ることができます。

- コマーシャルを飛ばして見たいときなどに便利です。

1 再生中に

⇨約 30 秒先にジャンプします。

少し前に戻すには（10 秒戻し）

HDD HD / HDD SD / HDD VR XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

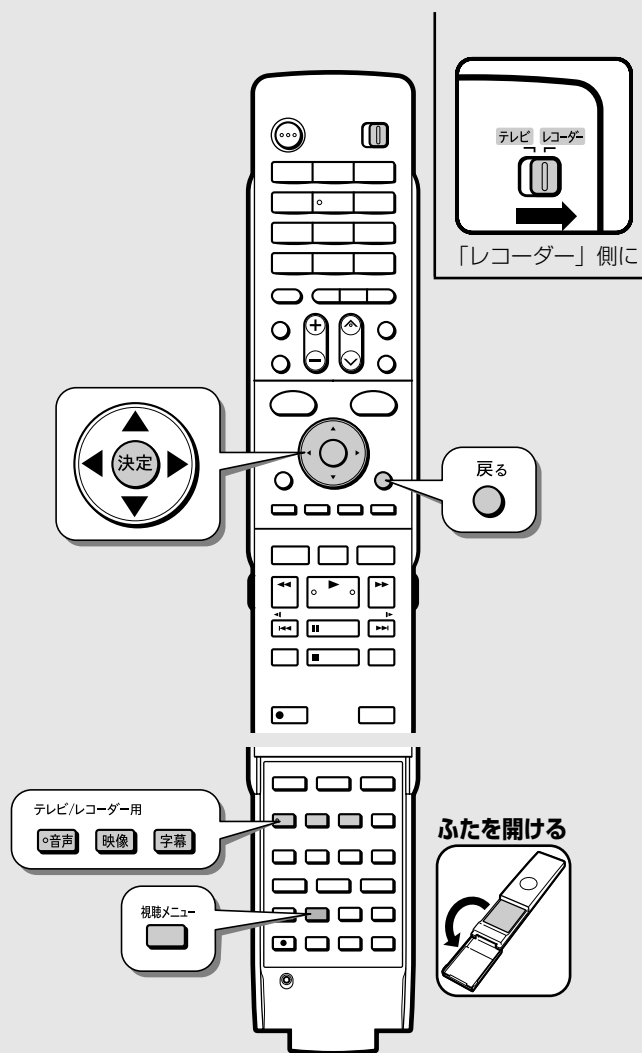
約 10 秒前に戻すことができます。

- ちょっと見のがしたところを見直すときなどに便利です。

1 再生中に

⇨約 10 秒前に戻って再生します。

再生中に音声や字幕を切り換える

再生中に音声や字幕、主音声や副音声を切り換えることができます。

ご注意

・次のような場合は、二ヶ国語放送など二重音声の番組を録画しても、音声切換ができません。（DVDディスクの場合、「録画機能設定」の「二ヶ国語音声設定」（145ページ）で設定されている音声のみがダビングされています。）
- ・ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスク
- ・PCM音声を記録したDVD-RW/-Rディスク
- ・HDD（ハードディスク）に高速ダビング設定を「する」に設定して録画した番組

お知らせ

マルチビューサービス放送などをHDD（ハードディスク）に録画して再生する場合は

・主映像以外の映像を再生した場合、データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。このような制限が出る場合は、主映像でお楽しみください。

主音声と副音声を切り換えるには

HDD HD / HDD SD	HDD VR XP SP LP EP	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	市販の DVD ビデオ	音楽用 CD

1 主・副音声のあるタイトル再生中に

音声（ふた内） 押す ⇨ ボタンを押すたびに音声が切り換わります。

音声表示の例

押すたびに次のように切り換わります。

二ヶ国語（二重音声）放送を録画した場合：
・「主」、「副」、または「主　副」表示となります。

「ステレオ放送」「モノラル放送」を録画した場合：
・「ステレオ」表示となります。（音声切換はできません。）

DVDビデオ：
・現在再生されている音声番号が表示されます。

音楽用CD：
・「L」→「R」→「L＋R」

● 音声の表示は、約3秒後に消えます。

■視聴メニューで切り換えるには

1 主・副音声のあるタイトル再生中に

⇨視聴メニュー表示

（ふた内）

2 「●))」を選んで決定します

3 音声を選んで決定します

4 視聴メニューを消すには

または

（ふた内）

字幕を切り換えるには

HDD HD / HDD SD | HDD VR XP SP LP EP | DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ | DVD-R VR / DVD-R ビデオ | 市販の DVD ビデオ | 音楽用 CD

1 字幕のあるタイトル再生中に

（ふた内）

⇨ボタンを押すたびに字幕が切り換わります。

字幕表示の例

■視聴メニューで切り換えるには

1 字幕のあるタイトル再生中に

⇨視聴メニュー表示

（ふた内）

2 「💬」を選んで決定します

3 字幕を選んで決定します

4 視聴メニューを消すには

または

（ふた内）

主映像と副映像（アングル）を切り換えるには

HDD HD / HDD SD | HDD VR XP SP LP EP | DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ | DVD-R VR / DVD-R ビデオ | 市販の DVD ビデオ | 音楽用 CD

1 主・副映像のあるタイトル再生中に

映像 押す

（ふた内）

⇨ボタンを押すたびに映像が切り換わります。

映像表示の例

映像 1
1125i

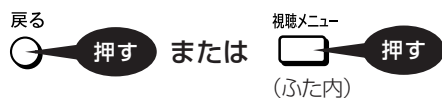
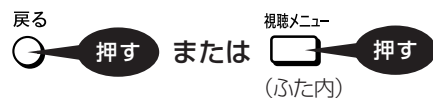
■視聴メニューで切り換えるには

1 主・副映像のあるタイトル再生中に

（ふた内）

2 「🎥」を選んで決定します

3 映像を選んで決定します

4 視聴メニューを消すには

各機能の切り換えについて

・字幕、アングル（主映像／副映像）、音声は、ディスクによっては、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

アングル表示を出したいとき

・アングルが記録されているシーンで、アングルマークを表示するように設定できます。
・「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「DVD 再生設定」－「アングルマーク表示」（**149** ページ）で設定します。

HDD HD / HDD SD | HDD VR XP SP LP EP | DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ | DVD-R VR / DVD-R ビデオ | 市販の DVD ビデオ | 音楽用 CD

くり返し再生する（リピート再生）

選んだタイトルやチャプター(章）をくり返しリピート再生できます。

ご注意

・ディスクによってはリピート再生が禁止されているものもあります。
・タイトルをまたぐ部分指定リピートはできません。
・マルチアングル部分では部分指定リピートはできません。

お知らせ

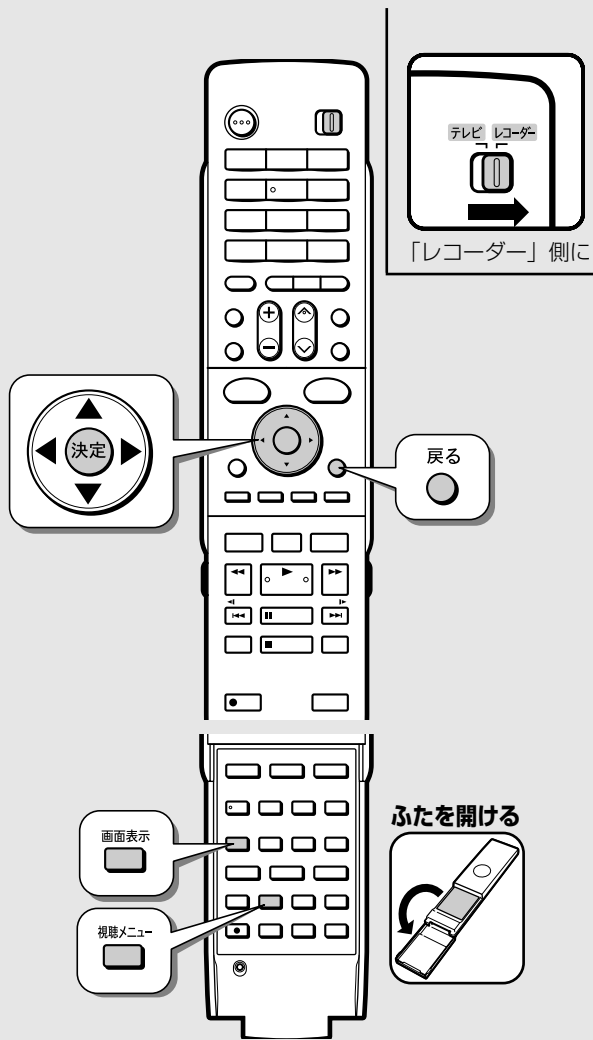
・以下のボタンを押すと、リピートの状況を確認することができます。

（ふた内）

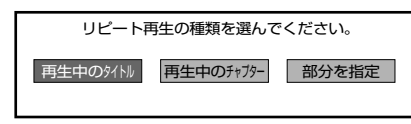
・くり返し再生しているタイトルやチャプターを停止させると、リピート再生は「切」になります。

1 くり返したいタイトル（トラック）またはチャプターを選んで再生します

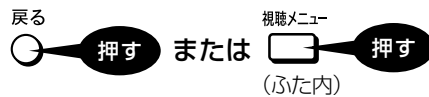
2 視聴メニューを表示させます

（ふた内）

3 「⊊」→「入」を選んで決定します

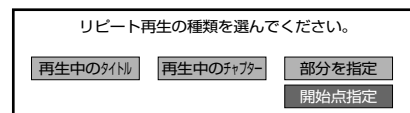
4 リピート再生の種類を選んで決定します

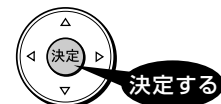
⇨リピート再生開始

・音楽CDの場合は、「再生中のディスク」または「再生中のトラック」を選びます。

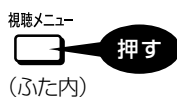
再生中のタイトル	再生中のタイトルをくり返し再生
再生中のチャプター	再生中のチャプターをくり返し再生
部分を指定	下記参照

視聴メニューを消すには

●リピート再生を解除するには、視聴メニューで「⊊」→「切」 を選んでください。

特定の部分をくり返すには

1 手順 4 で「部分を指定」を選びます

2 開始点で

3 終了点で

⇨設定された範囲でリピート再生開始

●リピート再生を解除するには、視聴メニューで「⊊」→「切」 を選んでください。

録画中の番組をはじめから見る（追いかけ再生）

HDD（ハードディスク）録画中の番組をはじめから再生できます。

1 HDD（ハードディスク）録画中に

前 押す ⇨録画中の番組をはじめから再生開始

- 画面左上に緑色の再生マークが出ます。

●追いかけ再生中に 早戻し または 早送り を押すと、

- ボタンを押すたびに次のように早戻し／早送り再生ができます。

HDD（ハードディスク）にデジタル放送を録画画質「HD/SD（放送画質）」（AUTO）で録画しているとき

→ 1（約2倍速）→ 2（約10倍速）→ 3（約30倍速）

HDD（ハードディスク）に地上アナログ放送を録画しているとき

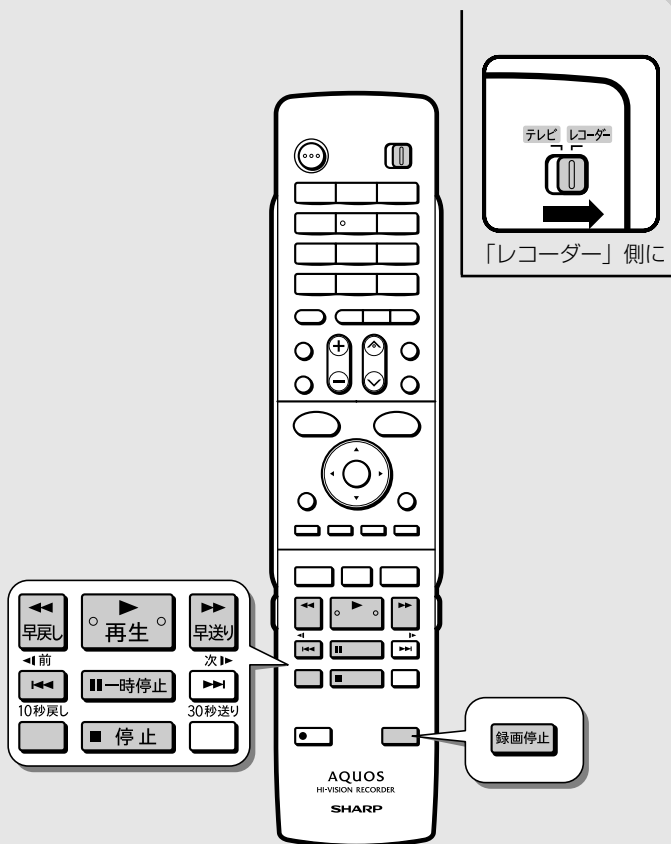
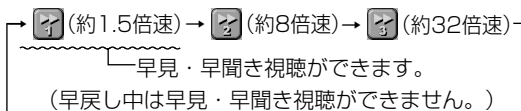
→ 1（約1.5倍速）→ 2（約8倍速）→ 3（約32倍速）

└早見・早聞き視聴ができます。
（早戻し中は早見・早聞き視聴ができません。）

2 録画中の場面に戻るには

■ 停止 押す

- 録画を停止するときは 録画停止 を押します。

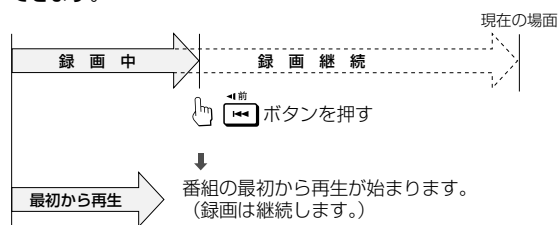
ご注意

- 追いかけ再生が開始するまで、多少時間がかかることがあります。
- 番組によっては追いかけ再生ができない場合があります。

次のようなときは、追いかけ再生ができません。

- HDD（ハードディスク）にデジタル放送を「HD/SD（放送画質）」（AUTO）以外の録画画質で録画しているとき。
- i.LINK 入力録画中。
- HDD の残量が少ないとき。
- ダビング中。

お知らせ

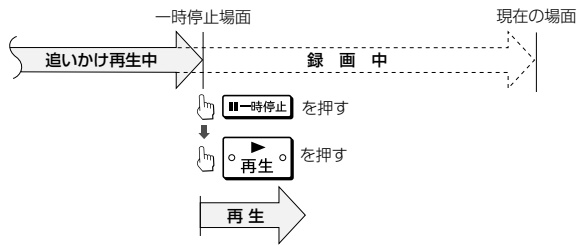
- HDD（ハードディスク）録画中に、録画中の番組をはじめから見ることができる機能です。（録画は継続されます。）
  録画が終わるのを待たずに、録画をしながら、番組を最初から視聴できます。

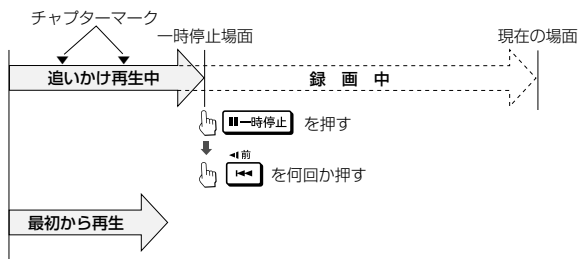
次ページへつづく

● 録画中に次のボタンを押しても追いかけ再生が楽しめます。

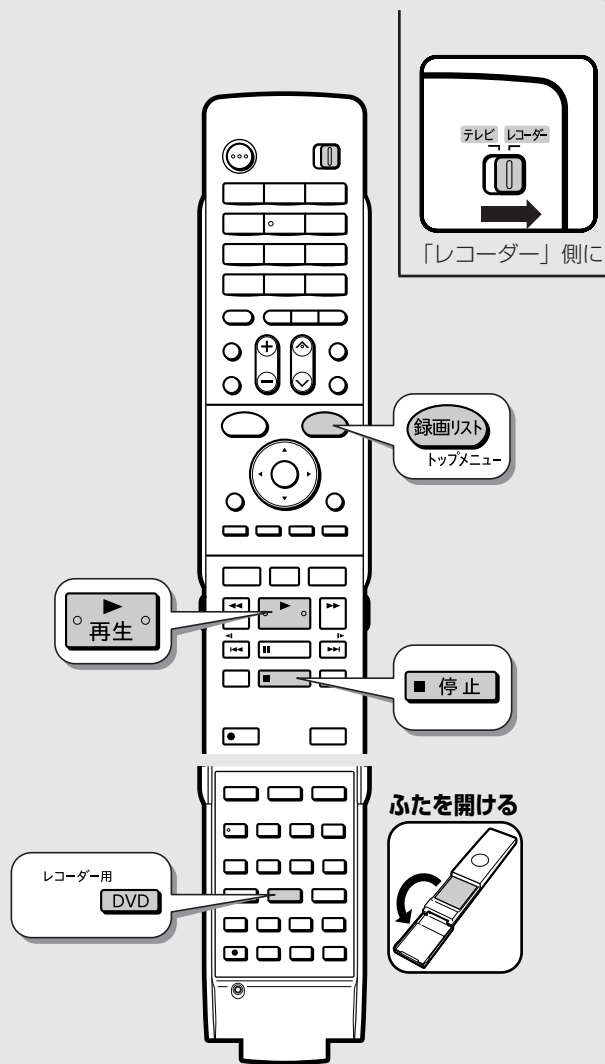
● 追いかけ再生中に録画禁止の映像になったときや録画が12時間以上続いたときは、追いかけ再生用の録画が停止します。続きの映像を見るときは、録画リストから「つづき再生」（**87** ページ）をしてください。

● 追いかけ再生中に早送りサーチをしたとき、現在放送されている場面（録画中の画面）の手前になると追いかけ再生が解除され、録画中の画面に戻ります。録画中の画面に戻るタイミングは、早送りサーチのスピードや録画画質により異なります。

追いかけ再生中に一時停止した場合

● 見ている場面を一時停止した後、［再生］を押すと一時停止した場面から番組が再開し、現在放送中の場面を追いかけながら見ることができます。

● 一時停止した後に番組を最初から見たい場合で、番組の途中にチャプターマークがあるときは、［前］を何回か押すと最初に戻せます。

HDD HD / HDD SD	HDD VR XP SP LP EP	DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ	DVD-R VR / DVD-R ビデオ	市販の DVD ビデオ	音楽用 CD

録画しながら他のタイトルを再生する（同時録画再生）

録画をしながらすでに録画されている別のタイトルの再生を行うことができます。

HDD 録画中に DVD/CD を再生するには

1 DVD ディスク /CD をセットします

2 HDD 録画中に DVD（ふた内） 押す

3 録画リストを表示させます

4 録画リストで再生します 78ページ

HDD 録画中に HDD の他のタイトルを再生するには

1 HDD 録画中に 録画リスト（トップメニュー） 押す

2 録画リストで再生します 78ページ

ご注意

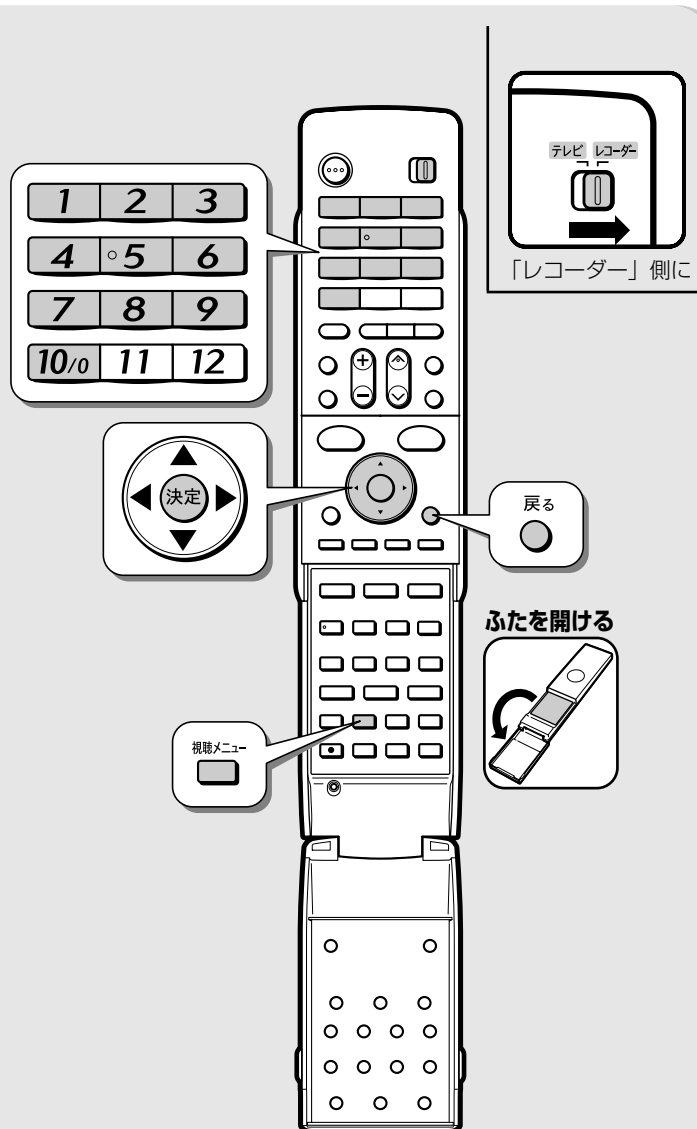
・HDD（ハードディスク）にデジタル放送をHD/SD以外の録画画質で録画しているときは、同時録画再生はできません。
・DVDディスクの再生中は、予約録画が開始されると再生は停止します。
・再生中に録画を開始することはできません。
・ダビング中は、別タイトルを同時再生することはできません。

お知らせ

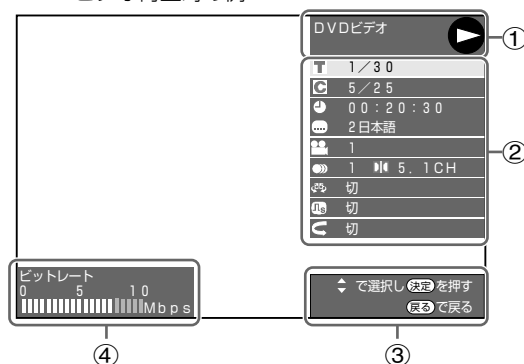
・同時録画再生をするときは、録画の状態によっては再生に影響が出る場合がありますが、録画は正常に行われます。
・重ね録りで録画した番組を再生中に、重ね録り設定されている予約が始まったときは再生が停止し、重ね録りされます。
・i.LINK 入力での録画中は、同時再生できません。

HDD HD / HDD SD / HDD VR XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

再生中に設定をする（視聴メニュー）

再生しながら視聴メニュー画面でまとめて設定を行うことができます。

1 再生中に

2 設定項目を選んで決定します

DVD ビデオ再生時の例

① **再生状態表示**
動作状態やHDD／DVD（ディスクの種類）。

② **設定項目（次ページ参照）**

③ **操作ガイド表示**

④ **ビットレート表示**
再生映像のデータ量。
HDD（ハードディスク）に「HD/SD（放送画質）」以外の録画画質で録画した番組やDVD再生時に表示します。

3 設定します（次ページ参照）

・画面の「操作ガイド」に従って操作してください。

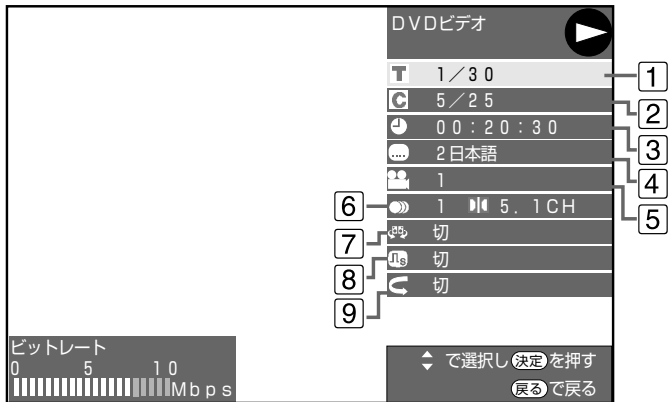
4 設定を終わるとき

ご注意

・DVDビデオ再生中に視聴メニュー画面にすると、DVDビデオ側の操作ができない場合があります。このような場合は視聴メニュー画面を消してください。

お知らせ

・市販のディスクによってはディスクメニューを使って機能を選択する場合や、視聴メニューでの機能が選択できないものがあります。ディスクの説明書をご覧ください。
・HDDに録画した場合で字幕の切り換えができるのは、デジタル放送をHD/SD 画質で録画した場合だけです。
・アングルや字幕などで「－－」と表示される場合は、そのディスクに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

■各設定項目について

●再生しているディスクによって設定できる項目は異なります。

1 タイトル（トラック）選択
●再生中のタイトル番号（CD再生中はトラック番号）が表示されます。番号を選択してタイトル（トラック）の頭出しができます。

2 チャプター選択
●再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。
●音楽用CDはチャプターがありません。

3 再生経過時間
●ディスクのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。

①「時」「分」「秒」を選びます

②時間を指定します

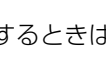
●リモコンの数字ボタン（1～10/0）で時間を指定することもできます。

4 字幕言語切換
●現在選ばれている字幕の種類が表示されます。
他の言語でも字幕が収録されている場合は、お好みの言語に切り換えられます。

5 アングル番号／映像切換
●現在選ばれているアングルの番号が表示されます。
複数のアングルが収録されている映像の場合は、アングルを切り換えて楽しめます。
●「アングルマーク表示」（**149**ページ）設定により、アングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマーク「 」を表示させるように設定することができます。

6 音声表示切換
●現在選ばれている音声の種類が表示されます。
吹き替え音声や二重音声が収録されている場合は、音声を切り換えて楽しめます。

7 ドルビーバーチャルサラウンド入／切設定
●ステレオタイプ（2ch）のテレビやオーディオ機器とアナログ接続して、サラウンド音声を楽しむ機能です。

8 デジタルスーパーピクチャー入／切設定
●映像の細かな部分や輪郭を強調してくっきりとさせることができます。３段階のレベルで設定できます。

①「入」を選びます

②レベルを設定します

●「切」にするときは で「切」を選びます。
●細かい映像などで、よりくっきりした映像を楽しみたいときは、 を押してシャープな映像に調整します。

9 リピート再生
●再生中のタイトル（チャプター）を繰り返し再生したり、部分的に繰り返し再生することができます。（**94**ページ）

メモ

ドルビーバーチャルサラウンドについて
●デジタル接続をしていても、次のような場合にはドルビーバーチャルサラウンドがはたらきます。
• DVDのリニアPCM音声を再生したとき。
•「デジタル音声出力設定」（**148**ページ）を「PCM」に設定した状態で、ドルビーデジタル音声を再生したとき
●ドルビーバーチャルサラウンドは下記の状態のときは働きません。
•「DVD音声出力レベル」（**148**ページ）が「シフト」に設定してあるとき
• VRフォーマットのDVD-RW/-Rで二ヶ国語（二重音声）放送をダビングしたディスク
• カラオケディスクのマルチカラオケ音声や、96kHz/24ビットリニアPCM音声、DTS音声
●ドルビーバーチャルサラウンドを「入」の状態でモノラル記録した音声を再生すると、音声が小さくなるなど聞きにくい場合があります。そのようなときは、「切」にしてお楽しみください。
●ドルビーバーチャルサラウンドを「入」にして再生中、音声が正常に聞こえない場合は「切」にしてください。

本機のドルビーバーチャルサラウンドは、スペシャライザー方式※を採用しています。
※「スペシャライザー」は、デスパー・プロダクツ社とのライセンス契約に基づき製造されています。Spatializer® N-2-2™と は、デスパー・プロダクツ社の商標です。

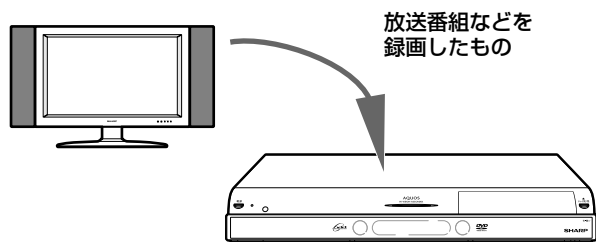
編集のあらまし

●「オリジナル」と「プレイリスト」について　・HDD（ハードディスク）の機能です

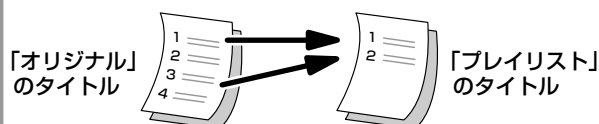
● 本機のHDD（ハードディスク）に録画した番組を編集できます。
● 編集のしかたには、「オリジナル」を編集する方法と、「プレイリスト」を作って編集する方法の2つがあります。

オリジナル

HDD（ハードディスク）に録画した番組を、「オリジナルのタイトル」と呼びます。

オリジナルのタイトルを編集すると、記録されている映像そのものが変化します。

プレイリスト

オリジナルのタイトル（録画した番組）からお気に入りの映像だけ集めたものを「プレイリスト」と呼びます。

プレイリストは、オリジナルのタイトルをどのような順序で再生するか、を記述したものです。そのため、プレイリストを編集しても記録されている映像自体（オリジナルのタイトル）に変化はありません。
プレイリストを作成できるのは、HDD（ハードディスク）のタイトルのみです。

●プレイリストを作るには　・HDD（ハードディスク）の機能です

● プレイリストを作るには、「タイトルを集めて作る方法」と、「お気に入りのシーンを集めて作る方法」の2つがあります。

タイトル（録画した番組）を集めて作る

録画したタイトルの中からお気に入りのタイトルを集めたり、タイトルの順番を入れ替えたりできます。

シーンを集めて作る

お気に入りのシーンなど、タイトルの中にある一部分の映像だけを集めることができます。

重要

次のタイトルは、編集できません。
- タイトル保護（**132**ページ）を設定したタイトル
- ダビング予約を設定したタイトル

次のタイトルは、プレイリストが作れません。
- HDD（ハードディスク）に録画画質「HD/SD（放送画質）」で録画したタイトル

編集したあとに、次のようなことがあります。
- チャプターマークの追加やシーン（部分）消去などの編集を行った場合、編集画面と実際に編集された画面では、多少のズレが発生する場合があります。

DVDディスクの編集はできません。
- DVD-RW/-Rディスクは、タイトル変更のみ行えます。
- ビデオフォーマットのDVD-RWディスクおよびDVD-Rディスクは、ファイナライズを行うとタイトル名変更が行えません。

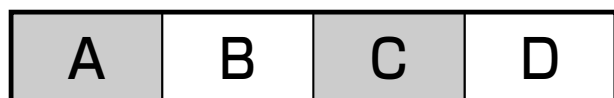
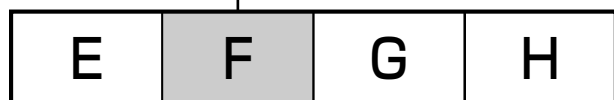
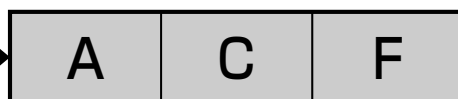
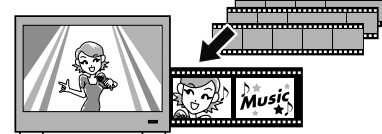
編集をする前にお読みください。HDD（ハードディスク）の編集には、以下の２つの方法があります。

オリジナル（録画した番組）を編集する

録画した番組を「オリジナルのタイトル」と呼びます。オリジナルのタイトルを編集すると、編集後は録画した映像そのものが変化します。

いらないシーンを消したい（コマーシャルを消すなど）	シーン（部分）消去 102ページ
指定の場面で区切りたい（頭出しをしやすくするなど）	チャプター（章）分割 104ページ
場面をつなぎたい	チャプター（章）結合 106ページ
画面リストの画面を変えたい（録画リストのタイトル一覧画面を好きなシーンに変更できます）	インデックス画面変更 108ページ

プレイリストを作って編集する

「オリジナルのタイトル」からお気に入りの映像を集めたものを「プレイリスト」と呼びます。プレイリストを作成して編集しても、オリジナルの映像は変化しません。プレイリストを作成できるのは、HDD（ハードディスク）のタイトルのみです。

- 上記の例のように録画したオリジナルのタイトルの中からお気に入りの映像（シーン）を集めてプレイリストを作る方法と、タイトルを集めてプレイリストを作る方法があります。
- オリジナルで編集できる項目(上記参照）に加えて、以下の編集ができます。

プレイリストを作成したい	プレイリストを作る 109ページ
プレイリストの最後に別シーンを入れたい	シーン（部分）追加 112ページ
プレイリストの順序を変えたい	タイトル移動 114ページ

確認
基本
視聴
録画・予約
再生
編集
ダビング
消去・管理
各種設定
ファミリンク
2番組同時録画
接続・設定
基本設定
こんなときは

必要のないシーン(CMなど)を消去する(シーン消去)

コマーシャルなど、いらないシーンを消去します。

ご注意

- タイトル保護（132ページ）を設定したタイトルまたはダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
- DVD ディスクのタイトルはシーン消去はできません。
- オリジナルから消したシーンは復活できませんので、消す内容を確認し十分に注意して操作してください。（プレイリストから消去した場合は、オリジナルの映像に変化はありません。）
- オリジナルのシーンを消す場合でプレイリストにもそのシーンが含まれているときは、プレイリストからもそのシーンが消えます。（プレイリストのチャプターマークの位置がずれることがあります。）
- 編集画面と実際に編集された画面では、多少のズレが発生する場合があります。
- 編集した映像のつなぎ目が 1 秒程度ずれたり、静止画となる場合があります。
- i.LINK 入力録画が始まると、編集が中断します。

お知らせ

- シーン消去のイメージです。

消去開始地点
消去終了地点
消去前
本編 CM 本編 CM 本編 CM 本編
消去後
本編 本編 本編 本編 本

- シーン消去は、1 タイトルあたり 50 回まで行えます。
- シーン消去ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」（250 ページ）をご覧ください。

1 テレビと本機の準備をします

35 ページ

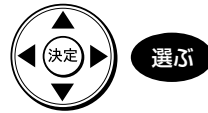
2 HDD モードを選びます

（ふた内）

3 録画リスト画面を表示させます

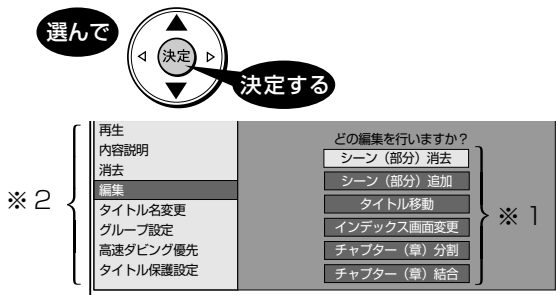
4 オリジナルまたはプレイリストを選びます

⇨オリジナル←→プレイリスト を選択

5 編集したいタイトル（録画した番組）を選びます

（例：オリジナル選択画面）

6 機能メニューを表示させます

7 「編集」を選んで決定します

8 「シーン(部分)消去」を選んで決定します

※1オリジナルの場合は、「シーン（部分）追加」と「タイトル移動」は表示されません。

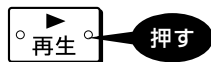
※2プレイリストでは、機能メニューとして「再生」「消去」「編集」「タイトル名変更」が表示されます。

※2HD/SD録画画質のタイトルを選んだときは、「高速ダビング優先」は表示されません。

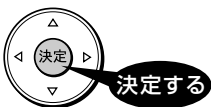
9 再生を始めます

・シーンを探すときに便利なボタン

早戻し、早送り、10秒戻し、30秒送り／前 または 次／（チャプター移動）

青（10分戻し）／黄（10分送り）

10 編集シーンの開始地点で一時停止させます

- 早送り中、早戻し中は 再生 を押してから 一時停止 を押します。
  開始地点がずれたときは、前（コマ戻し）または、次（コマ送り）を押して設定します。
- 細かく設定したい場合 111ページ「メモ」

11 開始地点を決定します

編集開始線

・戻る を押すと選び直せます。

12 9 10 11と同様の操作で終了地点を選んで決定します

⇨再生中のタイトルが一時停止します。

・戻る を押すと選び直せます。

13 事前に編集結果を確認できます

14 「する」を選んで決定します

⇨指定範囲の消去実行

・「しない」を選ぶと終了地点を選び直せます。

15 「終了」を選んで決定します

⇨編集選択画面に戻る

・同じタイトル内でさらに消去を行う場合は 継続 を選んでください。

16 編集を終了します

メモ

- 「緑 編集取消」が表示されているときは、緑 を押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。
- 編集範囲を細かく設定したい場合は、111ページ「メモ」

確認 基本 視聴 録画・予約 再生 編集 ダビング 消去・管理 各種設定 ファミリンク 2番組同時録画 接続・設定 基本設定 こんなときは

HDD HD HDD SD HDD VR XP SP LP EP DVD-RW VR DVD-RW ビデオ DVD-R VR DVD-R ビデオ 市販の DVD ビデオ 音楽用 CD

タイトルを途中で区切る（チャプター分割）

検索や編集に便利なようにチャプター(章）マークを追加して分割することができます。

お知らせ

- この操作で追加されるチャプターマークは、再生・録画中に追加するチャプターマークと同じ機能です。
- チャプターとチャプターの間隔は3秒以上あけてください。3秒以内の場合は分割できません。
- チャプター（章）分割ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」（**250**ページ）をご覧ください。

1 編集したいタイトル（録画した番組）を選び、機能メニューを選びます

102ページ 1 ～ 6 参照

2 「編集」を選んで決定します

	どの編集を行いますか？
再生	シーン（部分）消去
内容説明	シーン（部分）追加
消去	タイトル移動
編集	インデックス画面変更
タイトル名変更	チャプター（章）分割
グループ設定	チャプター（章）結合
高速ダビング優先	
タイトル保護設定	

※プレイリストでは、機能メニューとして「再生」「消去」「編集」「タイトル名変更」が表示されます。

3 「チャプター（章）分割」を選んで決定します

	どの編集を行いますか？
再生	シーン（部分）消去
内容説明	シーン（部分）追加
消去	タイトル移動
編集	インデックス画面変更
タイトル名変更	チャプター（章）分割
グループ設定	チャプター（章）結合
高速ダビング優先	
タイトル保護設定	

※オリジナルの場合は、「シーン（部分）追加」と「タイトル移動」は表示されません。

ご注意

- DVDディスクのタイトルは、チャプター分割ができません。
- 以下の数を超えてチャプターを追加することはできません。
  HDD(ハードディスク）にHD/SD画質で録画したタイトル：4000
  HDD(ハードディスク）にHD/SD以外の画質で録画したタイトル：4000
- 編集画面と実際に編集された画面では、多少のズレが発生する場合があります。
- i.LINK入力録画が始まると、編集が中断します。

メモ

- 「緑 編集取消」が表示されているときは、緑 を押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。
- 編集範囲を細かく設定したい場合は、**111**ページ「メモ」

4 再生を始めます

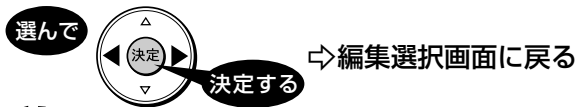
・シーンを探すときに便利なボタン
早戻し、早送り、10秒戻し、30秒送り／前 または 次／
（チャプター移動）
青（10分戻し）／黄（10分送り）

5 分割地点で一時停止させます

- 早送り中、早戻し中は 再生 を押してから 一時停止 を押します。
  開始地点がずれたときは、前（コマ戻し）または、次（コマ送り）を押して設定します。

6 チャプター分割を実行します

7 「終了」を選んで決定します

⇨編集選択画面に戻る

・同じタイトル内でさらにチャプター分割を行う場合は 継続 を選んでください。

8 編集を終了します

チャプター（章）をつなぐ（チャプター結合）

検索や編集に便利なように連続したチャプター（章）をつなぐことができます。

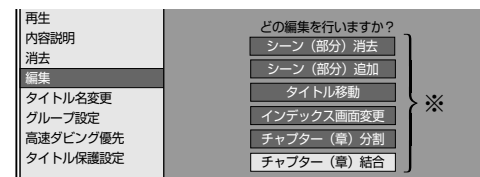
1 編集したいタイトル（録画した番組）を選び、機能メニューを選びます

102ページ 1 ～ 6 参照

2 「編集」を選んで決定します

※	どの編集を行いますか？
再生	シーン（部分）消去
内容説明	シーン（部分）追加
消去	タイトル移動
編集	インデックス画面変更
タイトル名変更	チャプター（章）分割
グループ設定	チャプター（章）結合
高速ダビング優先	
タイトル保護設定	

※プレイリストでは、機能メニューとして「再生」「消去」「編集」「タイトル名変更」が表示されます。

3 「チャプター（章）結合」を選んで決定します

	どの編集を行いますか？
再生	シーン（部分）消去 ※
内容説明	シーン（部分）追加 ※
消去	タイトル移動 ※
編集	インデックス画面変更
タイトル名変更	チャプター（章）分割
グループ設定	チャプター（章）結合
高速ダビング優先	
タイトル保護設定	

※オリジナルの場合は、「シーン（部分）追加」と「タイトル移動」は表示されません。

お知らせ

・チャプター結合のイメージです

・結合できるチャプターは、録画・再生中にリモコンボタンによって分割したチャプター、オートチャプター機能（**145**ページ）によって分割したチャプター、チャプター(章)分割（**104**ページ）により分割したチャプターです。
・チャプター（章）結合ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」（**250**ページ）をご覧ください。

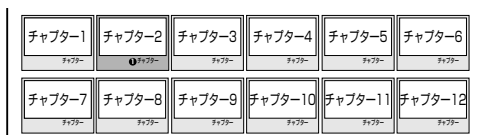
ご注意

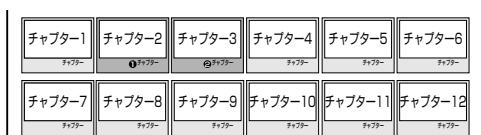
・タイトル保護（**132**ページ）を設定したタイトルまたはダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
・DVDディスクのタイトルは、チャプター結合ができません。
・シーン消去によって区切られたチャプターは結合できません。
・i.LINK入力録画が始まると、編集が中断します。

メモ

・「緑 編集取消」が表示されているときは、緑 を押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。

4 つなぎたいチャプターの1つ目を選んで決定します

チャプター1	チャプター2 ❶	チャプター3	チャプター4	チャプター5	チャプター6
チャプター7	チャプター8	チャプター9	チャプター10	チャプター11	チャプター12

5 同じように2つ目以降を選んで決定します（10個まで）

チャプター1	チャプター2 ❶	チャプター3 ❷	チャプター4	チャプター5	チャプター6
チャプター7	チャプター8	チャプター9	チャプター10	チャプター11	チャプター12

・選択したチャプターには、①②③…と番号が付きます。
・キャンセルするときは、もう一度 (決定) を押します。

6 チャプター結合を実行します

チャプター1	チャプター2	チャプター3	チャプター4	チャプター5	チャプター6
チャプター7	チャプター8	チャプター9	チャプター10	チャプター11	

7 編集を終了します

画面リストを好みの画像に変える（インデックス画面変更）

内容がわかりやすいよう、画面リストの小画面画像（インデックス画面）を変更できます。

ご注意

- タイトル保護（**132**ページ）を設定したタイトルまたはダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
- DVDディスクのタイトルは、インデックス画面を変更できません。
- i.LINK入力録画が始まると、編集が中断します。

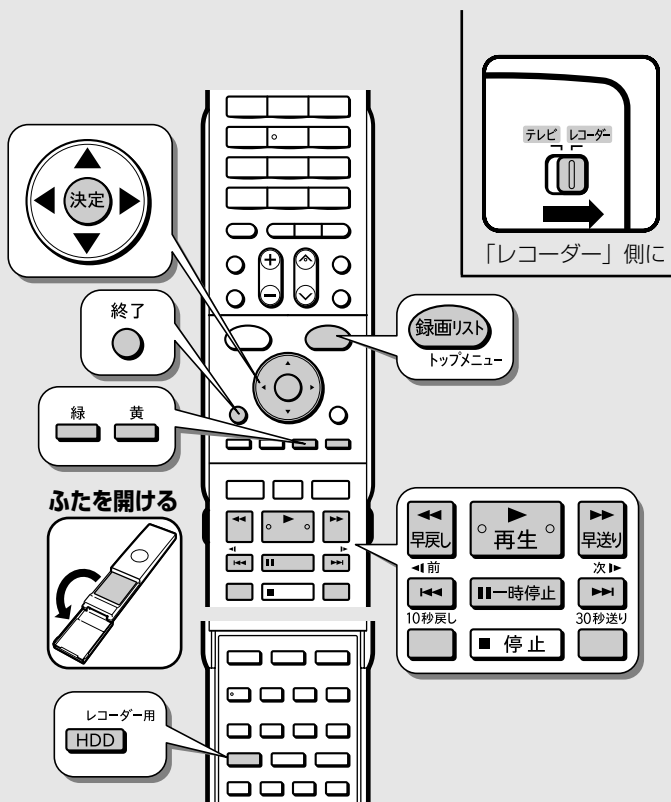
お知らせ

- インデックス画面は録画リストに表示される小画面です。

インデックス画面

- 編集したタイトル（録画した番組）をダビングすると、変更前のインデックス画面に戻ります。

メモ

- 「緑 編集取消」が表示されているときは、緑 を押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。
- 編集範囲を細かく設定したい場合は、111ページ「メモ」

1 編集したいタイトル（録画した番組）を選び、機能メニューを選びます

102ページ 1 ～ 6 参照

2 「編集」を選んで決定します

3 「インデックス画面変更」を選んで決定します

103ページ 8 参照

4 再生を始めます

・シーンを探すときに便利なボタン

早戻し、早送り、10秒戻し、30秒送り／前 または 次／（チャプター移動）

青（10分戻し）／黄（10分送り）

5 インデックス画面にしたいシーンで一時停止させます

- 早送り中、早戻し中は 再生 を押してから 一時停止 を押します。
  開始地点がずれたときは、前（コマ戻し）または、次（コマ送り）を押して設定します。
- 細かく設定したい場合 111ページ「メモ」

6 インデックス画面を決定します

7 「終了」を選んで決定します

⇨編集選択画面に戻る

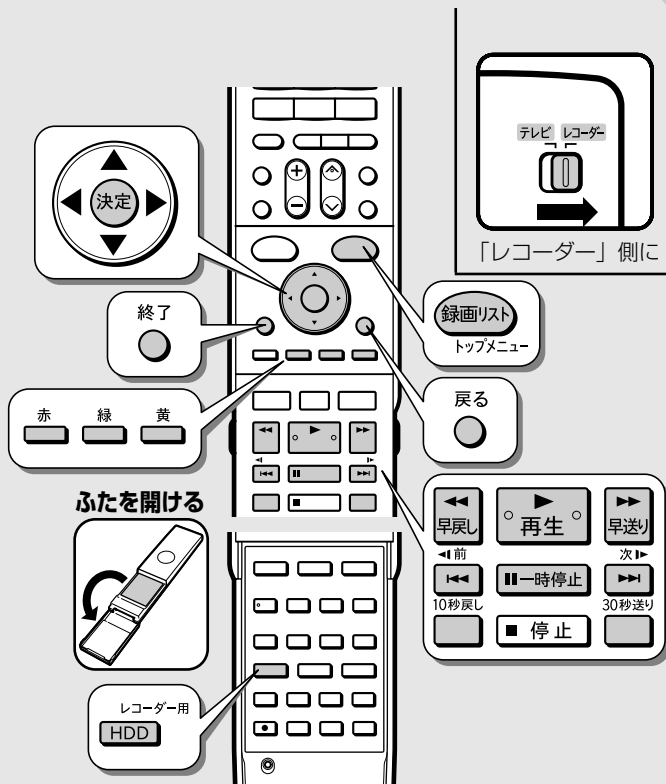
・シーンを選び直すときは 再設定 を選んでください。

8 編集を終了します

HDD HD / HDD SD / **HDD VR** XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

プレイリストを作る

タイトル（録画した番組）またはチャプターを選んで作る方法と、シーンを選んで作る方法があります。

ご注意

・HDD（ハードディスク）にHD/SD画質で録画したタイトルからはプレイリストが作れません。
・本機では、DVDディスクのタイトルからはプレイリストが作れません。
・999を超える数のプレイリストは作れません。
・プレイリストを作っても元のオリジナルのタイトルの内容は変化しませんが、オリジナルのタイトルを消去すると、プレイリストからもそのタイトルは消えます。（プレイリストのチャプターマークの位置がずれることがあります。）
・12時間を超えるプレイリストは、作成できません。

お知らせ

・オリジナルのタイトルに設定されているインデックス画面（録画リストでの小画面）やチャプターはプレイリストにはコピーされません。
・シーンを選ぶ際、3秒より短い範囲は選べません。

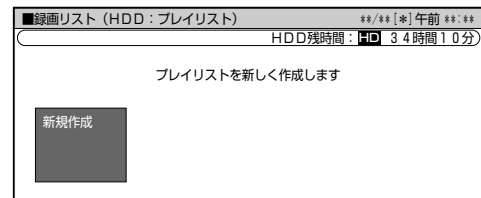
1 テレビと本機の準備をします

35ページ

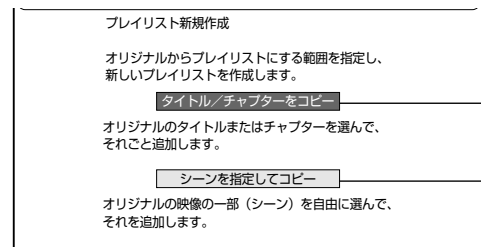
2 HDDモードを選びます

3 録画リスト画面を表示させます

78ページ

4 プレイリスト表示にします

5 「新規作成」を選んで決定します

・初めてプレイリストを作る場合は、最初から「新規作成」が選ばれた状態になっています。

6 作成方法を選んで決定します

タイトル／チャプターをコピー ▶

110ページ A へ

シーンを指定してコピー ▶

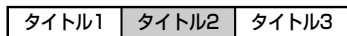
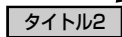
110ページ B へ

A タイトル/チャプターを選んでプレイリストを作るには

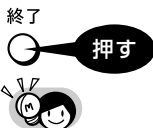
オリジナル

タイトル1	タイトル2	タイトル3

プレイリスト

タイトル2

1 プレイリストに移すタイトル（またはチャプター）を選んで決定します

・チャプターを選ぶ場合 赤 押す

2 作成を終了します

・複数のタイトル（録画した番組）をプレイリストに集める場合は、**109**ページからの操作をくり返してください。
・プレイリストに集めたタイトルの並び順を変更できます。（**114**ページ）

B シーンを指定してプレイリストを作るには

オリジナルのタイトル

プレイリスト

お気に入りのシーンを集める

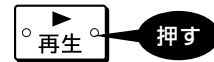
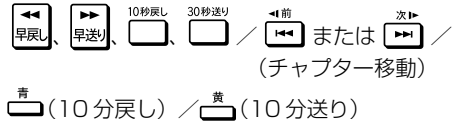
1 プレイリストに集めるシーンのあるタイトルを選んで決定します

番組1	番組2	番組3	番組4	番組5	番組6
番組7	番組8	番組9	番組10	番組11	番組12

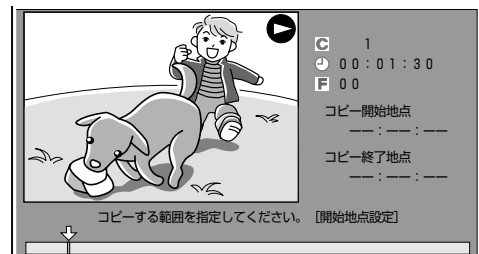
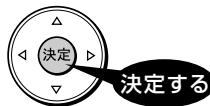
2 再生を始めます

・シーンを探すときに便利なボタン

（チャプター移動）

青（10分戻し）／黄（10分送り）

3 編集シーンの開始地点で一時停止させます

- 早送り中、早戻し中は 再生 を押してから 一時停止 を押します。
  開始地点がずれたときは、前（コマ戻し）または、次（コマ送り）を押して設定します。
- 細かく設定したい場合 111ページ「メモ」

4 開始地点を決定します

編集開始線

・戻る を押すと選び直せます。

5 2 3 4 と同様の操作で終了地点を選んで決定します

⇨再生中のタイトルが一時停止します。

6 事前に編集結果を確認できます

7 「する」を選んで決定します

⇨プレイリスト作成実行

・「しない」を選ぶと終了地点を選び直せます。

8 作成を終了します

メモ

■編集範囲を細かく設定したい場合（コマ送り）

映像は１秒当たり30フレーム（コマ）で記録されています。より細かく設定したいときは、範囲指定時にコマ送りによってフレーム単位で開始地点、終了地点のシーンを選んでください。

①開始地点 / 終了地点の手前で［一時停止］を押す

②

［次］または［前］を使ってコマ送りでシーンを呼び出す

・押すとコマ送りされます。
・２秒以上押すとスロー再生になります。

・チャプターの先頭付近に開始地点を指定しようとすると、先頭が開始地点に選ばれます。あるいは最後付近を終了地点に指定しようとすると最後が終了地点に選ばれます。このような場合、より細かく設定したい場合は「チャプター(章)結合」操作を行ってください。(**106**ページ)

・「高速ダビング設定」(**146**ページ) を「する」にして録画 / 予約録画したタイトル、「高速ダビング優先」(**68**ページ) を「する」で予約録画したタイトルは、フレーム（コマ）単位の細かいシーン指定ができません。このような場合、録画リストでタイトルを選んでから［黄］を押し、「機能メニュー」－「高速ダビング優先」を選んで「解除」に設定するとシーンを細かく選ぶことができるようになります。(高速ダビングの再設定はできませんのでご注意ください。)

■録画リストでのオリジナル/プレイリストの切り換え

オリジナル／プレイリストの表示

［緑］で切り換えます。

HDD HD / HDD SD / **HDD VR** XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

プレイリストにタイトル／シーンを追加する（シーン追加）

オリジナルのタイトル（チャプター）、シーンをプレイリストの最後に追加できます。

ご注意

- ・プレイリストのみの編集操作です。
- ・ダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
- ・編集画面と実際に編集された画面では、多少のズレが発生する場合があります。
- ・３秒より短いシーンは選べません。
- ・シーン（部分）追加ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」（**250** ページ）をご覧ください。
- ・他の機器で作られたDVDのプレイリストを見ることはできますが、タイトル／シーン追加をすることはできません。

お知らせ

- ・シーン追加のイメージです。

- ・１回の操作で追加できるのは１シーンです。
- ・HDD（ハードディスク）にHD/SD画質以外で録画したタイトルの場合、１タイトルあたり50回までシーンを追加できます。

1 プレイリストを表示させます

102ページ 1 ～ 4 参照

2 編集したいタイトルを選び、機能メニューを選びます

102ページ 5 ～ 6 参照

3 「編集」を選んで決定します

4 「シーン(部分)追加」を選んで決定します

106ページ 2 参照

5 作成方法を選んで決定します

- 「タイトル／チャプターを追加」か「シーンを指定して追加」を選んで決定してください。

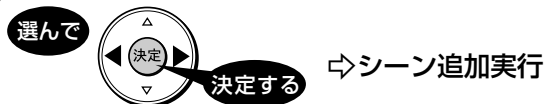
タイトル／チャプターを追加するには

1 追加したいタイトル（またはチャプター）を選んで決定します

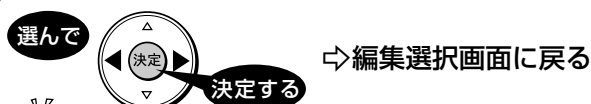
・チャプターを選ぶ場合

2 事前に編集結果を確認できます

3 「する」を選んで決定します

⇨シーン追加実行

・「しない」を選ぶとタイトルを選び直せます。

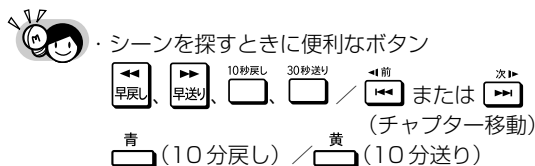
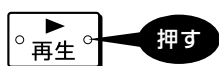
4 「終了」を選んで決定します

⇨編集選択画面に戻る

・さらにシーン追加を続ける場合は 継続 を選んでください。

5 編集を終了します

シーンを追加するには

1 追加したいシーンを含むタイトルを選んで決定します

番組1	番組2	番組3	番組4	番組5	番組6
番組7	番組8	番組9	番組10	番組11	番組12

2 再生を始めます

・シーンを探すときに便利なボタン
早戻し、早送り、10秒戻し、30秒送り／前 または 次（チャプター移動）
青（10分戻し）／黄（10分送り）

3 追加するシーンの開始地点で一時停止させます

- 早送り中、早戻し中は 再生 を押してから 一時停止 を押します。
  開始地点がずれたときは、前（コマ戻し）または、次（コマ送り）を押して設定します。
- 細かく設定したい場合 111ページ「メモ」

4 開始地点を決定します

編集開始線

・戻る を押すと選び直せます。

5 2 3 4 と同様の操作で終了地点を選んで決定します

⇨再生中のタイトルが一時停止します。

・戻る を押すと選び直せます。

6 事前に編集結果を確認できます

7 「する」を選んで決定します

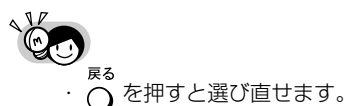
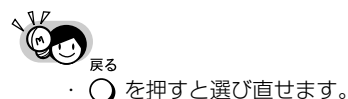
・「しない」を選ぶとタイトルを選び直せます。

8 「終了」を選んで決定します

⇨編集選択画面に戻る

・さらにシーン追加を続ける場合は 継続 を選んでください。

9 編集を終了します

メモ

- 「緑 編集取消」が表示されているときは、緑 を押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。
- 編集範囲を細かく設定したい場合は、111ページ「メモ」

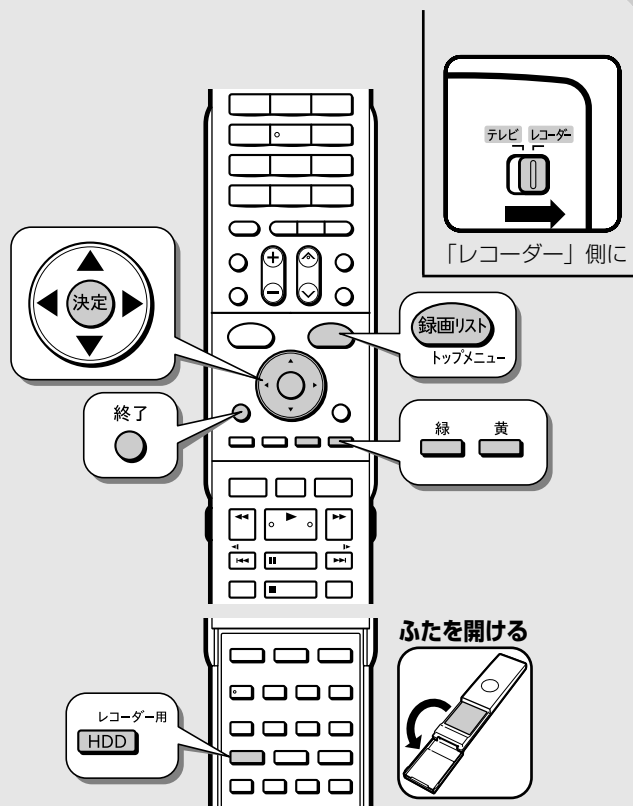
プレイリストのタイトル順を入れ換える(タイトル移動)

わかりやすいように、プレイリストのタイトルを好きな順に並べることができます。

・プレイリストのみの編集操作です。
・ダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
・DVD のプレイリストはタイトル移動はできません。

・タイトル移動のイメージです。

・「タイトル名リスト」でも「画面リスト」でも同じ手順で操作できます。

・「緑 編集取消」が表示されているときは、緑 を押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。

1 プレイリストを表示させます

102ページ 1 ~ 4 参照

2 編集したいタイトルを選び、機能メニューを選びます

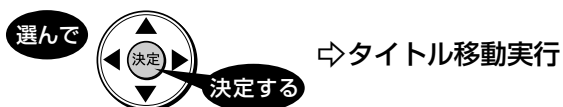
102ページ 5 ~ 6 参照

3 「編集」を選んで決定します

4 「タイトル移動」を選んで決定します

103ページ 8 参照

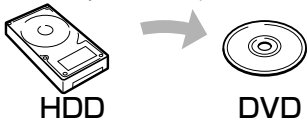
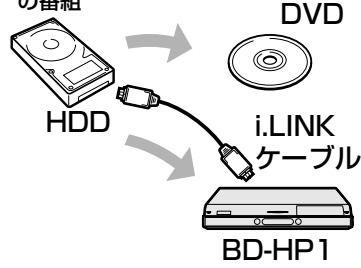
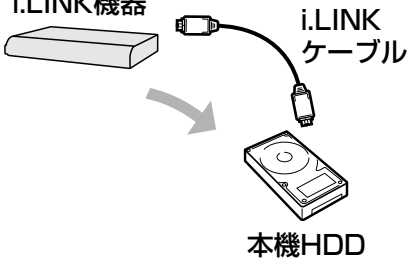
5 移動先を選んで決定します

⇨タイトル移動実行

●編集したいタイトルよりも前の位置を選ぶと、選んだタイトルの直前に移動します。

例：番組6を番組3と番組4の間に移動したいときは番組４を選びます。

●編集したいタイトルよりも後ろの位置を選ぶと、選んだタイトルの直後に移動します。

例：番組6を番組9と番組10の間に移動したいときは番組９を選びます。

6 編集を終了します

ダビングのあらまし

ダビングしてタイトル（録画した番組）を残すことができます。操作をする前にお読みください。

ダビング操作の種類

ダビング 	● HDD（ハードディスク）に録画した番組（オリジナルのタイトル）をDVDディスクにダビングできます。 ● HDDのタイトルから編集で作ったプレイリストのタイトルをDVDディスクにダビングできます。 ＊デジタル放送（1回だけ録画可能の番組）は、プレイリストからのダビングができません。
移動（ムーブ） 	● HDD（ハードディスク）に録画したデジタル放送の「1回だけ録画可能」の番組をDVDディスク※1またはシャープ製BDプレーヤー「BD-HP1」※2にダビングすると、移動（ムーブ）となり、HDDからオリジナルのタイトルは消去されます。 ダビングに使用するディスクについて ※1　VRフォーマットのDVD-RW Ver.1.1/1.1以降（CPRM対応）をお使いください。 VRフォーマットのDVD-R Ver.2.0/2.0以降（CPRM対応）をお使いください。 ビデオフォーマットのDVDには移動(ムーブ）できません。 ※1　デジタル放送（1回だけ録画可能の番組）は、プレイリストからのダビングができません。 i.LINK接続でダビングできる機器 ※2　当社製ブルーレイディスク機 2007年7月現在、ダビングできるディスクはBD-RE Ver2.1ディスクです。
 	i.LINK（TS）出力できるi.LINK機器（シャープ製ハイビジョンレコーダー）に録画した番組（オリジナルのタイトル）を本機HDD（ハードディスク）へダビング（ムーブ）できます。

ご注意

・あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
・ダビングに使えるディスクはDVD-RWディスクとDVD-Rディスクです。
・本機以外で録画したディスクはダビングできない場合があります。
・本機ではDVDディスクからHDD(ハードディスク)へのダビングはできません。

お知らせ

・移動(ムーブ)を途中で停止すると、停止したところまでがHDDから消去されます。
・「1回だけ録画可能」の番組をダビング(移動)したディスクは、CPRMに対応していないDVDプレーヤーでは再生できません。
・「1回だけ録画可能」の番組をダビング(移動)したDVD-Rディスクを再生できるのは、DVD-R(VRフォーマット)に対応したDVDプレーヤーです。

ダビングができる組み合わせ

HDD から→ DVD へのダビング

■「録画可能」のタイトル(オリジナル)

●タイトルの録画画質とDVDのフォーマットによって、実行できるダビングは異なります。

録画画質「HD/SD(AUTO)」
●高速ダビング　　　　：×
●録画画質変換ダビング：○

録画画質「XP/SP/LP/EP/MN」
●高速ダビング　　　　：○
●録画画質変換ダビング：○

録画画質「HD/SD(AUTO)」
●高速ダビング　　　　：×
●録画画質変換ダビング：○

録画画質「XP/SP/LP/EP/MN」
●高速ダビング　　　　：○※
●録画画質変換ダビング：○

※録画時　　：「高速ダビング設定」(**146**ページ)を「する」に設定した場合。
予約録画時：「高速ダビング優先」(**68**ページ)または「高速ダビング設定」(**146**ページ)を「する」に設定した場合。

■「1回だけ録画可能」のタイトル(オリジナル)

●タイトルの録画画質とDVDのフォーマットによって、実行できるダビングは異なります。

録画画質「HD/SD(AUTO)」
●高速ダビング　　　　：×
●録画画質変換ダビング：○

録画画質「XP/SP/LP/EP/MN」
●高速ダビング　　　　：○
●録画画質変換ダビング：○

録画画質「HD/SD(AUTO)」
●高速ダビング　　　　：×
●録画画質変換ダビング：×

録画画質「XP/SP/LP/EP/MN」
●高速ダビング　　　　：×
●録画画質変換ダビング：×

■ プレイリスト

●「録画可能」のタイトルのみダビングできます。(「1回だけ録画可能」のタイトルはダビングできません。)
●DVDのフォーマットによって、実行できるダビングは異なります。
●HDDに録画画質「HD/SD」で録画したタイトルは、プレイリストが作成できませんので、プレイリストからのダビングはできません。

録画画質「XP/SP/LP/EP/MN」
●高速ダビング　　　　：○
●録画画質変換ダビング：○

録画画質「XP/SP/LP/EP/MN」
●高速ダビング　　　　：×
●録画画質変換ダビング：○

重要

●ダビングには、DVD-RWまたはDVD-Rをお使いください。
●「1回だけ録画可能」の番組をHDD(ハードディスク)からDVDにダビングするときは次のディスクをお使いください。
　VRフォーマットのDVD-RW　[Ver.1.1/1.1以降(CPRM対応)]
　VRフォーマットのDVD-R　[Ver.2.0/2.0以降(CPRM対応)]

本機 HDD から→ i.LINK 機器へのダビング

●HDD（ハードディスク）からシャープ製 BD プレーヤー「BD-HP1」にダビングできるタイトルは、録画画質「HD/SD」で録画したタイトル（デジタル放送番組）だけです。録画画質「HD/SD」以外で録画したタイトルはダビングできません。

● 高速ダビング：×

i.LINK 機器 から→本機 HDD へのダビング

●本機の HDD へダビングできる i.LINK 機器は i.LINK（TS）出力できるシャープ製ハイビジョンレコーダーです。

お知らせ

・「1 回だけ録画可能」の番組を本機のHDD（ハードディスク）からDVDディスクや「BD-HP1」、へダビングしたとき、HDD のタイトルは DVD ディスクや「BD-HP1」への移動（ムーブ）となり、HDD からは消去されます。
　また、ダビングを途中で停止（中断）したときは、停止したところまでがHDDから消去されます。再度ダビングを始めたときは、残りの部分が別タイトルとしてダビングされます。（ただし、中断した地点と再度ダビングを始めた部分は、多少ずれることがあります。）
・「1 回だけ録画可能」の番組を本機で録画・ダビングしたディスクは、CPRM に対応していない DVDプレーヤーでは再生できません。DVD-Rに録画・ダビングしたディスクを再生できるのは、DVD-R（VR フォーマット）に対応した DVD プレーヤーです。

本機のHDD（ハードディスク）

・DVDディスク
・BDプレーヤー「BD-HP1」

「録画可能」の番組を DVD（ビデオフォーマット）に高速ダビングしたいときは

●ダビングしたいタイトルを HDD（ハードディスク）に録画する前に、高速ダビングの設定をしておく必要があります。
- 番組をすぐに HDD に録画をするときは、録画の前に「高速ダビング設定」（**146** ページ）を「する」に設定しておく必要があります。
- HDD に予約録画をするときは、予約の詳細設定で「高速ダビング優先」（**68** ページ）を「する」に設定しておく必要があります。（「高速ダビング設定」を「する」にしている場合は、この設定は必要ありません。）

※ HDD にデジタル放送を録画画質「AUTO（HD/SD）」で録画したタイトルは、高速ダビングできません。録画画質変換ダビングを行ってください。

お知らせ

■DVD-R DL（2 層）ディスクについて
・ビデオフォーマットの DVD-R DL（2 層）ディスクで、1 層から2層にまたがるダビングをした場合、それぞれが別タイトルとして記録されます。
・VR フォーマットの DVD-R DL（2 層）ディスクの場合、連続でダビングできる時間は最大 9 時間です。

■二重音声放送のダビングについて
・ビデオフォーマットの DVD ディスクにダビングすると、1 つの音声しか記録できません。主音声・副音声のどちらを記録するかを「二ヶ国語音声設定」で選んでください。（**145** ページ）
・VR フォーマットのDVDディスクには主音声・副音声の両方が記録できますが、「音声記録方式設定」が「リニア PCM」設定で（**145** ページ）録画画質「XP」でダビングする場合には、1 つの音声しか記録できません。どちらを記録するかを「二ヶ国語音声設定」で選んでください。（**145** ページ）
・二重音声放送を記録したタイトルを録画画質変換ダビングすると、次のようになります。
　ダビング中の音声は主音声と副音声が混ざって聞こえます。ダビングが終わるまで主音声と副音声が切り換えられません。

■ほかのDVDレコーダーで編集したディスクについて
・チャプターが 999 以上あると、本機ではダビングができません。
・1 タイトルあたり 51 回以上シーンの追加や消去を行ったディスクは、本機ではダビングができない場合があります。
・ディスク保護が設定されていると、本機ではダビングができません。
・他機で長時間録画したディスクはダビングができなくなる場合があります。

・推奨ディスクなど DVD ディスクについて詳しくは、**240** ページ
・「 1 回だけ録画可能」のデジタル放送番組をダビングするには、CPRM 対応のディスクを VR フォーマットしてお使いください。

ダビングの種類とダビングにかかる時間

高速ダビング（きれいな画質のままでダビングできます）

●ダビング元の録画画質を落とさずにダビングできます。
●元の映像よりも短い時間でダビングできます。
●録画画質の選択やジャストダビングの設定はできません。

高速ダビングにかかる時間

●録画するときに設定した録画画質、番組の長さ、ディスクの種類によって、かかる時間が異なります。

例：1 時間番組をHDD（ハードディスク）から 8 倍速のDVD-R ディスクへ高速ダビングしたときのめやす

録画画質 / ダビングの種類（ダビングスピード）	XP（高画質）	SP（標準画質）	LP（2倍長時間）	EP（3倍長時間）	MN01（4倍長時間）
高速ダビング（最大約65倍速）	約8倍速 約8分	約16倍速 約3分50秒	約32倍速 約2分	約48倍速 約1分20秒	約65倍速 約55秒
高速ダビング（最大約16倍速）	約2倍速 約30分	約4倍速 約15分	約8倍速 約7分30秒	約12倍速 約5分	約16倍速 約3分45秒

・高速ダビング（最大約65倍速）のダビング速度は録画画質「XP（高画質）」で約 8 倍速、「MN01」で約 65 倍速となります。
・16倍速のDVD-Rディスクを使用しても、ダビング速度は録画画質「XP（高画質）」で約 8 倍速、「MN01」で約 65 倍速となります。
・8 倍速のDVD-R DL（2層）ディスクの場合、ダビング速度は録画画質「XP（高画質）」で 2 倍速、「MN01」で約 16 倍速となります。
・未使用の2倍速以上のDVD-RWディスクを他のDVDレコーダーで初期化したときは、高速ダビングを選んだ場合でも 1 倍速のダビング速度となる場合があります。
・ダビング予約の際は、高速ダビングの場合でもダビング元タイトルの時間ぶんの予約時間が必要です。その時間と重複した他の予約はできません。

※録画画質、録画した番組の長さ、ディスクによっては、上記の時間よりも長くかかる場合があります。

録画画質変換ダビング（記録時間を優先してダビングできます）

●長時間のタイトル（録画した番組）などを 1 枚のディスクに入れたいときにおすすめです。
●録画時間を変えてダビングできます。
●元の映像より高画質にはなりません。
●画質の選択に迷ったときは、「**ジャストダビング**」がおすすめです。

録画画質変換ダビングにかかる時間

●元の映像と同じ時間がかかります。

ジャストダビング（123 ページ）

●DVD へダビングするときに働く機能です。
●ディスクの残量を調べて録画画質を自動で設定します。

お知らせ

・HDD（ハードディスク）からビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクに 16：9（ワイド）の番組をダビングすると、映像が縦長に見えることがあります。このようなときは、再生時にテレビ側の設定を変更してください。設定のしかたはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
・「ドルビーバーチャルサラウンド」（**99**ページ）は「切」の状態でダビングされます。
「DVD 音声出力レベル」（**148** ページ）は「ノーマル」の状態でダビングされます。
・ダビング元の番組とダビング先の番組は、チャプターマークの位置が少しずれることがあります。

タイトルといっしょにダビングされる内容

●ダビングすると、「タイトル名※」「チャプターマーク※」が記録されます。ダビング元の録画した日時はダビングした日時に変わります。
●ダビング元の「インデックス画面」は記録されません。

※タイトル名について

●DVD にダビングしたとき、コピーされるタイトル名は 32 文字です。

※チャプターマークについて

●HDD から DVD（ビデオフォーマット）の録画画質変換ダビングでは、ダビング元のチャプターマークはコピーされません。
●HDD から DVD（ビデオフォーマット）の高速ダビングでは、1 タイトルあたり最大 99 個までチャプターをコピーできます。

お知らせ

・電子番組表を使って HDD（ハードディスク）に録画した番組を DVD ディスクにダビングしたとき、
二 ス 文 Ⅱ などの表示がタイトル名の欄に表示されませんが、故障ではありません。（「＊」表示となります。）
・編集などでインデックス画面を変更しているタイトルをダビングした場合は、ダビング後のインデックス画面は、変更前のインデックス画面に戻ります。

ダビングの制限事項

次のようなときはダビングできません

- 録画中、予約録画中、または再生中は、ダビングができません。
- HDD（ハードディスク）に録画画質「HD/SD（放送画質）」で録画したタイトルと「HD/SD」以外の録画画質で録画したタイトルが、それぞれ999タイトル（または、それぞれに4000チャプター）が録画されている場合、HDDにはダビングできません。（「HD/SD」で録画したタイトルは、1タイトルあたり最大99チャプター、「HD/SD」以外で録画したタイトルは999チャプターまでとなります。）
- DVDディスクに99タイトル（または999チャプター）がダビングされている場合、そのDVDディスクにはダビングできません。
- 「DVDディスク保護」（**133**ページ）が「保護する」に設定されているDVDディスクにはダビングできません。
- **本機は、DVDディスクからHDDにはダビングできません。**

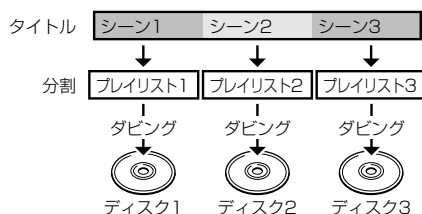
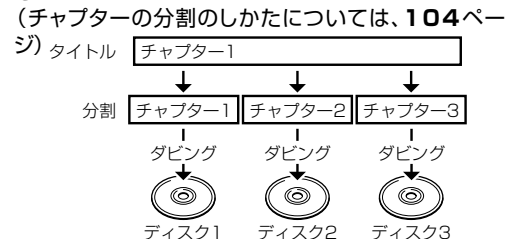
ダビング時の映像や音声について

- 二重音声放送を記録したタイトルを録画画質変換ダビングすると、次のようになります。
  - ダビング中の音声は主音声と副音声が混ざって聞こえます。ダビングが終わるまで主音声と副音声が切り換えられません。
  - ビデオフォーマットのDVDディスクにダビングしたときは、「二ヶ国語音声設定」（**145**ページ）で設定した音声（主音声または副音声）のどちらかがダビングされます。
- 高速ダビング中にダビング中の映像は見られません。（放送中の映像になります。）
- 録画画質変換ダビング中は、ダビング中の映像が見られます。ただし、放送は視聴できません。
- ビデオフォーマットのDVD-R DL（2層）ディスクに1層目と2層目にまたがる長時間番組を録画画質変換ダビングしたとき、1層目と2層目は別のタイトルとしてダビングされます。（高速ダビングしたときは1つのタイトルとなります。）
- VRフォーマットのDVD-R DL（2層）ディスクは、ダビングが9時間を超えるとダビングを中止します。
- HDDに録画したマルチビューサービス放送（マルチ音声やステレオ二ヶ国語放送）をDVDディスクにダビングすると、主の放送（主音声）がダビングされます。

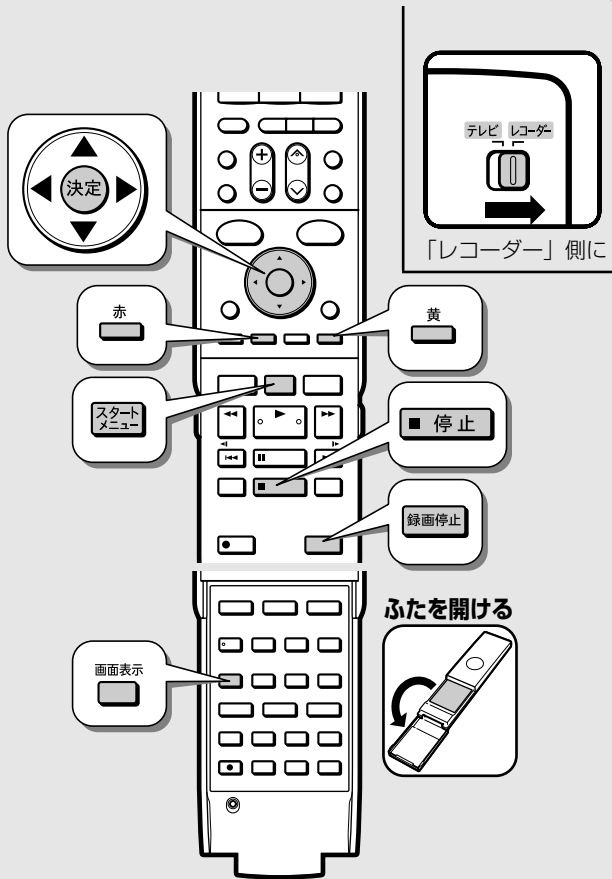
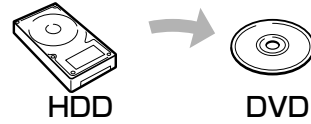
HDDに録画したタイトルを何枚かのDVDディスクに分けてダビングする場合

- 1時間以上のタイトル（録画した番組）や高画質で録画した番組をHDD（ハードディスク）からDVDディスクにダビングする場合、1枚のDVDディスクに記録しきれないことがあります。そのときは、何枚かのDVDディスクに分けてダビングします。
- 何枚かのDVDディスクに分けてダビングするためには、1つのタイトルを1枚のDVDディスクに記録できる長さに分割する必要があります。次のどちらかの方法でタイトルを分割し、ダビングしてください。

シーンからプレイリストを作り、プレイリスト単位でダビングする（プレイリストの作りかたについては、**109～111**ページ）

タイトル　シーン1　シーン2　シーン3
分割　プレイリスト1　プレイリスト2　プレイリスト3
ダビング　ダビング　ダビング
ディスク1　ディスク2　ディスク3

チャプターを分割し、チャプター単位でダビングする
（チャプターの分割のしかたについては、**104**ページ）

- 録画画質を設定してダビングしたいときは、ジャストダビング以外の録画画質に設定してください。
- 「1回だけ録画可能」の番組は、録画画質「HD/SD（放送画質）」で録画したタイトルに限りチャプター単位でのダビングが行えます。
- 「HD/SD（放送画質）」以外の録画画質で録画した「1回だけ録画可能」の番組を何枚かのディスクに分けてダビングするときは、手動でダビングを停止してください。
- アナログ放送は、プレイリストからのダビングとチャプターからのダビングができます。

HDD から DVD へダビングする（らくらくダビング）

HDD（ハードディスク）から DVD へかんたんな操作でダビングできます。
（DVD から HDD（ハードディスク）へのダビングはできません。）

1 テレビと本機の準備をします

35 ページ

2 録画用の DVD ディスクをセットします

録画されていないディスクをセットしたとき ⇨ **3** へ

ディスクの種類によって次のような手順で初期化が行われます。デジタル番組をダビングするときは VR フォーマットで初期化してください。

CPRM 対応の DVD-RW ディスク
- VR フォーマットで自動初期化されます。

CPRM 非対応の DVD-RW ディスク
- VR フォーマットで自動初期化されます。（工場出荷時の設定）

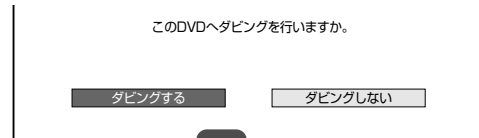
CPRM 対応の DVD-R ディスク
- 「初期化する」を選ぶと VR フォーマットで初期化されます。
- 「初期化しない」を選ぶとビデオフォーマットとなります。

CPRM 非対応の DVD-R ディスク
- ビデオフォーマットでダビングされます。VR フォーマットでダビングしたい場合は、あらかじめ初期化の操作を行ってください。

すでに録画しているディスクに追加でダビングするとき ⇨ **4** へ

3 「ダビングする」を選びます

このDVDへダビングを行いますか。

ダビングする　ダビングしない

⇨ タイトル選択 **7** へ

4 スタートメニューを表示させます

スタート メニュー — 押す ⇨ スタートメニュー表示

- HDD（ハードディスク）からDVDディスクにダビングすると、5.1ch サラウンドやマルチ音声などの番組は、2ch の音声になります。（サラウンド音声はステレオ音声になります。）
- HDD（ハードディスク）から DVD ディスクにダビングしたとき、映像信号とは別に放送されている字幕のある番組の場合、字幕はダビングされません。
- HDD（ハードディスク）に録画画質「HD/SD（放送画質）」で録画したタイトルは DVD ディスクに高速ダビングできません。
- 「1 回だけ録画可能」のタイトルは、録画画質「HD/SD（放送画質）」で録画したタイトルに限りチャプター単位でダビングできます。
- HDD（ハードディスク）では全角 40 字までのタイトル名が付けられますが、DVD へダビングすると 32 文字までとなります。
- 本機では、DVD ディスクからHDD（ハードディスク）へのダビングはできません。
- 未使用のDVD-RWディスクをセットしたときに行われる自動初期化は、工場出荷時は「VR フォーマット」に設定されています。「スタートメニュー」-「各種設定」-「録画機能設定」-「DVD 自動初期化設定」で「ビデオフォーマット」に変更できます。（**146** ページ）

5 「ダビング」を選んで決定します

i.LINK 機器を接続したことがない場合

6 「HDD → DVD」を選んで決定します

ダビング先を選択してください。

HDD ➡ DVD

HDD ⇨ i.LINK

- 録画リストが表示されます。

7 ダビングしたいタイトルを選びます

1 つのタイトルをダビングしたいとき

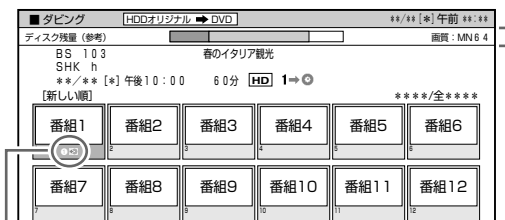
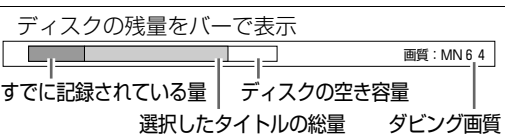
ダビングしたいタイトルを選んで決定します。

複数のタイトルをダビングしたいとき

1. ダビングしたいタイトルを選んで 黄 を押し決定します。
   - これを繰り返して 10 タイトルまで選べます。（選んだ順にダビングされます。）

（1タイトル決定）

2. 複数のタイトルの選択が終わったら、決定を押します。

タイトル選択の操作例

選んだタイトルには、番号とダビングマーク「① 」が付きます。

- 必要に応じてオリジナル／プレイリストやタイトルリスト／チャプターリストに切り換えてください。
- 黄 を押すたびにダビング選択 ⟷ ダビング解除となります。
- チャプターは、同一タイトル内のみ選べます。（他のタイトルのチャプターは選べません。）

■選んだタイトルがそのままの画質でダビングできる時
⇨122 ページ 9 の画面になります。

■選んだタイトルがそのままの画質でダビングできない時はジャストダビングになります
⇨122 ページ 8 の画面になります。

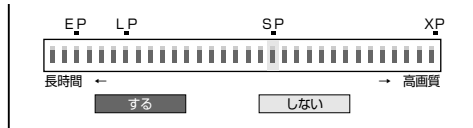
ジャストダビングとは

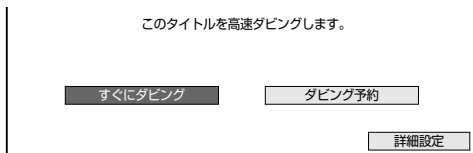
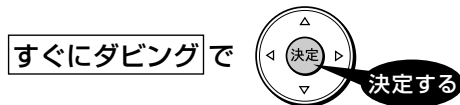
・選んだタイトルをダビングする際、DVDディスクの残時間が足りないときに、1 枚のディスクに記録できる録画画質を選択しダビングする機能です。

確認 基本 視聴 録画・予約 再生 編集 ダビング 消去・管理 各種設定 ファミリンク 2番組同時録画 接続・設定 基本設定 こんなときは

次ページへつづく

8 選んだタイトルがジャストダビングとなるとき

- 確認画面が表示されます。

- 「する」を選ぶと 9 のダビング開始画面になります。
- 「しない」を選ぶとタイトル選択画面に戻ります。

9 ダビングをいつ開始するかを決定します

すぐにダビング で 決定する

- 表示されるメッセージはダビングされる状態に合わせた文章となります。
- 「すぐにダビング」で決定すると、ダビングが開始されます。
- ダビング予約について 128 ページ

高速ダビング

- ダビングするタイトルが、すべて高速ダビング可能な場合（**123** ページ）、自動的に高速ダビングになります。

録画画質変換ダビング

- 次の場合は、録画画質変換ダビングになります。
  - 高速ダビングできないタイトルがある場合

詳細設定

- 「詳細設定」を選択すると、ダビングの種類やダビング画質をご自身で設定できます（**123** ページ）。

メモ

・HDD（ハードディスク）から DVD ディスクにダビングするとき、「1 回だけ録画可能」の番組は、ダビングされた部分がダビング元から消去されます。

ダビング中の表示を消したいとき

・再度押すと表示します。

ダビングを途中で止めるとき

ダビング中にディスクがいっぱいになったときは

・ダビングしている途中でダビング先がいっぱいになったときは、ダビングが停止します。

グループまたはジャンル別リストからタイトルを選びダビングしたいとき

タイトル名リストで 赤（並べ換え）を押したあと、「グループへ」を選んで決定します。
グループリストからダビングするタイトルのあるグループを選び決定したあと、タイトルを選びます。グループリストから、タイトルをジャンル別に表示させ、ダビングするタイトルを探すこともできます。

ダビングの種類を手動選択する場合

1 122ページ手順 9 で「詳細設定」を選びます

2 ダビングの種類を選んで決定します

高速ダビング（最大約６５倍速）
ディスクで対応している最大の速度でダビングを行います。
録画画質は元のままで、画質・音質の劣化がほとんどありません。

高速ダビング（最大約１６倍速）
深夜など動作音が気になる場合のダビングにご使用いただけます。
録画画質は元のままで、画質・音質の劣化がほとんどありません。

録画画質変換ダビング（1倍速）
ディスクの残量などに合わせ録画画質を選択し、ダビングできます。
ダビング時間は選択したタイトルの録画時間ぶんかかります。

「高速ダビング（最大約 65 倍速）」

- 次の条件を満たす場合に選べます。
  - ダビング元が録画画質「XP」、「SP」、「EP」、「LP」、「MN」のいずれかで録画されているタイトル。
  - ダビング先が VR フォーマットの DVD ディスク。

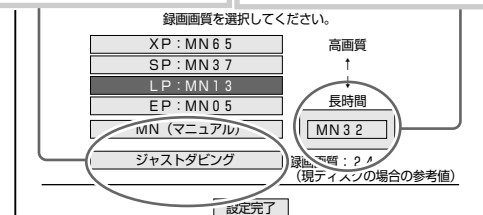
※ビデオフォーマットの DVD ディスクへ高速ダビングできるのは、高速ダビングの設定をしてHDD（ハードディスク）へ録画したタイトル（**146** ページ）または予約録画時に高速ダビング優先で録画したタイトル（**68** ページ）です。

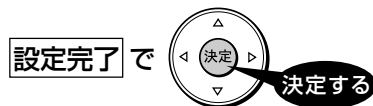
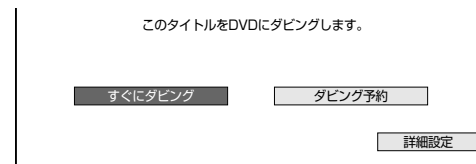
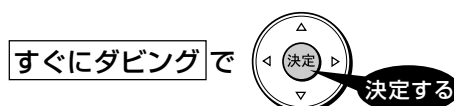
「高速ダビング（最大約 16 倍速）」

- 高速ダビング（最大約 65 倍速）ができる条件で、ダビングの動作音が気になる場合（深夜など）に選びます。

「録画画質変換ダビング（1 倍速）」

- DVD にぴったり入れたいときなど、ダビング録画画質を選びたい場合のほか、以下のような場合に選びます。
  - 録画画質「HD/SD」のタイトルをダビングするとき。
  - ビデオフォーマットの DVD にダビングするとき。
  - 高速ダビングをしない設定で録画したタイトルをダビングするとき。
  - 高速ダビング（最大約 16 倍速）でもダビングの動作音が気になる場合。

3 録画画質を選んで決定します

- ジャストダビングを選んだときは、DVDディスクの残時間に合わせ自動で録画画質が設定されます。
- 「MN」を選びたいときは、 で「MN」を選んで 決定 を押した後、 で録画画質（数字）を選んで 決定 を押して決定してください。

4 録画画質を決定します

5 ダビングをいつ開始するかを決定します

- ダビング予約について 128 ページ
- 残時間が不足しているときは、お知らせ画面が表示されます。「する」を選んだときは、ディスクの空き時間が無くなるまでダビングします。

HDD HD HDD SD HDD VR XP SP LP EP DVD-RW VR DVD-RW ビデオ DVD-R VR DVD-R ビデオ 市販の DVD ビデオ 音楽用 CD

i.LINK（TS）機器との接続について

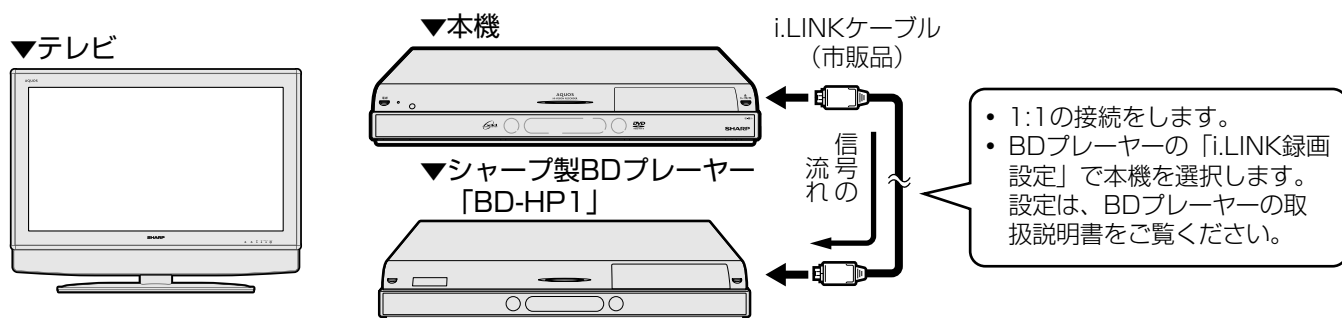
● i.LINK（アイリンク）について

- i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
  i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbps の転送速度が可能です。

本機に i.LINK（TS）接続できる機器について

本機からi.LINK（TS）接続で信号を出力できる機器

- 本機のHDD（ハードディスク）にHD/SD画質で録画したデジタル放送番組は、ダビング操作（**125**ページ）でi.LINK機器に出力することができます。本機のチューナーの信号は出力できません。
  接続できる機器は、シャープ製BDプレーヤー「BD-HP1」です。それ以外の機器は正しく動作しない場合があります。

■ダビング機器を使用する場合の接続（本機から i.LINK 信号を出力）

ダビングの操作は 125 ページ

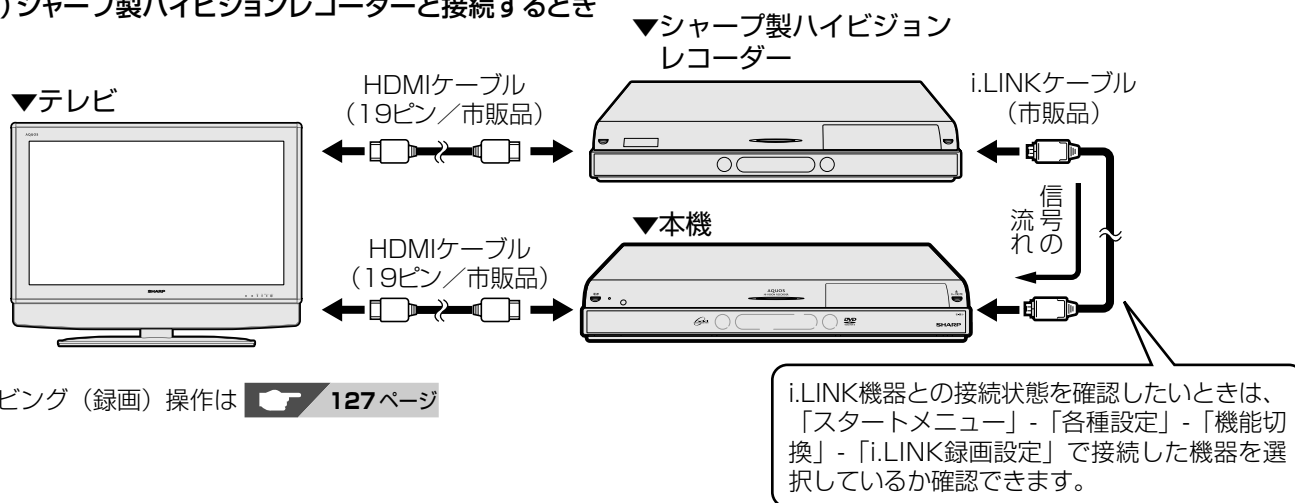
i.LINK（TS）接続で本機へ信号を入力できる機器

- i.LINK（TS）接続し、本機のHDD（ハードディスク）に録画できる映像はTS出力される映像です。接続できる機器は、シャープ製ハイビジョンレコーダーまたはシャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」です。それ以外の機器は正しく動作しない場合があります。
- 接続は、必ず1：1 接続でご使用ください。数珠つなぎをしたときは正しく動作しない、または接続した機器を認識できない場合があります。

お知らせ

・「i.LINK（TS）」出力ダビングをしているときは、ダビング中のメッセージが表示され、他の操作はできません。
・他の操作をしたいときは、［■ 停止］を２度押すとダビングを中止できます。

■ i.LINK（TS）接続で本機へ信号を入力（録画）する場合の接続

例）シャープ製ハイビジョンレコーダーと接続するとき

ダビング（録画）操作は 127 ページ

HDD から i.LINK で BD-HP1 にダビングする

HDD（ハードディスク）に「HD/SD」画質で録画した番組を、シャープ製ブルーレイディスクプレーヤー「BD-HP1」（i.LINK 機器）にダビングできます。

1 テレビと本機の準備をします

35 ページ

2 BD-HP1の電源を入れ、録画用ディスクをセットします

- あらかじめ、i.LINKケーブル（市販品）で本機とBD-HP1 が接続されているか確認します。
- BD-HP1 の「i.LINK 録画設定」で本機を選択しているか確認します。

3 スタートメニューを表示させます

4 「ダビング」を選んで決定します

■スタートメニュー

ハードディスクに録画した番組をDVDにダビングします。
デジタル放送番組の場合には「CPRM」と書かれたDVDディスクが必要です。

再生・編集	予 約	ダビング
消 去	放送視聴 外部機器	ディスク管理
各種設定	お知らせ	

5 「HDD→i.LINK」を選んで決定します

ダビング先を選択してください。

HDD ⇨ DVD

HDD ➡ i.LINK

6 ダビング先の機器を選びます

- 複数の機器を接続しているときは、複数の機器名（ダビング先）が表示されます。

録画する機器を選択してください。

▲前へ	機器名	メーカー	形名
	D−VHS01	●●●	●●●
	D−VHS02	●●●	●●●
	D−VHS03	●●●	●●●
	D−VHS04	●●●	●●●
	D−VHS05	●●●	●●●
	D−VHS06	●●●	●●●
▼次へ			

ご注意

・HDD（ハードディスク）に HD/SD 録画した番組を「BD-HP1」へダビングするとき、デイジーチェーン接続やツリー接続をしないでください。本機と「BD-HP1」を 1 対 1 の接続にしてください。

お知らせ

・i.LINK ダビングの操作以外では、本機の i.LINK 端子から信号は出力されません。
・番組によってはダビングできないことがあります。

7 ダビングしたいタイトルを選びます

- ダビングしたいタイトルを選んで決定します。

●BD-HP1 へダビングするとき、選択できるタイトルは 1 タイトルのみです。

タイトル選択の操作例

グループまたはジャンル別リストからタイトルを選びダビングしたいとき

・タイトル名リストで 赤(並べ換え) を押したあと、「グループへ」を選んで決定します。グループリストからダビングするタイトルのあるグループを選び決定したあと、タイトルを選びます。グループリストから、タイトルをジャンル別に表示させ、ダビングするタイトルを探すこともできます。

8 ダビングをいつ開始するかを決定します

すぐにダビング で 決定する

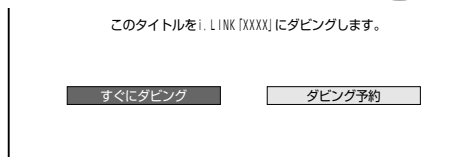
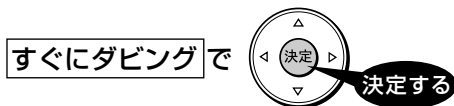
このタイトルをi.LINK[XXXX]にダビングします。

- ダビング予約について 128 ページ

メモ

・HDD(ハードディスク)に録画した「1回だけ録画可能」の番組を「BD-HP1」にダビングすると、ダビングしたところまでがHDD（ハードディスク）から消去されます。

ダビングを途中で止めるとき

■ 停止 2回押す

i.LINK 機器から本機へダビングする

i.LINK（TS）接続で本機のHDD（ハードディスク）へダビングできる機器は、シャープ製ハイビジョンレコーダーです。

1 本機とハイビジョンレコーダーを i.LINK 接続します

2 本機とハイビジョンレコーダーをテレビに HDMI ケーブルなどで接続します

124 ページ

3 それぞれの電源を入れます

4 本機からハイビジョンレコーダーとの接続状態を確認します

① テレビの入力を、本機が接続された入力に切り換えます。
② 本機の「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「i.LINK 録画設定」で、接続したハイビジョンレコーダーを選択していることを確認します。

5 ハイビジョンレコーダーから本機との接続状態を確認します

① テレビの入力を、ハイビジョンレコーダーが接続された入力に切り換えます。
② ハイビジョンレコーダーの「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「i.LINK録画設定」で、接続した本機を選択していることを確認します。
※ ハイビジョンレコーダーによっては、「i.LINK録画設定」がないものもあります。
この場合、確認は不要です。
※ 詳しくはハイビジョンレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

6 ハイビジョンレコーダーでダビングコントロールの設定をします

①「スタートメニュー」の「ダビング」を選んで決定します。
②「HDD」を選んで決定します。
③「i.LINK」を選んで決定します。

7 ハイビジョンレコーダーでダビングするタイトルを選び、ダビングを開始します

① 録画リストでダビングするタイトルを選んで決定します。
② 選択が終了したら、[黄]を押します。
③ 機器選択画面で、本機を選んで決定します。
※ 機器によっては動作内容が異なる場合があります。

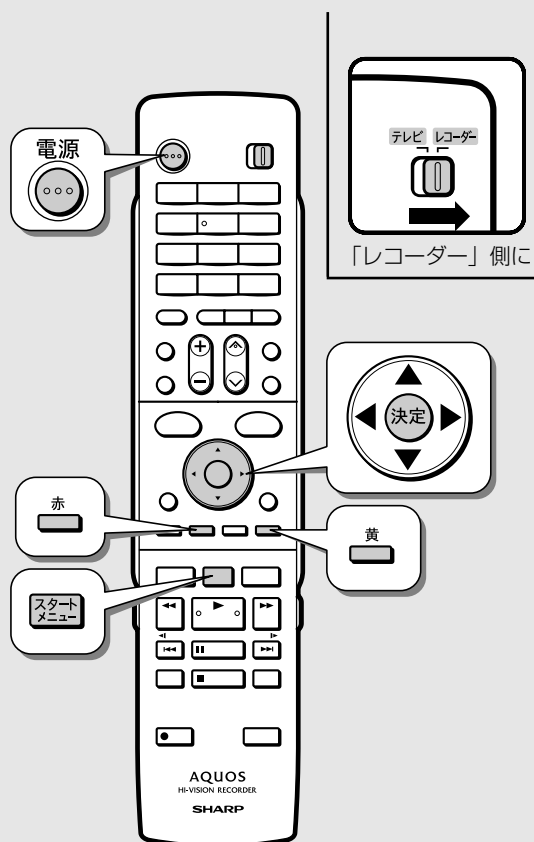
8 「すぐにダビング」を選んで決定します

9 「確認」で決定します

⇨ ダビングが開始します。

HDD HD / HDD SD / HDD VR XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

ダビング予約する

ダビング予約をして、本機を使わない時間にダビングすることができます。

1 「HDD から DVD へダビングする」の手順を行います

120～121 ページ 1～7

2 「ダビング予約」を選んで決定します

3 ダビング開始時刻（時・分）を入力します

選んで 決定する くり返す

- 設定できる時刻は、現在時刻から24時間以内の時刻です。

4 自動ファイナライズの「する／しない」を選んで決定します

ご注意

- ダビング予約ができるのは 1 件だけです。
- DVD ディスクから HDD（ハードディスク）へはダビングできません。
- 録画予約とダビング予約が重複しているときは、メッセージが表示されます。
  重複している録画予約を取り消してから、再度設定してください。
- 65件（電子番組表予約、日時指定予約、休止中の予約を含む）を超えての予約はできません。予約を取り消してください。（**70**ページ）
- ダビング予約待機中は、ダビング元の消去や初期化、編集操作ができません。
- 予約録画の「重ね録り」を設定したタイトルをダビング予約する場合、ダビング予約の待機中に上書き番組が録画されると、正しくダビングできない場合があります。

お知らせ

- ダビング予約を解除したいときは、予約リストから取り消してください。
- ダビング予約が完了するまで、他のダビングはできません。
- ダビング予約では「高速ダビング」を選んでもダビング元と同じ時間分の予約時間が必要です。
- ダビング予約ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」(**251 ～ 252** ページ）をご覧ください。

5 「設定」を選んで決定します

- 取消し を選ぶと手順 3 の画面に戻ります。

6 予約を確認します

⇨ ダビング予約設定完了

メモ

・ダビング終了後に自動的に電源を切りたい場合は、ダビング予約設定後に電源を切るか、ダビング予約実行中に 電源 を１回押してください。

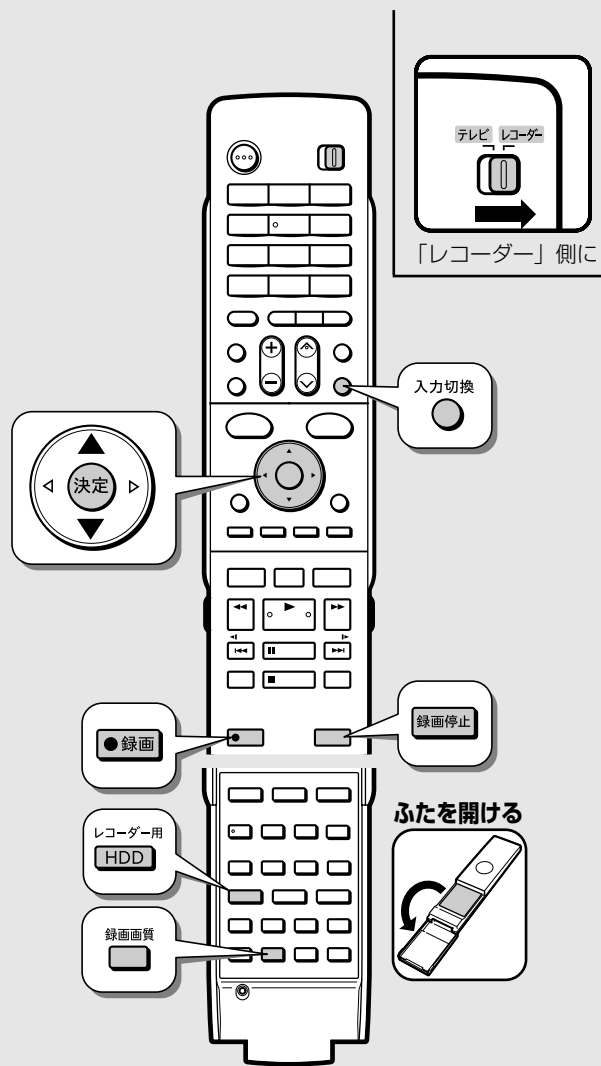
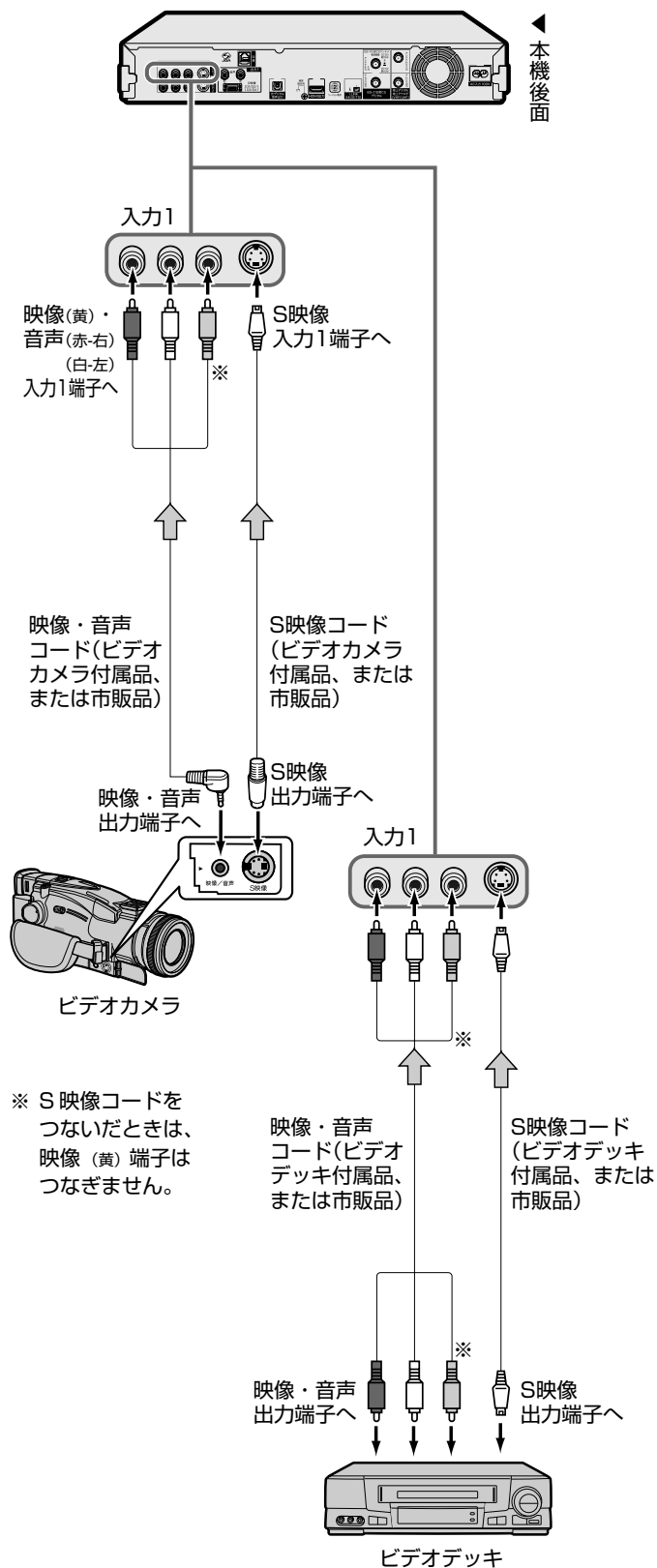
・ファイナライズとは、本機で録画したDVDディスクを他機器で再生するために必要な処理です。「自動ファイナライズ」を「する」に設定するとダビング終了後に自動的に行われます。（数分～約１時間以上：ディスクにより異なります。）

・DVD-R DL（2層）ディスクの場合は、さらにファイナライズに時間を要します。

i.LINK ダビング「HDD→i.LINK」でBD-HP1へダビング予約するとき

- BD-HP1へのダビング予約をするときは、BD-HP1の「クイック起動設定」を「する」に設定しておいてください。電源を切っていても、ダビング予約開始時刻になると、ダビングが開始されます。
- BD-HP1の「クイック起動設定」を「する」に設定していても、ダビング予約開始時刻の直前（５分以内）に電源を切ったときは、ダビングができない場合があります。そのときは、電源を入れた状態にしてください。
- BD-HP1の「クイック起動設定」を「しない」に設定しているときは、BD-HP1の電源は入れた状態にしてください。

ビデオカメラやビデオデッキから録画する

ビデオカメラやビデオデッキ、外部チューナーなどの映像を本機のHDD（ハードディスク）に録画できます。

1 本機の「入力1」端子にビデオカメラなどを接続します

ご注意

・「コピー禁止（コピーガード）」信号が入っている映像は録画できません。視聴のみ行う場合でも、正しい映像にならない場合があります。
・著作権保護された番組をビデオデッキを介してテレビに出力すると、ビデオデッキの著作権保護機能がはたらいて画質劣化することがありますが機器の問題ではありません。このような場合は本機とモニターを直接接続してください。
・ビデオカメラやビデオデッキとの接続の方法は、接続する機器によって異なります。接続する製品の取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

・外部チューナーからCS放送やWOWOWの二重音声番組を録画するときは、あらかじめ「外部入力音声設定」で「二ヶ国語」を選んでおいてください。（145ページ）
・外部機器の映像を本機を介して見た映像と直接テレビに入力した映像は、画質が多少異なります。
・ビデオカメラなどの日付表示などを入れて録画したい場合は、ビデオカメラ側で表示させておいてください。

2 テレビと本機の準備をします 35 ページ

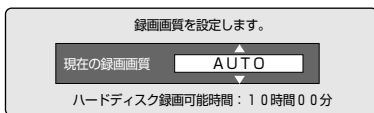
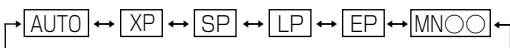
3 ビデオカメラなどの準備をします

4 HDD モードを選択します

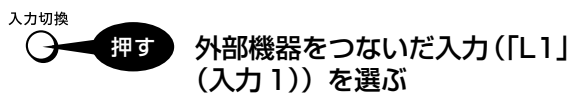
（ふた内）

5 録画画質設定画面を表示させます

（ふた内）

6 録画画質を選んで決定します

・画質について （**50** ページ）

7 外部入力を選びます

外部機器をつないだ入力（「L1」（入力 1））を選ぶ

8 接続した機器を再生します

9 録画したい場面で録画を始めます

10 録画を終了するには

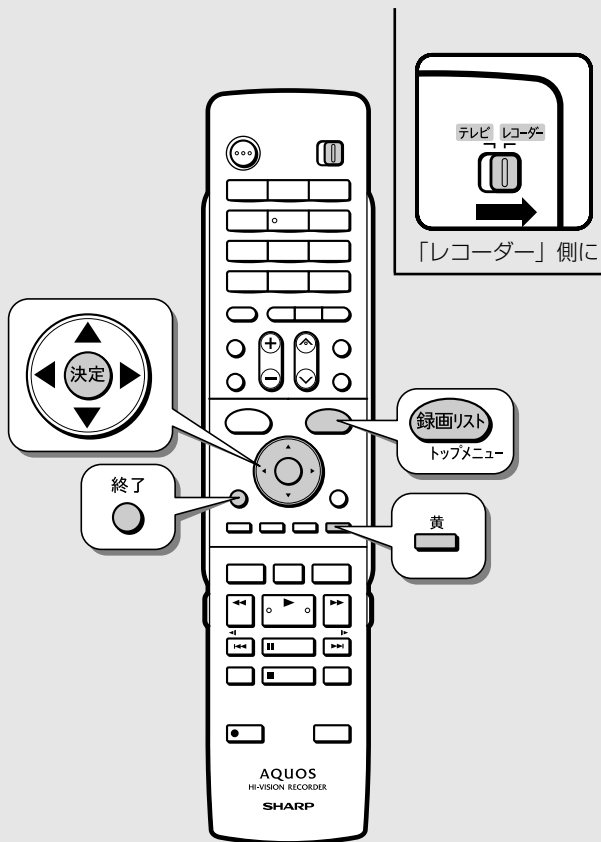
HDD HD / HDD SD / HDD VR XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

タイトル（録画した番組）を消さない設定をする

間違って消さないよう、大切なタイトル（録画した番組）を保護できます。

・プレイリストは保護できません。
・「1 回だけ録画可能」のタイトルを「保護する」に設定すると、そのタイトルはHDD（ハードディスク）からダビング（ムーブ）できなくなります。

お知らせ

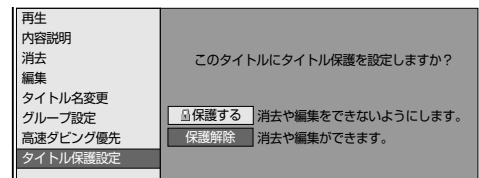
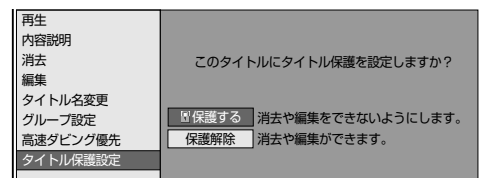
・予約録画時に予約の詳細設定で「消さないで」を設定したタイトルの保護設定は、録画終了後に手順 6 で保護解除できます。

1 テレビと本機の準備をします

2 録画リストを表示させます

3 録画リストで保護したいタイトルを選びます

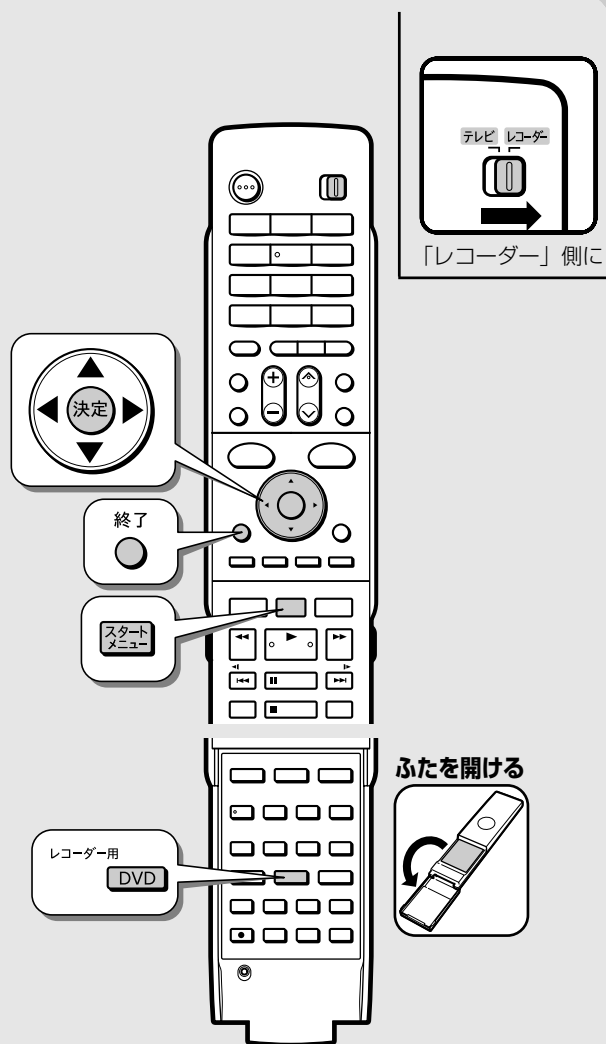
選ぶ

4 機能メニューを表示させます

5 「タイトル保護設定」を選んで決定します

6 「保護する」を選んで決定します

●保護設定したタイトルを編集または消去したいときは、「保護解除」を選んで決定してください。

7 設定を終了します

DVD ディスクの内容を消さない設定をする

DVD ディスクの録画内容を消さないよう、ディスク全体を保護できます。

・ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクはディスク保護設定ができません。

お知らせ

・VRフォーマットのDVD-Rディスクは、ファイナライズするとディスク保護や解除ができなくなります。

1 テレビと本機の準備をします 35 ページ

2 DVD モードにします

（ふた内）

3 保護したいディスクをセットします

4 スタートメニューを表示させます

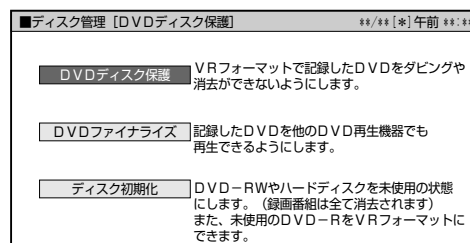
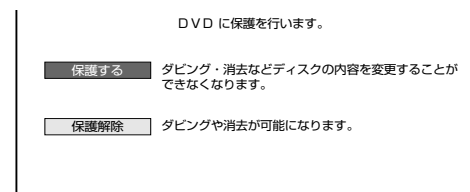
5 「ディスク管理」を選んで決定し、「DVD ディスク保護」を選んで決定します

■ディスク管理［DVDディスク保護］ **/**［*］午前 **:**

DVDディスク保護	VRフォーマットで記録したDVDをダビングや消去ができないようにします。
DVDファイナライズ	記録したDVDを他のDVD再生機器でも再生できるようにします。
ディスク初期化	DVD－RWやハードディスクを未使用の状態にします。（録画番組は全て消去されます）また、未使用のDVD－RをVRフォーマットにできます。

6 「保護する」を選んで決定します

DVD に保護を行います。

保護する	ダビング・消去などディスクの内容を変更することができなくなります。
保護解除	ダビングや消去が可能になります。

●保護設定を解除してダビングやタイトル名変更を行いたいときは、「保護解除」を選んでください。

7 「確認」を選んで決定します

8 設定を終了します

HDD HD / HDD SD / HDD VR XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

録画リストからタイトル（録画した番組）を選んで消去する

すでに見て不要なタイトル（録画した番組）あるいはチャプターを録画リストから消去します。

ご注意

- 消去したタイトルは復活できません。
- プレイリストがある場合、そのオリジナルのタイトルを消去するとプレイリストも消去されます。この場合、プレイリストのチャプターマークの位置がずれることがあります。なお、プレイリストを消去してもオリジナルのタイトルは消去されません。
- ビデオフォーマットのDVD-RWディスクでは、タイトルを消去しても残量は増えません。ただし最後にダビングしたタイトルを消去した場合だけ残量が増えます。
- DVD-Rディスクはタイトルを消去しても残量は増えません。
- プレイリストを消去しても残量は増えません。
- DVDディスクでは、チャプターの消去はできません。

次のディスクはタイトルの消去ができません。
- ファイナライズを行ったビデオフォーマットのDVD-RW
- ファイナライズを行ったDVD-R

お知らせ

- 保護されたタイトルは消去できません。保護されたタイトルを消去したい場合は、保護解除（132ページ）を行ってください。
- 複数のタイトルを一度に消去したい場合は、次ページをご覧ください。

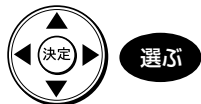
1 テレビと本機の準備をします ☞ 35ページ

2 消したいタイトルのある録画先を選びます

HDD（ふた内） 押す　または　DVD（ふた内） 押す

●DVDの場合、ディスクをセットしてください。

3 録画リストを表示させます

4 録画リストから消したいタイトルを選びます

・チャプターを選ぶには画面リストから

・プレイリストを選ぶには

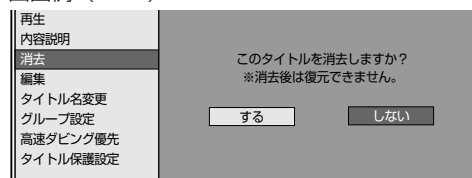
（切り換え）

お知らせ

- DVDディスクでは、チャプターの消去はできません。

5 機能メニューを表示させます

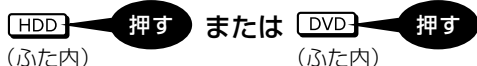
6 「消去」を選んで決定します

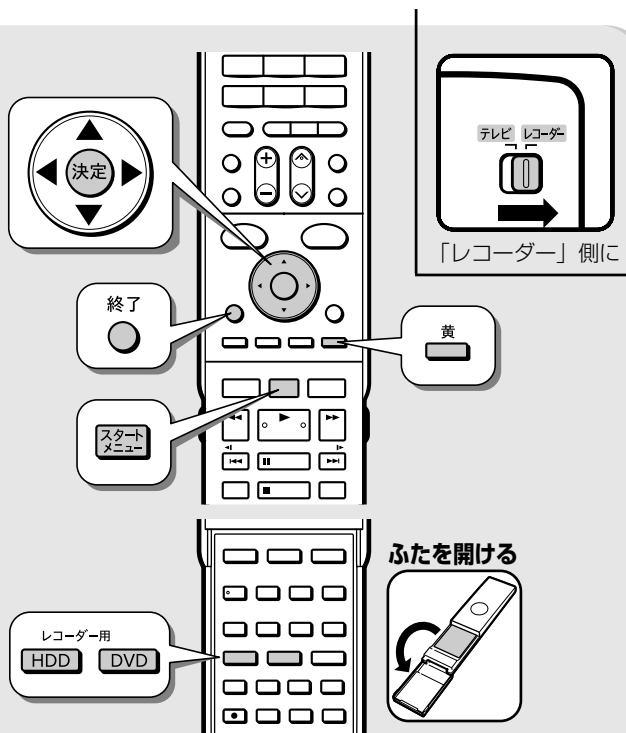
画面例（HDD）

●表示される項目はHDDとDVDで異なります。

7 「する」を選んで決定します

⇨消去を実行して録画リストへ

8 設定を終了します

HDD HD / HDD SD / HDD VR XP SP LP EP / DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ / DVD-R VR / DVD-R ビデオ / 市販の DVD ビデオ / 音楽用 CD

複数のタイトル（録画した番組）を選んで消去する

複数のタイトル（録画した番組）またはチャプターを選んで一度に消去することができます。

・消去したタイトルは復活できません。
・プレイリストがある場合、そのオリジナルのタイトルを消去するとプレイリストも消去されます。この場合、プレイリストのチャプターマークの位置がずれることがあります。なお、プレイリストを消去してもオリジナルのタイトルは消去されません。
・ビデオフォーマットのDVD-RWディスクでは、タイトルを消去しても残量は増えません。ただし最後にダビングしたタイトルを消去した場合だけ残量が増えます。
・DVD-R ディスクはタイトルを消去しても残量は増えません。
・プレイリストを消去しても残量は増えません。
・DVD ディスクでは、チャプターの消去はできません。

次のディスクはタイトルの消去ができません。
・ファイナライズを行ったビデオフォーマットの DVD-RW
・ファイナライズを行った DVD-R

お知らせ

・保護されたタイトルは消去できません。保護されたタイトルを消去したい場合は、保護解除（**132** ページ）を行ってください。

1 テレビと本機の準備をします

35 ページ

2 消したいタイトルのある録画先を選びます

（ふた内）

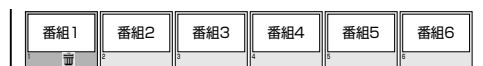
または

（ふた内）

●DVD の場合、ディスクをセットしてください。

3 スタートメニューを表示させます

4 「消去」を選んで決定し、「タイトル選択消去」を選んで決定します

5 消したいタイトルを選んで決定します

●一度に選べるタイトル（またはチャプター）は、最大 20 タイトル（またはチャプター）です。
●選んだタイトルに「🗑」マークが付きます。
●もう一度選ぶと、選択が解除されます。

・HDD（ハードディスク）の編集でチャプターやプレイリストを選ぶには 前ページ

6 消去を実行します

（消去実行）

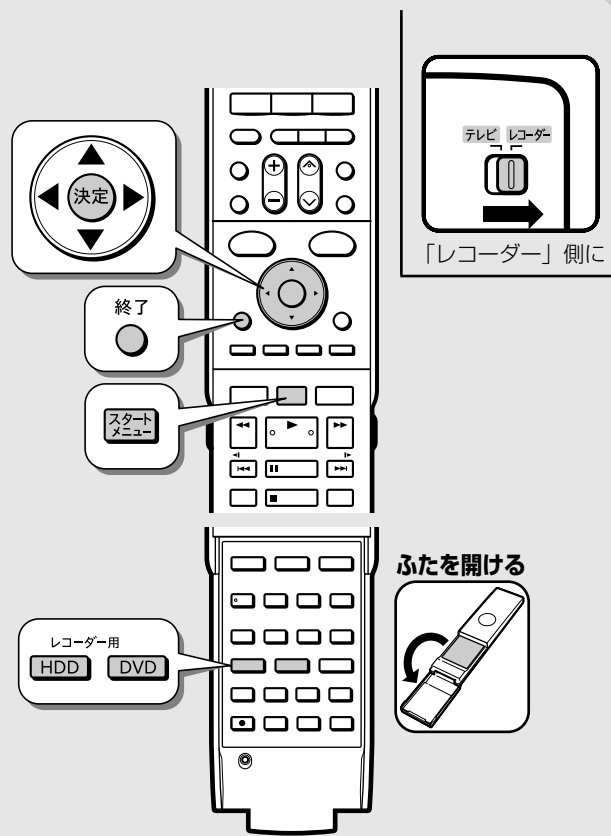
7 「する」を選んで決定します

⇨消去を実行して録画リストへ

●しないを選ぶと手順 5 の画面に戻ります。

8 設定を終了します

タイトル（録画した番組）をすべて消去する

HDD（ハードディスク）あるいはDVDディスク内の全タイトルを消去します。

・消去したタイトルは復活できません。
・プレイリストがある場合、そのオリジナルのタイトルを消去するとプレイリストも消去されます。この場合、プレイリストのチャプターマークの位置がずれることがあります。なお、プレイリストを消去してもオリジナルのタイトルは消去されません。

次のディスクはタイトルの消去ができません。
・ファイナライズを行ったビデオフォーマットのDVD-RW
・ファイナライズを行ったDVD-R

お知らせ

・保護されたタイトルは消去されません。保護されたタイトルも消去したい場合は、保護解除（**132**ページ）を行ってください。

1 テレビと本機の準備をします

35ページ

2 消したいタイトルのある録画先を選びます

HDD（ふた内） 押す または DVD（ふた内） 押す

●DVDの場合、ディスクをセットしてください。

3 スタートメニューを表示させます

4 「消去」を選んで決定し、「タイトル全消去」を選んで決定します

5 タイトルを全消去したい方を選んで決定します

ハードディスク

DVD

6 「する」を選んで決定します

● 消去したタイトルは復活できません。

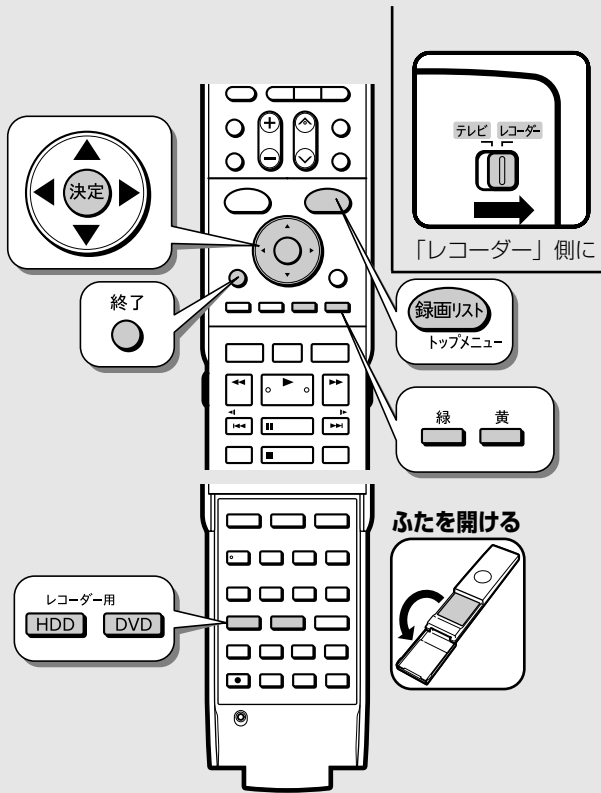
7 「確認」で決定します

● 消去確認が終わると、手順 5 に戻ります。

8 終了します

終了 押す

タイトル名を好みの名前に変える

録画した番組のタイトル名を、ご自分がわかりやすい名前に変更できます。

・ビデオフォーマットのDVD-RWディスクおよびDVD-Rディスクは、ファイナライズを行うとタイトル名を変えられません。

お知らせ

・電子番組表のデータが取得できているときは、その番組表の番組名が自動的に付けられています。
・地上アナログ放送または外部入力で録画したときは、「チャンネル・画質」がタイトル名として自動的に付けられています。
・HDD（ハードディスク）では全角40字まで、DVDでは32文字までのタイトル名を付けられます。

1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 名前を変えたいタイトルのある録画先を選びます

（ふた内） （ふた内）

●DVDの場合、ディスクをセットしてください。

3 録画リストを表示させます

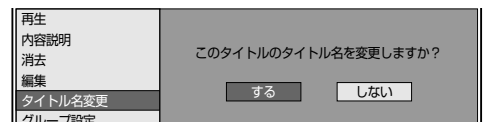
4 録画リストから名前を変えたいタイトルを選びます

● やリモコンのカラーボタンなどで、名前を変えたいタイトルを選びます。

・プレイリストを選ぶには

（プレイリスト）

5 機能メニューを表示させます

6 「タイトル名変更」を選んで決定します

7 「する」を選んで決定します

⇨文字入力画面表示

8 タイトル名を変えます

① 文字を入力します（138ページ）

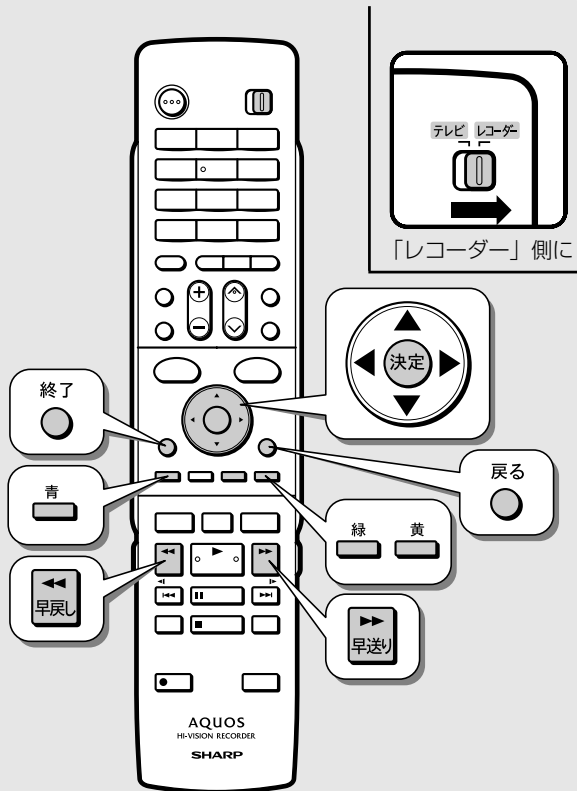
② 入力が終了したら黄（入力終了）を押します

●入力した文字を確認する画面になります。

9 「変更して終了」を選んで決定します

10 設定を終了します

文字入力のしかた

文字入力画面での文字入力の基本操作を説明します。

お知らせ

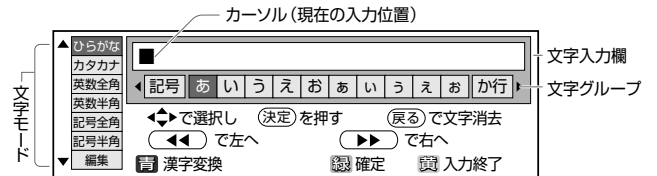
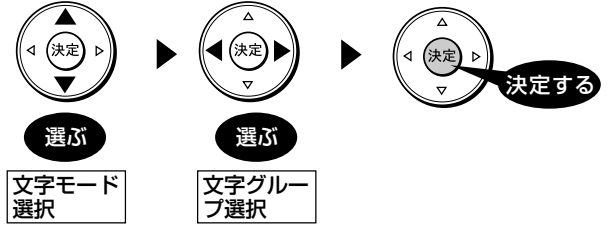
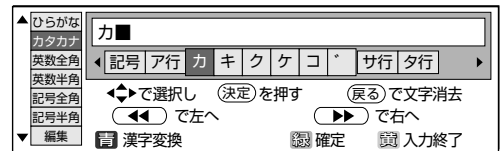
- 文字入力画面が表示されるのは、予約名、グループ名、タイトル名などの操作です。
- 漢字に変換できるのは「ひらがな」で入力したときだけです。

1 文字入力画面を表示させます

● タイトル名の場合 137ページ

・現在のタイトル文字を消すには

（押すごとに1文字消去）

2 文字モードと文字グループを選んで決定します

3 入力文字を選んで決定します

文字入力欄に、決定した文字が表示されます。

・文字グループを変えるには（文字候補の先頭／最後で）

・文字モードを変えるには

・入力中に文字を消すには

（カーソル移動）

4 2 ～ 3 をくり返します

●漢字に変換したいときは 139ページ

5 文字入力を終了します

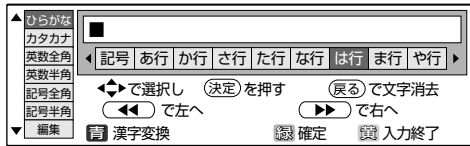
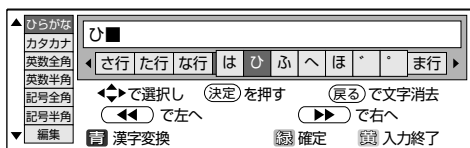
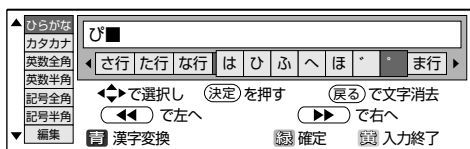
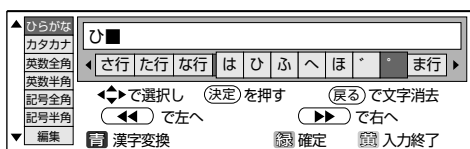
⇨文字入力画面が消えて、完成された文字列を表示

「゛」や「゜」を付けるには

[例]「ぴ」

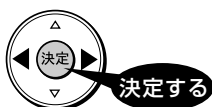
1 「ひらがな」－「は行」を選んで決定します

2 「ひ」を選んで決定します

3 「゜」を選んで決定します

・「゛」を選ぶと「び」になります。

スペースを入れるには

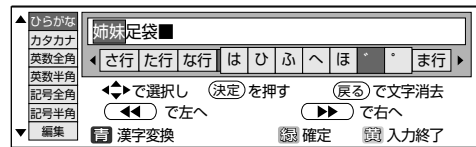
文字グループから「空白」を選んで決定します

・選んでいる文字モードによって、半角スペースか全角スペースか決まります。

漢字に変換するには

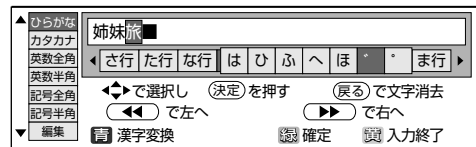
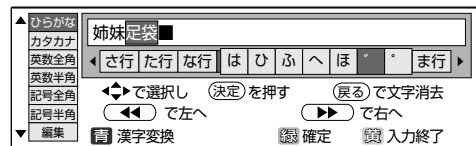
[例]「しまいたび」➪「姉妹旅」

1 ひらがなモードで「しまいたび」と入力して決定します

2 漢字変換を選びます

➪変換候補表示

3 変換候補を選んで決定します

または 青（漢字変換）で候補を選びます。

くり返す

・最初に正しい変換がされた場合はそのまま決定してください。

4 入力文字を確定します

5 文字入力を終了します

➪文字入力画面が消えて、完成された文字列を表示

6 入力した文字に変更します

を

7 文字編集を終了します

次ページへつづく

入力文字一覧表

文字モード	文字グループ（展開表示）

ひらがな

記号｜あ行｜か行｜さ行｜た行｜な行｜は行｜ま行｜や行｜ら行｜わ行｜空白

記号	ー、。・「」－(全角ハイフン)	あ行	あいうえおぁぃぅぇぉ	か行	かきくけこ゛
さ行	さしすせそ゛	た行	たちつてとっ゛	な行	なにぬねの
は行	はひふへほ゛゜	ま行	まみむめも	や行	やゆよゃゅょ
ら行	らりるれろ	わ行	わをんゎ	空白	（全角スペース）

カタカナ

記号｜ア行｜カ行｜サ行｜タ行｜ナ行｜ハ行｜マ行｜ヤ行｜ラ行｜ワ行｜空白

記号	ー、。・「」－(全角ハイフン)	ア行	アイウエオァィゥェォ゛	カ行	カキクケコ゛
サ行	サシスセソ゛	タ行	タチツテトッ゛	ナ行	ナニヌネノ
ハ行	ハヒフヘホ゛゜	マ行	マミムメモ	ヤ行	ヤユヨャュョ
ラ行	ラリルレロ	ワ行	ワヲンヮ	空白	（全角スペース）

英数全角

数字｜ABC｜DEF｜GHI｜JKL｜MNO｜PQRS｜TUV｜WXYZ｜空白

数字	１２３４５６７８９０	ABC	ＡＢＣａｂｃ	DEF	ＤＥＦｄｅｆ
GHI	ＧＨＩｇｈｉ	JKL	ＪＫＬｊｋｌ	MNO	ＭＮＯｍｎｏ
PQRS	ＰＱＲＳｐｑｒｓ	TUV	ＴＵＶｔｕｖ	WXYZ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ
空白	（全角スペース）				

英数半角

数字｜ABC｜DEF｜GHI｜JKL｜MNO｜PQRS｜TUV｜WXYZ｜空白

数字	1234567890	ABC	ABCabc	DEF	DEFdef
GHI	GHIghi	JKL	JKLjkl	MNO	MNOmno
PQRS	PQRSpqrs	TUV	TUVtuv	WXYZ	WXYZwxyz
空白	（半角スペース）				

記号全角

@.,:｜;_−¥｜$%!?｜&#+*｜=/|￣｜”’^‘｜()<>｜[]{}｜空白

<table>
<tr><td>@.,:</td><td>＠ ． ， ：</td><td>;_−¥</td><td>；＿ー￥</td><td>$%!?</td><td>＄％！？</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>＆＃＋＊</td><td>=/|￣</td><td>＝／｜￣</td><td>”’^‘</td><td>”’＾‘</td></tr>
<tr><td>()<></td><td>（）＜＞</td><td>[]{}</td><td>［］｛｝</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table>

記号半角

@.,:｜;_−¥｜$%!?｜&#+*｜=/|￣｜”’^`｜()<>｜[]{}｜空白

<table>
<tr><td>@.,:</td><td>@ . , :</td><td>;_−¥</td><td>; _ - ¥</td><td>$%!?</td><td>$ % ! ?</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>& # + *</td><td>=/|￣</td><td>= / | ￣</td><td>”’^`</td><td>” ’ ^ `</td></tr>
<tr><td>()<></td><td>( ) < ></td><td>[]{}</td><td>[ ] { }</td><td>空白</td><td>（半角スペース）</td></tr>
</table>

編集

漢字変換｜左へ｜右へ｜終了｜文字削除

※入力文字ではありません。各キーを選び決定ボタンを押すと、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。

HDD HD / HDD SD | HDD VR XP SP LP EP | DVD-RW VR / DVD-RW ビデオ | DVD-R VR / DVD-R ビデオ | 市販の DVD ビデオ | 音楽用 CD

DVD ディスクを他の機器で再生できるようにする (ファイナライズ)

本機でダビングしたDVDディスクを他機器で再生できるようにします(ファイナライズ)。

- ファイナライズ中は、電源を切る、ディスクを取り出すなどすべての操作ができなくなります。このとき電源プラグをコンセントから抜かないでください。(ディスクが使えなくなる場合があります。)
- 本機でダビング / 編集したディスクを他社のレコーダーやパソコンでファイナライズしたり、他社のレコーダーやパソコンで記録したディスクを本機でファイナライズすると、不具合が生じることがあります。
- DVD-Rはファイナライズすると、再生専用ディスクとなりタイトル名変更、追加ダビングやファイナライズ解除はできません。
- ビデオフォーマットのDVD-RWをファイナライズすると追加ダビングはできませんが、解除すると追加ダビングできるようになります。(VRフォーマットのDVD-RWではファイナライズをしても追加ダビングができます。その後のファイナライズは必要ありません。)

お知らせ

- ビデオフォーマットのディスクをファイナライズすると、録画リストは表示されずタイトルメニュー(**85**ページ)となります。
- ファイナライズには数分〜約1時間以上かかります。(録画タイトル数やディスクにより異なります。)

1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 ファイナライズしたいDVDディスクをセットします 30ページ

3 スタートメニューを表示させます

4 「ディスク管理」を選んで決定し、「DVDファイナライズ」を選んで決定します

5 「ファイナライズ実行」を選んで決定し、「する」を選んで決定します

⇨ファイナライズ実行

6 「確認」で決定します

7 設定を終了します

スタートメニューの「各種設定」について

はじめに

- 「各種設定」には、録画や再生、本機の設置など、本機をより活用していただくための設定項目があります。本機の使用状況に応じて各項目を設定してください。
- 各項目の説明や操作のしかたは、それぞれのページをご覧ください。

各種設定

- スタートメニューは、約1分間何も操作しないと解除され、放送の画面に戻ります。

スタートメニューの「各種設定」で設定できること

- 「各種設定」の中には、設定の目的別に5つのグループがあります。各グループの中に、各設定項目があります。
- 各項目の内容と設定のしかたについては、それぞれの説明ページをご覧ください。

録画機能設定（145ページ）

番組を録画するときに必要な設定をします。

デジタル設定（151ページ）

本機内蔵のデジタルチューナーに関する設定をします。

本体設定（147ページ）

放送を受信するための設定や、映像や音声など本機を楽しむための設定をします。

■各種設定［本体設定］

録画機能設定 | 本体設定 | 機能切換 | デジタル設定 | かんたん設定

- 地域設定
- チャンネル設定
- アンテナ設定
- 映像・音声設定
- 日付・時刻設定
- クイック起動設定
- 無操作オフ設定
- 設定リセット
- 個人情報初期化

かんたん設定（201ページ）

テレビやオーディオ機器との接続設定やチャンネル設定をします。

機能切換（149ページ）

本機をより便利に活用していただくための設定をします。

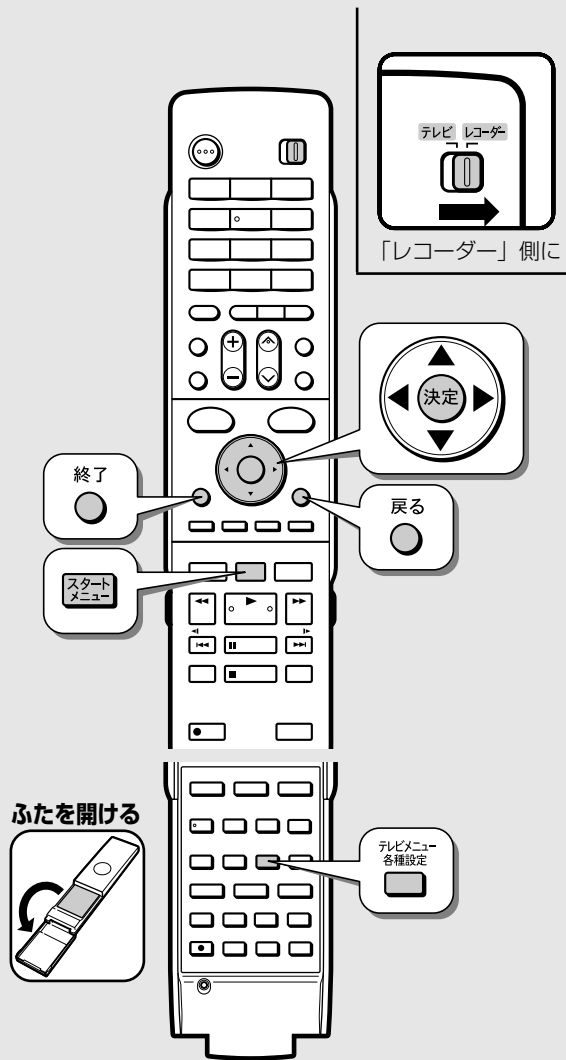
■各種設定［機能切換］

録画機能設定 | 本体設定 | 機能切換 | デジタル設定 | かんたん設定

- ファミリンク設定
- 高精細表示設定
- DVD再生設定
- 画質調整
- 液晶設定
- 電源オフ時計表示設定
- i.LINK録画設定
- タイムシフト視聴設定

各種設定の基本操作

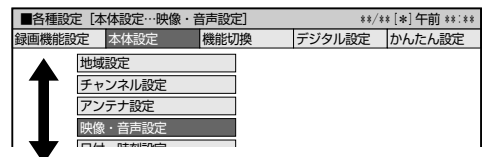
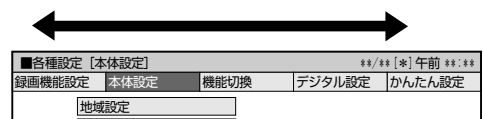
「各種設定」では本機をより活用していただくための設定ができます。

テレビ　レコーダー
「レコーダー」側に
決定
終了
戻る
スタートメニュー
ふたを開ける
テレビメニュー 各種設定

1 テレビと本機の準備をします 35 ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

4 設定したい項目を選んで決定します

（「本体設定」－「映像・音声設定」を選ぶ場合）

お知らせ

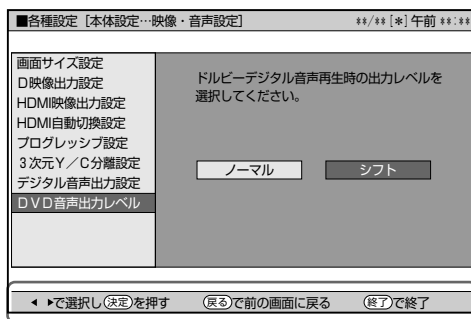
- 以下の設定項目グループに分かれています。
  - 「録画機能設定」：番組を録画するときに必要な設定（145 ページ）
  - 「本体設定」　：本体の動作に関する設定（147 ページ）
  - 「機能切換」　：さまざまな機能に関する設定（149 ページ）
  - 「デジタル設定」：デジタル放送の受信に関する設定（151 ページ）
  - 「かんたん設定」：接続やチャンネルに関する設定（201 ページ）
- 「かんたん設定」の各項目については以下のページをご覧ください。
  - 「テレビとの接続」（201 ページ）
  - 「オーディオ機器との接続」（203 ページ）
  - 「一発チャンネル設定」（204 ページ）
- スタートメニューは何も操作しない状態が約 1 分間続くと解除され、放送画面に戻ります。
- 操作中、間違ったときや設定し直したいときは

次ページへつづく

5 画面下のガイド表示に従って設定を進めます

〈例「DVD 音声出力レベル」で「シフト」を選ぶ場合の設定操作〉

①「DVD 音声出力レベル」を選んで決定します

②「シフト」を選んで決定します

6 設定を終了します

録画に関する設定をする

番組を録画するときに必要な設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

■各種設定［録画機能設定］ **/** [*] 午前 **:**

録画機能設定	本体設定	機能切換	デジタル設定	かんたん設定

① MN録画画質設定
② 音声記録方式設定
③ 外部入力音声設定
④ 二ヶ国語音声設定
⑤ オートチャプター設定
⑥ 高速ダビング設定
⑦ DVD自動初期化設定

◆ で選択し 決定 を押す　戻る で前の画面に戻る　終了 で終了

①MN 録画画質設定

リモコンの 録画画質 を押して「MN○○」（マニュアル録画画質）を選んだときの、画質の数値の設定です。
詳しくは**51**～**53**ページをご覧ください。

設定項目	設定内容
65 段階	「MN」の数値を 65 段階で選択。 数値：大→高画質録画 数値：小→長時間録画

② 音声記録方式設定

DVD-RW/-Rディスクに録画画質「XP（高画質）」で録画するときの音声記録方式を選びます。

設定項目	設定内容
ドルビーデジタル 2ch ☆	音声をドルビーデジタル 2 チャンネル音声にして記録します。
リニア PCM ※	録画画質を「XP（高画質）」に設定してダビングしたときに、高音質なPCM（非圧縮）音声にして記録します。

- 二重音声をリニアPCM記録するときは、VRフォーマットのDVD-RWディスクでも、「二ヶ国語音声設定」で選んだ音声のみ記録されます。

※ 録画画質「XP（高画質）」以外に設定してダビングしたときは機能しません。
※ 録画画質「XP（高画質）」でドルビーデジタル2chに設定して録画した画質よりも、少し画質が落ちます。

③ 外部入力音声設定

本機につないだ外部機器から入力される音声を選びます。

設定項目	設定内容
ステレオ☆	ステレオ音声を記録します。
二ヶ国語	二ヶ国語放送などの二重音声（主音声・副音声）を記録します。

- 二重音声付きの映像を録画するときは、必ず「二ヶ国語」を選んでください。「ステレオ」を選んで録画すると、再生時に主音声と副音声が重なって聞こえます。

④ 二ヶ国語音声設定

DVD-RW/-Rディスクにビデオフォーマットで二ヶ国語放送をダビングするときに、主音声を記録するか副音声を記録するかを選びます。

設定項目	設定内容
主音声☆	主音声が記録されます。
副音声	副音声が記録されます。

⑤ オートチャプター設定

録画するときに、自動的に入るチャプターの間隔を設定します。

設定項目	設定内容
10	10 分間隔
15	15 分間隔
30	30 分間隔
- -☆	切

- DVDディスクに記録されているチャプターマークは、結合できません。

二重音声放送を録画するとき

- 二重音声放送を録画したときは、放送されている音声の種類と録画の種類（記録フォーマットや本機の設定）で記録される音声が異なります。

HDD（ハードディスク）に録画するとき

本機の設定	録画画質	HD/SD録画	HD/SD以外の録画	
	高速ダビング設定*1	－	する	しない
放送の種類	マルチ音声*2（ステレオ二重音声など）	すべての音声を記録します。	視聴中の音声を記録します。*5	
	モノラル二重音声*3	主／副両方の音声を記録します。	二ヶ国語音声設定*4で設定されている音声を記録します。	主／副両方の音声を記録します。

DVDにダビングするとき

HDD の録画状態	VRフォーマット	ビデオフォーマット
マルチ音声（ステレオ二重音声など）を HD/SD 録画	音声 1 を記録します。	録画制限のあるデジタル放送は記録できません。
マルチ音声（ステレオ二重音声など）を HD/SD 録画以外の録画モードで録画*5	HDD に記録された音声が記録されます。	録画制限のあるデジタル放送は記録できません。
モノラル二重音声	● 主／副両方の音声を記録します。 ● リニア PCM 記録するときは、「二ヶ国語音声設定」で選んだ音声のみ記録します。 （録画画質 XP 以外のダビングでは働きません。）	録画制限の無いデジタル放送とアナログ放送は、「二ヶ国語音声設定」で選んだ音声を記録します。

*1：「スタートメニュー」－「各種設定」－「録画機能設定」－「高速ダビング設定」で設定します。
*2：デジタル放送で放送される場合があります。番組情報で「音声1」「音声2」などと表示されます。
例：「音声1は日本語のステレオ放送、音声2は外国語でステレオ放送を行っている番組」などをマルチ音声といいます。
*3：デジタル放送やアナログ放送で放送される場合があります。番組情報で「主」「副」などと表示されます。
*4：「スタートメニュー」－「各種設定」－「録画機能設定」－「二ヶ国語音声設定」で設定します。
*5：HD/SD 録画画質以外で録画したマルチ音声（ステレオ二重音声など）は、視聴中の音声がHDD に記録されます。
予約録画時に詳細設定で番組情報取得を行うと、音声設定で記録する音声を設定できます。（**65** ページ）

⑥ 高速ダビング設定

HDD(ハードディスク)からビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクに高速ダビングしたいときは、HDD(ハードディスク)に録画する前に「高速ダビング設定」を行います。

設定項目	設定値
する	HDD(ハードディスク)に録画した後でビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクに高速ダビングしたいときは、「する」に設定します。 ※　HDD(ハードディスク)にデジタル放送をAUTO(HD/SD)録画した番組は高速ダビング設定はできません。
しない☆	フレーム単位の編集を行いたいときは、「しない」に設定します。

⑦DVD 自動初期化設定

未使用のDVD-RWディスクを本機にセットすると、自動的に初期化されます。その際の録画フォーマットを設定できます。

設定項目	設定値
VRフォーマット☆	VRフォーマットで自動初期化されます。
ビデオフォーマット	ビデオフォーマットで自動初期化されます。

- VRフォーマット、ビデオフォーマットのいずれかで初期化します。

本体の動作に関する設定をする

本体の動作に関する設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

■各種設定［本体設定］ **/**［*］午前 **:**
録画機能設定 本体設定 機能切換 デジタル設定 かんたん設定
⑧ 地域設定
⑨ チャンネル設定
⑩ アンテナ設定
⑪ 映像・音声設定
⑫ 日付・時刻設定
⑬ クイック起動設定
⑭ 無操作オフ設定
⑮ 設定リセット
⑯ 個人情報初期化
で選択し 決定 を押す 戻る で前の画面に戻る 終了 で終了

⑧ 地域設定

各項目について詳しくは**215**ページをご覧ください。

⑨ チャンネル設定

各項目について詳しくは**206**～**213**、**218**、**220**～**225**ページをご覧ください。

⑩ アンテナ設定

各項目について詳しくは**216**～**217**ページをご覧ください。

⑪ 映像・音声設定

画面サイズ設定

テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの画面サイズが変わったときは、「画面サイズ設定」の変更が必要です。
接続するテレビの画面サイズ（横縦比）、映像出力を設定します。

設定項目	設定内容
16：9（ワイド）☆	16:9画面サイズのテレビと接続するときに設定します。
4：3（ノーマル）	4：3 画面サイズのテレビと接続するときに設定します。

「4:3（ノーマル）」選択時に表示

設定項目	設定内容
レターボックス	画面サイズが4:3のテレビと接続して16:9映像を再生するとき、16：9の比率を保ったまま上下に黒い帯を入れて再生します。
パンスキャン	画面サイズが4:3のテレビと接続して16:9映像を再生するとき、映像の左右をカットして4：3のサイズで再生します。（4:3PS指定の表示があるDVDビデオで動作する機能です。）

D映像出力設定

テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの端子の種類が変わったときは、「D映像出力設定」の変更が必要です。

設定項目	設定内容
D1 ☆	テレビのD1映像入力端子と接続するとき。
D2	テレビのD2映像入力端子と接続するとき。
D3	テレビのD3映像入力端子と接続するとき。
D4	テレビのD4映像入力端子と接続するとき。
1125i優先※	映像を1125iで出力します。
750p優先※	映像を750pで出力します。

※「1125i優先」や「750p優先」に設定していても、DVDの再生映像は「525i」または「525p」で出力されます。
- 設定後、D映像ケーブルを抜き差しすると、設定はD1に戻ります。

HDMI映像出力設定

市販のHDMIケーブル（19ピン）を使って本機とテレビを接続したときの設定です。本機のHDMI端子から出力される映像の解像度を設定します。
通常は「オート」に設定してください。

設定項目	設定内容
オート☆	通常は「オート」に設定します。
1125i固定	1125iの映像を出力します。
750p固定	750pの映像を出力します。
525p固定	525pの映像を出力します。

HDMI自動切換設定

市販のHDMIケーブル（19ピン）を使って本機とテレビを接続しているとき、テレビの電源を入れると（本機がテレビを認識すると）、HDMI出力に自動的に切り換えるかを設定します。

設定項目	設定内容
する☆	自動切換を行います。
しない	自動切換を行いません。

※HDMIとD映像の両方を接続している場合は、自動切換は行われません。

プログレッシブ設定

通常画質の映像（525i）を再生時にプログレッシブ（525p）に変換して出力するかしないかを設定します。

設定項目	設定内容
する	プログレッシブ（525p）の映像を出力します。
しない☆	通常画質（525i）の映像を出力します。

- D映像端子が接続されていない場合や、D映像出力の設定がD1に設定されている場合は、プログレッシブ出力ができません。
- 再生映像やテレビとの相性によりプログレッシブ再生した映像が乱れて見える場合があります。そのようなときは「プログレッシブ設定」を「しない」に設定してください。

3次元Y／C分離設定

テレビ放送や外部入力に接続された機器の映像を、よりきれいな映像で、再生･録画するときに設定します。

設定項目	設定内容
する☆	より高画質の録画ができます。（通常は「する」に設定します。）
しない	電波の弱い放送を受信していて映像が正常に見えない場合や、本機の外部入力端子にビデオ機器やゲーム機などを接続したときに映像が乱れる場合は、「しない」に設定します。

- S映像入力では働きません。

デジタル音声出力設定

デジタル入力端子付きのオーディオ機器などとデジタル接続をして、ドルビーデジタルサラウンドなどを楽しむための設定です。

デジタル放送視聴時などの信号形式

設定項目	設定内容
PCM ☆	・2chオーディオ機器やMDとデジタル接続したときに選択します。 ・AAC 音声を、2ch オーディオ機器で再生可能な PCM（非圧縮）音声にして出力します。
AAC※	AAC対応のAVアンプなどを接続するときに選択します。

DVD再生時等の信号形式

設定項目	設定内容
PCM ☆	・2chオーディオ機器やMDとデジタル接続したときに選択します。 ・ドルビーデジタル音声を、2chオーディオ機器で再生可能な PCM（非圧縮）音声にして出力します。
ドルビーデジタル※	・ドルビーデジタル（5.1ch）対応のオーディオ機器とデジタル接続したときに選択します。 ・ドルビーデジタルサラウンドが楽しめます。
ドルビーデジタル/DTS	・ドルビーデジタル、DTS対応のオーディオ機器とデジタル接続したときに選択します。 ・ドルビーデジタルサラウンド、DTSデジタルサラウンドが楽しめます。

※「AAC」「ドルビーデジタル」に対応していないHDMI端子付きのテレビと接続したときは、HDMI端子からは、「PCM」音声が出力されます。

DVD音声出力レベル

音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、平均的な音量で再生します。セリフが聞きづらいときに調整します。

設定項目	設定内容
ノーマル☆	記録されている音声をそのまま出力します。
シフト※	ドルビーデジタル音声を再生したとき、音楽用CDの音声と同じ音量に聞こえるよう、平均音量を上げます。（音声が正常に聞こえないときはノーマルにしてください。）

※設定する際は、音量を下げてください。大きな音が出たり、スピーカーに過大な入力が入る場合があります。

⑫ 日付・時刻設定

自動設定について

デジタル放送を受信している場合、日付・時刻の設定は自動的に行われます。受信していない場合は設定を行ってください。

日付・時刻設定

予約設定の前に時計が合っていることを確認し、合っていない場合は時計を合わせてください。
デジタル放送を受信すると自動的に日付・時刻が設定されますので、この設定は不要です。
詳しくは**196**ページをご覧ください。（設定方法が、基本操作と少し異なります。）

⑬ クイック起動設定

素早く電源を入にして、番組表などを表示することができます。

設定項目	設定内容
する（設定 1）	「電源を入れる」「電子番組表を表示させる」「スタートメニューを表示させる」などの操作や、「録画」「再生」の操作がすぐにできる設定です。
する（設定 2）	電源を切ったあとの2時間は、設定1と同じ操作ができます。 電源を切ったあと2時間を過ぎると、「しない」の設定と同じになります。
しない☆	クイック起動設定を「切」にします。

- 「クイック起動」が設定されている状態で「ダウンロードサービス」を行うとき、ダウンロードサービスを開始する5分前になると、一時的に「クイック起動」設定を解除します。そのため、すぐに電源が入らない場合があります。
- 操作方法は**200**ページをご覧ください。

⑭ 無操作オフ設定

操作をしない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

設定項目	設定内容
する	操作をしない状態が約3時間続くと、自動的に電源を切ります。
しない☆	電源は自動的に切れません。

- 無操作オフ機能は、再生や録画を行っているときは働きません。

⑮ 設定リセット

システムに保存している情報を初期状態（工場出荷時の状態）に戻します。

設定項目	設定内容
する	リセットして、本機に保存している情報を、初期状態に戻します。
しない☆	リセットしません。

- リセットを実行すると、予約内容、番組表データは消去されますが、HDD（ハードディスク）内の録画番組は消去されません。また、暗証番号の設定はリセットされません。
- 設定リセットを行うと、自動的に電源は「切」となります。
- 操作方法は**262**ページをご覧ください。
- リモコン番号は1に戻ります。

⑯ 個人情報初期化

本機には、放送局とデータの送受信をするために入力した、お客様の個人情報が記憶されています。
本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い、情報を消去してください。

設定項目	設定内容
する	個人情報が初期化されます。
しない☆	個人情報が残ります。

- 個人情報初期化を行うと、設定が工場出荷時の状態に戻り、自動的に本機の電源が切れます。
- リモコン番号は1に戻ります。

本機の機能に関する設定をする

さまざまな機能に関する設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

■各種設定［機能切換］　＊＊/＊＊［＊］午前 ＊＊:＊＊

録画機能設定 | 本体設定 | 機能切換 | デジタル設定 | かんたん設定

⑰ ファミリンク設定
⑱ 高精細表示設定
⑲ ＤＶＤ再生設定
⑳ 画質調整
㉑ 液晶設定
㉒ 電源オフ時計表示設定
㉓ i.LINK録画設定
㉔ タイムシフト視聴設定

で選択し（決定）を押す　（戻る）で前の画面に戻る　（終了）で終了

⑰ ファミリンク設定

連動設定

「ファミリンク」を搭載したシャープ製のテレビとHDMIケーブルで接続したとき、テレビから本機を操作できるようにするか、しないかを設定します。

設定項目	設定内容
する☆	HDMI で接続した機器から操作できるようにします。
しない	HDMIで接続した機器から操作できないようにします。

● その他のテレビの場合は設定が無効となります。

テレビの設定取得

ファミリンクに対応したテレビ（シャープ製）の設定情報を取得し、チャンネルをテレビと同じ設定にすることができます。

⑱ 高精細表示設定

本機からテレビへ1125iの解像度で映像出力している場合、電子番組表やスタートメニュー、録画リストを高精細画面で表示することができます。

設定項目	設定内容	
	電子番組表	録画リスト
する☆	６時間表示	18画面
しない	３時間表示	６画面

● 高精細表示にするには、デジタルハイビジョンテレビと本機を次のどちらかの方法で接続、設定してください。
・D映像ケーブルで接続し、「D映像出力設定」（**147**ページ）を「1125i優先」に設定する。
・HDMIケーブルで接続し、「HDMI映像出力設定」（**147**ページ）を「オート」または「1125i固定」に設定する。

⑲ DVD 再生設定

視聴制限レベル

ディスクの内容により、視聴制限を設定できます。操作方法については**153**ページをご覧ください。

視聴制限レベル

● 視聴制限は、「暗証番号」を設定した場合のみ設定できます。

設定項目	設定内容
1	子供向けディスクを再生できます。 成人指定ディスクと一般向けディスク（R指定含む）は再生できません。
2～3	一般向けディスク（R指定を除く）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R）指定ディスクは再生できません。
4～7	一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクは再生できません。
8	すべてのディスクを制限無しで再生できます。
切☆	視聴制限を「切」にします。

国コード

設定項目	設定内容
（国コード）	国コードを選びます。（国コード一覧**153**ページを参照）

ディスク優先言語

画面に表示するメニューや、音声の言語を選択できます。操作方法については**153**ページをご覧ください。

字幕言語

設定項目	設定内容
（言語コード）	字幕の言語コードを選びます。（言語コード一覧**153**ページを参照）

音声言語

設定項目	設定内容
（言語コード）	音声の言語コードを選びます。（言語コード一覧**153**ページを参照）

メニュー言語

設定項目	設定内容
（言語コード）	メニューの言語コードを選びます。（言語コード一覧 **153** ページを参照）

● 画面に表示されるメニューや音声の言語はディスクによって異なります。上記の設定を行っても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示／非表示や切り換えを禁止している場合があります。また、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

アングルマーク表示

DVDビデオのタイトルで、マルチアングルで録画されたシーンを再生中に、アングルマーク「 」を画面に表示します。

設定項目	設定内容
する	アングルマークを表示します。
しない☆	アングルマークを表示しません。

⑳ 画質調整

DNR（デジタルノイズリダクション）設定

映像のノイズを低減して見やすい映像にすることができます。

設定項目	設定内容
弱	映像のノイズを少し低減します。
中	映像のノイズを低減します。
強	映像のノイズを大きく低減します。
切☆	DNR機能を使いません。

クロマディレイ設定

輝度信号と色信号のズレを調節できます。

設定項目	設定内容
−2 −1 +1 +2	輝度信号と色信号のズレを調節します。
切☆	クロマディレイ機能を使いません。

ブロックNR（ノイズリダクション）設定

動きの激しい映像などで生じるブロック状のノイズを低減します。

設定項目	設定内容
入	ブロック状のノイズを低減します。
切☆	ブロックノイズリダクション機能を使いません。

モスキートNR（ノイズリダクション）設定

画像の輪郭部分で生じる、ちらつきノイズを低減します。

設定項目	設定内容
入	ちらつきノイズを低減します。
切☆	モスキートノイズリダクション機能を使いません。

㉑ 液晶設定

液晶バックライト

液晶バックライトを点灯させるか消灯させるかを設定します。

設定項目	設定内容
点灯☆	電源が入っているときに液晶バックライトを点灯させます。
予約実行時のみ消灯	電源切（待機）状態で予約録画が始まった場合、液晶バックライトは点灯しません。就寝中の明かりが気になるときに設定すると便利です。
消灯	液晶バックライトは消灯します。

㉒ 電源オフ時計表示設定

本機の電源を切ったときに、本体表示部に時計を表示できます。

設定項目	設定内容
する	時計を表示します。
しない☆	時計を表示しません。

㉓ i.LINK 録画設定

i.LINK接続したテレビで見ている番組を録画することができます。接続したテレビ（シャープ製）を選んでください。
詳しくは**160**、**169**ページをご覧ください。

㉔ タイムシフト視聴設定

放送視聴時にタイムシフト視聴をするための設定です。タイムシフトする時間を選びます。

設定項目	設定内容
−−（しない）☆	タイムシフト視聴しません。
30分 **60分** **90分**	設定した時間ぶんタイムシフト視聴します。

- タイムシフト視聴設定を行うと、電源が自動的に「切」になります。再度電源を入れ直すと、設定が有効になります。
- タイムシフトについて詳しくは、**44**ページをご覧ください。

デジタル放送の設定をする

デジタル放送の受信に関する設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

「かんたん設定」については、201ページ

■各種設定［デジタル設定］ **/**［*］午前 **:**

録画機能設定 | 本体設定 | 機能切換 | デジタル設定 | かんたん設定

㉕ ダウンロード設定
㉖ 番組表設定
㉗ 通信設定
㉘ 暗証番号設定
㉙ 視聴年齢制限設定
㉚ ＰＰＶ設定
㉛ 双方向サービス設定
㉜ 字幕表示設定
㉝ システム動作テスト

で選択し（決定）を押す （戻る）で前の画面に戻る （終了）で終了

㉕ ダウンロード設定

電源「切」のとき自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行うかどうかを設定します。（ソフトウェアを自動更新することで本機の機能改善などに対応することができます。）

設定項目	設定内容
する☆	自動ダウンロードを行います。
しない	自動ダウンロードを行いません。

- ダウンロード中は、本体表示部に「DL」と表示されます。

㉖ 番組表設定

番組表取得設定

地上デジタル放送の電子番組表情報を自動で取得するための時間を設定します。取得するための設定ついては **219**ページをご覧ください。

表示方式設定

電子番組表の高精細画面で表示するときの表示のしかたを設定することができます。電子番組表については**38**～**39**ページをご覧ください。

設定項目	設定内容
モード１	チャンネルを縦方向に表示します。
モード２☆	新聞のテレビ欄のように、チャンネルを横方向に表示します。

ジャンルアイコン設定

番組表のジャンルを示すアイコン（マーク）をお好みにあわせて表示させることができます。（マークについては**38**ページ参照。）

設定項目	設定内容
標準☆	標準の設定です。
薄く	アイコン（マーク）を薄く表示します。
注目	アイコン（マーク）を赤で表示します。

㉗ 通信設定

各項目について詳しくは**228**～**231**ページをご覧ください。

㉘ 暗証番号設定

本機は視聴年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときや、PPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）などを購入するときに、暗証番号を使います。
操作方法については、**152**ページをご覧ください。

㉙ 視聴年齢制限設定※

年齢制限のある番組の視聴を制限するための設定です。年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。

設定項目	設定内容
数字ボタンで年齢を入力	視聴年齢を制限します。
無制限☆	視聴年齢を制限しません。

※あらかじめ暗証番号の設定（**152**ページ）をしておくことが必要です。

㉚ PPV 設定※

PPV制限

暗証番号を入力しないとPPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）を購入できないようにする設定です。

設定項目	設定内容
する	PPV 制限をします。
しない☆	PPV 制限をしません。

PPV購入金額制限

PPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）の購入金額を制限する設定です。設定した金額以上の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。

設定項目	設定内容
数字ボタンで購入金額を入力	購入金額を制限します。
無制限☆	購入金額を無制限にします。

※あらかじめ暗証番号の設定（**152**ページ）をしておくことが必要です。

㉛ 双方向サービス設定※

電話回線への接続を禁止します。

設定項目	設定内容
電話回線を禁止する	電話回線への接続を禁止します。
禁止しない☆	電話回線に接続できます。

※あらかじめ暗証番号の設定（**152**ページ）をしておくことが必要です。

㉜ 字幕表示設定

デジタル放送で字幕のある番組を視聴しているときに、常に字幕を表示させるかさせないかを設定することができます。

設定項目	設定内容
する	字幕を常に表示します。
しない☆	字幕を表示させません。

㉝ システム動作テスト

アンテナや電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているかなどをテストすることができます。

- テストに失敗したときは、「アンテナとの接続」（**176**～**178**ページ）、「B-CASカードの挿入」（**189**ページ）、電話回線の接続（**226**～**227**ページ）が正しく行われているかどうか、ご確認ください。
- 本機のソフトウェアのバージョン情報を確認することもできます。

暗証番号を設定する

視聴制限やPPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）購入のための暗証番号を設定します。

ご注意

・初期化したときは、データ放送などで、再度情報の入力が必要となります。また、ポイント情報なども初期化されます。

お知らせ

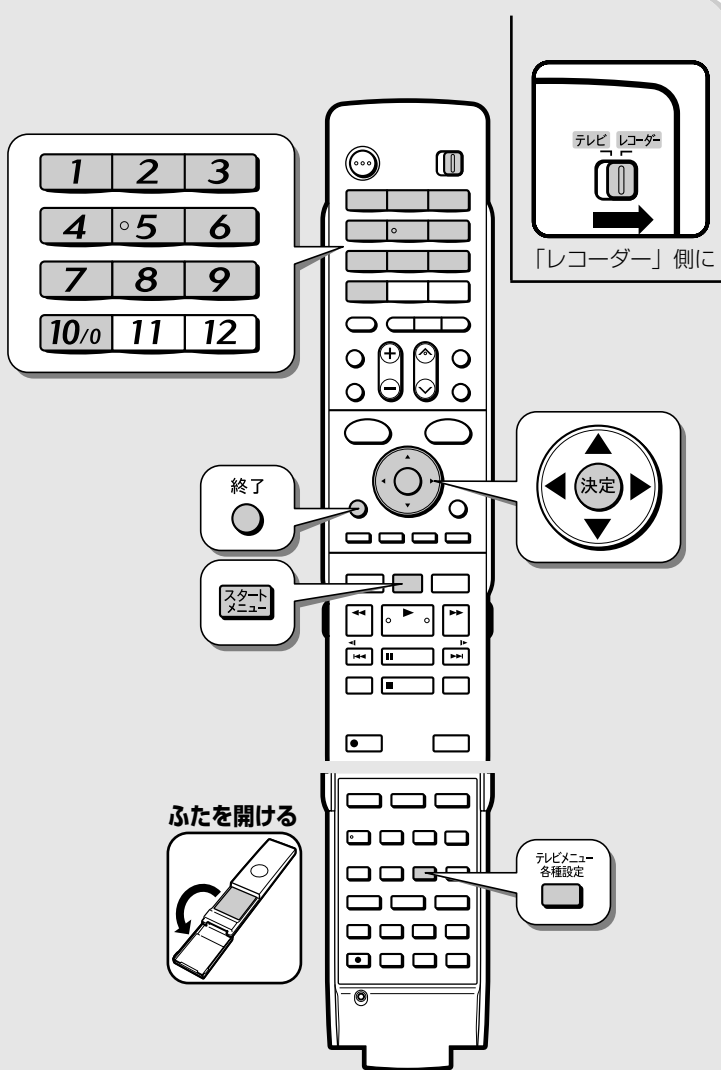
・**暗証番号は忘れないように必ずメモしてください。**

暗証番号を忘れたときは

・「各種設定」－「本体設定」－「個人情報初期化」で個人情報を初期化することでリセットされます。
　他の設定項目もリセットされ、工場出荷状態に戻ります。

暗証番号は以下の設定で使います

デジタル設定
- 視聴年齢制限設定
- PPV 設定
- 双方向サービス設定

・「機能切換」－「DVD 再生設定」－「視聴制限レベル」の暗証番号としても使います。

1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

4 「デジタル設定」を選んで決定し、「暗証番号設定」を選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

6 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力します

7 確認のためもう一度入力します

8 「確認」で決定します

⇨暗証番号設定

9 設定を終了します

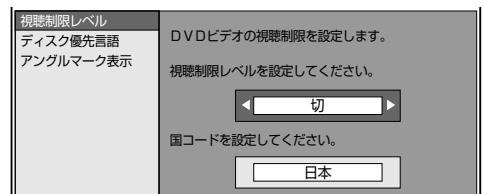
視聴制限とディスク優先言語を設定する

視聴制限で国コード、ディスク優先言語で言語コードを設定します。

1 「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「DVD再生設定」を選んで決定します

2 「視聴制限レベル」を選んで決定します

3 暗証番号 152ページ を入力します

4 それぞれ選んで決定します

- 視聴制限レベルについては**149**ページをご覧ください。
- 国コードについては下記をご覧ください。

5 「ディスク優先言語」を選んで決定します

6 それぞれの項目の言語を選んで決定します

7 設定を終了します

終了 押す

お知らせ

・「ディスク優先言語」で選ぶ言語コードについては下記をご覧ください。

国コードの一覧表

国コード
アメリカ
カナダ
日本
ドイツ
フランス
イギリス
イタリア
スペイン
スイス
スウェーデン
オランダ
ノルウェー
デンマーク
フィンランド
ベルギー
香港
シンガポール
タイ
マレーシア
インドネシア
台湾
フィリピン
オーストラリア
ロシア
中国

言語コードの一覧表

ＡＡ アファル語	ＦＹ フリジア語	ＬＶ ラドビア語、レット語	ＳＬ スロベニア語
ＡＢ アブバジア語	ＧＡ アイルランド語	ＭＧ マダカスカル語	ＳＭ サモア語
ＡＦ アフリカーンス語	ＧＤ スコットランドゲール語	ＭＩ マオリ語	ＳＮ ショナ語
ＡＭ アムハラ語	ＧＬ ガルシア語	ＭＫ マケドニア語	ＳＯ ソマリ語
ＡＲ アラビア語	ＧＮ グアラニ語	ＭＬ マラヤーラム語	ＳＱ アルバニア語
ＡＳ アッサム語	ＧＵ グジャラート語	ＭＮ モンゴル語	ＳＲ セルビア語
ＡＹ アイマラ語	ＨＡ ハウサ語	ＭＯ モルダビア語	ＳＳ シスワティ語
ＡＺ アゼルバイジャン語	ＨＩ ヒンディ語	ＭＲ マラータ語	ＳＴ セストゥ語
ＢＡ バジキール語	ＨＲ クロアチア語	ＭＳ マレー語	ＳＵ スンダ語
ＢＥ ベラルーシ語	ＨＵ ハンガリー語	ＭＴ マルタ語	ＳＶ スウェーデン語
ＢＧ ブルガリア語	ＨＹ アルメニア語	ＭＹ ミャンマー語	ＳＷ スワヒリ語
ＢＨ ビハーリー語	ＩＡ 国際語	ＮＡ ナウル語	ＴＡ タミール語
ＢＩ ビスラマ語	ＩＥ 国際語	ＮＥ ネパール語	ＴＥ テルグ語
ＢＮ ベンガル語、バングラ語	ＩＫ イヌピック語	ＮＬ オランダ語	ＴＧ タジク語
ＢＯ チベット語	ＩＮ インドネシア語	ＮＯ ノルウエー語	ＴＨ タイ語
ＢＲ ブルトン語	ＩＳ アイスランド語	ＯＣ プロバンス語	ＴＩ ティグリニャ語
ＣＡ カタロニア語	ＩＴ イタリア語	ＯＭ アファン語（オロモ語）	ＴＫ トゥルクメン語
ＣＯ コルシカ語	ＩＷ ヘブライ語	ＯＲ オリヤー語	ＴＬ タガログ語
ＣＳ チェコ語	ＪＡ 日本語	ＰＡ パンジャブ語	ＴＮ セツワナ語
ＣＹ ウェールズ語	ＪＩ イディッシュ語	ＰＬ ポーランド語	ＴＯ トンガ語
ＤＡ デンマーク語	ＪＷ ジャワ語	ＰＳ パシュトー語	ＴＲ トルコ語
ＤＥ ドイツ語	ＫＡ グルジア語	ＰＴ ポルトガル語	ＴＳ ツォンガ語
ＤＺ ブータン語	ＫＫ カザフ語	ＱＵ ケチュア語	ＴＴ タタール語
ＥＬ ギリシャ語	ＫＬ グリーンランド語	ＲＭ ラエティ＝ロマン語	ＴＷ トウィ語
ＥＮ 英語	ＫＭ カンボジア語	ＲＮ キルンディ語	ＵＫ ウクライナ語
ＥＯ エスペラント語	ＫＮ カンナダ語	ＲＯ ルーマニア語	ＵＲ ウルドゥ語
ＥＳ スペイン語	ＫＯ 韓国語	ＲＵ ロシア語	ＵＺ ウズベク語
ＥＴ エストニア語	ＫＳ カシミール語	ＲＷ キニャルワンダ語	ＶＩ ベトナム語
ＥＵ バスク語	ＫＵ クルド語	ＳＡ サンスクリット語	ＶＯ ボラピュク語
ＦＡ ペルシャ語	ＫＹ キルギス語	ＳＤ シンド語	ＷＯ ウォロフ語
ＦＩ フィンランド語	ＬＡ ラテン語	ＳＧ サンゴ語	ＸＨ コーサ語
ＦＪ フィジー語	ＬＮ リンガラ語	ＳＨ セルビアクロアチア語	ＹＯ ヨルバ語
ＦＯ フェロー語	ＬＯ ラオス語	ＳＩ シンハラ語	ＺＨ 中国語
ＦＲ フランス語	ＬＴ リトアニア語	ＳＫ スロバキア語	ＺＵ ズール語

ファミリンクで便利に使う

ファミリンク機能

この章では、本機とシャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」をHDMI ケーブルで接続して行える連動操作（ファミリンク機能※）やリモコンの自動入力切換について説明しています。

※ファミリンク機能は、ファミリンク機能に対応したテレビとHDMI ケーブルで接続して操作できる機能です。

ファミリンク機能について

ファミリンク対応デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」と本機をHDMIケーブルで接続することにより連動操作が行えます（ファミリンク機能）。

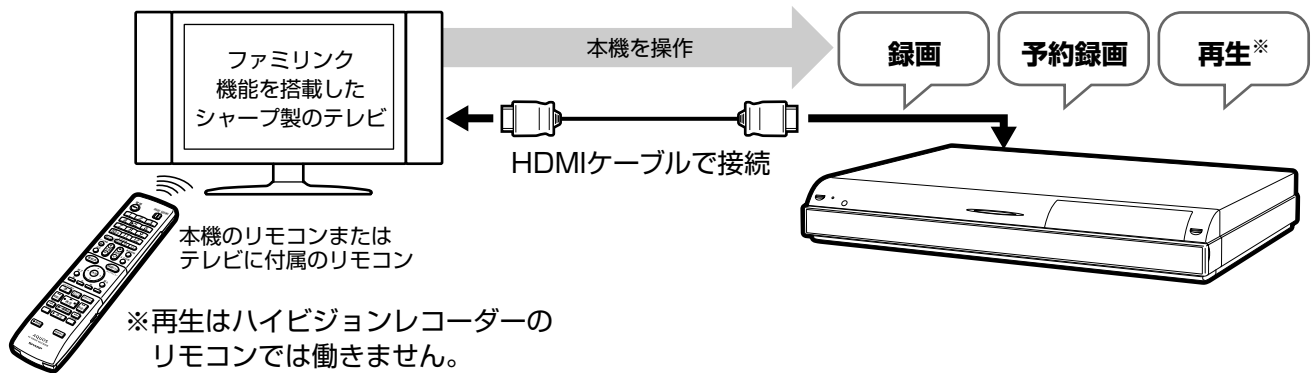
「ファミリンク機能」とは、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使用し、HDMI で規格化されているテレビや AV アンプを制御するためのコントロール機能です。
CEC 規格に準拠した機器と接続したときは、同様の連動操作が楽しめます。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

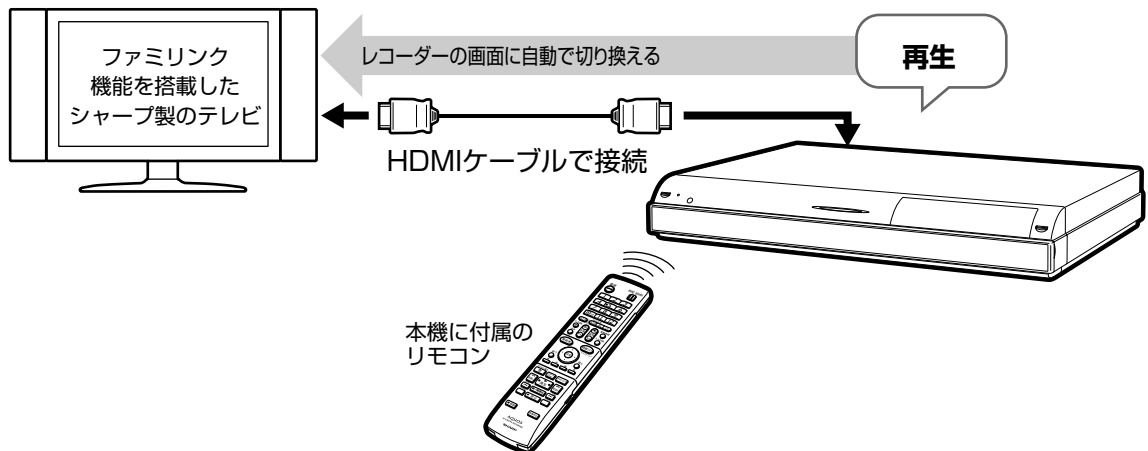
ファミリンク機能を搭載したシャープ製テレビと本機をHDMIケーブルで接続することによりできること

テレビを見ながら

（本機のリモコンまたはテレビのリモコンで）

- テレビで見ている番組を本機にワンタッチ録画 ▶ 161 ページ
- 本機をボタンひとつで再生などワンタッチ操作 ▶ 161 ページ
- テレビの電子番組表で本機に予約録画 ▶ 163 ページ
- 本機の電子番組表を呼び出して予約録画 ▶ 162 ページ

※再生はハイビジョンレコーダーのリモコンでは働きません。

本機でタイトル（録画した番組）や DVD を再生すると

- テレビの画面が本機の再生映像に自動切換 ▶ 161 ページ

i.LINK 接続でできること

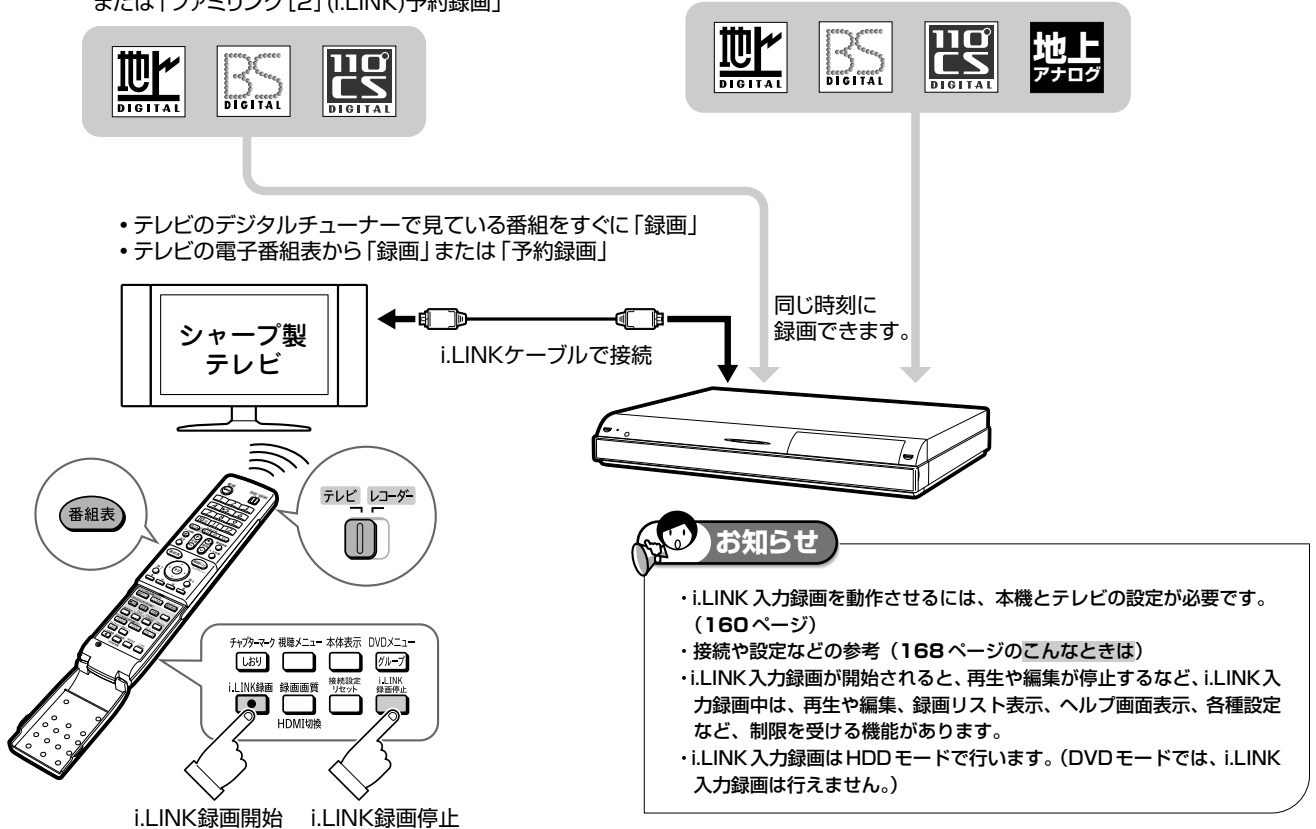
●録画したい番組が同時刻に重複しても本機の内蔵チューナーとテレビのチューナーを使い、2つの番組を同時に録画することができます。

2番組同時に録画したいとき（ハイブリッドダブレコ）

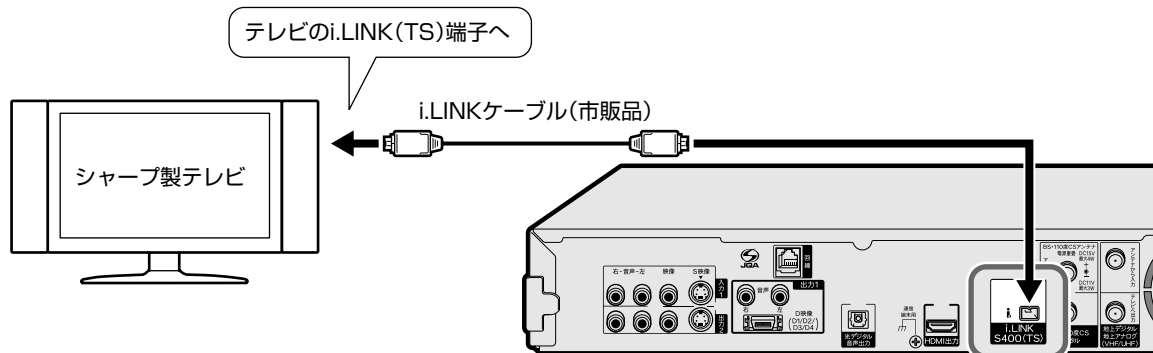
●本機の録画／予約録画に加えて、テレビのチューナーを利用しデジタル放送を「i.LINK入力録画」▶ **165**ページ

●**160**ページの設定が必要です。

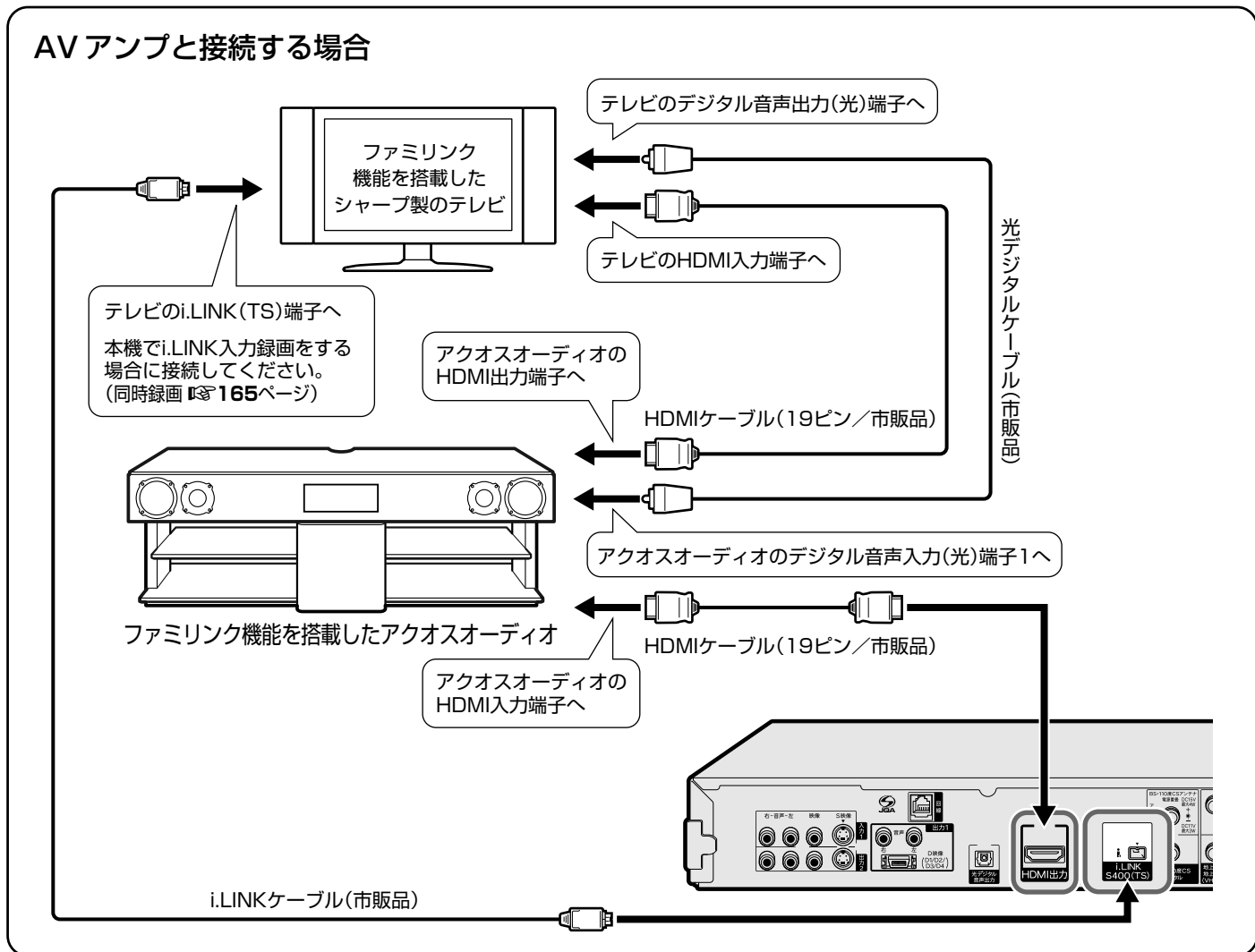
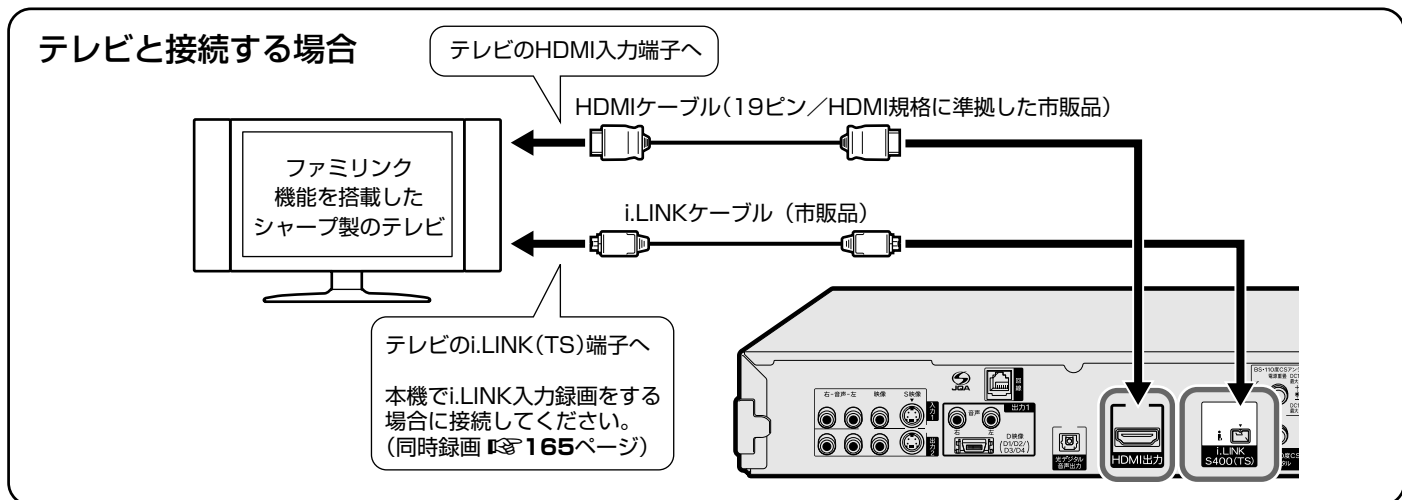
お知らせ

- i.LINK 入力録画を動作させるには、本機とテレビの設定が必要です。（**160**ページ）
- 接続や設定などの参考（**168**ページのこんなときは）
- i.LINK入力録画が開始されると、再生や編集が停止するなど、i.LINK入力録画中は、再生や編集、録画リスト表示、ヘルプ画面表示、各種設定など、制限を受ける機能があります。
- i.LINK 入力録画はHDDモードで行います。（DVDモードでは、i.LINK入力録画は行えません。）

■ファミリンク機能に対応していないシャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」でも、i.LINK 接続による2番組同時録画（ハイブリッドダブレコ）は可能です。以下の接続を行ってから、専用の設定（169ページ）を行ってください。

・操作方法については、**170**～**172**ページ
・接続には、i.LINK ケーブル（市販品）が必要です。
・接続について詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

シャープ製テレビと接続

ファミリンク機能を使うための接続をする

連動操作をするため、シャープ製のテレビと HDMI ケーブルで接続します。

- テレビの内蔵チューナーと本機の内蔵チューナーで 2 番組を同時刻に録画（ハイブリッドダブレコ）したい場合は、i.LINK ケーブルを使った接続が必要です。（ファミリンクに対応していないシャープ製テレビ「アクオス」の場合は、**168** ページ）

AV アンプと接続する場合

テレビのデジタル音声出力（光）端子へ

ファミリンク機能を搭載したシャープ製のテレビ

テレビのHDMI入力端子へ

光デジタルケーブル（市販品）

テレビのi.LINK（TS）端子へ

本機でi.LINK入力録画をする場合に接続してください。
（同時録画 ☞165ページ）

アクオスオーディオのHDMI出力端子へ

HDMIケーブル（19ピン／市販品）

アクオスオーディオのデジタル音声入力（光）端子1へ

ファミリンク機能を搭載したアクオスオーディオ

HDMIケーブル（19ピン／市販品）

アクオスオーディオのHDMI入力端子へ

HDMI出力

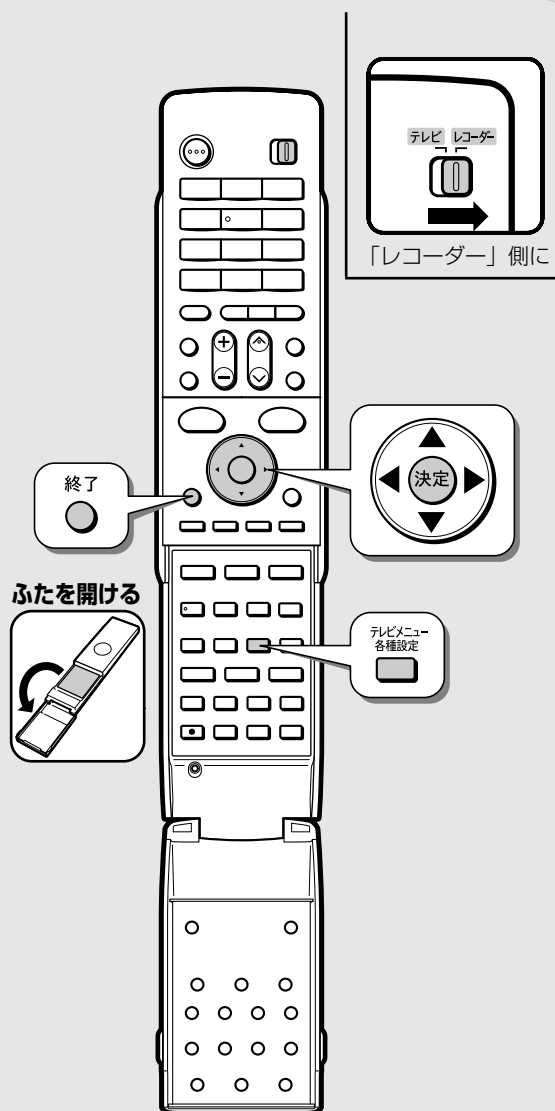
i.LINK S400（TS）

i.LINKケーブル（市販品）

ファミリンク機能やハイブリッドダブレコに対応している液晶テレビ「アクオス」は？

- 対応機種については、DVD/BD サポートステーションの「AQUOS ファミリンクとは？　対応している機種は？」をご確認ください。
  DVD/BD サポートステーション http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.html

ファミリンク機能を使うための設定をする

ファミリンク機能で本機を動作させるには、「ファミリンク設定」の「連動設定」を「する」に設定します。
（工場出荷時は「連動設定」が「する」に設定されています。）

1 HDMIケーブルで接続します 157ページ

●i.LINKケーブルを接続するとハイブリッドダブレコも行えます。（165ページ）

2 テレビと本機の準備をします 35ページ

3 各種設定画面を表示させます

（ふた内）

・「スタートメニュー」－「各種設定」でも表示させることができます。

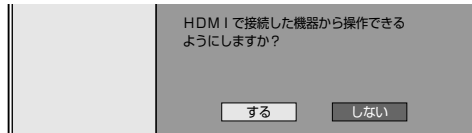
4 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選んで決定します

5 「連動設定」を選んで決定します

本機のチャンネル設定をテレビと同じにしていない場合

「テレビの設定取得」を選んで（決定）を押します。画面の指示に従って設定します。
その後、改めて「連動設定」を選んで決定してください。

・初期設定や一発チャンネル設定などで、本機のチャンネル設定をテレビと同じにしていない場合は、テレビの設定を取得する必要があります。

6 「する」を選んで決定します

7 設定を終了します

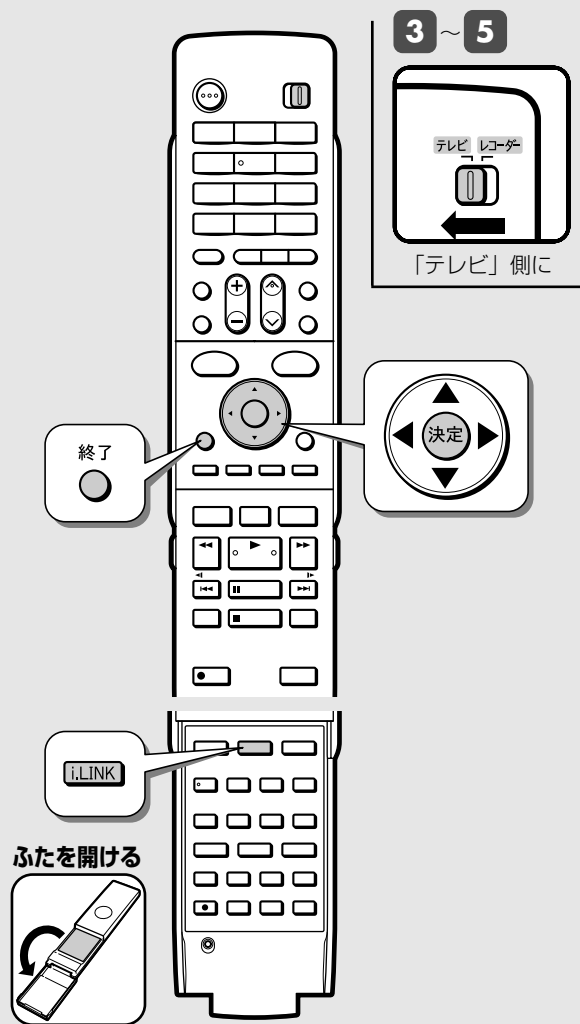
テレビの設定取得をする（本機側の設定）

- 初期設定や一発チャンネル設定などで、本機のチャンネル設定をテレビと同じにしていない場合は、テレビの設定を取得する必要があります。
- テレビの設定を取得する場合は、手順 5 で「テレビの設定取得」を選び、画面の指示に従って設定をしてください。

テレビ側の設定

- ファミリンク機能で本機を連動させるには、テレビ側の、連動設定と録画機器選択の設定が必要です。
  詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

i.LINK 接続をした場合の設定をする

i.LINK入力録画（ハイブリッドダブレコ）を行うため、準備を必ず行ってください。

準備：テレビ側の i.LINK 設定

（テレビと本機のどちらからもお互いを選択し合う設定を行います。）

1 本機とテレビを i.LINK ケーブルで接続します 156、157ページ

2 テレビの電源と本機の電源を入れます

- 本体の HDD ランプが点滅→点灯に変わるまでお待ちください。

リモコンをテレビに向けて

3 リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側に切り換えます

4 i.LINK 入力にします

（ふた内）

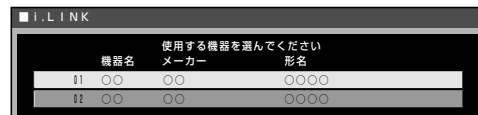
5 機器選択画面に表示される接続機器の一覧から、本機を選び、決定します

- テレビに初めてi.LINK機器（本機）を接続したときは、機器選択画面が表示されます。

▼画面例

- テレビにすでにi.LINK機器を接続したことがある場合は、i.LINK操作パネルが表示されます。操作パネルの「機器選択」ボタンを選び、機器選択画面を表示してください。

6 i.LINK を押し、通常の画面に戻します

（ふた内）

設定完了

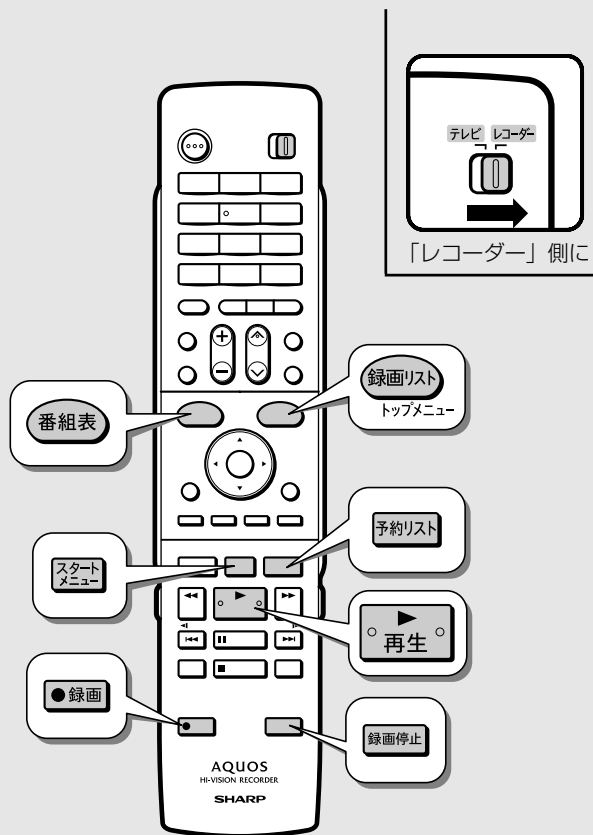
お知らせ

- i.LINK 機器との接続状態を確認したいときは、「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「i.LINK 録画設定」で接続した機器を選択しているか確認できます。

ワンタッチ操作をする（ファミリンク）

リモコンを切り換えることなく本機とテレビを連動操作できます。

ご注意

・本機が動作中は、ワンタッチ録画やテレビの電子番組表からの予約録画が行えません。
詳しくは「故障かな？と思ったら」（**246**、**247** ページ）をお読みください。
・テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。（ただし、録画中は録画が継続します。）

本機のリモコンでテレビの入力をワンタッチ切換（レコーダーに向けて操作します）

本機リモコンの下記のボタンを押すだけで自動的にテレビがレコーダーからの入力（HDMI 入力）に切り換わり、本機の画面が表示されます。

 ▶ 本機の電子番組表を表示

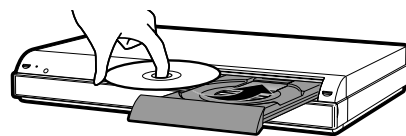
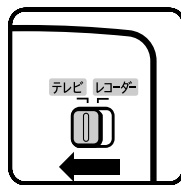
 ▶ 録画リストを表示

 ▶ スタートメニューを表示

 ▶ 予約リストを表示

 ▶ 本機の再生画面を表示（電源入からの操作でテレビの入力が切り換わります。）

■ DVD ディスクのオートプレイ

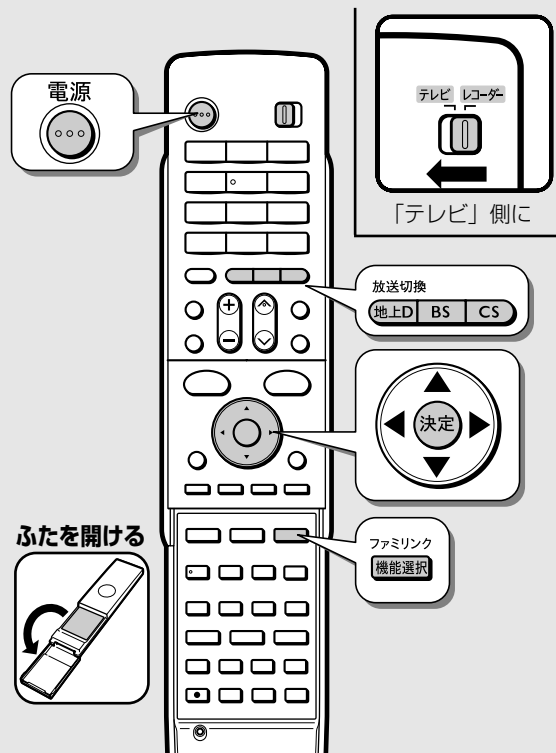
DVD ボタンを押してオートプレイ対応の DVD ディスクをセットすると、自動的に再生が始まりテレビに映ります。

テレビで見ている番組をワンタッチ録画（テレビに向けて操作します）

「テレビ」側に

本機の電源が待機状態でも自動的に電源が入り、テレビで見ている番組が録画できます。（本機のチャンネルが正しく切り換わらない場合は、**158** ページの設定をしてください。）

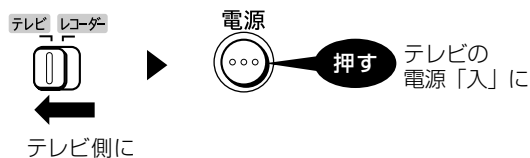
●録画 ▶ 本機で録画開始

録画停止 ▶ 録画を停止

テレビを見ながら録画予約する（ファミリンク）

本機またはテレビの電子番組表から録画予約ができます。

リモコンをテレビに向けて

本機の電子番組表を表示させて予約する

1 テレビの電源を入れます

2 予約したいデジタル放送を選びます

3 ファミリンク機能選択画面を表示させます

4 「AQUOS レコーダーで予約する」を選んで決定します

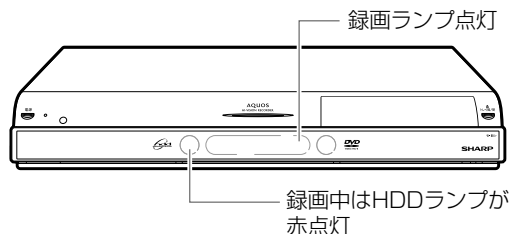
（例：液晶テレビ「アクオス」の画面例）

■ファミリンク機能選択
ＡＱＵＯＳレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
ＡＱＵＯＳオーディオで聞く
ＡＱＵＯＳで聞く
サウンドモード切換
ＨＤＭＩ機器選択

●本機の電子番組表が表示されます

5 本機の電子番組表で予約します

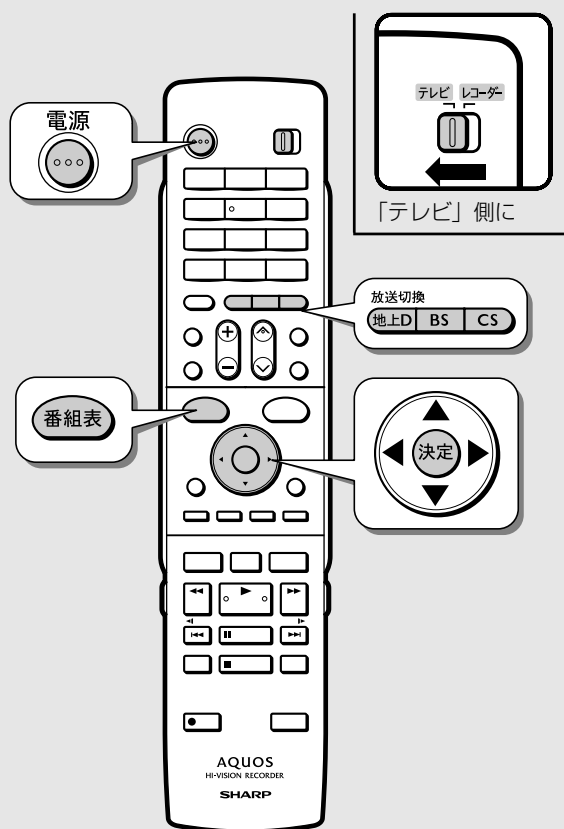
●予約について詳しくは 56 ページ

開始時刻になると、録画が始まります。

ご注意

・ファミリンクによる予約と本機の予約が重複しているときは、本機の予約録画が優先されます。
・ファミリンクによる予約開始時刻に本機で再生や録画動作をしていると、予約が実行されません。予約開始時刻の３分前までに本機の電源を切ってください。

お知らせ

・予約を変更する場合は、本機側で行ってください。（**70** ページ）
・「AQUOSレコーダーで予約する」を選んだときに表示されるレコーダーの番組表は、現在テレビ側で見ている放送の番組表となります。
・有料放送を録画するときは、契約されているB-CASカードを本機にセットしてください。

テレビの電子番組表で録画予約する（ファミリンク）

ご注意

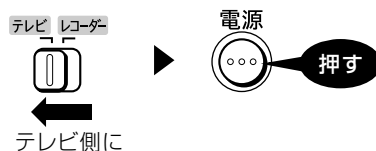
・ファミリンクによる予約と本機の予約が重複しているときは、本機の予約録画が優先されます。
・ファミリンクによる予約開始時刻に本機で再生や録画動作をしていると、予約が実行されません。予約開始時刻までに本機の電源を切ってください。
・テレビの電子番組表で予約するときは、「毎週録画」または「毎日録画」等の設定はできません。

お知らせ

・予約を変更する場合は、テレビ側で行ってください。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をお読みください。

テレビの電子番組表で予約する

リモコンをテレビに向けて

1 テレビの電源を入れます

2 予約したいデジタル放送を選びます

3 テレビの電子番組表を表示させます

4 テレビの電子番組表で予約します

●テレビに付属の取扱説明書もお読みください。

5 ファミリンク［1］（標準）予約をします

●テレビに付属の取扱説明書もお読みください。

開始時刻になると、録画が始まります。

ファミリンク予約録画時のお願い

テレビの電子番組表を使った「ファミリンク予約[1]（標準）※」を設定したときは、つぎの点にご注意ください。

※テレビの種類によっては「HDMI コントロール予約」と表示されるものがあります。

1.「ファミリンク予約[1](標準)」と本機の「予約録画」が重複しているときは、本機の予約録画が優先されます。そのため「ファミリンク予約[1](標準)」で予約した番組が途中で終わっている、または録画されていない場合があります。

つぎのような予約は行わないようにご注意ください。

・予約録画を行う際は、テレビと本機それぞれの予約リストで、設定した予約の時間帯が重複していないかご確認ください。

2.「ファミリンク予約[1](標準)」録画開始時刻に本体で「録画（ダビング）している」、「再生している」、「編集操作を行っている」など本機が動作しているときは「ファミリンク予約[1](標準)」が実行されません。
「ファミリンク予約[1](標準)」録画開始時刻の５分前までに本機の操作を停止してください。

放送時間が重複している番組を２番組とも録画したい場合は、ハイブリッドダブレコを行ってください。

・接続、設定や予約操作につきましては、**156**ページをご覧ください。

デジタル放送を同時に録画する（i.LINK 入力録画）

テレビの内蔵チューナーと本機の内蔵チューナーを使って同時刻に2つの番組を録画・予約録画できます（ハイブリッドダブレコ）。

テレビで見ている番組をすぐに録画するには（ハイブリッドダブレコ）

リモコンをテレビに向けて

1 テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にします

テレビ側に

2 テレビで、録画したいデジタル放送の番組を選局します

- 放送切換 地上D BS CS を押し、録画したいデジタル放送を選んでください。
- テレビの選局操作については、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

リモコンを本機に向けて

3 i.LINK 入力録画を開始します

i.LINK録画（ふた内） 押す ⇨i.LINK 入力録画開始

録画中はi.LINK録画ランプが点灯します。

- i.LINK 入力録画の開始まで数秒かかります。

・i.LINK 入力録画中に、本機の内蔵チューナーで録画や予約録画ができます。（**54**、**56** ページ）

4 録画を停止するには

⇨i.LINK 録画停止
（ふた内）

・本機のチューナーを使った録画と録画停止は、テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側に切り換えて ●録画 、録画停止 ボタンで行います。

ご注意

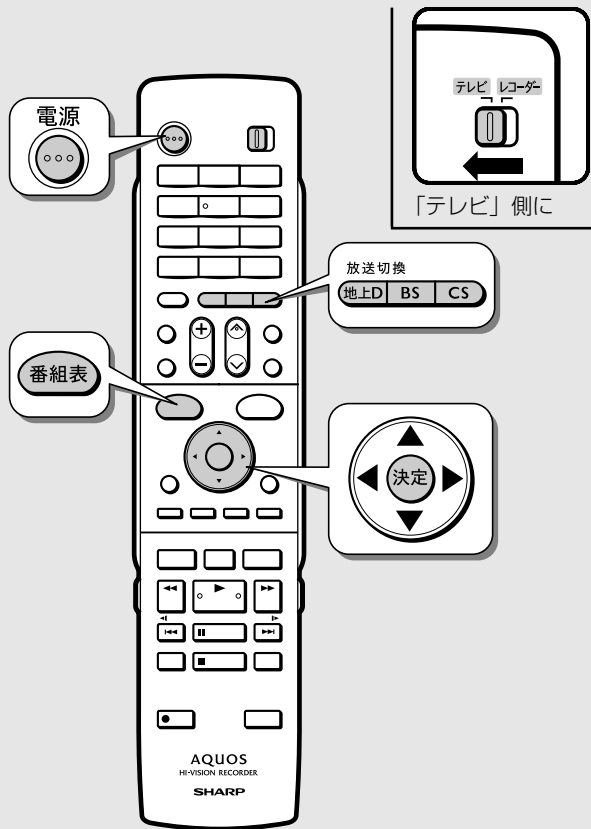
- i.LINK 接続（**156**、**157** ページ）、設定（**158** ページ）が必要です。
- 接続や設定などの参考（**168** ページのこんなときは）
- i.LINK 入力録画中の映像は見られません。

お知らせ

- i.LINK入力録画が開始されると、再生や編集が停止するなど、i.LINK入力録画中は、再生や編集、録画リスト表示、ヘルプ画面表示、各種設定など、制限を受ける機能があります。
- デジタル放送のチューナーを1つ搭載しているシャープ製テレビの場合は、i.LINK 入力録画中にテレビのチャンネル切り換えができません。
- デジタル放送のチューナーを2つ搭載しているシャープ製テレビの場合は、i.LINK 入力録画中にテレビのチャンネル切り換えができます。
- テレビのチャンネル切り換えについて詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく

リモコンをテレビに向けて

テレビの電子番組表でファミリンク [2]（i.LINK）予約するには（ハイブリッドダブレコ）

1 テレビの電源を入れます

2 予約したいデジタル放送を選びます

3 テレビの電子番組表を表示させせます

⇨ 電子番組表表示

4 テレビの電子番組表で予約します

●テレビに付属の取扱説明書もお読みください。

●録画したい番組を選んで決定します。

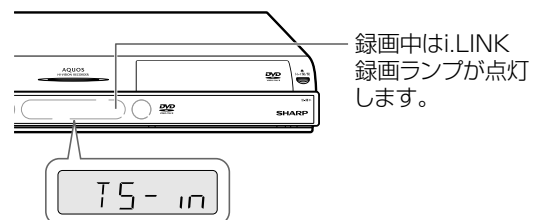
5 ファミリンク [2]（i.LINK）予約をします

●テレビの種類によっては、表示がi.LINKとなる場合もあります。

①「詳細を設定する」を選んで決定する。
②「録画連動機器の変更」を選んで決定する。
**　複数機器があるときは、本機を選んで決定する。**
③「設定の確認」を選んで決定する。
④「確認」を決定する。
これで、予約操作は完了です。

・テレビの電子番組表に戻ります。
・電子番組表に「i」が付きます。

開始時刻になると、録画が始まります。

録画中はi.LINK録画ランプが点灯します。

● テレビによって設定が異なる場合があります。
詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

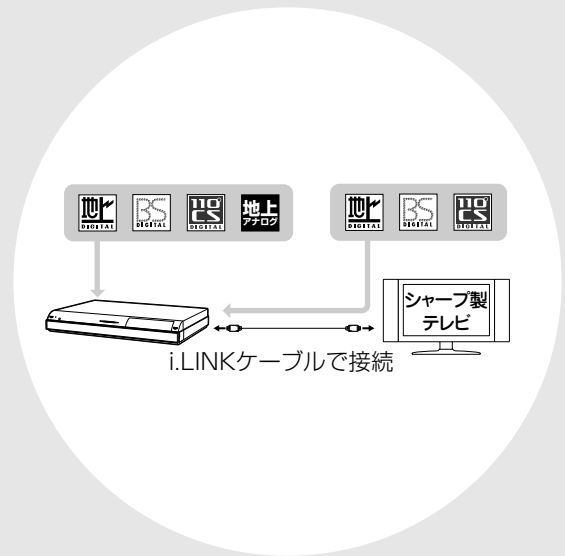
・i.LINK 接続（**156**、**157**ページ）、設定（**158**ページ）が必要です。
・接続や設定などの参考（**168**ページのこんなときは）
・HDMI ケーブルを接続していない場合は、**171**～**172**ページの手順で予約を行ってください。

お知らせ

・この操作はテレビに付属のリモコンでも行えます。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をお読みください。
・予約を変更したい場合は、テレビ側の予約を変更する必要があります。テレビ側の予約変更についてはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
・i.LINK 入力録画が開始されると、再生や編集が停止するなど、i.LINK 入力録画中は、再生や編集、録画リスト表示、ヘルプ画面表示、各種設定など、制限を受ける機能があります。

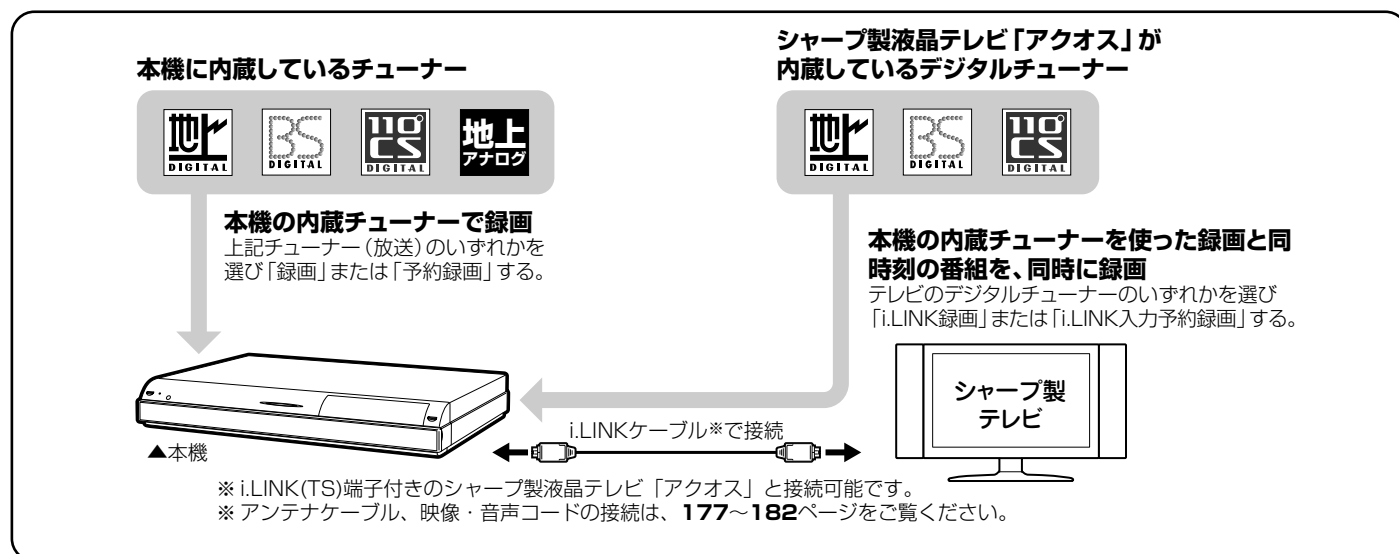
連続した番組を予約録画したときは

・連続した番組（(例) 午後 7:00 ～ 8:00 までの番組と午後 8:00 ～ 9:00 など）を予約したときは次のように録画されます。
　・予約した番組が同じチャンネルの場合は1つのタイトル（録画した番組）として録画されます。
　・予約した番組が別のチャンネルの場合は2つのタイトル（録画した番組）として録画されます。このとき前の番組の予約録画終了後に一度録画停止を行うため、後ろの番組の先頭が数秒間録画されません。

ファミリンク機能を搭載していないシャープ製テレビで２番組同時録画（ハイブリッドダブレコ）をする

この章では、本機とシャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」をi.LINKケーブルで接続して行えるi.LINK録画とi.LINK予約を使い、本機で２番組同時録画（ハイブリッドダブレコ）を行う方法やリモコンの入力自動切換について説明しています。

i.LINK 接続をした場合の設定をする

i.LINKケーブル（市販品）を接続することで、本機に内蔵しているチューナーとシャープ製液晶テレビ「アクオス」が内蔵しているデジタルチューナーの組み合わせで２番組同時録画（ハイブリッドダブレコ）ができます。

※ i.LINK(TS)端子付きのシャープ製液晶テレビ「アクオス」と接続可能です。
※ アンテナケーブル、映像・音声コードの接続は、**177**～**182**ページをご覧ください。

こんなときは

i.LINK録画が行われない。

- テレビのi.LINK機器選択画面で本機を選択してください。
- 本機の「各種設定」の「i.LINK録画設定」で、接続したテレビを選択してください。
- 本機で、ダビングなどを行っているときは、i.LINK録画はできません。

i.LINK録画が途中で止まる。

- i.LINK録画中は、確実に録画を行うため、本機を操作しないでください。
- i.LINK録画中は、テレビの主電源を切らないでください。

i.LINK入力予約録画で、番組の途中までしか録画されない。別の番組が録画されている。

- 予約録画した番組や、その前の番組の放送時間が延長されたり、変更されていませんか？
  放送時間が延長・変更された場合でも、本機にて日時指定予約した時間しか録画されません。
  番組が延長される可能性がある場合は、日時指定予約の録画終了時刻を長めに設定することをおすすめします。

i.LINK入力予約録画が行われない。

- テレビに本機以外の機器をi.LINKで接続したことがありますか？
  接続したことがある場合は、テレビのi.LINK予約をするたびに「詳細を設定する」の「録画連動機器の変更」で本機を設定してください。（詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。）
- 有料放送（契約が必要な放送）を録画する場合は、契約済のB-CASカードをテレビに挿入しておいてください。

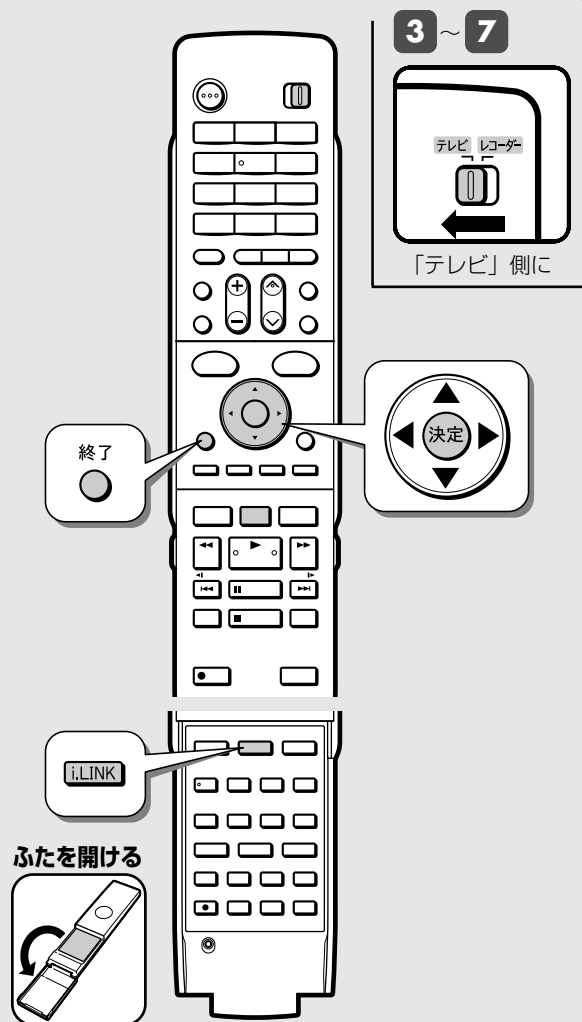
i.LINK録画（ハイブリッドダブレコ）に対応している液晶テレビ「アクオス」は？

- 対応機種については、DVD/BDサポートステーションの「AQUOSファミリンクとは？ 対応している機種は？」をご確認ください。

  DVD/BDサポートステーション http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.html

i.LINK入力録画（ハイブリッドダブレコ）を行うため、準備を必ず行ってください。

お知らせ

・i.LINK 機器との接続状態を確認したいときは、「スタートメニュー」－「各種設定」－「機能切換」－「i.LINK 録画設定」で接続した機器を選択しているか確認できます。

リモコンをテレビに向けて

準備：テレビ側の i.LINK 設定

（テレビと本機のどちらからもお互いを選択し合う設定を行います。）

1 本機とテレビを i.LINK ケーブルで接続します 124 ページ

2 テレビの電源と本機の電源を入れます

- 本体の HDD ランプが点滅→点灯に変わるまでお待ちください。

3 リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側に切り換えます

4 i.LINK 入力にします

（ふた内）

5 機器選択画面に表示される接続機器の一覧から、本機を選び、決定します

- テレビに初めてi.LINK機器（本機）を接続したときは、機器選択画面が表示されます。

▼画面例

- テレビにすでにi.LINK機器を接続したことがある場合は、i.LINK 操作パネルが表示されます。操作パネルの「機器選択」ボタンを選び、機器選択画面を表示してください。

6 を押し、通常の画面に戻します

（ふた内）

▼

設定完了

デジタル放送を同時に録画する（i.LINK 入力録画）

テレビの内蔵チューナーと本機の内蔵チューナーを使って同時刻に2つの番組を録画・予約録画できます（ハイブリッドダブレコ）。

ご注意

- i.LINK 接続（**156** ページ）、設定（**168**～**169** ページ）が必要です。
- i.LINK 入力録画中の映像は見られません。

お知らせ

- i.LINK 入力録画が開始されると、再生や編集が停止するなど、i.LINK 入力録画中は、再生や編集、録画リスト表示、ヘルプ画面表示、各種設定など、制限を受ける機能があります。
- デジタル放送のチューナーを1つ搭載しているシャープ製テレビの場合は、i.LINK 入力録画中にテレビのチャンネル切り換えができません。
- デジタル放送のチューナーを2つ搭載しているシャープ製テレビの場合は、i.LINK 入力録画中にテレビのチャンネル切り換えができます。
- テレビのチャンネル切り換えについて詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

テレビで見ている番組をすぐに録画するには

リモコンをテレビに向けて

1 テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にします

テレビ側に

2 テレビで、録画したいデジタル放送の番組を選局します

- 放送切換 地上D BS CS を押し、録画したいデジタル放送を選んでください。
- テレビの選局操作については、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

リモコンを本機に向けて

3 i.LINK 入力録画を開始します

i.LINK録画 押す ⇨i.LINK 入力録画開始
（ふた内）

録画中はi.LINK録画ランプが点灯します。

- i.LINK 入力録画の開始まで数秒かかります。

・i.LINK 入力録画中に、本機の内蔵チューナーで録画や予約録画ができます。（**54**、**56** ページ）

4 録画を停止するには

i.LINK 録画停止 押す ⇨i.LINK 録画停止
（ふた内）

・本機のチューナーを使った録画は、テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側に切り換えて ●録画 、録画停止 ボタンで行います。

ファミリンク機能を搭載していないシャープ製テレビで録画予約する（i.LINK 入力予約録画）

予約設定後に本機の電源を切る場合の i.LINK 予約録画（ハイブリッドダブレコ）の方法です。

ご注意

- i.LINK 接続（**156** ページ）、設定（**168**～**169** ページ）が必要です。
- i.LINK 入力予約録画の予約はテレビ側・本機側両方で必要です。
- i.LINK 入力録画中の映像は見られません。
- i.LINK 入力録画の録画画質は HD/SD に固定されます。
- ダブルチューナー内蔵型でないテレビと接続している場合、i.LINK入力録画中はテレビのチャンネルを切り換えないでください。その番組が録画できなくなります。

お知らせ

- i.LINK入力予約録画の予約変更は、テレビ側と本機側の両方で行う必要があります。テレビ側の予約変更はテレビに付属の取扱説明書、本機側の予約変更については **70** ページをご覧ください。
- i.LINK 入力録画が開始されると、再生や編集が停止するなど、i.LINK 入力録画中は、再生や編集、録画リスト表示、ヘルプ画面表示、各種設定など、制限を受ける機能があります。

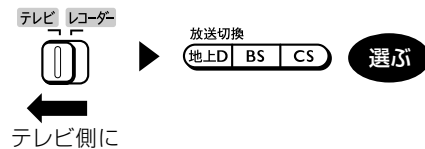
テレビの電子番組表で予約するには（i.LINK 入力予約録画）

■テレビ側の予約

- リモコンを「テレビ」に向けて操作してください。

リモコンをテレビに向けて

1 テレビの電源と本機の電源を入れます

2 予約したいデジタル放送をテレビで選びます

3 テレビの電子番組表を表示させます

4 テレビの電子番組表で i.LINK 予約をします

- 予約する番組の録画日、開始時刻、終了時刻は手順 **10** の設定で入力が必要ですからメモしておきましょう。
- テレビに付属の取扱説明書もお読みください。
- 入力自動切換を働かせる設定にしているときは、手順 **6** へ。

5 入力切換 ◯ を何度か押してテレビの入力を本機を接続している入力に切り換えます

6 テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側に切り換えます

次ページへつづく

■本機側の予約

● リモコンを本機に向けて操作してください。

リモコンを本機に向けて

7 スタートメニューを表示させます

スタートメニュー 押す

8 「予約」を選んで決定します

9 「日時指定予約」を選んで決定します

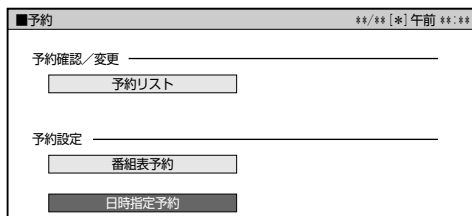
■予約　**/** [*] 午前 **:**

予約確認／変更

予約リスト

予約設定

番組表予約

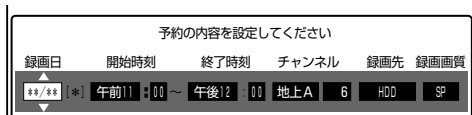
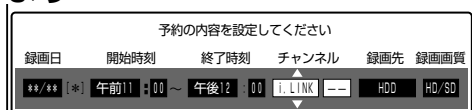
日時指定予約

10 テレビ側で予約した番組の「録画日」「開始時刻」「終了時刻」を設定します

予約の内容を設定してください

録画日	開始時刻	終了時刻	チャンネル	録画先	録画画質
/ [*]	午前11 : 00 ～	午後12 : 00	地上A 6	HDD	SP

11 「チャンネル」に「i.LINK」を選びます

予約の内容を設定してください

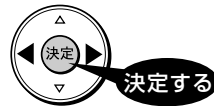
録画日	開始時刻	終了時刻	チャンネル	録画先	録画画質
/ [*]	午前11 : 00 ～	午後12 : 00	i.LINK --	HDD	HD/SD

● チャンネル右欄の「－－」、録画先の「HDD」、録画画質の「HD/SD」は自動設定されます。変更できません。

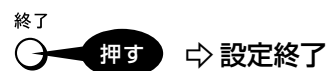
リモコンを本機に向けて

12 「完了」で決定します

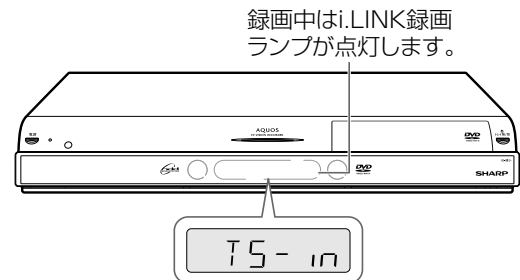
完了　詳細設定

13 「予約設定終了」で決定します

予約設定終了　おすすめ消去リスト

14 予約設定を終了します

⇨ 設定終了

● これで予約設定は完了です。本機で同時間帯に通常予約録画を設定したり、本機のチューナーで見ている番組をすぐ録画するなど、本機による２番組同時録画が可能となります。

開始時刻になると、本機の電源が入り、録画が始まります。

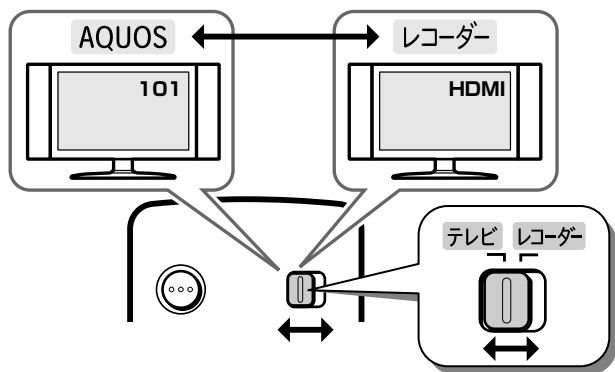
録画中はi.LINK録画ランプが点灯します。

リモコンのテレビ入力自動切換について

リモコンは、テレビメーカー指定をシャープCに指定しているとき、テレビ入力を自動的に切り換える機能を持っています。テレビメーカー指定シャープC（**197**ページ）で操作できるデジタルチューナー内蔵のシャープ製テレビ「アクオス」の入力を自動で切り換えます。

入力自動切換とは

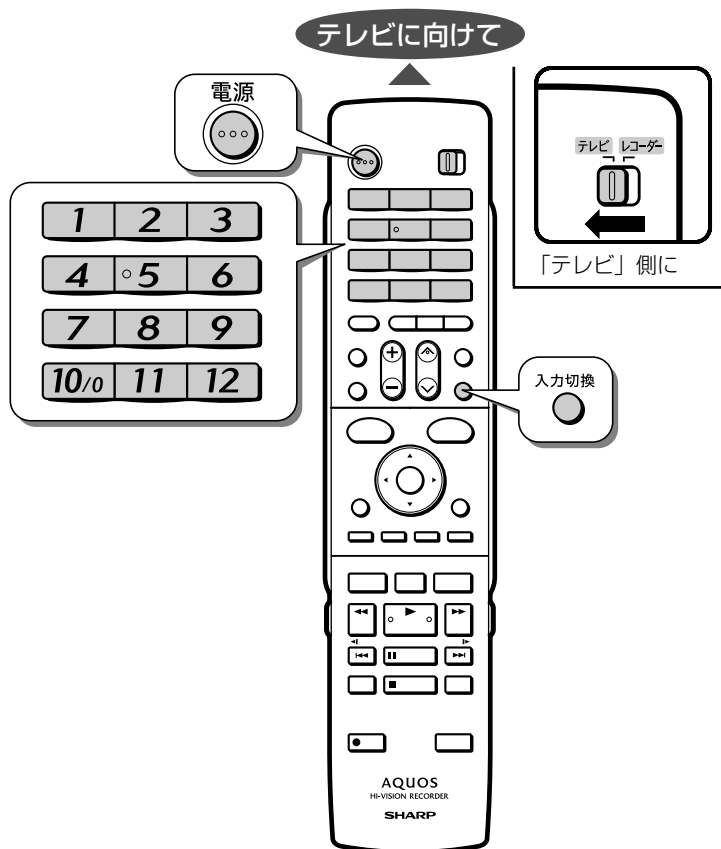
「テレビ」側に切り換えたとき
（テレビ画面になります。）

「レコーダー」側に切り換えたとき
（本機を接続した外部入力画面になります。）

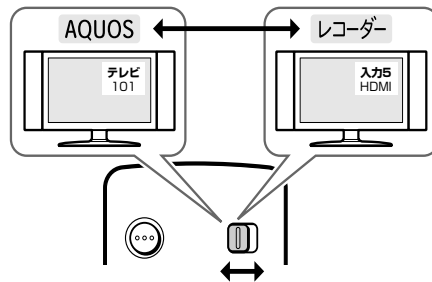
AQUOS　101　レコーダー　HDMI　テレビ　レコーダー

工場出荷状態では

テレビメーカー指定→「シャープC」
入力自動切換　→「しない」
になっています。

- 本機のリモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチは、テレビメーカー指定を「シャープC」（工場出荷状態）に設定しているとき、テレビの入力切換ボタンを何回か押したときと同じ動作をします。
- レコーダー側に切り換えるだけで自動的に本機を接続した入力に切り換えることができる便利な機能です。
- テレビメーカー設定「シャープC」で操作できるテレビは、デジタルチューナー内蔵のシャープ製テレビ「アクオス」です。

テレビ入力切換の回数設定をする

こんな使いかたが便利です

たとえば、本機をテレビの入力５（HDMI 端子）に接続している場合

- テレビの「入力」が、自動的に入力５（HDMI 端子）に切り換わるよう設定できます。

- スイッチを「レコーダー」側に切り換えると、テレビの入力切換ボタンを何回か押したときと同じ動作をします。（回数は設定できます。）

例）本機をテレビの入力５（HDMI 端子）に接続している場合

▼テレビの画面例

次ページへつづく

テレビの外部入力を本機を接続した入力に自動的に切り換わるように設定します

・リモコンをテレビの真正面に向けて、リモコンの信号が届く範囲で操作を行ってください。
・リモコンのテレビメーカー指定が「シャープC」(工場出荷時)のとき設定できます。

1 テレビ/レコーダー切換スイッチを「テレビ」側に切り換えます

2 電源 を押してテレビの電源を入れます

● テレビ放送が映ることを確認します。

3 リモコンを使わずに、本体の電源ボタンを押して電源を入れます

● テレビに本機以外の機器(ビデオなど)が接続されている場合、本機以外の機器の電源は切っておきます。

4 入力切換 を押し、入力画面が切り換わるのを確認しながら繰り返し押します

●「レコーダー(本機)」の画面が何回目で映ったかを確認します。(下の枠内に記入しておきます。)

メモ	回目	−1=	設定に使う数字ボタン

●ただし、「1回目」とメモしたときは、数字ボタン 7 を使います。

5 数字ボタン 1 〜 12 を押し、テレビ画面に戻します

6 手順 4 でメモした値で設定を行います

設定例
手順 4 で「5回目」とメモしたとき
数字ボタン 4 を先に押したまま、
入力切換 を5秒以上押し続けます。

●手順 4 でメモした値から、1を引いた値が設定に使う数字ボタンです。

●ただし、手順 4 で「1回目」とメモしたときは、数字ボタン 7 を使います。

●数字ボタンは必ず先に押してください。

●工場出荷時は、数字ボタン 10/0 (切り換わらない)となっています。

7 リモコンをテレビに向けたまま、テレビ/レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にし、本機を接続した入力になることを確認します

●切り換わるまでリモコンの発光部をテレビに向けて操作してください。

●テレビ/レコーダー切換スイッチを切り換えたあと約3秒以上たってもテレビの入力が切り換わらないときは、スイッチを「テレビ」側に切り換え、再度手順 5 〜 7 の操作を行い、設定し直してください。

●入力が切り換わるようすを見ながら操作を行うと、再設定がしやすくなります。

メモ

・テレビ/レコーダー切換スイッチを切り換えてもテレビの入力を切り換えたくない場合は

接続と設定

この章では、本機へのアンテナ接続、
他の機器との接続やチャンネル設定など
について説明しています。

本機にアンテナを接続する前に、「アンテナ接続時のご注意」(**176**ページ) を必ずお読みください。

A 個別にVHF/UHFとBS
アンテナを設置している場合

177 ページ A の接続へ

・地上デジタル放送の受信に必要な UHF アンテナ、BS・110 度 CS デジタル放送の受信に必要な衛星アンテナの設置をお確かめください。

B マンションなどの共聴システムで
受信している場合

177 ページ B の接続へ

・地上デジタル放送や BS・110 度 CS デジタル放送の信号が配信されているかどうかは、マンション管理者にお問い合わせください。

C BS・110度CSデジタル放送用
アンテナを設置していない場合

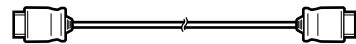
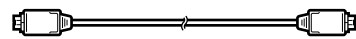
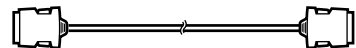
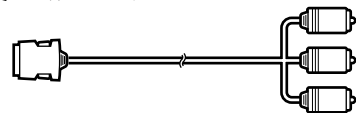
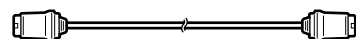
177 ページ C の接続へ

D ケーブルテレビ（CATV）
ボックスをご使用の場合

178 ページ D の接続へ

・本機で地上デジタル放送が受信できるケーブルテレビの方式は、「CATV パススルー方式」です。「トランスモジュレーション方式」には対応していません。
・**CATV パススルー方式とは**
CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に渡す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。本機で受信できるのは、「UHF帯」、「VHF帯」、「ミッドバンド (MID:C13～C22) 帯」、「スーパーハイバンド (SHB:C23～C62) 帯」です。

テレビとつなぐときに使う映像ケーブルについて

- HDMI入力端子付きテレビと接続するときは、市販の HDMI ケーブル 19 ピンをお使いください。
- ファミリンク機能をお楽しみいただくためには、市販のHDMIケーブル19ピンでファミリンク対応テレビと接続してください。(**157** ページ)

- ハイブリッドダブレコをお楽しみいただくためには、市販の i.LINK ケーブルをシャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」と接続してください。(**157** ページ)

- D映像入力端子付きテレビと接続するときは、市販の D 映像ケーブル（D-D）をお使いください。

- コンポーネント入力端子付きテレビと接続するときは、市販のコンポーネントビデオコード（D-3 ピン）をお使いください。

- S映像入力端子付きテレビと接続するときは、市販の S 映像コードをお使いください。

アンテナを接続する

ご自宅のアンテナの状況に応じて、本機とアンテナ線を接続してください。

重要

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- アンテナケーブルの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- BS・110度CSデジタル放送を見るためには、BS・110度CS共用アンテナをお使いください。

接続をする前に

本機をお使いになる場所のアンテナの設置状況によって、接続方法が異なります。まずは、アンテナ（放送）環境を確認してから、本機に接続するアンテナケーブルを準備します。

- アンテナ（放送）環境により、以下の市販品などが必要です。
  - アンテナケーブル（市販品）
  - 衛星放送用同軸ケーブル（市販品）
  - 分配器（市販品）
  - 分波器（市販品）
- BS・110度CS共用アンテナとの接続には「衛星放送用同軸ケーブル（市販品）」をお使いください。
  「衛星放送用同軸ケーブル（市販品）」は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応しているもの（S-5C-FBなど）をお使いください。

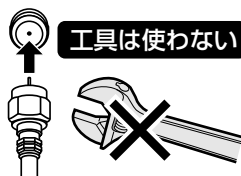
アンテナ線がＦ型コネクターのついていない同軸ケーブルのときは

- 先端を加工してアンテナ線接続プラグ（市販品）を取り付けます。同軸ケーブルの先端加工のしかたと、アンテナ線接続プラグの取り付け例について、図解の説明があります。（**262** ページ）

ＢＳアンテナと接続するときは

Ｆ型コネクターの取り付けについて

- アンテナ線は、同軸ケーブルにF型コネクターを接続してご使用ください。
- F型コネクターを取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。
  内部の結線が切れ、故障する場合があります。

工具は使わない

BS アンテナの電源について

- 本機の「BS・110度CS アンテナから入力」端子は、BS・110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをもっています。
- 初期設定で「個別のアンテナ（電源入）」（**192**ページ）を設定したときや「BS・CSアンテナ電源」（**216**ページ）を「入」に設定したときは、本機からBS・110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS・110度CSアンテナを接続するときは、必ず「BS・CSアンテナ電源」を「切」にしてください。工場出荷時は「切」に設定されています。

放送局との自動通信について

- 本機は電源「切」（待機状態）のとき、放送局との通信（契約情報など）のため、自動的に電源が入り動作することがあります。
- 通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」（待機状態）に戻ります。

アンテナ接続時のご注意

VHF/UHF/BS/CSの信号が混合されているアンテナ端子から本機へアンテナ線を接続するときは、必ずBS/UV分波器を使用して接続してください。（177ページ B をご覧ください。）

分波器と分配器について

分波器（市販品）

- VHF/UHF信号とBS・110度CSデジタル信号を分けます。
- 金属シールドタイプをご使用ください。
- **地上デジタル放送だけを見る場合や、BS・110度CSデジタル放送だけを見る場合は必要ありません。**

分配器（市販品）

- 地上デジタル放送と地上アナログ放送の両方を見る場合に接続します。
- 金属シールドタイプをご使用ください。
- **地上デジタル放送だけを見る場合は必要ありません。**

A 個別にVHF/UHFとBSアンテナを設置している場合

B マンションなどの共聴システムで受信している場合

UHFアンテナ VHFアンテナ BS・110度CS共用アンテナ

壁のアンテナ端子

VHF/UHF BS/CS

衛星放送用同軸ケーブル（市販品）

分配器（市販品）

UHFアンテナ VHFアンテナ BS・110度CS共用アンテナ

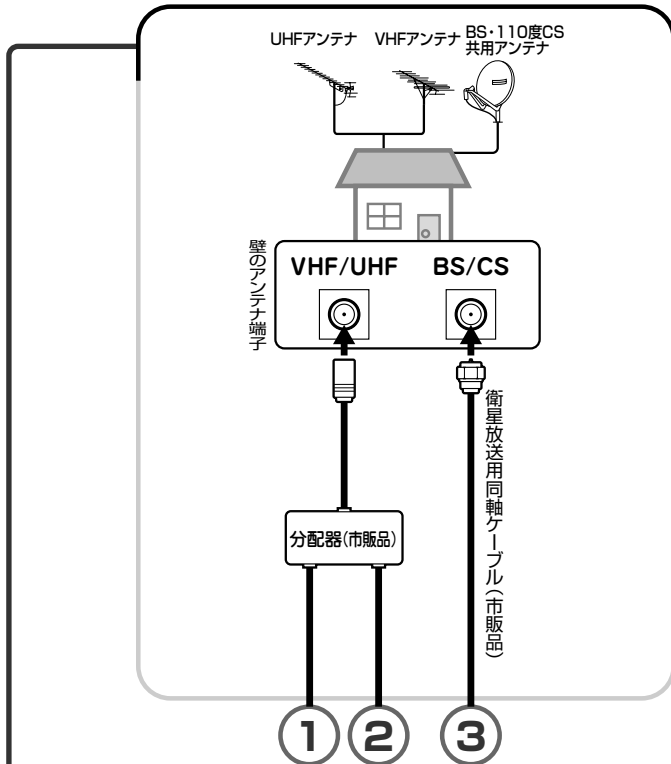
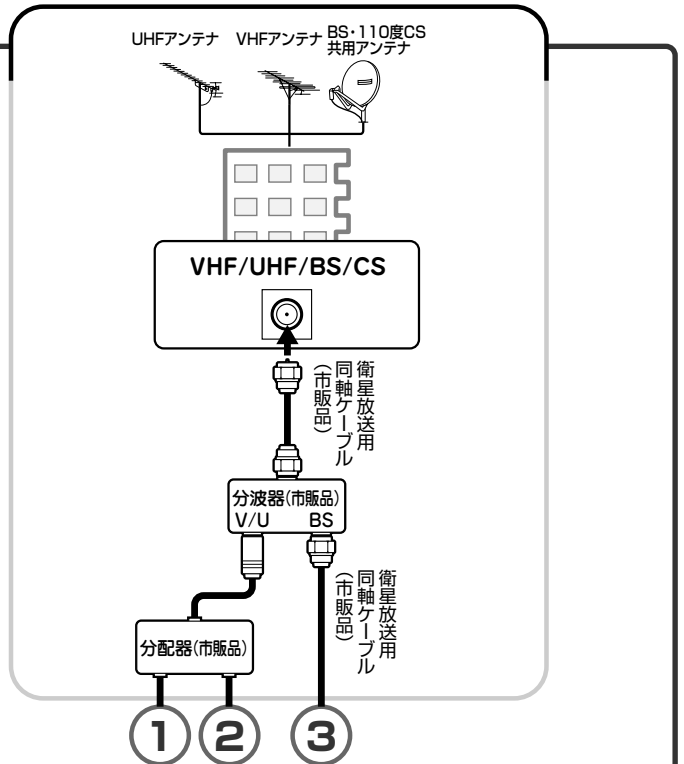
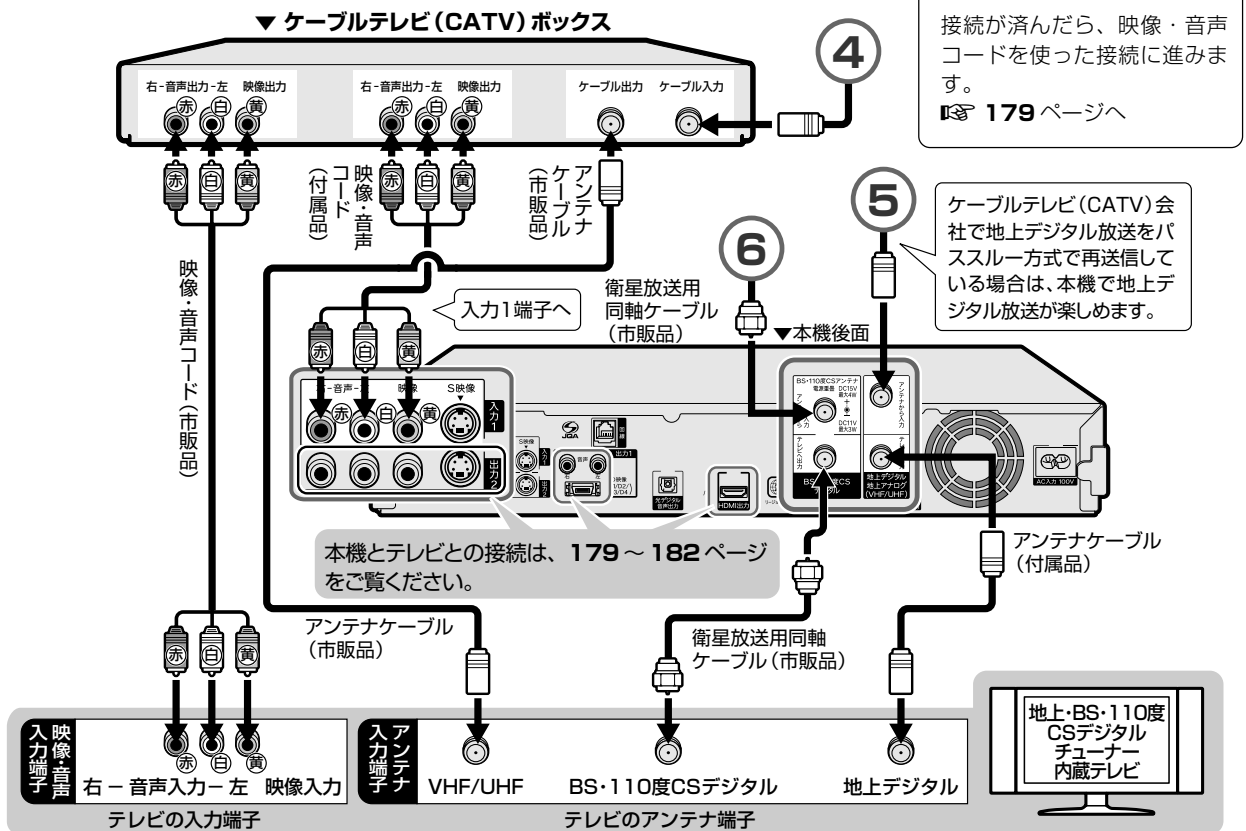
VHF/UHF/BS/CS

衛星放送用同軸ケーブル（市販品）

分波器（市販品）
V/U BS

分配器（市販品）

衛星放送用同軸ケーブル（市販品）

① ② ③ ① ② ③

アンテナケーブルを同じ番号につないでください。

③ ②

衛星放送用同軸ケーブル（市販品）

▼本機後面

接続が済んだら、映像・音声コードを使った接続に進みます。
☞ 179 ページへ

アンテナケーブル（市販品）

衛星放送用同軸ケーブル（市販品）

アンテナケーブル（付属品）

地上・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵テレビ

テレビのアンテナ端子

アンテナ入力端子

VHF/UHF BS・110度CSデジタル 地上デジタル

C BS・110度CSデジタル放送用アンテナを設置していない場合

接続が済んだら、映像・音声コードを使った接続に進みます。☞ 179 ページへ

D ケーブルテレビ（CATV）ボックスをご使用の場合

- 接続図は一例です。ケーブルテレビ（CATV）ボックスによりつなぎかたは異なります。詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

接続が済んだら、映像・音声コードを使った接続に進みます。

☞ **179** ページへ

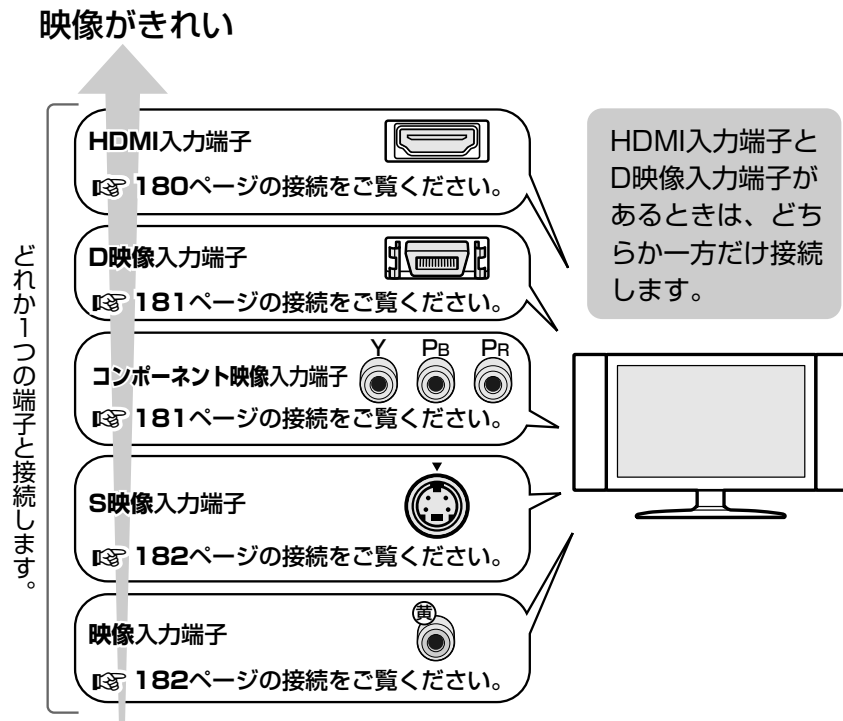
ご注意

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- ケーブルテレビ（CATV）を受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ケーブルテレビ専用のホームターミナル（アダプター）が必要です。詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
- アンテナケーブルや映像・音声コードの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- ケーブルテレビボックスを経由して、BS・110度CS・地上デジタル放送を録画したときは、ハイビジョン放送でもハイビジョン画質で録画はされません。

テレビを接続する

テレビの入力端子をお調べになり、できる限り高画質に対応している端子とおつなぎください。

テレビ入力端子の種類

接続する端子により、お楽しみいただける画質が異なります。

・HDMIケーブルで接続する場合、ファミリンク機能を搭載したテレビ（シャープ製）と接続すると、本機とテレビを連動して操作できます。157ページ

ハイビジョン映像をご覧いただくには

テレビのタイプは

●ハイビジョン映像をご覧いただくには、次のうち、いずれかの端子の付いているテレビ（モニター）が必要です。
- HDMI 入力端子
- D3 映像入力端子
- D4 映像入力端子
- コンポーネント（Y, PB, PR）映像入力端子

●ハイビジョンタイプのテレビ（モニター）以外では、ハイビジョン画質の映像が楽しめません。

テレビとの接続は

●本機とテレビを、D 映像ケーブル（市販品）または HDMI ケーブル（19 ピン／市販品）で接続します。

●コンポーネント（Y, PB, PR）映像入力端子付きテレビ（モニター）と接続するときは、D－コンポーネント変換ケーブル（市販品）で接続します。

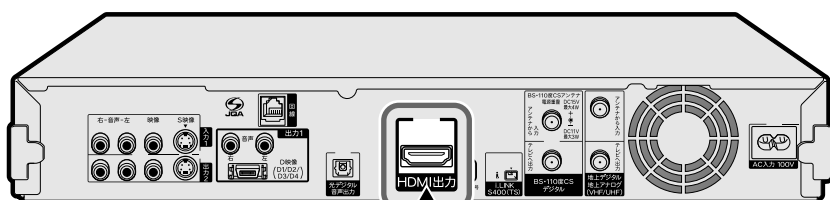
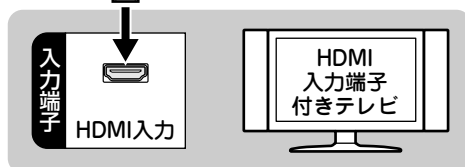
D 映像ケーブルで接続したときは

●「初期設定」でテレビ側の端子名を次のいずれかに設定します。（**193** ページ）
- 「D3 映像入力端子」
- 「D4 映像入力端子」
- 「コンポーネント映像入力端子」

HDMI 入力端子付きテレビと接続する場合

HDMI出力端子は、映像と音声のデジタル信号を1本のケーブルでつなぐことができる新しい規格のデジタル専用端子です。HDMIケーブル（19ピン／市販品）を使うと、他の映像コード・音声コードを接続する必要はありません。

重要

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- テレビの接続端子の種類に合ったケーブル類を使って、テレビと接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI ケーブルを接続して電源を入れるときは、テレビの電源を入れたあとに本機の電源を入れてください。

- 「**ファミリンク機能**」を搭載したシャープ製のテレビとHDMI ケーブルで接続すると、テレビのリモコンまたは本機に付属のリモコンで、テレビと本機の操作が行えます。
（**157** ページ）

- HDMI ケーブルのみ接続している場合、接続したテレビの電源が入っているときは自動的に HDMI 出力に切り換わります。
下記の設定は必要ありません。（D 映像ケーブルが接続されている場合や、「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」－「HDMI 自動切換設定」が「しない」に設定されている場合は、自動で切り換わりません。）

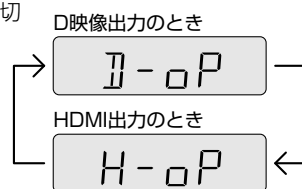
HDMI出力に切り換える（D映像ケーブルも接続時）

D映像出力端子とHDMI出力端子の両方にケーブルを接続したときは、映像出力する端子をリモコンで切り換えてください。
（D 映像端子と HDMI 端子の両方からは映像は出力されません。）
・リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側に切り換えてください。

① 本機の電源を入れます

② リモコンのふたを開けます

③

⇨ 表示が「H - oP」になるまで
（再度押し続けるとD映像出力「D - oP」に戻る）

▼リモコン（ふた内）

お知らせ

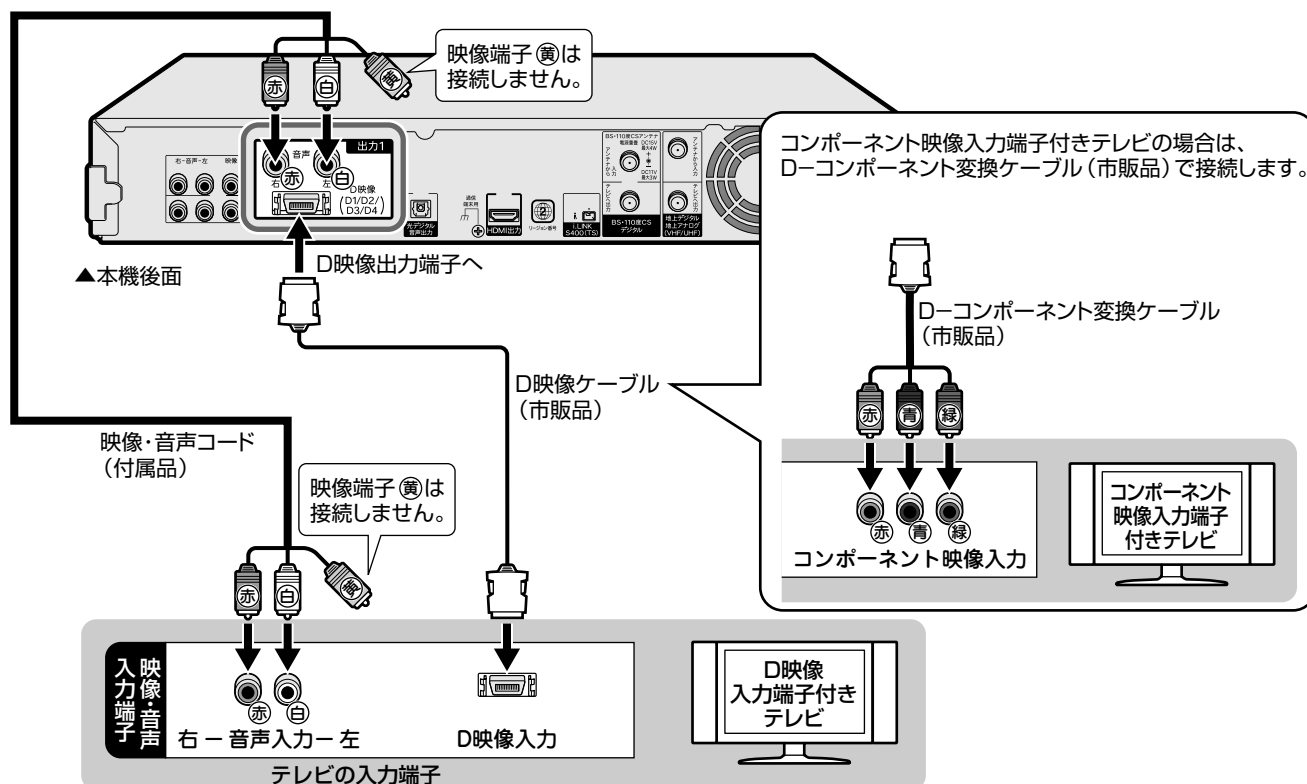
- HDMI 出力端子を使って接続したときは、「HDMI 映像出力設定」（解像度）は「オート」に設定されます。
「オート」設定状態で正常な映像が得られないときは、**183** ページの一番下の表を参考に出力解像度を変更してください。
- DVI デジタル入力端子付きの機器と DVI/HDMI 変換ケーブル（市販品）を使用して接続したときは、正常な映像にならない、または映らない場合があります。（本機の HDMI 出力端子は、HDMI 機器との接続を目的に設計されています。また、DVI/HDMI 変換ケーブルを使い DVI 機器と接続したときは、DVI 機器に音声が入力されません。）
- HDMI 接続している場合は、映像出力端子・S 映像出力端子からは電子番組表やスタートメニューなどの画面表示が出力されません。

「HDMI 映像出力設定」（147 ページ）と「デジタル音声出力設定」（148 ページ）が必要な場合は、スタートメニューの「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」で行ってください。

D映像入力端子付きテレビ／コンポーネント映像入力端子付きテレビと接続する場合

重要

- ●安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- ●テレビの接続端子の種類に合ったケーブル類を使って、テレビと接続してください。
- ●ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- ●テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- ・本機の電源が「入」の状態で、本機にD映像ケーブルを差し込まないでください。必ず、本機の電源が「切」の状態で、D映像ケーブルを差し込んでください。
- ・本機の電源が「入」の状態で、本機にDーコンポーネント変換ケーブルを差し込まないでください。必ず、本機の電源が「切」の状態で、Dーコンポーネント変換ケーブルを差し込んでください。
- ・コンポーネント映像入力端子に接続したときは、テレビのオートワイド機能は働きません。
- ・テレビによってはコンポーネント映像入力端子の切換え（メニュー設定やスイッチの切換えなど）が必要なものがあります。お使いのテレビの取扱説明書に従って操作してください。
- ・ハイビジョン専用のコンポーネント映像入力端子（Y, PB, PR）に接続したときは、DVDの再生映像は楽しめません。DVDの再生映像は525iまたは525pの信号が出力されます。
- ・電源入や一発（クイック）起動を「する」にしているとき、電子番組表の取得中にD映像ケーブルを抜き差しすると「D映像出力設定」（**147**ページ）がD1に戻ります。

お知らせ

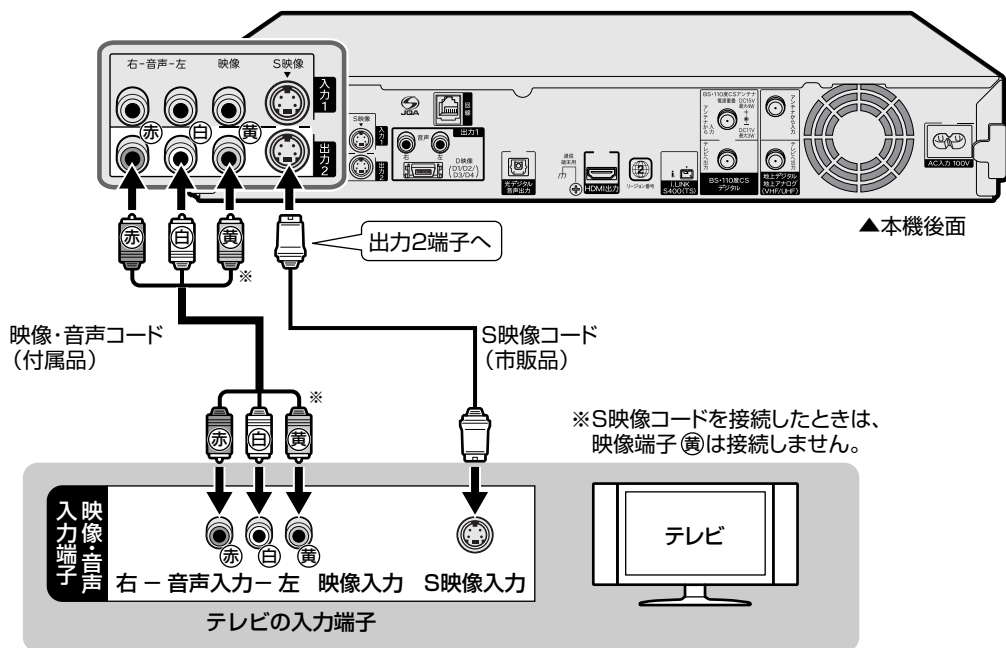
- ・映像が乱れる、正常に映らない、映らないときは、**242**、**262**、**263**ページをご覧ください。
- ・D映像接続している場合は、映像出力端子・S映像出力端子からは電子番組表やスタートメニューなどの画面表示が出力されません。

メ　モ

- ・テレビにD映像入力端子とコンポーネント映像入力端子の両方が付いているときは、D映像入力端子と接続することをおすすめします。
- ・テレビのD映像入力端子がD3またはD4映像入力端子の場合は、ハイビジョン放送が楽しめます。初期設定でテレビのD映像入力端子に合わせて、ハイビジョン対応テレビの映像端子名（**193**ページ）を「D3映像入力端子」または「D4映像入力端子」に設定してください。

S 映像・映像・音声入力端子付きテレビと接続する場合

重要

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- テレビの接続端子の種類に合ったケーブル類を使って、テレビと接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機とテレビを接続しているコード類をアンテナ線と一緒に束ねないでください。テレビ放送を見るときに画面にノイズが出るなど、電波妨害の原因となることがあります。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、電源コードや他の接続コード類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

お知らせ

- 映像が乱れるときは、**262** ページをご覧ください。
- HDMI 出力端子（**180** ページ）や D 映像出力端子（**181** ページ）を接続していると、S 映像出力端子・映像出力端子からはスタートメニューや録画リスト、電子番組表などの画面表示や、データ放送は表示されません。

テレビとの接続設定について

初期設定（192 ページ）をしたあとで設定し直したい場合は

■付属の映像・音声コードまたは市販のＳ映像コードを使用してテレビと接続したとき
→かんたん設定（**201** ページ）で次の設定を行ってください。

設定する項目		選ぶ内容	設定し直すとき
映像端子名		「通常のテレビ」－「映像入力端子」 または 「通常のテレビ」－「Ｓ映像」	「スタートメニュー」－「各種設定」－「かんたん設定」－「テレビとの接続」で設定し直します。（**201** ～ **202** ページ）
テレビのタイプ設定	16:9ワイドテレビ	ワイド（16：9）	
	4:3サイズのテレビ	通常（4：3）	

■市販のＤ映像ケーブルを使ってＤ映像入力端子付きテレビと接続したとき
→かんたん設定（**201** ページ）で次の設定を行ってください。

設定する項目		選ぶ内容	設定し直すとき
映像端子設定（接続したテレビの端子名）	D1、D2端子	「通常のテレビ」－ 「D1 映像入力端子」※「D2 映像入力端子」 （接続したテレビの端子名を選びます。）	「スタートメニュー」－「各種設定」－「かんたん設定」－「テレビとの接続」で設定し直します。（**201** ～ **202** ページ） • 「各種設定」の「本体設定」－「映像・音声設定」でも設定し直すことができます。（**147** ページ）
	D3、D4端子	「通常のテレビ／ハイビジョン対応テレビ」－ ※「D3 映像入力端子」※「D4 映像入力端子」 （接続したテレビの端子名を選びます。）	
テレビのタイプ設定	16:9ワイドテレビ	ワイド（16：9）	
	4:3サイズのテレビ	通常（4：3）	

※「D2」～「D4」に設定していて「プログレッシブ設定」を「する」に設定しているときは、DVDディスクを再生したとき、ＤＶＤディスクの再生映像が乱れて見える場合があります。「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」－「プログレッシブ設定」を「しない」に設定し直してください。（**147** ページ）

■市販のＤ－コンポーネント変換ケーブル（RCA ピンタイプ）を使ってコンポーネント映像入力端子付きテレビと接続したとき→「かんたん設定」－「テレビとの接続」（**201** ページ）で次の設定を行ってください。

設定する項目		選ぶ内容	設定し直すとき
映像端子設定（接続したテレビの端子名）	DVD入力用 Y, C_B, C_R 端子	「通常のテレビ」－ 「コンポーネント映像入力端子 Y, C_B, C_R」	「スタートメニュー」－「各種設定」－「かんたん設定」－「テレビとの接続」で設定し直します。（**201** ～ **202** ページ）
	ハイビジョン対応 Y, P_B, P_R 端子 Y, P_B/C_B, P_R/C_R 端子	「ハイビジョン対応テレビ」－ 「コンポーネント映像入力端子 Y, P_B, P_R」 「コンポーネント映像入力端子 Y, P_B/C_B, P_R/C_R」	
テレビのタイプ設定	16:9ワイドテレビ	ワイド（16：9）	
	4:3サイズのテレビ	通常（4：3）	

HDMI 入力端子付きテレビと接続した場合は

■市販の HDMI ケーブル（19 ピン）を使って HDMI 入力端子付きテレビと接続したとき
→解像度とデジタル音声出力の設定をスタートメニューの「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」（**147**ページ）で行います。

設定する項目	選ぶ内容
「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」－「HDMI 映像出力設定」	「オート」「1125i 固定」「750p 固定」「525p 固定」 ● 通常は「オート」に設定します。
「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」－「デジタル音声出力設定」	デジタル放送を視聴するときの音声信号形式 「PCM」「AAC」 DVD を再生するときなどの音声信号形式 「PCM」「ドルビーデジタル」「ドルビーデジタル／ DTS」

●「HDMI映像出力設定」を「オート」以外に設定するとき、接続先で対応していない解像度は選択できません。（ケーブルが接続されていない、または接続先機器の電源が入っていないときも選択できません。）

その他の機器を接続する

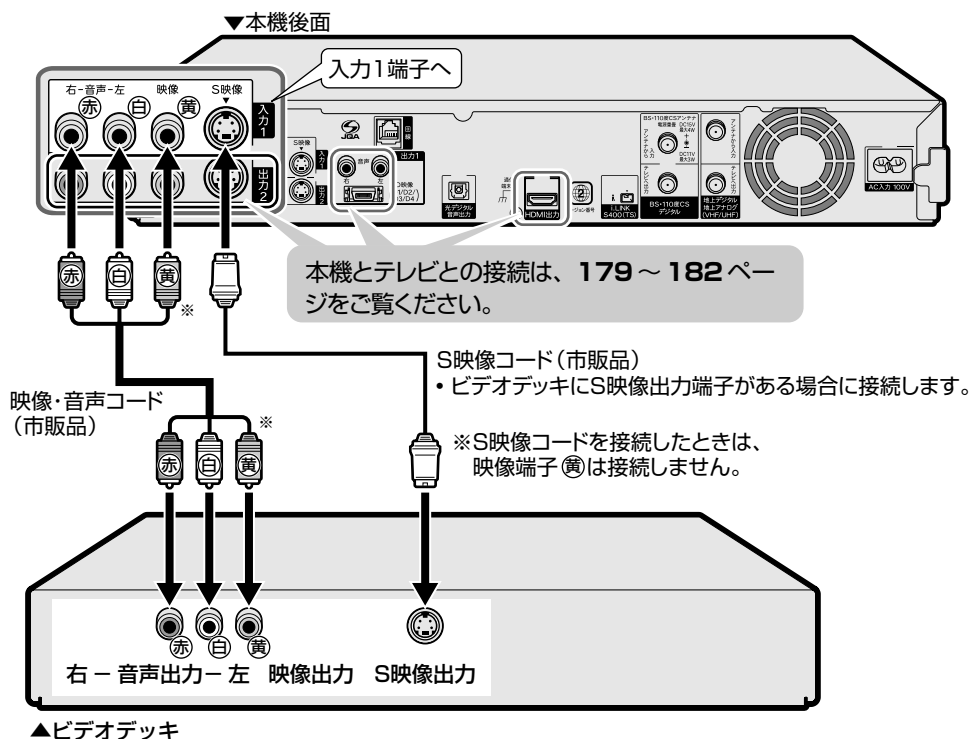
本機をさらに楽しむために、必要に応じてその他の機器と接続しましょう。

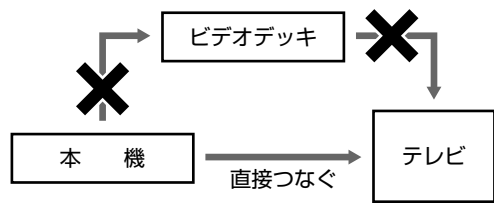
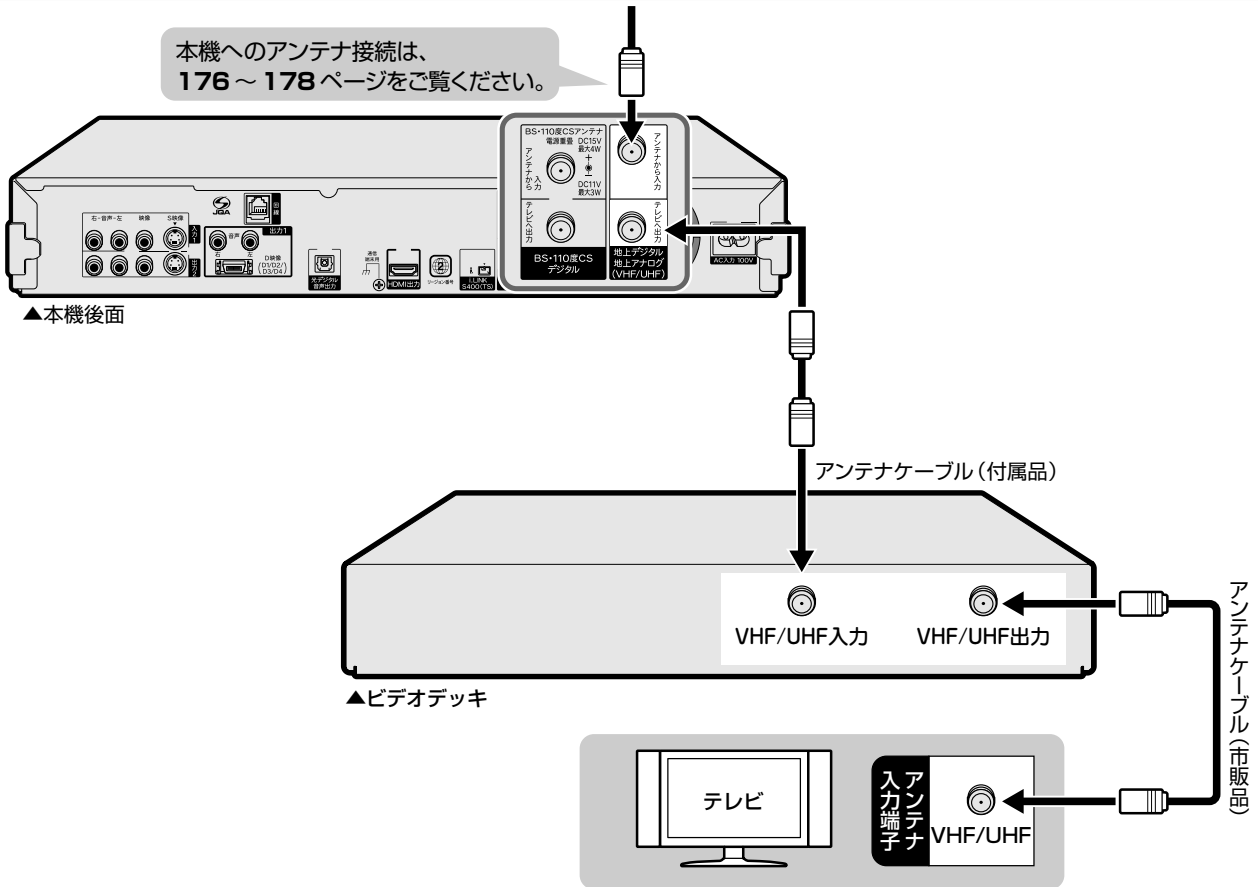
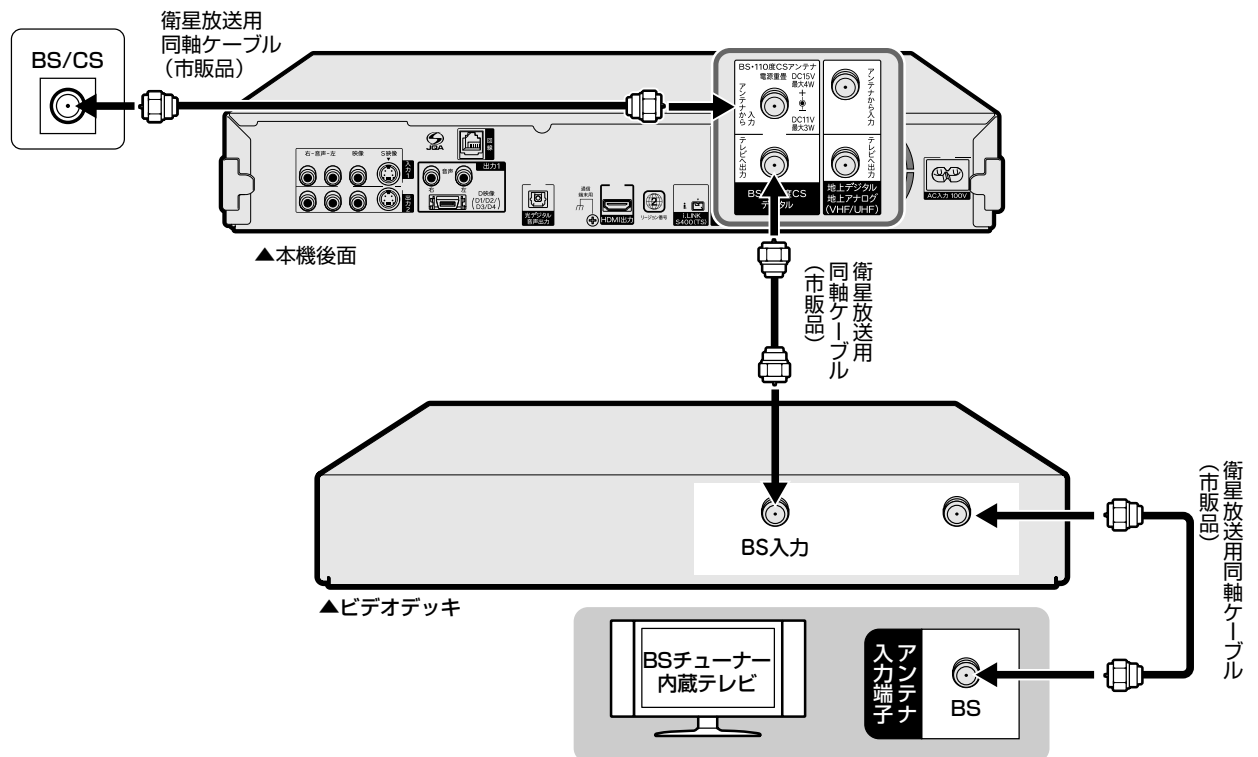
重要

- 安全のため本機・テレビ・接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- 接続する端子に合ったケーブル類を使って、接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 接続する機器側の接続については、接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

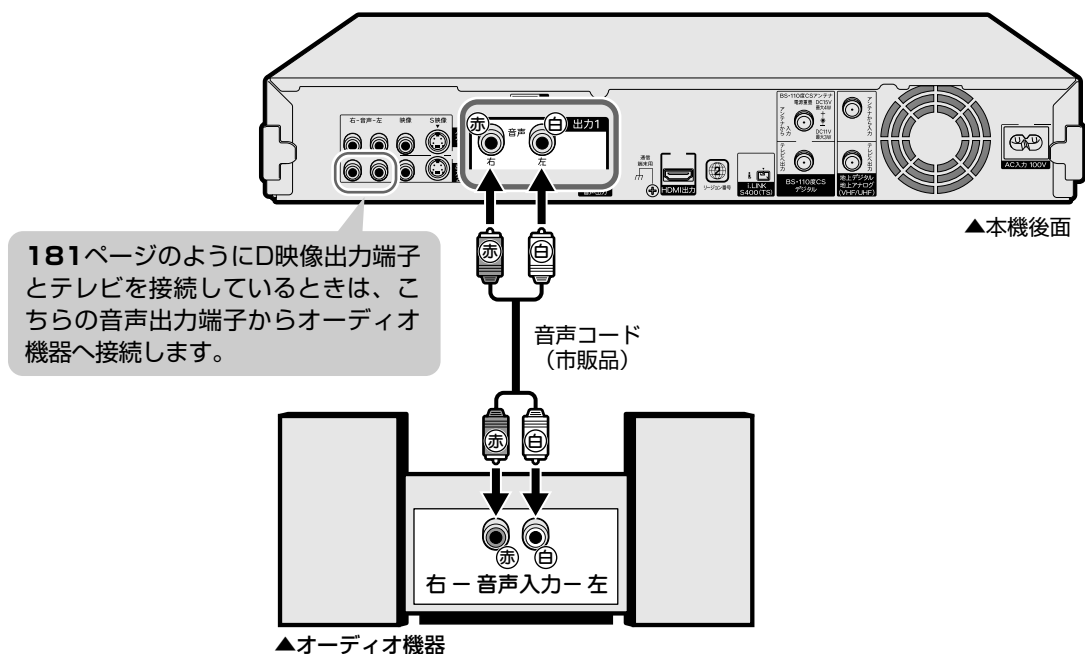
お知らせ

・映像が映らないとき、テレビの映りが悪いとき、正常な録画ができないときは、**262** ～ **263** ページをご覧ください。

ビデオデッキを接続する場合

ご注意

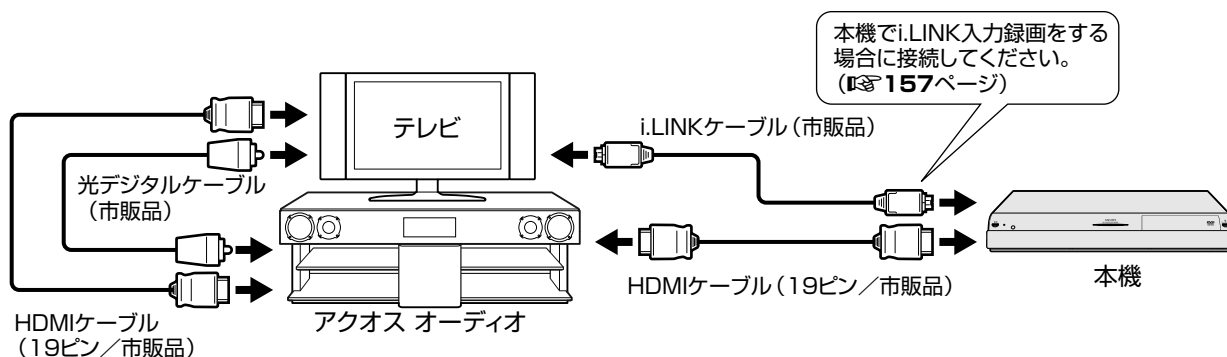
・本機とテレビは直接接続してください。ビデオデッキを経由して本機の映像をテレビに映した場合、コピー防止機能の働きにより映像が乱れることがあります。
・著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とモニターを直接接続してお楽しみください。

ビデオデッキでも番組を録画するときは

ビデオデッキでも BS 放送を録画するときは

オーディオ機器を接続する場合

アナログ接続で音声を楽しむときは

本機の音声を 2ch オーディオ機器で楽しむときの接続です。
- 音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- オーディオ機器側の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

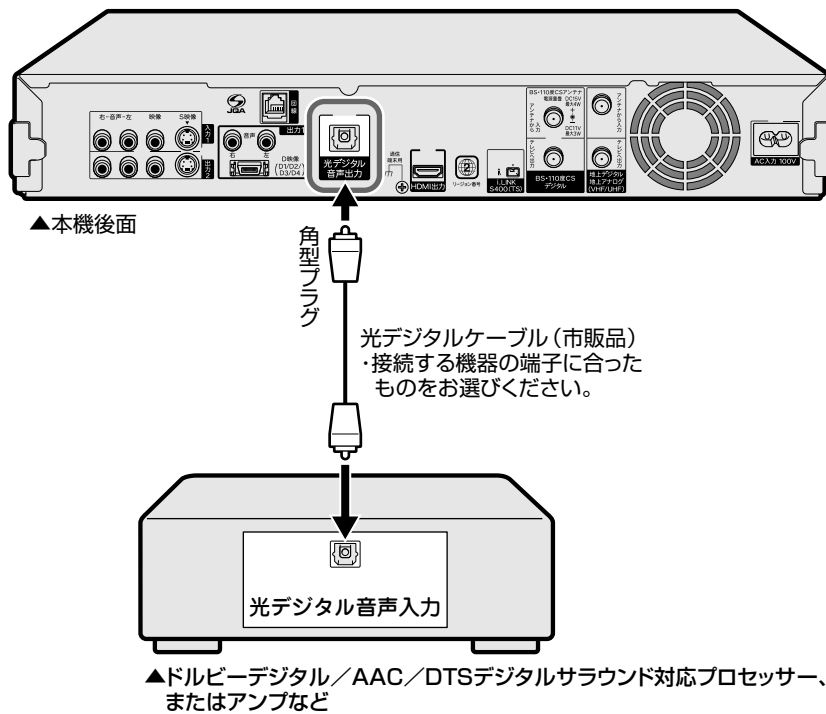
- ・ディスクの再生時に音声が正常に聞こえないときは、「故障かな？と思ったら」（**245**ページ）、「外部機器との接続に関する補足説明」（**263**ページ）をご覧ください。
- ・本機とテレビとの接続について詳しくは **179** ～ **183** ページをご覧ください。

ファミリンク機能に対応したシャープ製のテレビ・アンプと接続する場合

本機とアンプは、HDMI ケーブル（19 ピン／市販品）を使って直接接続してください。
- ファミリンク機能を搭載したシャープ製のテレビ、オーディオ機器（アンプ）との接続について詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

- アクオスオーディオの音声は［オーディオ用入力切換］（ふた内）で切り換えることができます。

デジタル接続で音声を楽しむときは

本機の音声を光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器で楽しむときの接続です。
- 通常のステレオ音声に加えドルビーデジタル（5.1ch）やDTSなどの迫力ある音響効果を楽しめます。
  - ドルビーデジタル/AAC/DTSデジタルサラウンドプロセッサーまたはドルビーデジタル/AAC/DTSデジタルサラウンドデコーダー内蔵アンプと本機を光デジタル接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。
  - DTS音声を楽しむには、DTSデジタルサラウンドデコード機能搭載のプロセッサーまたはアンプが必要です。
  - DTSデジタルサラウンド音声を楽しむときは、DVD再生時にディスクメニューでDTS音声を選ぶか、リモコンふた内の[音声]でDTS音声を選んでください。音声の選びかたについては、**92**ページをご覧ください。
  - DTSデジタルサラウンドデコード機能搭載の機器と接続したときは、「DVD再生時等の信号形式」（**148**ページ）を「ドルビーデジタル／DTS」に設定します。
- オーディオ機器側の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

▲ドルビーデジタル／AAC／DTSデジタルサラウンド対応プロセッサー、またはアンプなど

ご注意

- 光デジタルケーブル（市販品）は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 市販の光デジタルケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは「デジタル音声出力設定」（**148**ページ）の各項目の設定をしてください。
- DTS音声を楽しめるのは、DTSデコーダーに対応した機器です。DTSデコーダーに対応した機器でDTS音声を楽しむときは、「デジタル音声出力設定」を「ドルビーデジタル／DTS」に設定したうえで、ディスクの音声をDTS音声に切り換えてお楽しみください。DTSに対応していない機器で楽しむときは、ディスクの音声を「PCM」または「ドルビーデジタル」に切り換えてお楽しみください。

お知らせ

デジタル音声出力について
- 二ヶ国語放送や二ヶ国語放送を録画した番組の再生では、音声の切り換えはできません。（プロセッサーまたはアンプに音声切換機能があるときは、オーディオ機器側で切り換えてください。）
- 音楽用CDを再生したとき、音声の切り換えはできません。
- 96kHz/24bit（LPCM）音声を楽しむときは、96kHzに対応しているプロセッサーまたはアンプが必要です。

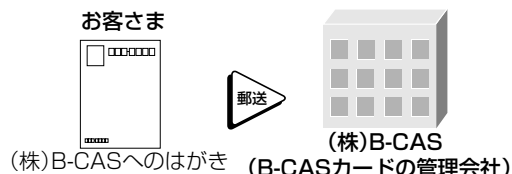
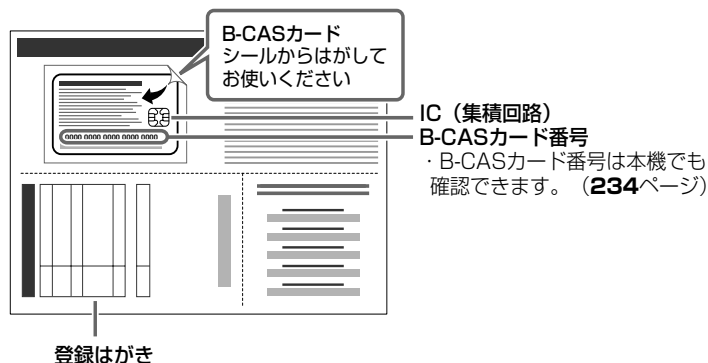
MDとデジタル接続し、録音して楽しむとき
- 本機とMDをデジタル接続しCDをMDに録音したときに、CDとMDの曲番（トラック番号）が一致しないことがあります。

DTSデコーダーを内蔵していないデジタル入力付きのオーディオ機器やMDプレーヤーとデジタル接続したとき
- DTSで記録されているディスクは正常な音声がでません。

B-CAS(ビーキャス)カードをセットする

デジタル放送を視聴するために、B-CAS カードを必ず挿入してください。

デジタル放送と B-CAS（ビーキャス）カードについて

- B-CAS カードを挿入していただくことで、NHK や無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。
  B-CAS カードを挿入しないと、地上デジタル放送やBS デジタル放送が映りません。
- 地上デジタル放送、BS・110 度 CS デジタル放送は、B-CAS カードを利用した限定受信システム（＝CAS）を採用しています。2004 年４月より、有料放送だけでなく、無料放送も B-CAS カードが必要です。
- B-CAS カードは、必ず登録してください。（登録は無料です。）
  付属の B-CAS カード番号登録用はがきを送り、B-CAS カードの番号を登録することで受信者登録が行われます。

B-CASカードの取り扱い

- 折り曲げたり変形させない。
- 重いものをおいたり、踏みつけない。
- 水をかけたり、ぬれた手で触らない。
- IC（集積回路）部には、手を触れない。
- 分解や加工をしない。

B-CAS カードのお問い合わせは（紛失時など）

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をするには

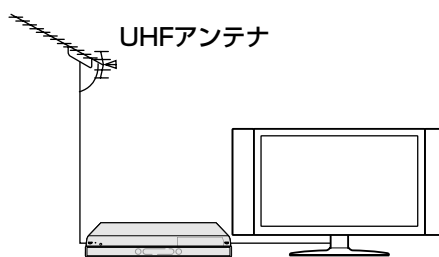
（(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。）

- B-CAS カードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。
  詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

地上デジタル放送を見るには

地上デジタル放送の受信には UHF 対応のアンテナを使用します。
現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。（※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。）

VHF アンテナでは受信できません。

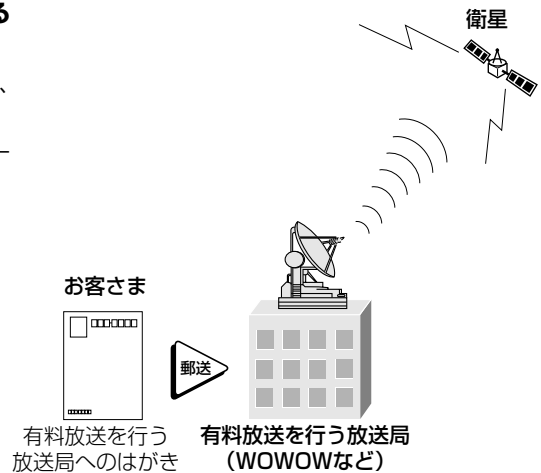
- ご使用のアンテナが VHF アンテナのみの場合は、UHF アンテナの設置が必要になります。

お知らせ

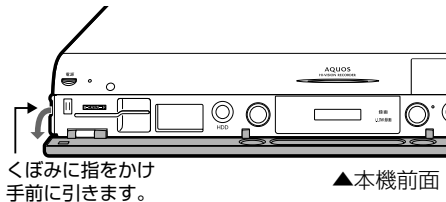
- ・アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- ・地上デジタル放送は、2003 年 12 月から開始された放送です。各都道府県の県庁所在地は、2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信エリアは順次拡大されます。
- ・お住まいの地域でデジタル放送が開始されていない場合は視聴できません。

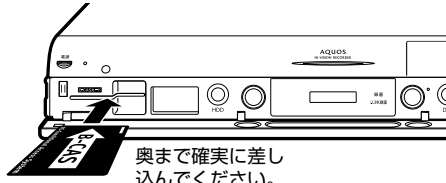
BS・110度CSデジタル放送を見るには

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の有料放送を視聴するには放送局への申し込みが必要です。

●お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に、必要事項をご記入のうえ、投函してください。
詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

・本機は、契約データの受信のために、電源「切」（待機状態＝電源ランプ赤色点灯）のときでも動作することがあります。
・通信中は、本体表示部に「ACCESS」と表示されます。

B-CAS（ビーキャス）カードを本機にセットする

1 本機前面の扉を開けます

▲本機前面

2 B-CAS（ビーキャス）カードを表面の矢印の方向に差し込みます

3 本機前面の扉を閉めます

・差し込みが不完全な状態で本機前面の扉を閉めると、カードの破損や本機の故障の原因となります。

B-CAS（ビーキャス）カードを取り出すときはまっすぐに手で引き抜いてください。

ご注意

B-CASカードの取扱い上のご注意
・本機使用中は、B-CASカードに触れないでください。
・差し込み口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
・本機使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
・B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
・B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
・B-CASカードの金属部には手を触れないでください。
・B-CASカードを分解、加工しないでください。

B-CASカードは大切に保管してください
・仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

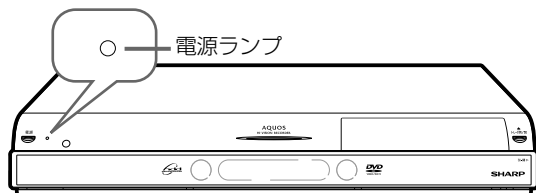
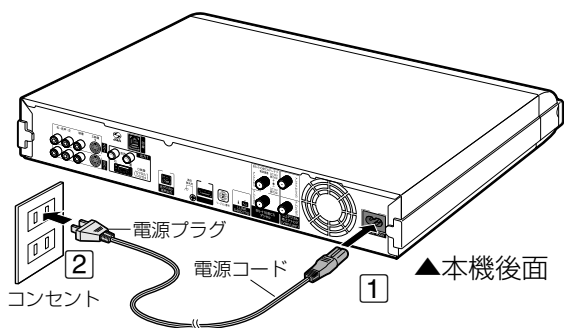
B-CASカードを破損した場合は
・破損等によりB-CASカードの再発行を依頼される場合は費用がかかります。（2006年4月現在）
詳しくは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
（連絡先：0570-000-250）

電源プラグを差し込む

必要な接続と B-CAS カードのセットが済んだら、本機の電源プラグをコンセントに差し込みます。

- 電源コードは、束ねずに伸ばしてご使用ください。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるために、電源コードや他のケーブル類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

1 電源コード接続部に電源コードを接続します

2 電源プラグをコンセントに差し込みます

赤点滅中－システム準備中
（赤点灯するまでおまちください）
赤点灯中－待機中
（電源「入」にできます）
緑点灯中－電源入

ご注意

- 本機の電源プラグは、アンプなどの電源スイッチに連動した電源コンセントにつながないでください。アンプの電源を切ったときに、本機の設定内容が消去されてしまうことがあります。
- 本機の電源が切れているときは、本体の電源ランプ（赤色）が点灯します。電源プラグを差し込んだときは、自動的にHDD（ハードディスク）の信頼性を確認するため、電源ランプが点灯するまでに多少時間がかかります。電源ランプが点灯するまでお待ちください。（電源ランプ点滅中はシステム準備中のため、電源「入」にできません。）

設定のながれ

以下のような場合はそれぞれの設定を行ってください。

本機を箱から出して初めて電源を入れたとき

→ **初期設定** 192 ページ～

らくらく設定
- ファミリンクを搭載したシャープ製テレビ「アクオス」と本機をHDMIケーブルで接続をすると、テレビのチャンネル設定を取得することができ、かんたんに初期設定が行えます。

初期設定でうまく設定できなかった
設定をやり直したい
引越などで本機を使う地域が変わった

→ **かんたん設定** 201 ページ

- テレビ接続
- オーディオ機器接続
- チャンネル設定

をやり直します

地上アナログ放送がうまく受信できない

→ **地上アナログ放送設定** 205 ページ

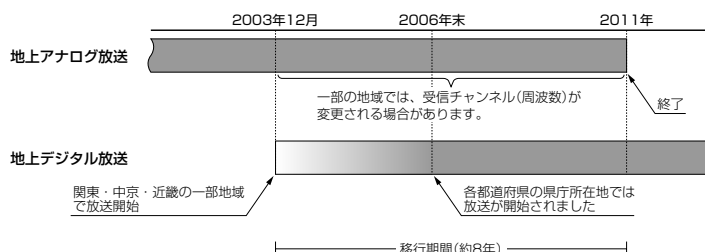
- チャンネル個別設定

デジタル放送がうまく受信できない
双方向番組に参加したい
有料放送の契約がしたい

→ **デジタル放送設定** 214 ページ

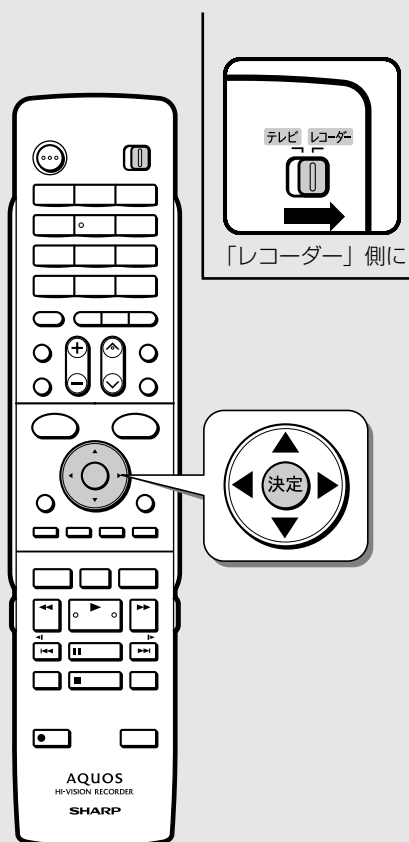
- チャンネル個別設定
- 電子番組表の取得
- 双方向通信設定　など

現行の地上アナログ放送は 2011 年 7 月までに終了します。

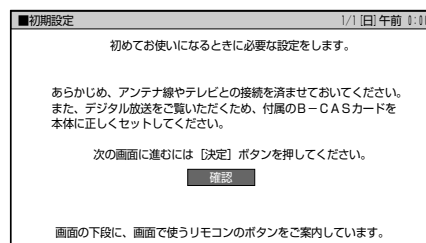
- 2011年7月までに地上アナログ放送は終了する予定です（2007年8月現在）。（※地上アナログ放送と地上デジタル放送では、放送内容が異なる場合があります。）

お知らせ

- ARIB 放送規格の変更により、メニューなどの仕様が変わる場合があります。

初期設定する（らくらく設定）

本機を初めてお使いになるときは初期設定を行ってください。
ファミリンクを搭載したシャープ製テレビ「アクオス」と本機をHDMIケーブルで接続をすると、テレビのチャンネル設定を取得することができ、かんたんに初期設定が行えます。（らくらく設定）

1 テレビと本機の準備をします

35 ページ

⇨初期設定画面表示

2 「確認」で決定します

3 BS・110度CS用アンテナ電源を設定します

BS・110度CSデジタル放送用アンテナは接続されていますか？
アンテナの種類を下記から選び、アンテナ電源の入／切を設定してください。

① マンション等の集合・共聴アンテナ（電源切）
② 個別のアンテナ（電源入）
③ アンテナを接続しない

［決定］を押すと、続いてテレビとの接続・チャンネルの設定に進みます。

① マンション等の共聴タイプでアンテナに電源を供給する必要がない場合
② 個別にアンテナを設置していてアンテナに電源を供給する必要がある場合
③ BS・110度CSデジタル放送用アンテナを設置していない場合

ファミリンク機能を搭載したシャープ製のテレビ「アクオス」とHDMIケーブルを接続した場合（らくらく設定）

☞195 ページ C HDMI 設定へ

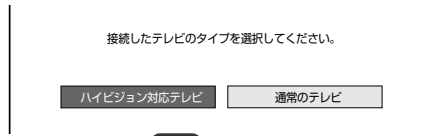
・ファミリンク対応の「アクオス」に次の条件で接続している場合は、すぐにチャンネル設定中の画面に進みます。
  ① シャープ製ファミリンク対応「アクオス」にHDMI接続していること
  ② テレビの電源が入っていること
  ③ テレビの入力が本機を接続した入力になっていること
・テレビと本機を同時に購入いただいたときなどは、テレビの設定を先に済ませてください。
テレビの設定はテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

・接続後、初めて電源を入れたときに「初期設定」画面が表示されない場合については、**262** ページ
・HDMI ケーブル(市販品）でテレビと接続した場合に「初期設定」画面が表示されない場合は、「HDMI 出力に切り換える」でHDMI出力に設定してください。（**180** ページ）
・リモコンでお使いのテレビを操作するには、「メーカー指定」操作を行う必要があります。（**197** ページ）
・リモコン操作をすると他のシャープ製 DVD レコーダーや DVD プレーヤーも動作してしまうときは、「リモコン番号」を設定してください。（**198** ページ）

4 表示される画面を確認します

- 本機とテレビを接続したケーブルの種類により、表示画面が異なります。

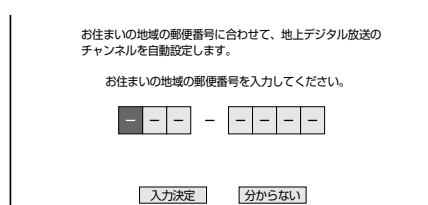
●映像ケーブル・S映像ケーブル・D映像ケーブルで接続した場合

☞このページの A 端子設定〜
次ページ B チャンネル設定へ

●ファミリンク機能を搭載していないテレビとHDMIケーブルで接続した場合

お住まいの地域の郵便番号に合わせて、地上デジタル放送のチャンネルを自動設定します。

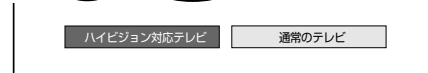
お住まいの地域の郵便番号を入力してください。

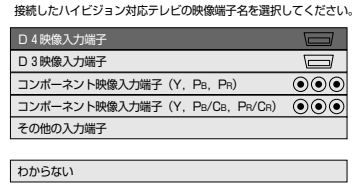
－ － － － － － － －

入力決定　分からない

☞次ページ B チャンネル設定へ

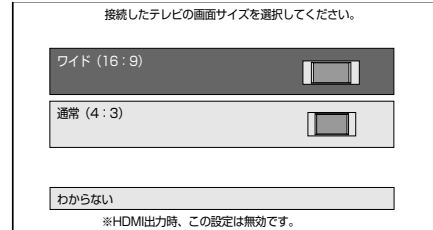
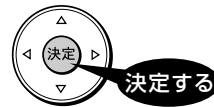
A 端子設定

1 接続したテレビのタイプを選んで決定します

ハイビジョン対応テレビ　通常のテレビ

2 テレビ側の映像端子名を選んで決定します

ハイビジョン対応テレビの場合

通常のテレビの場合

・選択項目によって、変更確認画面や選択画面などが表示されます。画面の指示に従って設定してください。

テレビの画面サイズの選択

3 「確認」で決定します

- 下記画面は一例です。

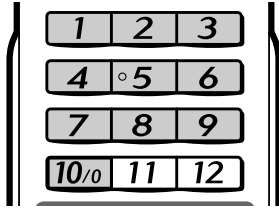
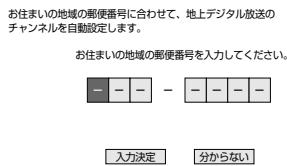
接続機器にあわせ映像出力を以下のように設定しました。
D映像出力　［１１２５ｉ優先］

また、次の項目をハイビジョン対応テレビに適したものに自動設定しました。
画面サイズ　［ワイド（１６：９）］
プログレッシブ出力　［する］

確認

☞次ページ B チャンネル設定へ

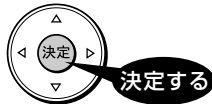
B チャンネル設定

1 郵便番号を入力します

・0は 10/0 で入力

・修正するには

修正部分を   再入力

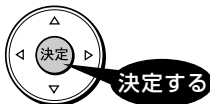
・2006年現在の郵便番号に対応しています。
・事業者の郵便番号には対応していない場合があります。

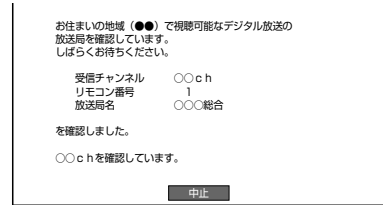
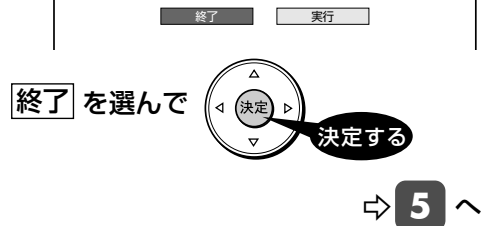
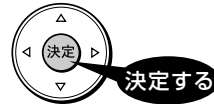
郵便番号が分からない場合は

① 1 で 分からない を選んで

② 後でチャンネル設定を行う を選んで

 ⇨ 5 へ

（別途デジタル放送設定をしてください 214ページ）

2 「入力決定」で決定します

● 存在しない郵便番号を誤って入力した場合は、入力を間違えたことを示すメッセージが表示されます。郵便番号を入力し直してください。

3 地上デジタル放送のチャンネルが自動設定されます

設定できない場合は

終了 を選んで 決定する

⇨ 5 へ

4 「確認」で決定します

5 初期設定完了メッセージを確認後、終了します

確認 で 決定する ⇨ 初期設定終了

お知らせ

・郵便番号によるチャンネル設定で放送が受信できないときは、「地上アナログ放送のチャンネル設定をする」（205ページ）でチャンネルを設定してください。

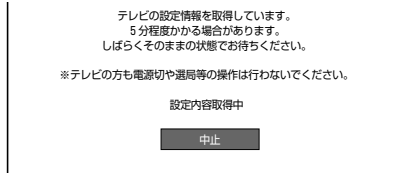
C HDMI 設定

1 テレビのチャンネル情報が取得されます

テレビの設定情報を取得しています。
５分程度かかる場合があります。
しばらくそのままの状態でお待ちください。

※テレビの方も電源切や選局等の操作は行わないでください。

設定内容取得中

中止

取得できない場合または 中止 を選んだ場合は表示される取得中止画面で

・ファミリンクに対応したテレビ（シャープ製）と、
本機が正しくＨＤＭＩケーブルで接続されていますか？
・アンテナは正しく接続されていますか？

もう一度テレビから設定内容を取得しますか？

する　しない

※テレビから設定内容を取得する場合、５分程度かかる場合があります。
※「しない」を選ぶと郵便番号を入力してチャンネルの設定を行います。

する を選んで決定

⇨ 1 画面に

しない を選んで決定

⇨194 ページ B

郵便番号を入力し、チャンネル設定を行います。

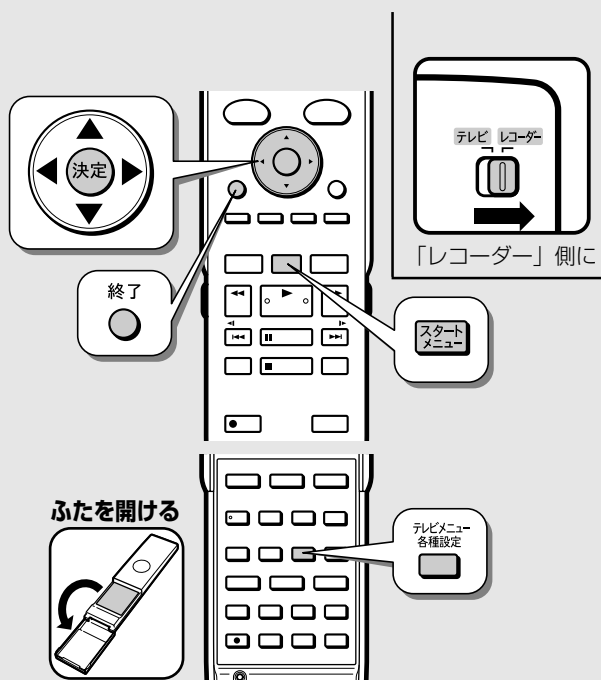
2 初期設定完了メッセージを確認後、終了します

確認 で 決定する ⇨ 初期設定終了

お知らせ

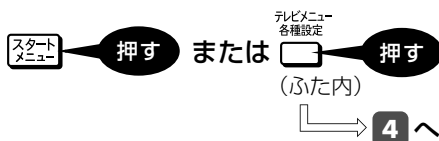
・ 初期設定の「A 端子設定」（**193** ページ）でテレビ側の映像端子を「D2」～「D4」または「コンポーネント映像入力端子」に設定した後、本機からＤ映像ケーブルを取り外すと、設定は「D1」になります。その場合は、再度「テレビとの接続設定をする」（**201** ページ）でテレビの設定をやり直してください。

時計を合わせる（地上アナログ放送）

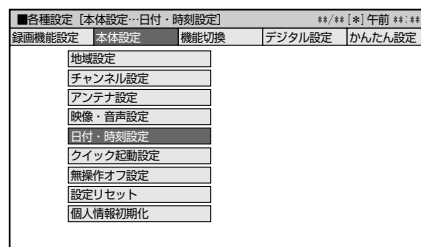
地上アナログ放送のみ受信する場合は、時計合わせを行う必要があります。

・デジタル放送を受信している場合は自動的に時計合わせが行われますので、この操作は必要ありません。
・日付・時刻設定されていない場合は、録画予約やダビングができません。

1 テレビと本機の準備をします

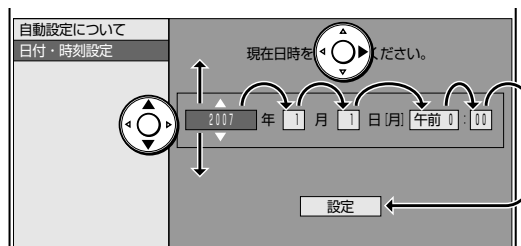
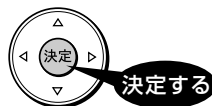
35 ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

各種設定

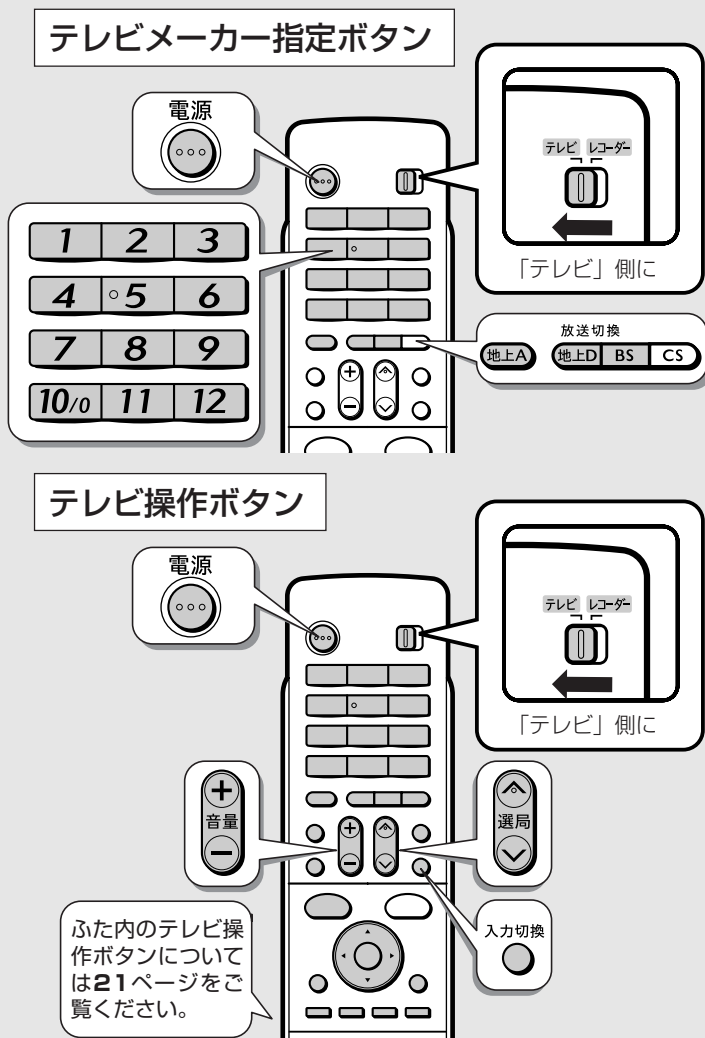
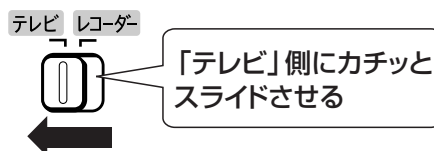
4 「本体設定」－「日付・時刻設定」を選んで決定します

- 日付・時刻設定には「自動設定について」と「日付・時刻設定」の２つの項目があります。「日付・時刻設定」を選んで決定してください。

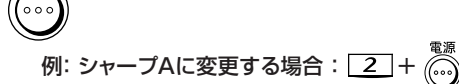
5 「日付・時刻設定」を選んで決定します

6 年→月→日→時→分をそれぞれ選んで設定します

7 「設定」で決定します

8 時計合わせを終了します

本機のリモコンでテレビを操作する

テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にすると、お使いのテレビを本機のリモコンで操作することができるようになります。

シャープ製テレビをお使いのときは
- **本機のリモコンは、工場出荷時「シャープC」に設定されています。そのまま操作できるかご確認ください。**
- 操作できないときは「シャープB」→「シャープA」の順番で設定し、テレビが操作できるか確認します。

1 テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にします

2 メーカー指定ボタンを押したまま、電源を5秒以上押します（下表参照）

例：シャープAに変更する場合：2 ＋ 電源

対応メーカーと指定ボタン一覧表

メーカー	指定ボタン	メーカー	指定ボタン
シャープC※	1 ＋ 電源	日立	9 ＋ 電源
シャープA	2 ＋ 電源	東芝	10/0 ＋ 電源
シャープB	3 ＋ 電源	パイオニア	11 ＋ 電源
松下1	4 ＋ 電源	三洋1	12 ＋ 電源
松下2	5 ＋ 電源	三洋2	地上A ＋ 電源
日本ビクター	6 ＋ 電源	フナイ	地上D ＋ 電源
ソニー	7 ＋ 電源	アイワ	BS ＋ 電源
三菱	8 ＋ 電源		

※工場出荷時

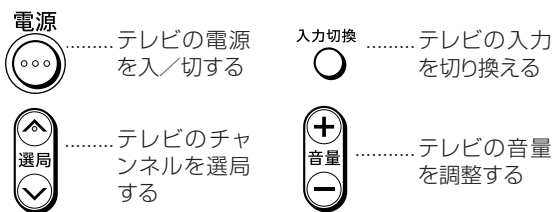
- 同じメーカーで指定番号が2つ以上あるものは、順番に試して、手順3でテレビの操作ができるものを選んで設定してください。

3 リモコンをテレビに向けてテレビが操作できるか確認します

電源 ……テレビの電源を入／切する

入力切換 ……テレビの入力を切り換える

選局 ……テレビのチャンネルを選局する

音量 ……テレビの音量を調整する

テレビの操作ができないときは

- テレビ／レコーダー切換スイッチを「テレビ」側にして設定したことを、確認してください。
- テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にしてメーカー指定を「シャープ（C、B、A）」に設定すると、レコーダーを操作するためのリモコン番号が設定され、本機の操作ができなくなります。本機の操作ができないときは、リモコン番号を設定し直してください。（198ページ）

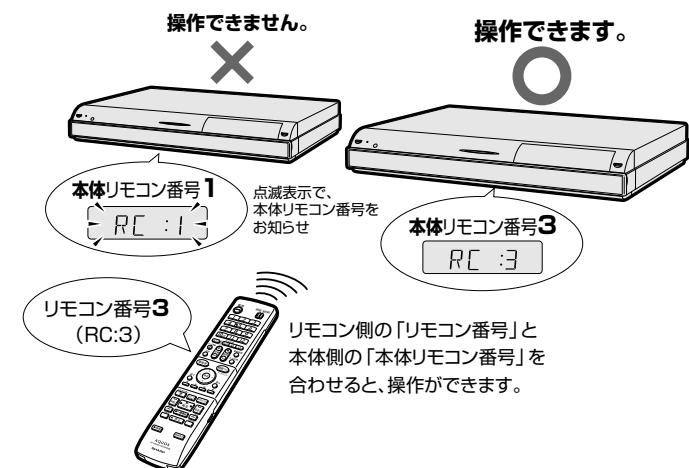
お知らせ

- 「シャープC」（デジタルチューナーを内蔵したシャープ製のテレビ「アクオス」に対応）の場合は、リモコンのテレビ操作ボタンのすべてが操作できます。
- 「シャープA」、「シャープB」、および手順2で設定した他メーカーのテレビでは、「電源」、「音量」、「選局」、「入力切換」のみが操作できます。
- 「シャープC」設定時のみ、テレビ入力自動切換機能がご使用になれます（173ページ）。

ご注意

- テレビの種類や機種によっては、リモコンで操作できないものや、特定のボタンが操作できないものがあります。
- 本機のリモコンのテレビ操作は、メモリーできるマルチタイプのリモコンに転送できない場合があります。
  メモリーする場合は、テレビのリモコンで転送してください。
- 長時間（約1日）リモコンに電池がない状態が続いたときは、メーカーの設定は「シャープC」に戻ります。メーカー指定をやり直してください。

リモコン番号を設定する

リモコンで本機を操作する信号には、リモコン番号１、２、３の３種類があります。
シャープ製DVD機器（工場出荷時：リモコン番号１）をお持ちで、リモコンを使うとシャープ製DVD機器と本機が同時に動作してしまう場合は、別のリモコン番号に設定することで、本機のみ動作させるようにできます。

- リモコン番号はリモコン側と本体側を合わせて設定しておきます。
- 設定は、リモコン側の設定と本体側の設定を行います。

例）リモコン番号を「3」に変更する場合

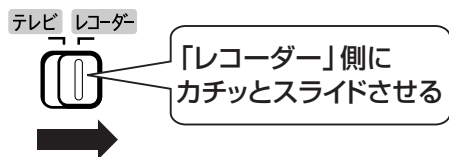
はじめに本体の準備をします

1
- 一発起動設定を「しない」に設定します（200ページ）
- 地上デジタル番組表取得設定を「しない」に設定します（219ページ）

2 「電源オフ時計表示設定」を「する」に設定します 150ページ

3 本機の電源ボタンで電源を「切」にします

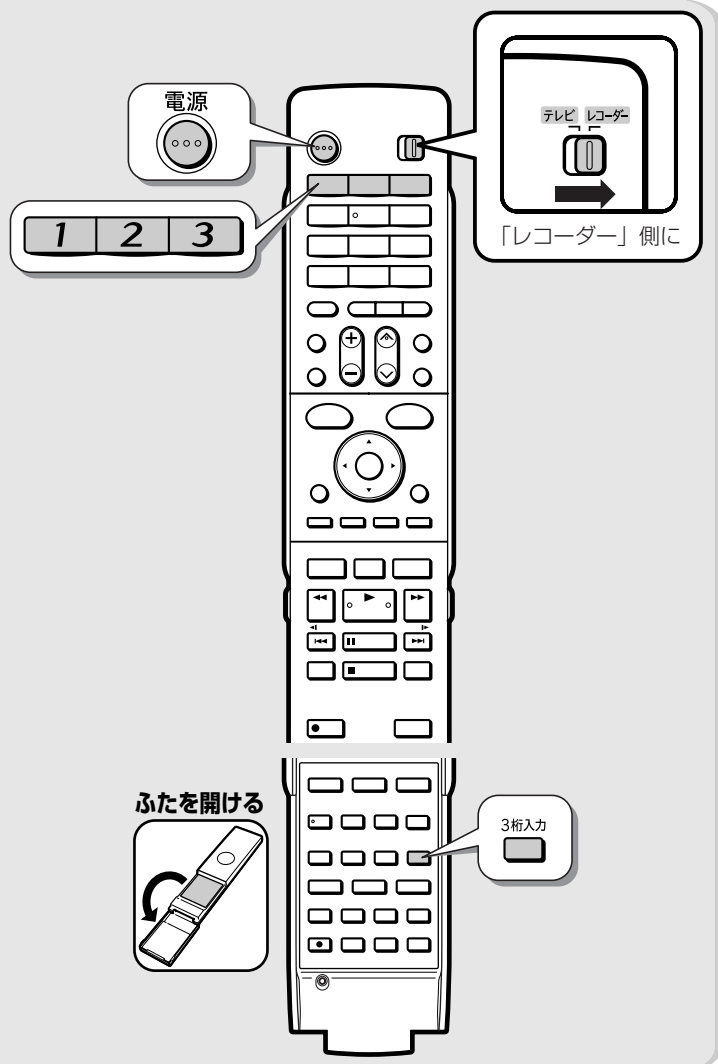
次にリモコン側の設定をします

4 テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にします

5 リモコン番号を設定します

５秒以上
押し続けます

⇨押した数字のリモコン（RC）番号に設定

- リモコン番号を「1」にするときは 1 を押したまま 電源 を５秒以上押しつづけます。
- リモコン番号を「2」にするときは 2 を押したまま 電源 を５秒以上押しつづけます。

・設定は必ず数字ボタンを先に押したまま 電源 を5秒以上押しつづけてください。

お知らせ

・長時間（約１日）リモコンに電池がない状態が続いたときは、リモコン側のリモコン番号が「1」に戻ります。

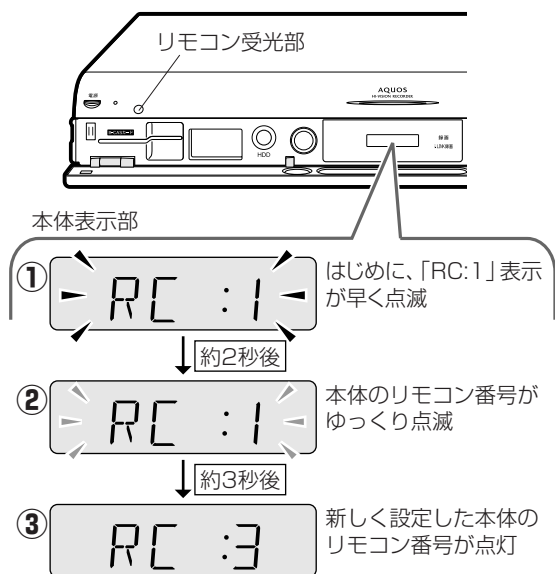
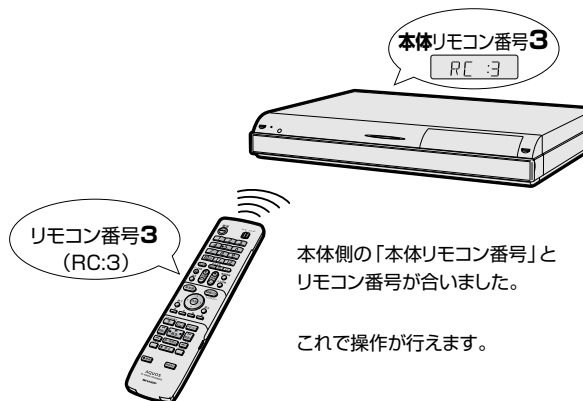
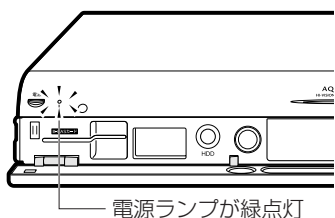
つづいて本体側の設定をします

6 リモコンを本体に向けてリモコンふた内の 3桁入力 を押しつづけます

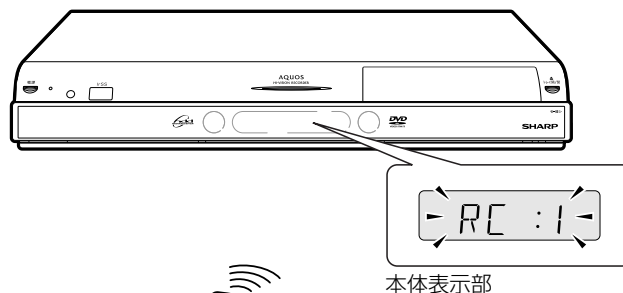
（ふた内）

- 本体表示部が次のように変わります。リモコン番号と同じ番号が本体側に設定されます。

例：本体リモコン番号が１から３に変わったとき

- 設定されたら 3桁入力 を離してください。

7 電源 を押し、本体の電源が入るかどうかを確認します

本体側とリモコン側でリモコン番号が違っているときは

- 本体側に設定されているリモコン番号が本体表示部に点滅表示されます。

例）リモコン側のリモコン番号を「3」に設定し、本体側のリモコン番号が「1」のとき

「つづいて本体側の設定をします」の手順 6 を再度行ってください。

ご注意

「つづいて本体側の設定をします」の手順 6 で本体表示部のリモコン番号表示が点滅しないのに操作できない場合は、以下のことを確認してください。

- ・テレビ／レコーダー切換スイッチが「レコーダー」側になっていますか？
- ・乾電池が正しくセットされていますか？
- ・乾電池が古く寿命がきていませんか？新しい乾電池と交換してください。
- ・本体のリモコン受光部前に障害物がありませんか？
- ・他の機種のリモコンを使っていませんか？

お知らせ

- ・番組表データ取得中など、本機の電源「切」時にも本体内部の電源が入る場合があります。その間は本体リモコン番号の設定ができませんので、ご注意ください。設定は、地上デジタル放送のデータ取得中は電源が切れるまで（約40分）待つか、「番組表取得設定」（**219**ページ）を「しない」にしてから行ってください。
- ・「設定リセット」（**148**ページ）または「個人情報初期化」（**148**ページ）を行うと、本体側のリモコン番号が「本体リモコン番号：1」に戻ります。

上記のリモコン番号の設定が終わったら、地上デジタル放送の「番組表取得設定」（**219**ページ）を「する」に戻します。

一発（クイック）起動を設定する

待機状態からおもなボタンを押すだけで、すぐに起動するように設定できます。

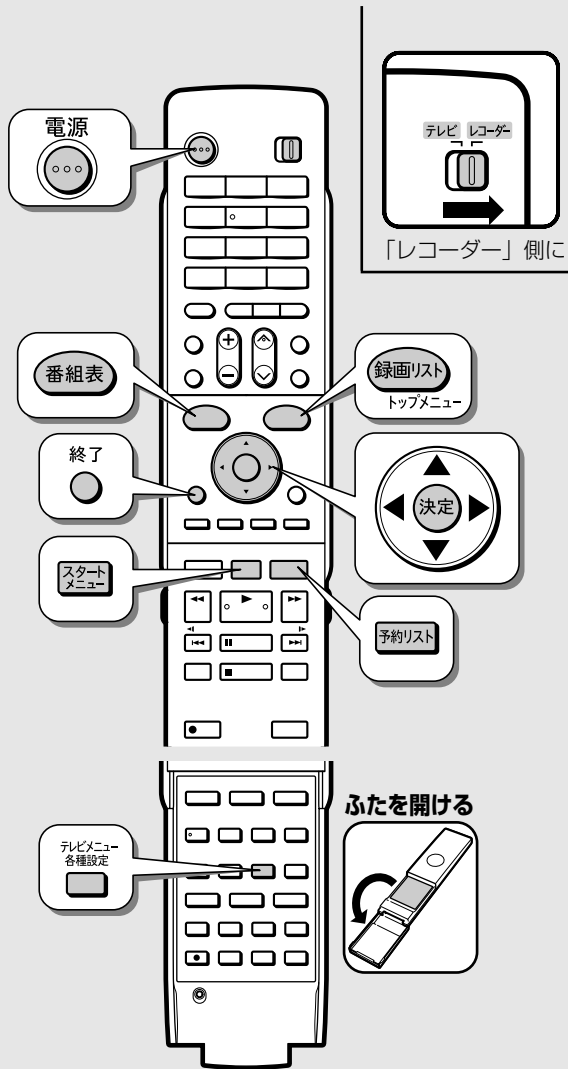
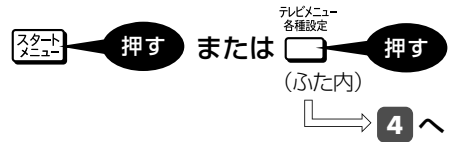
ご注意

・ACコンセントを抜くときは、一発（クイック）起動を「しない」に設定してください。
・一発(クイック）起動の待機中は本体内部の回路がはたらいているため、後面の冷却ファンが回転するなどして、通常の待機（電源切）状態より消費電力が増加します。
・ダウンロードサービス時は開始５分前になると一時的に一発(クイック）起動が解除され、すぐに電源が入らない場合があります。

お知らせ

・工場出荷時は一発(クイック）起動は「しない」に設定されています。
・録画や再生操作は、一発(クイック）起動はできません。電源を入れてから操作してください。
・接続するモニターや端子によっては一発(クイック)起動に多少時間がかかる場合があります。

1 テレビと本機の準備をします

35ページ

2 スタートメニューを表示させます

3 「各種設定」を選んで決定します

各種設定

4 「本体設定」–「クイック起動設定」を選びます

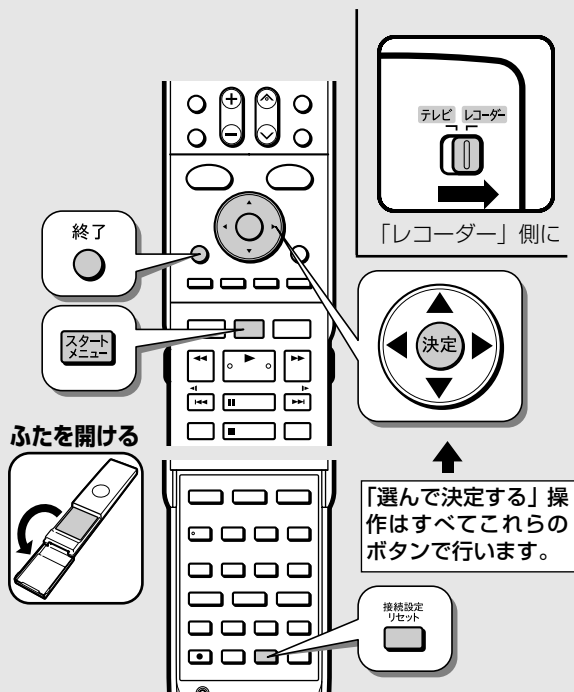
5 クイック起動を設定します

①電源が切れている状態から、「電源を入れる」「電子番組表を表示させる」「スタートメニューを表示させる」「録画リストを表示させる」などの操作がすぐに行えます。また、電源が入ったあと「録画」「再生」の操作がすぐに行えます。
②電源を切ったあと、２時間は①「する（設定１)」と同じ操作が行えます。２時間後からは、待機時の消費電力を抑えるため「しない」と同じ状態で待機します。
③一発（クイック）起動しません。

6 設定を終了します

⇨待機状態(電源切)で 電源 番組表   予約リスト のいずれかを押すと、すぐに操作ができるようになります。

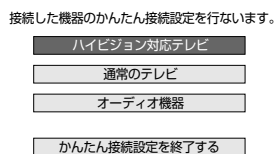
テレビとの接続設定をする

本機と接続するテレビを変更した場合などの接続設定です。

お知らせ

・「ハイビジョン対応テレビ」を選んだときは、接続したワイドテレビの画面サイズを「フル」に設定することをおすすめします。これ以外のサイズでは正しく映らない場合があります。

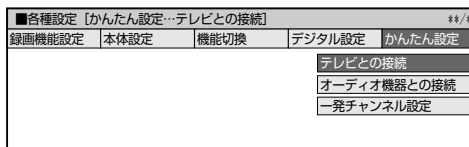
接続設定をリセットするときは

・映像端子の設定を間違えて画面が映らなくなったときは、リモコンふた内の［接続設定リセット］を「かんたん設定」画面が表示されるまで押し続けてください。「テレビとの接続」と「オーディオ機器との接続」の設定がリセットされ、下の画面になります。

接続した機器のかんたん接続設定を行ないます。
ハイビジョン対応テレビ
通常のテレビ
オーディオ機器
かんたん接続設定を終了する

・接続設定をリセットする前に、テレビと接続する映像ケーブルを次のどれかだけにしてください。
映像ケーブル／S 映像ケーブル／D 映像ケーブル／HDMI ケーブル
・リセットすると、映像出力の種類が D 映像出力に戻ります。
・設定後、D 映像ケーブルを抜いたときも、D1 映像出力に戻ります。

1 テレビと本機の準備をします 35 ページ

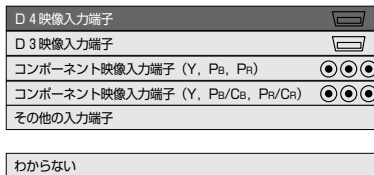
2 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143 ページ

3 「かんたん設定」を選んで決定し、「テレビとの接続」を選んで決定します

4 接続したテレビのタイプを選んで決定します

- テレビがハイビジョンに対応していない場合は「通常のテレビ」を選んでください。→**202** ページの「通常のテレビの場合」手順 **5** へ

ハイビジョン対応テレビの場合

上記の手順 **4** に続いて

5 テレビ側の端子名を選んで決定します

- 「その他の入力端子」「わからない」を選んだ場合 →手順 **8** 「設定内容を確認して決定します」へ
- 「わからない」を選ぶと「D 映像出力」が「D1」に設定されます。

6 「はい」を選んで決定します

選ばれた映像端子向けにD映像出力の設定を
１１２５ｉ優先に変更します。よろしいですか？
はい　いいえ

- 「その他の入力端子」「わからない」以外を選んだ場合は「1125i 優先」に設定されます。「1125i 優先」とは、映像を 1125i（ハイビジョン）で出力する設定です。（市販のDVDビデオは525iまたは525p で出力されます。）

次ページへつづく

7 「確認」を選んで決定します

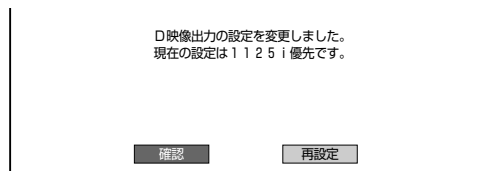
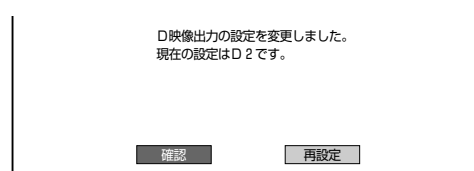
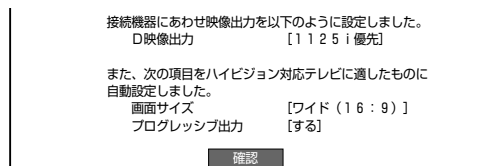
D映像出力の設定を変更しました。
現在の設定は１１２５ｉ優先です。

確認　再設定

8 設定内容を確認して決定します

接続機器にあわせ映像出力を以下のように設定しました。
D映像出力　［１１２５ｉ優先］

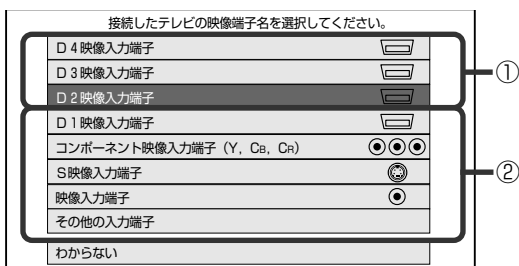
また、次の項目をハイビジョン対応テレビに適したものに
自動設定しました。
画面サイズ　［ワイド（１６：９）］
プログレッシブ出力　［する］

確認

- 「画面サイズ」と「プログレッシブ出力」は自動設定されます。

9 終了 ○ を押して設定を終了します

通常のテレビの場合

201 ページの手順 **4** に続いて

5 テレビ側の端子名を選んで決定します

①を選んだとき→ **201** ページ手順 **6**
「「はい」を選んで決定します」へ
②を選んだとき→ 手順 **8**
「テレビの画面サイズを選んで決定します」へ
わからない→手順 **8**
「テレビの画面サイズを選んで決定します」へ

- 「わからない」を選ぶと「D映像出力」が「D1」に設定されます。

6 「はい」を選んで決定します

選ばれた映像端子向けにD映像出力の設定を
D２に変更します。よろしいですか？

はい　いいえ

7 「確認」を選んで決定します

D映像出力の設定を変更しました。
現在の設定はD２です。

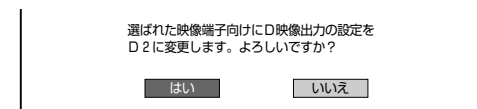
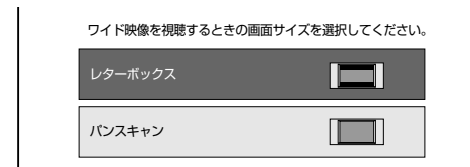
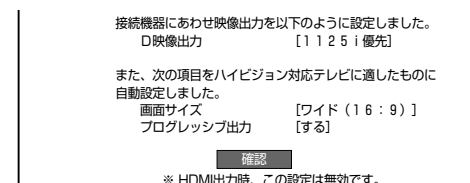
確認　再設定

8 テレビの画面サイズを選んで決定します

ワイド（16:9）→手順 **10** へ

通常（4:3）→手順 **9** へ

わからない→手順 **10** へ

- 「わからない」を選ぶと自動的に「通常（4:3）」に設定されます。

9 ワイド映像を視聴するときの画面サイズを選んで決定します

10 設定内容を確認して決定します

- 「プログレッシブ出力」は自動設定されます。

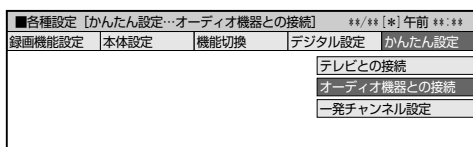
11 終了 ○ を押して設定を終了します

オーディオ機器との接続設定をする

本機とオーディオ機器を接続した場合の接続設定です。

1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143ページ

3 「かんたん設定」－「オーディオ機器との接続」を選んで決定します

4 接続したオーディオのタイプを選んで決定します

「ステレオオーディオ」
2ch（ステレオタイプ）のオーディオ機器、HDMI端子付きのテレビと接続した場合　→手順 7 へ

「5.1chオーディオ」
5.1ch対応のオーディオ機器とデジタル接続したとき、または5.1ch対応のHDMI端子付きのテレビと接続した場合　→手順 5 へ

「わからない」　→手順 7 へ

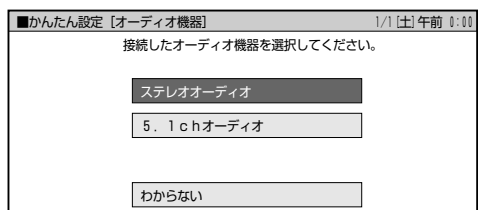
5 「AACデコーダー」対応か非対応かを選んで決定します

- 「わからない」を選ぶと「ステレオオーディオ」で楽しめるよう自動設定されます。

6 「ドルビーデジタルデコーダー」対応か非対応かを選んで決定します

- 「わからない」を選ぶと「ステレオオーディオ」で楽しめるよう自動設定されます。

7 設定内容を確認して決定します

8 終了 を押して設定を終了します

チャンネル設定をする（一発チャンネル設定）

引越しなどで本機をお使いになる地域が変わった場合、チャンネル設定が必要です。

1 テレビと本機の準備をします

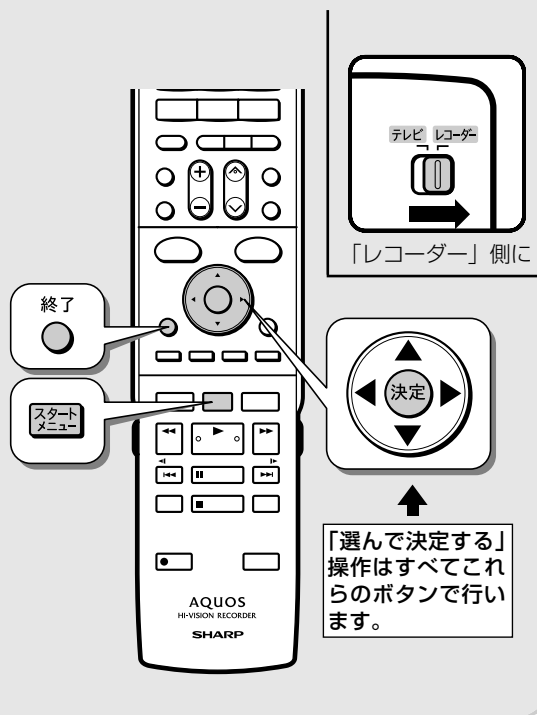
35 ページ

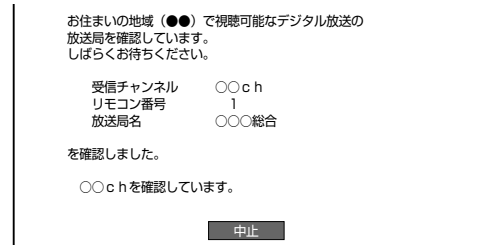
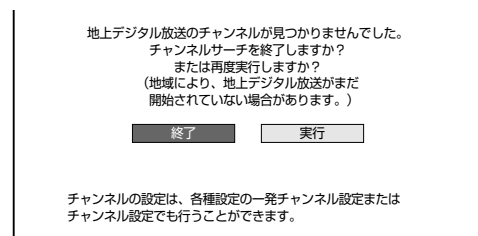
2 スタートメニューから「各種設定」を選びます

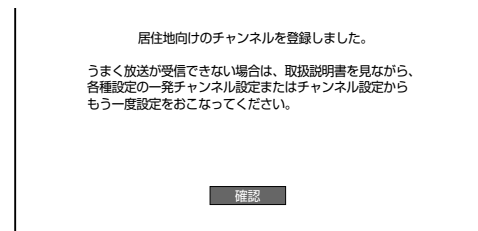
143 ページ

3 「かんたん設定」－「一発チャンネル設定」を選んで決定します

4 リモコンの数字ボタンで郵便番号を入力します

- 郵便番号が分からない場合は「分からない」を選んで郵便番号をお調べのうえ、再度操作してください。
- 入力を間違えた場合、カーソルボタンで修正したい欄を選んで入力し直してください。
- 存在しない郵便番号を入力した場合はその旨表示されます。入力をし直してください。

5 「入力決定」を選んで決定します

⇨地上デジタル放送のチャンネルの自動設定が始まります。

- チャンネル自動設定ができなかった場合は、以下の画面が表示されます。操作を終わる場合は「終了」、再度実行する場合は「実行」を選んで決定してください。

- 地上デジタル放送が受信できない場合は、日時設定画面が表示されます。現在日時を設定してください。設定のしかたについては、**196** ページ

6 確認して決定します

7 終了 を押して設定を終了します

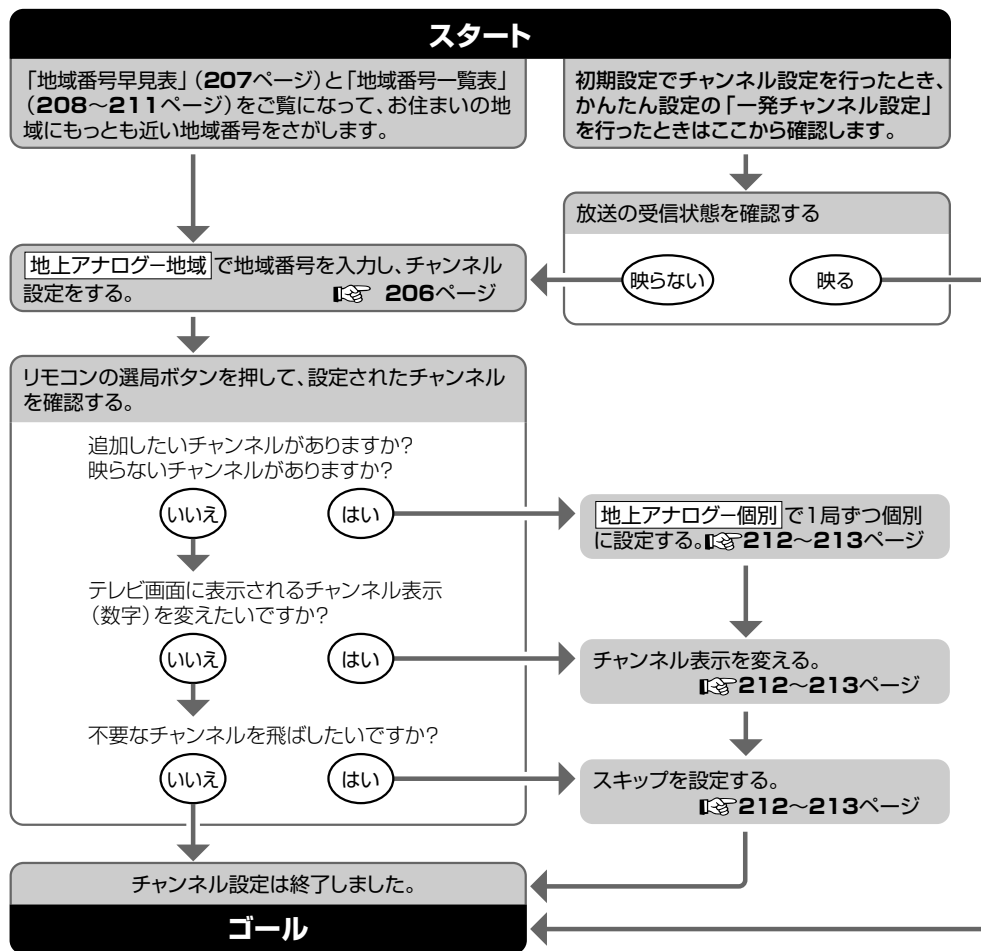
・**郵便番号入力によるチャンネル設定を行ってもアナログ放送が受信できない場合は、「各種設定」－「本体設定」－「チャンネル設定」－「地上アナログ」の設定メニューを選び設定しなおしてください。（206、212ページ）**

地上アナログ放送のチャンネル設定をする

引越しなどで本機をお使いになる地域が変わった場合、チャンネル設定が必要です。

チャンネル設定のながれ

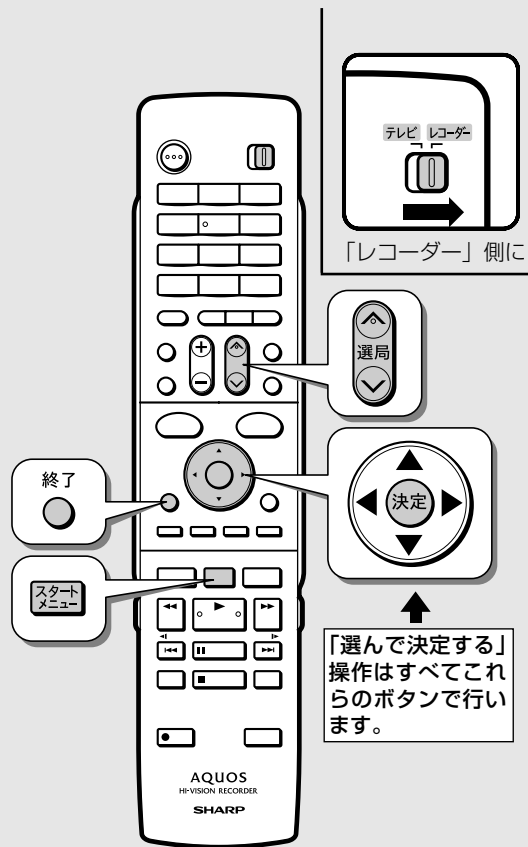
初期設定で郵便番号によるチャンネル設定を行ったとき、またはかんたん設定の「一発チャンネル設定」を行ったときは、「地上アナログ－地域」によるチャンネル設定の必要はありません。
初期設定で郵便番号によるチャンネル設定をしたときに設定された地域と、地上アナログ放送の地域番号で設定した地域は異なる場合があります。

- チャンネル設定には「地上アナログ－地域」と「地上アナログ－個別」（1 局ずつ個別にチャンネルを設定）の 2 つの方法があります。まず「地上アナログ－地域」でチャンネルを自動設定し、さらに設定が必要なときに「地上アナログ－個別」をします。
- 工場出荷時（地域番号「000」）は、VHF1 ～ 12 チャンネルが受信できるように設定されています。

「地上アナログ－地域」とは
- 本機をお使いになる場所にもっとも近い場所（電波を送信している都市）を地域番号表から選び、「地域番号」で設定する方法です。
- 地域ごとに受信チャンネルが設定されます。
- 地域番号で設定しても受信できない場合は、「地上アナログ－個別」で設定してください。

「地上アナログ－個別」とは
- 地域番号表に当てはまらない地域のチャンネル設定や、チャンネル設定後に他のチャンネルを追加したり削除するときに行う設定です。
- チャンネルを 1 局ずつ個別に設定できます。

ケーブルテレビ（CATV）をご覧になるときは
- ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域に限ります。
- ケーブルテレビを受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
  また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画には、ケーブルテレビ専用のホームターミナル（アダプター）が必要になります。
  詳しくは、ケーブルテレビ会社にご相談ください。

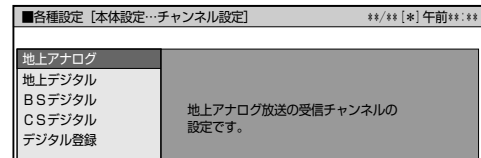
ファミリンク対応のテレビと HDMI 接続したとき
- テレビ側で先にチャンネル設定をした後、本機のチャンネル設定は「各種設定」の「機能切換」-「ファミリンク設定」-「テレビの設定取得」でテレビのチャンネル設定を取得することをおすすめします。

地域番号による自動設定

お知らせ

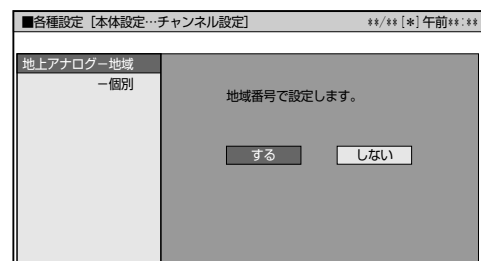
・初期設定で地上アナログ放送の受信設定を行ったときは、この設定は必要ありません。

1 テレビと本機の準備をします ☞ 35ページ

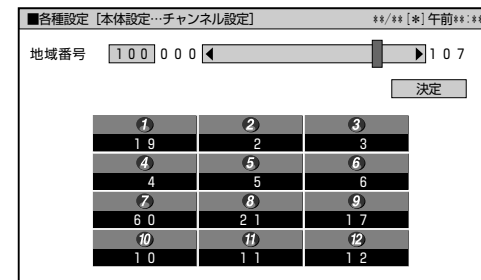
2 スタートメニューから「各種設定」を選びます ☞ 143ページ

3 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

4 「地上アナログ」を選んで決定します

5 「地上アナログ－地域」を選びます

6 「する」を選んで決定します

7 地域番号を選んで決定します

● **208**～**211**ページの一覧表でお住まいの地域番号をお調べください。

1	2	3
19	2	3
4	5	6
4	5	6
7	8	9
60	21	17
10	11	12
10	11	12

⇨ チャンネルが自動設定されます。

8 終了 を押して設定を終了します

● 地上アナログ放送を選局して各放送局が受信できるか確認してください。

● 放送が映らないとき、または追加したいチャンネルや映りの悪いチャンネルがある場合は「一局ずつ手動で個別設定」を行ってください。（**212**ページ）

地域番号早見表

地上デジタル放送の開始にともなう受信チャンネルの変更について

- 地域によっては受信チャンネルが変更されるところもありますので、地域番号を設定しても映らない放送局は「一局ずつ手動で個別設定」（**212** ページ）で受信チャンネルを変更してください。

五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松	021	し	上越	038	み	宮崎	092
	青森	010	せ	仙台	013	む	室蘭	008
	明石	063	た	高岡	040	も	盛岡	012
	秋田	015		高松	078	や	矢板	100
	阿久根	095		多摩	105		山形	017
	旭川	002	ち	茅ヶ崎	034		山口	074
い	飯田	045		千葉	029	よ	横浜	033
	石巻	014	つ	津	057	わ	和歌山1	107
	今治	081		鶴岡	018		和歌山2	099
	いわき	020	と	東京23区	030			
	岩国	077		徳島	097			
う	宇都宮	101		鳥取	067			
	宇部	076		苫小牧	006			
お	大分	091		富山	039			
	大阪	061		豊田	056			
	大館	016		豊橋	055			
	大津	058	な	長崎	088			
	大牟田	086		長野	044			
	岡山	070		名古屋	054			
	小樽	007		那覇	096			
	小田原	035		奈良	065			
	帯広	005	に	新潟	037			
か	各務原	106		新居浜	080			
	鹿児島	094	ぬ	沼津	052			
	金沢	041	の	延岡	093			
	川西	064	は	函館	003			
き	北九州	084		秦野	036			
	北見	009		八王子	104			
	岐阜	047		八戸	011			
	京都1	060		浜田	069			
	京都2	098		浜松	050			
	桐生	102	ひ	彦根	059			
く	釧路	004		日立	023			
	熊谷	103		姫路	062			
	熊本	090		広島	071			
	久留米	085	ふ	福井	042			
	呉	073		福岡	083			
こ	高知	082		福島	019			
	甲府	043		福山	072			
	神戸	061		富士	051			
さ	さいたま	027		藤枝	053			
	佐賀	087	ま	前橋	025			
	佐世保	089		松江	068			
	札幌	001		松本	046			
し	静岡	049		松山	079			
	下関	075	み	水戸	022			

お知らせ

工場出荷時の設定は、000 です。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表（**208**～**211** ページ）に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にスキップされます（地域番号「000」は除く）。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。受信できないときは「地上アナログ−個別」で1局ずつ個別に設定してください。
- 同じ地域名が2つある場合（例：京都 1、京都2など）は、どちらか片方の地域番号を入力してみてください。映らない場合は、もう一方の地域番号を入力してください。それでも映らない場合は、「地上アナログ−個別」で1局ずつ個別に設定してください。

地域番号一覧表

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		選局番号(ポジション)	受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
工場出荷指定		000	1 1	2 2	3 3	4 4	5 5	6 6	7 7	8 8	9 9	10 10	11 11	12 12
北海道	札幌	001	1 1 HBC		3 3 NHK総合	17 4 TVh	5 5 STV		27 7 UHB		35 9 HTB			12 12 NHK教育
北海道	旭川	002		2 2 NHK教育	33 3 TVh	37 4 UHB	39 5 HTB		7 7 STV		9 9 NHK総合		11 11 HBC	
北海道	函館	003	21 1 TVh	27 2 UHB	35 3 HTB	4 4 NHK総合		6 6 HBC				10 10 NHK教育		12 12 STV
北海道	釧路	004		2 2 NHK教育	39 3 HTB	41 4 UHB			7 7 STV		9 9 NHK総合		11 11 HBC	
北海道	帯広	005	32 1 UHB		34 3 HTB	4 4 NHK総合		6 6 HBC				10 10 STV		12 12 NHK教育
北海道	苫小牧	006	47 1 TVh	49 2 NHK教育	51 3 NHK総合	53 4 UHB	55 5 HBC	57 6 STV	61 7 HTB					
北海道	小樽	007	24 1 TVh	2 2 NHK教育	26 3 UHB	4 4 HTB			7 7 STV		9 9 HBC		11 11 NHK総合	
北海道	室蘭	008		2 2 NHK教育	29 3 TVh	37 4 UHB	39 5 HTB		7 7 STV		9 9 NHK総合		11 11 HBC	
北海道	北見	009		2 2 NHK教育			59 5 UHB	61 6 HTB	7 7 STV		9 9 NHK総合		53 11 HBC	
青森	青森	010	1 1 青森放送		3 3 NHK総合		5 5 NHK教育		38 7 青森テレビ		34 9 青森朝日			
青森	八戸	011			33 3 青森テレビ		31 5 青森朝日		7 7 NHK教育		9 9 NHK総合		11 11 青森放送	
岩手	盛岡	012				4 4 NHK総合		6 6 IBC		8 8 NHK教育	31 9 IAT	35 10 テレビ岩手		33 12 めんこい
宮城	仙台	013	1 1 TBC		3 3 NHK総合		5 5 NHK教育		32 7 東日本放送		34 9 宮城テレビ			12 12 仙台放送
宮城	石巻	014	59 1 TBC		51 3 NHK総合		49 5 NHK教育		61 7 東日本放送		55 9 宮城テレビ			57 12 仙台放送
秋田	秋田	015		2 2 NHK教育							9 9 NHK総合	31 10 秋田朝日	11 11 秋田放送	37 12 秋田テレビ
秋田	大館	016		2 2 (NHK教育)		4 4 NHK総合		6 6 秋田放送		8 8 NHK教育	9 9 (NHK総合)	59 10 秋田朝日	11 11 (秋田放送)	57 12 秋田テレビ
山形	山形	017				4 4 NHK教育		36 6 TUY	30 7 SAY	8 8 NHK総合		10 10 山形放送		38 12 山形テレビ
山形	鶴岡	018	1 1 山形放送		3 3 NHK総合			6 6 NHK教育		39 8 山形テレビ		22 10 TUY		24 12 SAY
福島	福島	019		2 2 NHK教育	31 3 TUF		33 5 福島中央TV		35 7 福島放送		9 9 NHK総合		11 11 福島テレビ	
福島	いわき	020		62 2 TUF		4 4 NHK総合		58 6 福島中央TV		8 8 福島テレビ		10 10 NHK教育		60 12 福島放送
福島	会津若松	021	1 1 NHK総合		3 3 NHK教育			6 6 福島テレビ		47 8 TUF		37 10 福島中央TV		41 12 福島放送
茨城	水戸	022	44 1 NHK総合		46 3 NHK教育	42 4 日本テレビ		40 6 TBS		38 8 フジテレビ		36 10 テレビ朝日		32 12 テレビ東京
茨城	日立	023	52 1 NHK総合		50 3 NHK教育	54 4 日本テレビ		56 6 TBS		58 8 フジテレビ		60 10 テレビ朝日		62 12 テレビ東京
栃木	宇都宮	101	51 1 NHK総合		49 3 NHK教育	53 4 日本テレビ		55 6 TBS		57 8 フジテレビ	31 9 とちぎTV	41 10 テレビ朝日		44 12 テレビ東京
栃木	矢板	100	40 1 NHK総合		30 3 NHK教育	36 4 日本テレビ	33 5 とちぎTV	42 6 TBS		45 8 フジテレビ		59 10 テレビ朝日		61 12 テレビ東京

- 地域番号別に設定された選局番号と受信チャンネル・放送局は、当社の調査によるものです。(2007年1月現在)
- 地域番号一覧表に記載されている( )内の放送局はチャンネルスキップが設定されています。

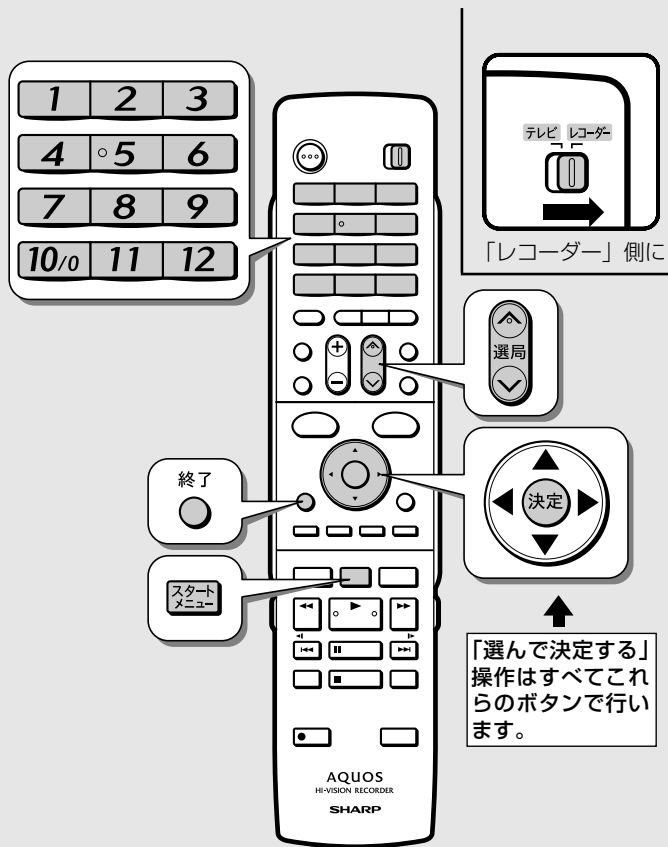
都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	選局番号(ポジション)		受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
群馬	前橋	025	52 1 ＮＨＫ総合		50 3 ＮＨＫ教育	54 4 日本テレビ	40 5 放送大学	56 6 ＴＢＳ		58 8 フジテレビ		60 10 テレビ朝日	48 11 群馬テレビ	62 12 テレビ東京
	桐生	102	51 1 ＮＨＫ総合		57 3 ＮＨＫ教育	53 4 日本テレビ	40 5 放送大学	55 6 ＴＢＳ		35 8 フジテレビ		59 10 テレビ朝日	41 11 群馬テレビ	61 12 テレビ東京
埼玉	さいたま	027	1 1 ＮＨＫ総合		3 3 ＮＨＫ教育	4 4 日本テレビ	16 5 放送大学	6 6 ＴＢＳ		8 8 フジテレビ	38 9 テレビ埼玉	10 10 テレビ朝日		12 12 テレビ東京
	熊谷	103	51 1 ＮＨＫ総合		35 3 ＮＨＫ教育	53 4 日本テレビ		55 6 ＴＢＳ	16 7 放送大学	57 8 フジテレビ	30 9 テレビ埼玉	59 10 テレビ朝日		61 12 テレビ東京
千葉	千葉	029	1 1 ＮＨＫ総合		3 3 ＮＨＫ教育	4 4 日本テレビ	16 5 放送大学	6 6 ＴＢＳ		8 8 フジテレビ	42 9 ｔｖｋ	10 10 テレビ朝日	46 11 ちばテレビ	12 12 テレビ東京
東京	２３区	030	1 1 ＮＨＫ総合		3 3 ＮＨＫ教育	4 4 日本テレビ	14 5 ＭＸＴＶ	6 6 ＴＢＳ	38 7 テレビ埼玉	8 8 フジテレビ	42 9 ｔｖｋ	10 10 テレビ朝日	46 11 ちばテレビ	12 12 テレビ東京
	八王子	104	33 1 ＮＨＫ総合		29 3 ＮＨＫ教育	35 4 日本テレビ	40 5 ＭＸＴＶ	37 6 ＴＢＳ		31 8 フジテレビ		45 10 テレビ朝日		62 12 テレビ東京
	多摩	105	49 1 ＮＨＫ総合		47 3 ＮＨＫ教育	51 4 日本テレビ	61 5 ＭＸＴＶ	53 6 ＴＢＳ		55 8 フジテレビ		57 10 テレビ朝日		59 12 テレビ東京
神奈川	横浜	033	1 1 ＮＨＫ総合		3 3 ＮＨＫ教育	4 4 日本テレビ	16 5 放送大学	6 6 ＴＢＳ		8 8 フジテレビ	42 9 ｔｖｋ	10 10 テレビ朝日		12 12 テレビ東京
	茅ヶ崎	034	33 1 ＮＨＫ総合		29 3 ＮＨＫ教育	35 4 日本テレビ		37 6 ＴＢＳ		39 8 フジテレビ	31 9 ｔｖｋ	41 10 テレビ朝日		43 12 テレビ東京
	小田原	035	52 1 ＮＨＫ総合		50 3 ＮＨＫ教育	54 4 日本テレビ		56 6 ＴＢＳ		58 8 フジテレビ	46 9 ｔｖｋ	60 10 テレビ朝日		62 12 テレビ東京
	秦野	036	47 1 ＮＨＫ総合		49 3 ＮＨＫ教育	51 4 日本テレビ		53 6 ＴＢＳ		55 8 フジテレビ	61 9 ｔｖｋ	57 10 テレビ朝日		59 12 テレビ東京
山梨	甲府	043	1 1 ＮＨＫ総合		3 3 ＮＨＫ教育		5 5 山梨放送		37 7 ＵＴＹ					
長野	長野	044		44 2 ＮＨＫ総合	50 3 長野朝日		40 5 テレビ信州		42 7 長野放送		46 9 ＮＨＫ教育		48 11 ＳＢＣ	
	飯田	045	44 1 長野朝日		3 3 ＮＨＫ教育	4 4 ＮＨＫ総合		6 6 ＳＢＣ		42 8 テレビ信州		40 10 長野放送		
	松本	046		44 2 ＮＨＫ総合	50 3 長野朝日		48 5 テレビ信州		42 7 長野放送		46 9 ＮＨＫ教育		40 11 ＳＢＣ	
新潟	新潟	037	21 1 テレビ２１		29 3 テレビ新潟		5 5 ＢＳＮ			8 8 ＮＨＫ総合		35 10 新潟総合TV		12 12 ＮＨＫ教育
	上越	038	1 1 ＮＨＫ教育		3 3 ＮＨＫ総合			37 6 テレビ２１		27 8 テレビ新潟		10 10 ＢＳＮ		33 12 新潟総合TV
富山	富山	039	1 1 北日本放送		3 3 ＮＨＫ総合							10 10 ＮＨＫ教育	32 11 チュリップ	34 12 富山テレビ
	高岡	040	50 1 北日本放送		48 3 ＮＨＫ総合							46 10 ＮＨＫ教育	42 11 チュリップ	44 12 富山テレビ
石川	金沢	041				4 4 ＮＨＫ総合		6 6 北陸放送	25 7 北陸朝日	8 8 ＮＨＫ教育		33 10 テレビ金沢		37 12 石川テレビ
福井	福井	042	39 1 福井テレビ		3 3 ＮＨＫ教育			6 6 北陸放送			9 9 ＮＨＫ総合		11 11 福井放送	
岐阜	岐阜	047	1 1 東海テレビ		39 3 ＮＨＫ総合		5 5 ＣＢＣ		35 7 中京テレビ		9 9 ＮＨＫ教育		11 11 メ〜テレ	37 12 岐阜放送
	各務原	106	1 1 東海テレビ		3 3 ＮＨＫ総合		5 5 ＣＢＣ		35 7 中京テレビ		9 9 ＮＨＫ教育		11 11 メ〜テレ	41 12 岐阜放送
静岡	静岡	049		2 2 ＮＨＫ教育	31 3 静岡第一		33 5 朝日テレビ		35 7 テレビ静岡		9 9 ＮＨＫ総合		11 11 静岡放送	
	浜松	050		30 2 静岡第一		4 4 ＮＨＫ総合		6 6 静岡放送		8 8 ＮＨＫ教育		28 10 朝日テレビ		34 12 テレビ静岡
	富士	051		54 2 ＮＨＫ教育	27 3 静岡第一		29 5 朝日テレビ		39 7 テレビ静岡		52 9 ＮＨＫ総合		41 11 静岡放送	
	沼津	052		51 2 ＮＨＫ教育	61 3 静岡第一		57 5 朝日テレビ		59 7 テレビ静岡		53 9 ＮＨＫ総合		55 11 静岡放送	
	藤枝	053		44 2 ＮＨＫ教育	24 3 静岡第一		26 5 朝日テレビ		38 7 テレビ静岡		42 9 ＮＨＫ総合		40 11 静岡放送	

地上アナログ放送のチャンネル設定をする

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		選局番号（ポジション）	受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
愛知	名古屋	054	1 1 東海テレビ		3 3 NHK総合		5 5 CBC		35 7 中京テレビ		9 9 NHK教育		11 11 メ～テレ	25 12 テレビ愛知
	豊橋	055	56 1 東海テレビ		54 3 NHK総合		62 5 CBC		58 7 中京テレビ		50 9 NHK教育		60 11 メ～テレ	52 12 テレビ愛知
	豊田	056	57 1 東海テレビ		53 3 NHK総合		55 5 CBC		59 7 中京テレビ		51 9 NHK教育		61 11 メ～テレ	49 12 テレビ愛知
三重	津	057	1 1 東海テレビ		3 3 NHK総合		5 5 CBC		35 7 中京テレビ		9 9 NHK教育	33 10 三重テレビ	11 11 メ～テレ	25 12 テレビ愛知
滋賀	大津	058		28 2 NHK総合		36 4 毎日放送		38 6 朝日放送		40 8 関西テレビ		42 10 読売テレビ	30 11 びわ湖放送	46 12 NHK教育
	彦根	059		52 2 NHK総合		54 4 毎日放送	56 5 びわ湖放送	58 6 朝日放送		60 8 関西テレビ		62 10 読売テレビ		50 12 NHK教育
京都	京都1	060		2 2 NHK総合	36 3 サンテレビ	4 4 毎日放送	19 5 テレビ大阪	6 6 朝日放送	34 7 京都テレビ	8 8 関西テレビ	26 9 奈良テレビ	10 10 読売テレビ		12 12 NHK教育
	京都2	098	32 1 NHK総合	2 2 NHK総合	34 3 京都テレビ	4 4 毎日放送	21 5 テレビ大阪	6 6 朝日放送		8 8 関西テレビ		10 10 読売テレビ		12 12 NHK教育
大阪	大阪	061		2 2 NHK総合	36 3 サンテレビ	4 4 毎日放送	19 5 テレビ大阪	6 6 朝日放送	34 7 京都テレビ	8 8 関西テレビ		10 10 読売テレビ	30 11 TV和歌山	12 12 NHK教育
兵庫	神戸	061		2 2 NHK総合	36 3 サンテレビ	4 4 毎日放送	19 5 テレビ大阪	6 6 朝日放送	34 7 京都テレビ	8 8 関西テレビ		10 10 読売テレビ	30 11 TV和歌山	12 12 NHK教育
	姫路	062		50 2 NHK総合	56 3 サンテレビ	54 4 毎日放送		58 6 朝日放送		60 8 関西テレビ		62 10 読売テレビ		52 12 NHK教育
	明石	063		51 2 NHK総合	55 3 サンテレビ	53 4 毎日放送	19 5 テレビ大阪	57 6 朝日放送		59 8 関西テレビ		61 10 読売テレビ	30 11 TV和歌山	49 12 NHK教育
	川西	064		29 2 NHK総合	33 3 サンテレビ	35 4 毎日放送		37 6 朝日放送		39 8 関西テレビ		41 10 読売テレビ		31 12 NHK教育
奈良	奈良	065	51 1 (NHK総合)	2 2 NHK総合	36 3 サンテレビ	4 4 毎日放送	19 5 テレビ大阪	6 6 朝日放送	62 7 (奈良テレビ)	8 8 関西テレビ	55 9 奈良テレビ	10 10 読売テレビ		12 12 NHK教育
和歌山	和歌山1	107		32 2 NHK総合		42 4 毎日放送		44 6 朝日放送		46 8 関西テレビ		48 10 読売テレビ	30 11 TV和歌山	25 12 NHK教育
	和歌山2	099		50 2 NHK総合		54 4 毎日放送		58 6 朝日放送		60 8 関西テレビ		62 10 読売テレビ	56 11 TV和歌山	52 12 NHK教育
鳥取	鳥取	067	1 1 日本海TV		3 3 NHK総合	4 4 NHK教育				24 8 山陰中央		22 10 BSS		
島根	松江	068	30 1 日本海TV		34 3 山陰中央			6 6 NHK総合				10 10 BSS		12 12 NHK教育
	浜田	069		2 2 NHK総合	54 3 日本海TV		5 5 BSS			58 8 山陰中央	9 9 NHK教育			
岡山	岡山	070	23 1 TVせとうち		3 3 NHK教育		5 5 NHK総合	25 6 KSB	35 7 OHK		9 9 西日本放送		11 11 RSK	
広島	広島	071	31 1 TSS		3 3 NHK総合	4 4 RCC			7 7 NHK教育			35 10 広島ホーム		12 12 広島テレビ
	福山	072	5 1 NHK総合		57 3 広島ホーム		54 5 TSS		3 7 NHK教育			7 10 RCC		11 12 広島テレビ
	呉	073	1 1 NHK教育		24 3 広島ホーム		5 5 広島テレビ		26 7 TSS		9 9 RCC		11 11 NHK総合	
山口	山口	074	1 1 NHK教育				28 5 山口朝日		38 7 テレビ山口		9 9 NHK総合		11 11 山口放送	
	下関	075	41 1 NHK教育	2 2 KBC	23 3 TVQ	4 4 山口放送	21 5 山口朝日	6 6 (NHK総合)	33 7 テレビ山口	8 8 RKB毎日	39 9 NHK総合	10 10 TNS	35 11 FBS	12 12 (NHK教育)
	宇部	076	55 1 NHK教育	2 2 KBC			24 5 山口朝日	6 6 (NHK総合)	44 7 テレビ山口	8 8 RKB毎日	58 9 NHK総合	10 10 TNC	61 11 山口放送	
	岩国	077	1 1 NHK教育			4 4 RCC	62 5 テレビ山口		28 7 山口朝日		9 9 NHK総合	10 10 南海放送	11 11 山口放送	12 12 広島テレビ
徳島	徳島	097	1 1 四国放送		3 3 NHK総合	4 4 毎日放送		6 6 朝日放送		8 8 関西テレビ		10 10 読売テレビ		38 12 NHK教育
香川	高松	078	33 1 KSB		39 3 NHK教育		37 5 NHK総合		31 7 OHK		41 9 西日本放送		29 11 RSK	19 12 TVせとうち

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	選局番号(ポジション)		受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
愛媛	松山	079		2 2 NHK教育		29 4 あいテレビ	25 5 愛媛朝日	6 6 NHK総合		37 8 テレビ愛媛		10 10 南海放送		35 12 広島ホーム
愛媛	新居浜	080		2 2 NHK総合		4 4 NHK教育	14 5 愛媛朝日	6 6 南海放送		36 8 テレビ愛媛			27 11 あいテレビ	
	今治	081		30 2 NHK教育		27 4 あいテレビ	14 5 愛媛朝日	32 6 NHK総合		36 8 テレビ愛媛		34 10 南海放送		38 12 広島ホーム
高知	高知	082				4 4 NHK総合		6 6 NHK教育		8 8 高知放送		38 10 KUTV		40 12 KSS
福岡	福岡	083	1 1 KBC		3 3 NHK総合	4 4 RKB毎日		6 6 NHK教育			9 9 TNC		19 11 TVQ	37 12 FBS
	北九州	084		2 2 KBC	23 3 TVQ	35 4 FBS		6 6 NHK総合		8 8 RKB毎日		10 10 TNC		12 12 NHK教育
	久留米	085	57 1 KBC		46 3 NHK総合	48 4 RKB毎日		54 6 NHK教育			60 9 TNC		14 11 TVQ	52 12 FBS
	大牟田	086	58 1 KBC	19 2 TVQ	53 3 NHK総合	61 4 RKB毎日		50 6 NHK教育			55 9 TNC		43 11 FBS	
佐賀	佐賀	087	19 1 TVQ	36 2 STS	40 3 NHK教育	38 4 NHK総合	48 5 RKB毎日	52 6 FBS	57 7 KBC	60 8 TNC	9 9 (NHK総合)		11 11 熊本放送	
長崎	長崎	088	1 1 NHK教育		3 3 NHK総合		5 5 NBC		37 7 テレビ長崎		27 9 長崎文化		25 11 長崎国際	
	佐世保	089		2 2 NHK教育		17 4 長崎国際		31 6 長崎文化		8 8 NHK総合		10 10 NBC		35 12 テレビ長崎
熊本	熊本	090		2 2 NHK教育	16 3 熊本朝日		22 5 KKT		34 7 TKU		9 9 NHK総合		11 11 熊本放送	
大分	大分	091	1 1 (NHK教育)		3 3 NHK総合	34 4 あいテレビ	5 5 OBS	6 6 (NHK総合)	36 7 TOS	32 8 テレビ愛媛	24 9 OAB	10 10 南海放送		12 12 NHK教育
宮崎	宮崎	092						35 6 テレビ宮崎		8 8 NHK総合		10 10 宮崎放送		12 12 NHK教育
	延岡	093		2 2 NHK教育		4 4 NHK総合		6 6 宮崎放送		39 8 テレビ宮崎				
鹿児島	鹿児島	094	1 1 MBC		3 3 NHK総合		5 5 NHK教育		32 7 鹿児島放送		38 9 KTS		30 11 鹿児島読売	
	阿久根	095		17 2 鹿児島読売		23 4 鹿児島放送		35 6 KTS		8 8 NHK総合		10 10 MBC		12 12 NHK教育
沖縄	那覇	096		2 2 NHK総合						8 8 OTV	28 9 QAB	10 10 RBC		12 12 NHK教育

確認
基本
視聴
録画・予約
再生
編集
ダビング
消去・管理
各種設定
ファミリンク
2番組同時録画
接続・設定
基本設定
こんなときは

一局ずつ手動で個別設定

一局ずつ手動で受信チャンネルを個別設定する必要があるのは、次の場合です。
- 地域番号で自動設定できないとき（ケーブルテレビ放送を受信しているとき）
- 地域番号で自動設定後に、受信チャンネルを追加したいとき
- 地域番号で自動設定したチャンネルがきれいに映らないとき
- 放送のないチャンネルを飛ばしたい（スキップさせたい）とき
- お住まいの地域で受信できる放送を個別に探したいとき

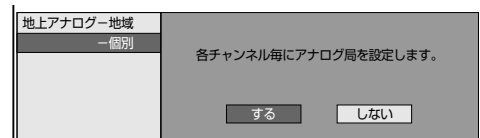
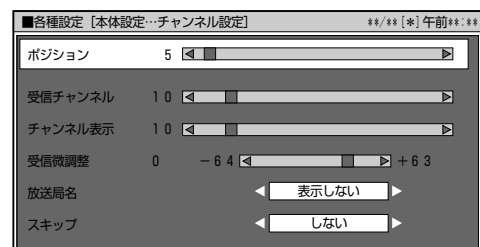
1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143ページ

3 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

4 「地上アナログ」を選んで決定します

5 「地上アナログ－個別」を選びます

6 「する」を選んで決定します

7 各項目を設定します

ポジション

ご使用の地域で受信できる放送を入れる場所のことで、選局する順番を表します。
- 地上アナログ放送（VHF/UHF）で1～20とC13～C63ポジションがあります。
- 1～12ポジションは、リモコンの［1］～［12］で選局できます。
- 13～20とC13～C63ポジションは、［選局］で選びます。
- 出荷時の設定では13～20とC13～C63ポジションは、スキップが設定されています。
- C13～C63ポジションを選んだ場合、受信チャンネルはC13～C63に設定されます。

受信チャンネル

放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。

- 地上アナログ放送（VHFは1～12チャンネル、UHFは13～62チャンネル）、ケーブルテレビ（CATV）放送（C13～C63チャンネル）を受信できます。
- ケーブルテレビ放送を受信するときは、ここでケーブルテレビ放送の受信チャンネルを設定します。

チャンネル表示

テレビ画面に表示されるチャンネル（数字）のことです。（予約録画時の選局は、この表示で行います。）

- 使い慣れたチャンネル番号にしておくと便利です。

受信微調整

映像の色がうすく見づらいときなどに調整します。

放送局名

放送局名は、地域番号一覧表で選んだ地域の放送局名しか選択できません。

スキップ

「する」に設定したチャンネルは、を押したときに、飛び越して選局されます。

放送のないチャンネルを飛ばしたいときに便利な機能です。

- 本機の13～20とC13～C63ポジションは、スキップ「する」に設定されています。

8 終了 を押して設定を終了します

デジタル放送の視聴設定をする

引越しなどで本機をお使いになる地域が変わった場合、チャンネル設定が必要です。

デジタル放送設定のながれ

設定をする前にご確認ください。

デジタル放送用アンテナの接続とB-CASカードの準備はお済みですか？

- デジタル放送を視聴するときの接続をする ☞ **176～178**ページ
- B-CASカードを本機にセットする ☞ **189**ページ
  - 地上･BS･110度CSデジタル放送は、B-CASカードをセットしないとご覧になれません。
  - 同梱のはがきまたはホームページでユーザー登録を行ってください。（登録は無料です。）

1. 地域と郵便番号を設定する ☞ 215ページ

- デジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われている場合があります。
  お住まいの地域特有の放送が受信できるように、地域と郵便番号を設定してください。
- **この設定は、地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する前に必ず設定してください。**

2. BS･110度CSデジタル放送を楽しむとき
BS･110度CS共用アンテナの設定をする ☞ 216ページ

- BS･CSアンテナ電源の設定をします。
- 受信強度を確認し、アンテナの向きを調整します。

3. 地上デジタル放送を楽しむとき
地上デジタル放送のチャンネル設定をして、電子番組表を受信する

- 地上デジタル放送のチャンネルを自動で設定します。 ☞ **218**ページ
- 電子番組表を受信します。 ☞ **219**ページ
- 地上デジタル放送のチャンネルを個別に設定します。 ☞ **220～223**ページ

4. BS・110度CSデジタル放送を楽しむとき
BS・110度CSデジタル放送のチャンネル設定をする ☞ 223ページ

5. リモコンに登録されているチャンネルを確認する ☞ 225ページ

- リモコンに登録されているデジタル放送のチャンネルを確認できます。
  チャンネルの追加登録もできます。

有料放送を受信したり、双方向番組に参加したい場合は

- デジタル放送の双方向番組に参加したり、有料放送の受信情報を管理する場合、電話回線を使います。
- デジタル放送では、テレビ上でのショッピングや、視聴者が参加できるクイズ番組なども放送されています。これらは、双方向通信を利用した番組です。

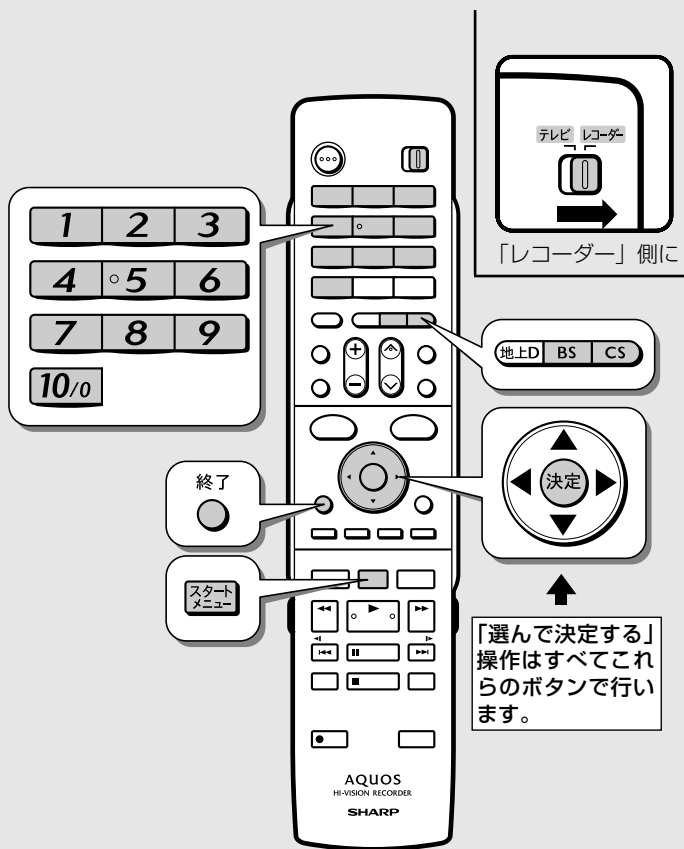
電話回線の設定をする

- 電話回線に接続します。 ☞ **227**ページ
- 電話回線の設定をします。 ☞ **228**ページ
- 電話会社の設定をします。 ☞ **229**ページ
- プロバイダの設定をします。 ☞ **230**ページ

文字入力のしかた ☞ **138**ページ

お知らせ

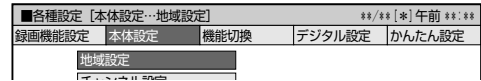
・通常のデジタル放送は、電話回線接続を行わなくても楽しめます。

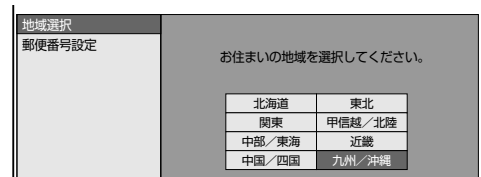
地域と郵便番号設定

お知らせ

- チャンネル設定前に必要な設定です。「一発チャンネル設定」(**204**ページ）を行ったときは、「BS・110度CS共用アンテナ設定」から設定操作をしてください。
- 緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送などは、地域によって放送内容が異なることがありますので、必ず地域設定を行ってください。

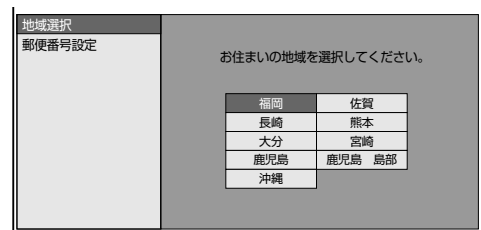
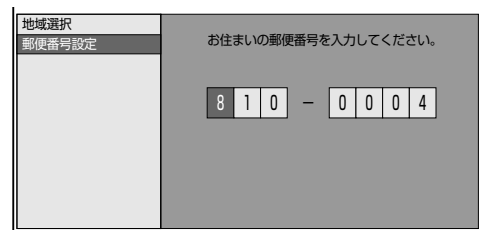
1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143ページ

3 「本体設定」－「地域設定」を選んで決定します

4 「地域選択」を選んで決定します

5 本機を使う地域を選んで決定します

6 本機を使う都道府県を選んで決定します

7 「郵便番号設定」を選んで決定します

地域選択
郵便番号設定
お住まいの郵便番号を入力してください。
8 1 0 － 0 0 0 4

8 数字ボタンで郵便番号を入力して決定します

- 入力を間違えたときは修正したい欄を選んで入力し直してください。

9 終了 を押して設定を終了します

BS・110度CS共用アンテナ設定

お知らせ

- BS・110度CS共用アンテナをはじめて設定した場合や引越しなどでアンテナを移動した場合は以下の設定が必要になります。
- 「電源・受信強度表示」や「信号テスト」を選択しているときに表示される受信強度は、アンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な信号強度などを示すものではありません。

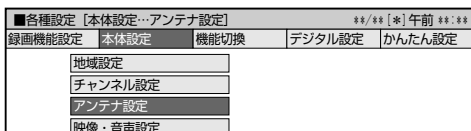
1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 「BSデジタル放送」を選局します

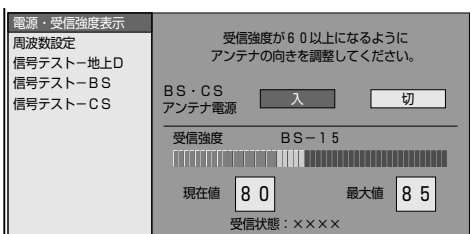
BS 押す

- 110度CSデジタル放送の場合は「CSデジタル放送」に切り換えてください。
- 画面に「放送が受信できません」と表示されても設定は行えます。

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143ページ

4 「本体設定」−「アンテナ設定」を選んで決定します

5 「電源・受信強度表示」を選んで決定します

- 初期設定のBS・110度CS放送用アンテナ電源の設定(**192**ページ）でアンテナ電源を設定済みの場合は、手順 **7** に進んでください。

6 「入」または「切」を選びます

「入」
- 個人でアンテナを設置･接続している場合に選びます。

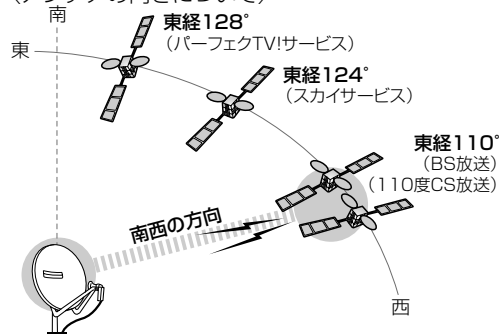
「切」
- 共聴アンテナに接続している場合など、電源を供給しないときに選びます。（工場出荷時の設定）

お知らせ

- 「受信状態」の「××」は、以下の状態を示しています。
  - 【A】：受信状態が良好
  - 【B】：アンテナレベルが60以下
  - 【C】：アンテナ信号が不足
  - 【C】：アンテナ信号が強すぎる
  - 【D】：アンテナ信号が不良
  - 【E】：受信できない

7 受信強度が最大値になるようにアンテナの向きを調整します

- 共聴タイプのアンテナの場合はこの操作は必要ありません。
- 受信強度が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。

〈アンテナの向きについて〉

受信強度が60以上になるように、
アンテナの方向と角度を調整してください。

8 終了 ○ を押して設定を終了します

■アンテナの信号テストをするには

BS・110度CS共用アンテナ、地上デジタル放送用アンテナ（UHF）の信号テストをします。

1 テレビと本機の準備をします 35ページ

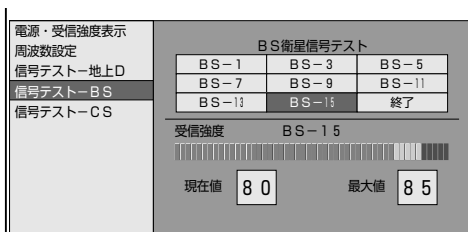
2 「BSデジタル放送」を選局します

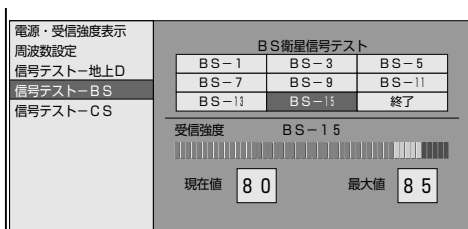
BS 押す

- 110度CSデジタル放送の場合は CS を押して下さい。
- 画面に「放送が受信できません」と表示されてもテストは行えます。

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143ページ

4 「本体設定」－「アンテナ設定」を選んで決定します

5 「信号テスト－BS」を選んで決定します

- 110度CSデジタル放送の場合は「信号テスト－CS」を選んで決定してください。
- 地上デジタル放送の場合は「信号テスト－地上D」を選んで決定してください。

6 確認したいチャンネルを選んで決定します

- 受信強度が60以上であることを確認してください。
- それよりも低い場合は、正常に受信できないことがあります。

7 「終了」を選んで決定します

8 終了 ○ を押して設定を終了します

地上デジタル放送のチャンネル自動設定

地上デジタル放送の受信には UHF アンテナが必要です。

1 UHF アンテナを接続します

176 ～ 177 ページ

- CATV 放送をご利用の場合は **178** ページ

2 テレビと本機の準備をします 35 ページ

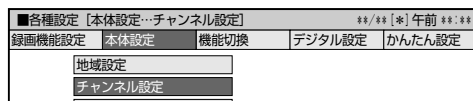
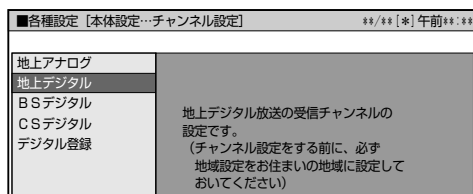
3 リモコンの地上Dを押し「地上デジタル放送」を選局します

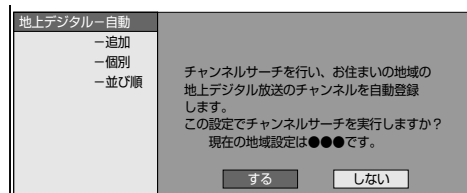
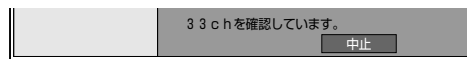
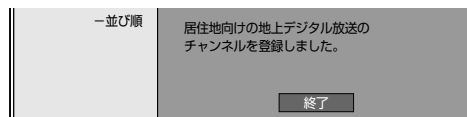
- 本体前面操作部の 地上A/D/BS/CS ボタンで操作するときは、ボタンを何度か押して地上デジタル放送を選びます。

4 地域と郵便番号の設定をします

215 ページ

5 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143 ページ

6 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

7 「地上デジタル」を選んで決定します

8 「地上デジタル－自動」を選んで決定します

9 「する」を選んで決定します

- **自動設定開始**

- 自動設定が終了すると以下の画面になります。

10 「終了」を選んで決定します

11 終了 ○ を押して設定を終了します

■地上デジタル放送のケーブルテレビ（CATV）放送対応について

本機で地上デジタル放送が受信できるケーブルテレビの方式は、「CATV パススルー方式」です。（「トランスモジュレーション方式」には対応していません。）

CATV パススルー方式とは

- ケーブルテレビ配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。
  この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。
  本機で受信できるのは次の周波数帯です。
  - UHF 帯
  - VHF 帯
  - ミッドバンド（MID：C13 ～ C22）帯
  - スーパーハイバンド（SHB：C23 ～ C63）帯

地上デジタル放送の電子番組表データを受信する

お知らせ

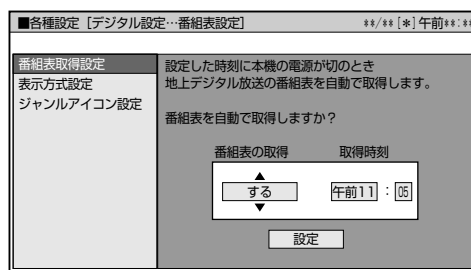
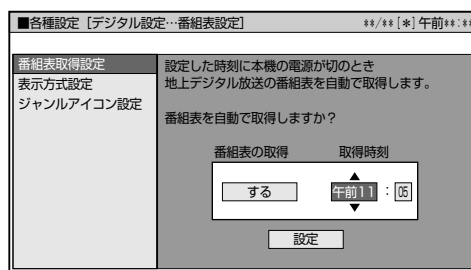
・「番組表取得設定」を「する」に設定し、設定した時刻に本機の電源が切のとき地上デジタル放送の電子番組表データを取得します。(約40分かかります。)
・地上デジタル放送の各チャンネルを選局している間も、選んでいる放送局からそのチャンネルの番組表データが送られてきます。
・電波状態（受信状態）によっては、電子番組表のデータを取得できない場合があります。

1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 「地上デジタル放送」を選局します

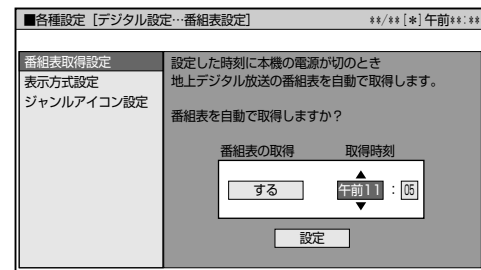
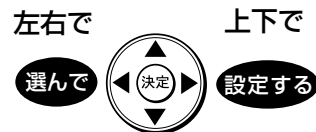
3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143ページ

4 「デジタル設定」－「番組表設定」を選んで決定します

5 「番組表取得設定」を選んで決定します

6 「する」または「しない」を選んで決定します

「する」
● 設定した時刻に電源が切であれば電子番組表データを取得します。

「しない」
● 視聴している放送局の電子番組表データだけを取得します。

7 手順6で「する」にした場合、時刻を設定します

左右で 上下で

8 「設定」を選んで決定します

9 終了 を押して設定を終了します

10 本機の電源を切ります

⇨「する」に設定した場合、指定した時刻にデータを自動受信します。

● 受信中は本機から動作音がして本体表示部に以下の表示が出ます。

工場出荷時の設定ではバックライトを消灯しています。
● 電源オフ時計表示設定が「する」に設定されているときはバックライトが点灯します。

⇨ 表示が消えるとデータ取得終了です。

● 電子番組表データを取得しおわると、本体内部の電源は自動的に切れます。（約40分かかります。）

・指定した時刻に電源が入っているとき（または番組表取得中に電源を入れたとき）は、番組表取得ができません。この場合、次に電源を切った後、自動的に番組表を取得します。

電子番組表の表示方式を切り換える

電子番組表の表示方法を、次の2つの方式から切り換えることができます。

モード1：チャンネルが縦方向に並びます。（時間は横方向に送ります）

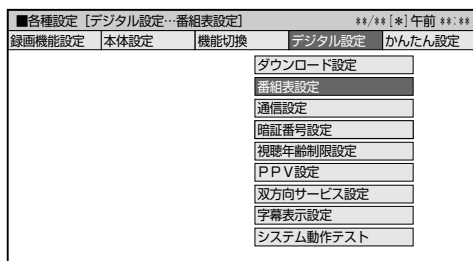
モード2：新聞のテレビ欄のようにチャンネルが横に並びます。

電子番組表について詳しくは、**38**ページをご覧ください。

1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 「地上デジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143ページ

4 「デジタル設定」－「番組表設定」を選んで決定します

5 ①「表示方式設定」を選んで決定します
②「モード1」または「モード2」を選んで決定します

ご注意

・「モード2」は、デジタルハイビジョン対応テレビと次の接続・設定をし、かつ「高精細表示設定」（**149**ページ）を「する」にしているとき表示されます。
　・D映像ケーブルで接続し、「D映像出力設定」を「1125i 優先」にしているとき（**147**ページ）
　・HDMIケーブルで接続し、「HDMI映像出力設定」を「オート」または「1125i 固定」にしているとき（**147**ページ）

チャンネルの個別設定

登録された地上デジタル放送のチャンネルを確認し、登録先のリモコンの数字ボタンを変更したり、選局ボタンでの選局時にスキップするかどうか、あるいは枝番（チャンネルの4桁目）がある場合の設定を行います。

地上デジタル放送チャンネル（工場出荷時）

チャンネルボタン	放送局名	チャンネル番号
1	NHK総合	011
2	NHK教育	021
3	―	―
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	―	―
11	―	―
12	放送大学	121

※2007年1月現在

1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 「地上デジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143ページ

4 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

5 「地上デジタル」を選んで決定します

■各種設定［本体設定…チャンネル設定］
地上アナログ
地上デジタル
BSデジタル
CSデジタル
デジタル登録
地上デジタル放送の受信チャンネルの設定です。
（チャンネル設定をする前に、必ず

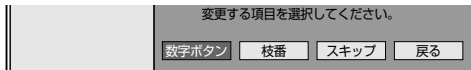
6 「地上デジタル－個別」を選んで決定します

- 確認だけの場合は 終了 を押して設定を終わってください。

7 変更したいチャンネルを選んで決定します

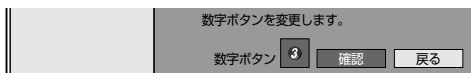
■登録先の数字ボタン変更

ここで選んだチャンネルを、お好きなリモコン番号に割り当てることができます。

8 「数字ボタン」を選んで決定します

- 「スキップ」を選んで決定した場合→「■視聴しないチャンネルのスキップ設定」8へ
- 「枝番」を選んで決定した場合→「■枝番の変更」8へ

9 変更したい番号をリモコンの数字ボタン（ 1 ～ 12 ）で入力して決定します

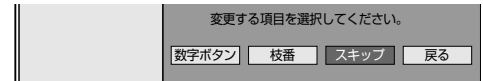
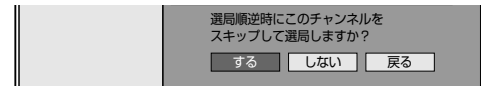
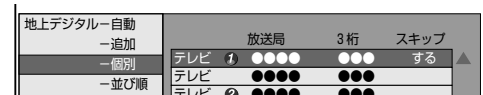
- 他のチャンネルの数字ボタンと重複した場合は「数字ボタンが重複しています。数字ボタンを置き換えますか」画面が表示されます。置き換える場合は「確認」で決定してください。

10 「確認」を選んで決定します

⇨数字ボタンの登録内容が変更されます。

- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

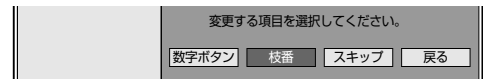
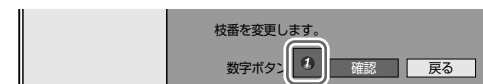
■視聴しないチャンネルのスキップ設定

手順 7 で選んだチャンネルを、選局での選局時にスキップさせることができます。

8 「スキップ」を選んで決定します

9 「する」を選んで決定します

⇨放送チャンネル一覧表のスキップ欄に「する」が表示されます。

- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

■枝番の変更

３桁チャンネル番号が重複している場合は４桁目(枝番）を変えて区別ができます。

8 「枝番」を選んで決定します

9 変更する枝番の数字をリモコンの数字ボタン（ 1 ～ 12 ）で入力して決定します

4桁目の枝番

- 枝番が重複した場合は「枝番を置き換えますか」画面が表示されます。置き換える枝番を入力して決定してください。
- はじめから枝番が「0」になっている場合は変更できません。

10 「確認」を選んで決定します

⇨チャンネルの枝番が変更されます。

- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

地上デジタル放送のチャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、チャンネルボタン（リモコンの 1 〜 12 ）のチャンネル番号のほかに、３桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- ３桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は７地域）ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は３桁で放送番組を特定できます。
  ただし、本機をお使いになる地域によっては、隣接する地域の放送も同じチャンネル番号で受信できることがあります。この場合は、さらにもう1桁を入力して選局することになります。その１桁の番号を「枝番」といいます。

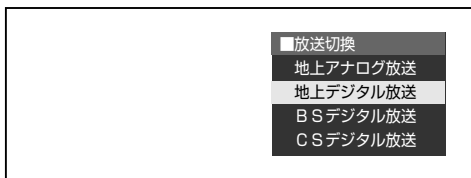
チャンネルの追加

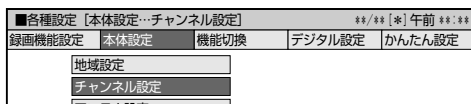
自動設定で登録した後に新たに開局した放送局を受信したい場合など、チャンネルを追加する場合の設定です。

1 テレビと本機の準備をします 35ページ

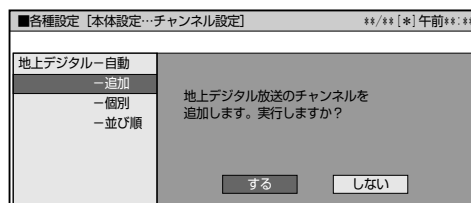
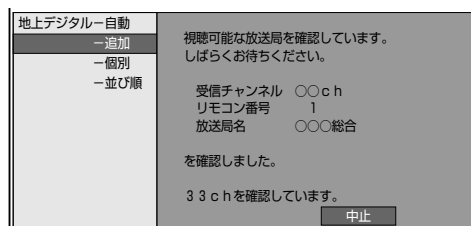
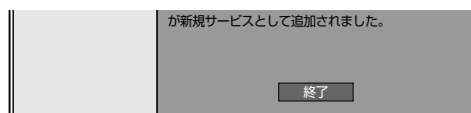
2 「地上デジタル放送」を選局します

- 本体前面操作部の 地上A/D/BS/CS ボタンで操作するときは、ボタンを何度か押して地上デジタル放送を選びます。

■放送切換
地上アナログ放送
地上デジタル放送
ＢＳデジタル放送
ＣＳデジタル放送

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143ページ

4 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

5 「地上デジタル」を選んで決定します

6 「地上デジタルー追加」を選んで決定します

7 「する」を選んで決定します

⇨追加設定が始まります。

- 追加設定が終わると以下の画面が表示されます。

8 「終了」を選んで決定します

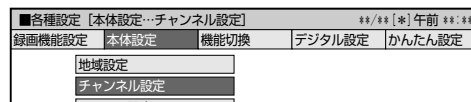
9 終了 ○ を押して設定を終了します

リモコン番号とチャンネルの並び順変更

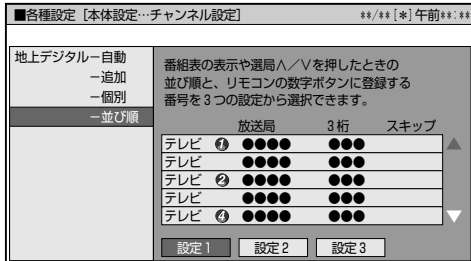
1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 「地上デジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143ページ

4 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

5 「地上デジタル」を選んで決定します

6 「地上デジタルー並び順」を選んで決定します

7 「設定 1」「設定 2」「設定 3」のいずれかを選んで決定します

「設定 1」
- リモコン番号　：放送局推奨の番号。
- 並び順　　　　：放送局推奨の並び順。

「設定 2」
- リモコン番号　：地上アナログ放送と同等。
- 並び順　　　　：地上アナログ放送と同等。

「設定 3」
- リモコン番号　：放送局推奨の番号。
- 並び順　　　　：リモコン番号の若い順。

⇨リモコン番号と並び順が変わります。

8 終了 ○ を押して設定を終了します

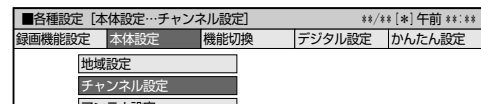
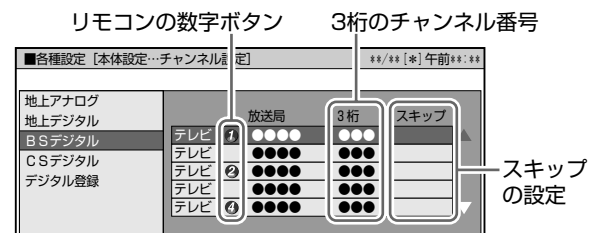
BS・110度CSデジタル放送のチャンネル設定

登録された放送のチャンネルを確認し、登録先のリモコンの数字ボタンを変更したり、選局ボタンでの選局時にスキップするかどうかの設定を行います。
- 工場出荷時、110度CSデジタル放送、ラジオ放送、データ放送はリモコンの数字ボタンには登録されていません。

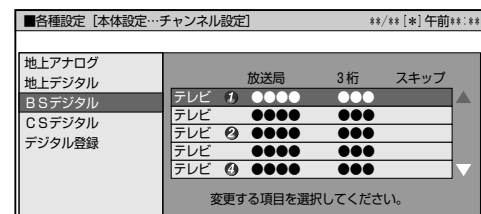
1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 「BSデジタル放送」または「110度CSデジタル放送」を選局します

3 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143ページ

4 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

5 「BSデジタル」または「CSデジタル」を選んで決定します

- 確認だけの場合は 終了 ○ を押して設定を終わってください。

6 変更したいチャンネルを選んで決定します

確認 基本 視聴 録画・予約 再生 編集 ダビング 消去・管理 各種設定 ファミリンク 2番組同時録画 接続・設定 基本設定 こんなときは

■登録先の数字ボタン変更

223ページ手順 6 で選んだチャンネルを、お好きなリモコン番号に割り当てることができます。

7 「数字ボタン」を選んで決定します

8 変更したい番号をリモコンの数字ボタン（1 〜 12）で入力して決定します

- 他のチャンネルの数字ボタンと重複した場合は「数字ボタンが重複しています。数字ボタンを置き換えますか」画面が表示されます。置き換える場合は「確認」で決定してください。

9 「確認」を選んで決定します

⇨数字ボタンの登録内容が変更されます。

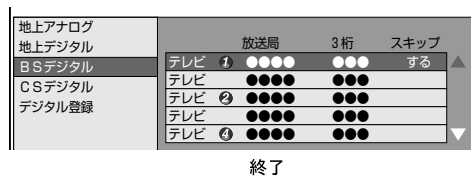
- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

■視聴しないチャンネルのスキップ設定

223ページ手順 6 で選んだチャンネルを、 での選局時にスキップさせることができます。

7 「スキップ」を選んで決定します

8 「する」を選んで決定します

⇨放送チャンネル一覧表のスキップ欄に「する」が表示されます。

- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

リモコンに登録されているチャンネル確認

リモコンの数字ボタンに登録されているデジタル放送のチャンネルを確認できます。また、追加登録することもできます。

1 テレビと本機の準備をします ☞ 35ページ

2 確認したい放送を選局します

- 登録するときは、登録したいチャンネルを選局します。

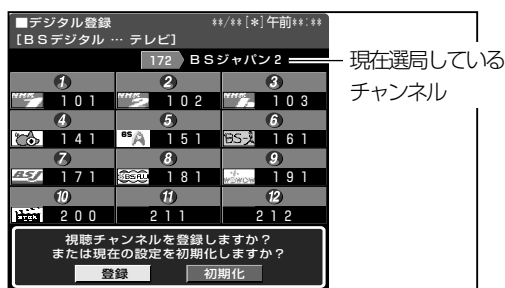
3 スタートメニューから「各種設定」を選びます ☞ 143ページ

4 「本体設定」－「チャンネル設定」を選んで決定します

5 「デジタル登録」を選んで決定します

⇨登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

- テレビ/ラジオ/データ を押すと、放送の種類が切り換わります。
- 確認だけの場合は 終了 を押して設定を終わってください。

6 登録する場合は「登録」を選んで決定します

- 「初期化」を選んで決定すると、工場出荷時の設定に戻ります。

7 登録したいチャンネルボタンを選んで決定します

- リモコンの数字ボタン(1 〜 12 ）を押すことによっても選択・決定できます。

［例］「BSジャパン2」(172チャンネル）を選局している場合で、そのチャンネルを 11 に登録するときはチャンネルボタン 11 を押します。

8 「する」を選んで決定します

9 終了 を押して設定を終了します

デジタル放送の双方向通信の設定をする

双方向番組に参加したり有料放送の受信情報管理のため電話回線を使います。

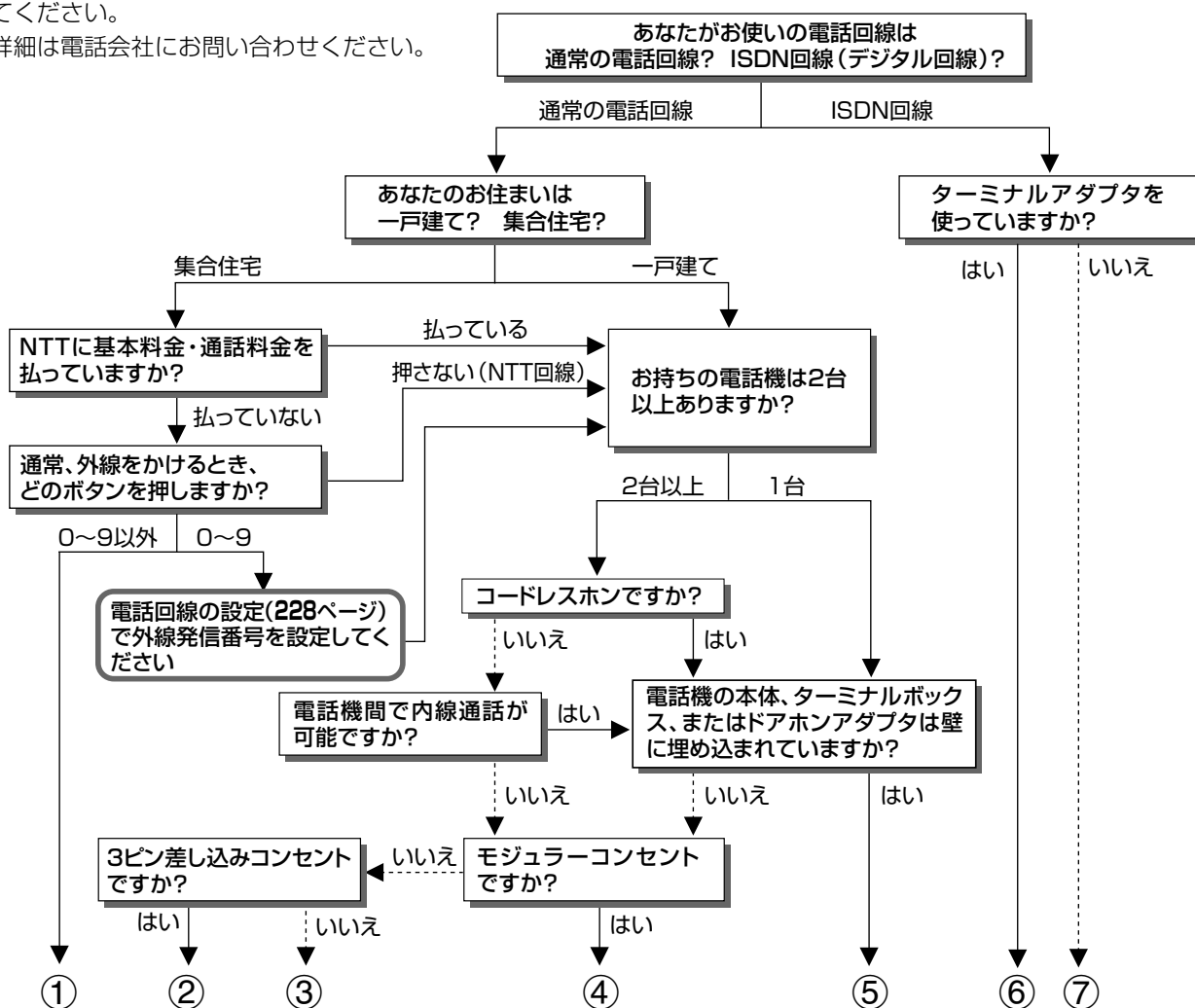
ご注意

・デジタル放送の双方向番組に参加する場合や、PPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）を受信する場合は、必ず電話回線に本機を接続してください。
・IP 電話をご利用の場合は、電話回線がご使用になれません。

お知らせ

・PPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）以外の放送は、電話線を接続しなくても視聴できます。
・WOWOW 放送などの有料放送は、受信契約も必要です。
・デジタルチューナー内蔵テレビをお使いの場合は、双方向通信番組などをお楽しみになりたい機器（テレビまたは本機のいずれか片方）に電話線を接続してください。

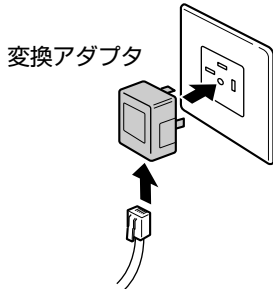
接続形態確認チャート

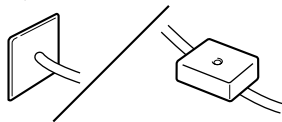
●下の確認チャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
また、詳細は電話会社にお問い合わせください。

① マンション交換機（PBX）を使用している可能性が高いので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の３ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプタをお求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 電話線（市販品）とモジュラー分配器（市販品）で接続可能です。（**227** ページ）
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプタに直接つないでください。
⑦ ターミナルアダプタ（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプタに直接つないでください。
詳しくは、お使いのターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。
※③、⑤ についての詳細は、お近くの NTT 営業窓口にお問い合わせください。

つぎの電話回線では注意が必要です。

■ 電話回線がモジュラージャックでない場合は

3ピンプラグの場合

市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプタをお求めください。

直結配線方式の場合

簡単な工事が必要です。
詳細はお近くのNTT 営業窓口にお問い合わせください。

■ 構内電話（ビジネスホン／ホームテレホン）では

そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
詳細は電話設置会社にご相談ください。

■ キャッチホンでは

通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
詳細はNTT 営業窓口にお問い合わせください。

■ 直接、デジタル回線に接続することはできません

会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプタ（TA）等の端末器を介して接続してください。

お知らせ

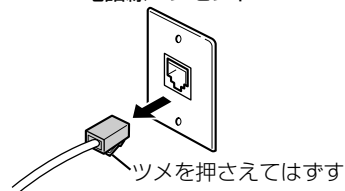
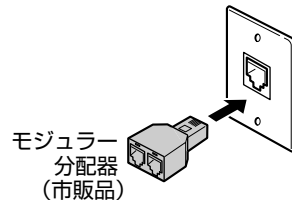
・視聴記録データの自動送信中は電話機を使用しないでください。
　視聴記録データの自動送信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ…）が聞こえますので、その間は電話をしないでください。
・本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが、異常ではありません。

接続のしかた

重要

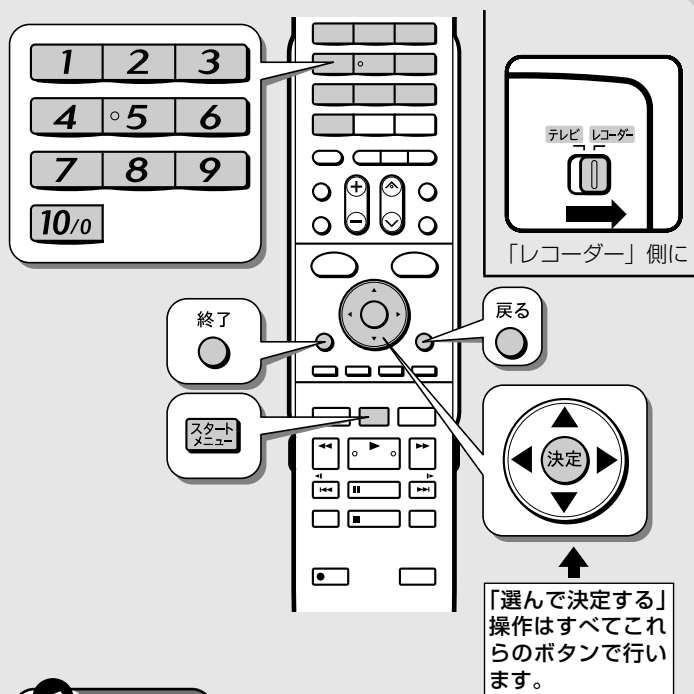
- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

1 本機と電話機の電源を切ります

2 電話機の接続線（モジュラー線）を電話線コンセントからはずします

3 モジュラー分配器（市販品）を電話線コンセントに差し込みます

4 電話機の接続線（モジュラー線）をモジュラー分配器の一方に差し込みます

5 電話線（市販品）をモジュラー分配器のもう一方と本機後面の電話回線端子につなぎます

▲本機後面

電話回線設定

お知らせ

- はじめて受信登録するとき、引越しなどで本機を使う地域が変わった場合に設定します。
- 電話回線のテスト実行には、回線接続料(通話料)がかかります。
- IP 電話をご利用の場合は、電話回線を接続しても設定ができません。
- 「双方向サービス設定」(**151** ページ)で電話回線への接続を禁止することもできます。

1 テレビと本機の準備をします ☞ 35 ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます ☞ 143 ページ

3 「デジタル設定」−「通信設定」を選んで決定します

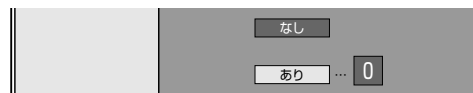
4 「電話回線設定・自動」を選んで決定します

5 「テスト実行」で決定します

⇨自動設定が始まります。

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば完了です。「テスト終了」で決定してください。
- 自動設定できなかった場合は、外線発信番号の設定画面が表示されます。以下の操作を続けてください。

■外線発信番号設定

1 外線発信番号の「なし」または「あり」を選んで決定します

「なし」
- 外線交換機を使用しない場合(主な一般家庭)

「あり」
- 電話交換機などをご使用の場合

- 「あり」を選んだ場合はリモコンの数字ボタンで外線発信番号を入力して決定してください。

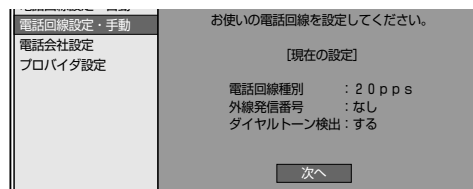
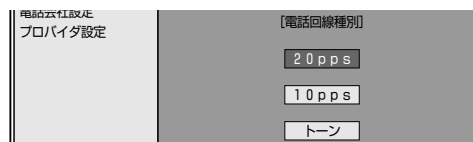
2 「テスト実行」で決定します

⇨自動設定が始まります。

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば完了です。
- 設定できずに元の画面に戻った場合は、戻る ◯ を押して以下の「電話回線の手動設定」を行ってください。

電話回線の手動設定

1 「電話回線設定・手動」を選んで決定します

2 現在の設定を確認し「次へ」で決定します

3 ご契約の電話回線種別を選んで決定します

- 契約している電話回線種別(ダイヤル方式)がわからない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

4 外線発信番号の「なし」または「あり」を選んで決定します

- 「あり」を選んだ場合はリモコンの数字ボタンで外線発信番号を入力して決定してください

5 ダイヤルトーン検出を「する」または「しない」を選んで決定します

する　しない

- NTT回線に直結している場合は「する」を選んでください。
- 交換機を中継する場合は、交換機の機種により「する」または「しない」を選んでください。

6 終了 ○ を押して設定を終了します

利用する電話会社設定

電話会社の選択や発信者番号通知に関する設定です。

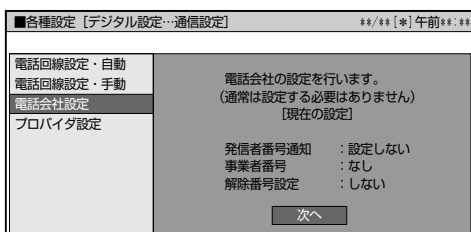
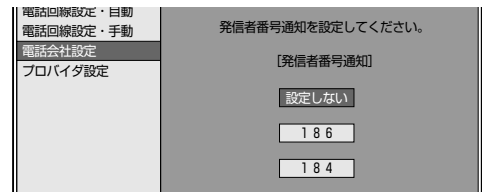
- 通常は設定する必要はありません。

1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143ページ

3 「デジタル設定」－「通信設定」を選んで決定します

4 「電話会社設定」を選んで決定します

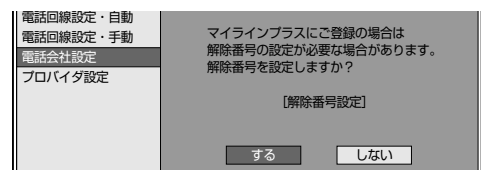
5 現在の設定を確認して「次へ」で決定します

6 発信者番号通知設定を選んで決定します

「設定しない」
- 「186」「184」のどちらにも設定しません。

「186」
- 相手先に番号を通知します。

「184」
- 相手先に番号を通知しません。

7 利用している電話会社の「事業者番号」を選んで決定します

- 事業者番号がわからないときは、電話会社にお問い合わせください。

8 マイラインプラスの解除番号設定を「する」または「しない」を選んで決定します

「する」
- マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。

「しない」
- マイラインプラスを解除しないで発信します。

9 終了 ○ を押して設定を終了します

プロバイダ設定

パソコンなどで契約しているプロバイダを使って、インターネット経由でデジタル放送の双方向サービスを利用する場合に必要な設定です。

ご注意

・デジタル放送の双方向サービスを行っているかどうかは、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダと契約していない場合は、双方向サービスが楽しめません。

お知らせ

この設定では、プロバイダから提供される情報を入力します。設定の前に、次の情報がそろっているか、ご確認ください。
・アクセスポイントの電話番号
・ユーザー名
・パスワード
・DNSのIPアドレス
・ヘッダ圧縮機能に対応しているか
・ソフトウェア圧縮に対応しているか

■用語解説

IPアドレス：TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に振り割られた識別番号です。

ネットマスク：TCP/IPネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別するしくみです。

ゲートウェイ：ネットワーク上で、異なるネットワークへの通信を可能にする機器の識別番号です。

DNS：DNSとは、Domain Name Systemの略です。文字列（名前）で表されるインターネット上の場所の（Domain Name）を数字で表される実アドレス（IPアドレス）に変換する仕組みです。
3桁の数字4組で表された番号です。
「プライマリ」：1番目の番号
「セカンダリ」：2番目の番号

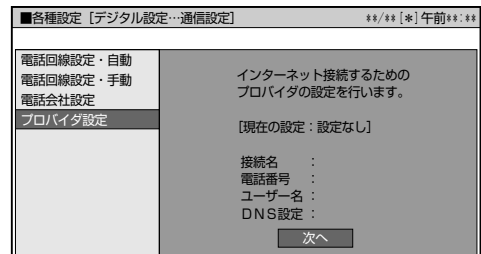
プロキシ：プロキシとは、「代理」の意味で、この機能が提供されている場合、プロキシを設定すると、インターネットの閲覧（ブラウジング）を行うときに、プロキシサーバと呼ばれる機器を経由して閲覧が行われます。サーバーの種類により、セキュリティの向上や、閲覧スピードが改善されるなどの効果があります。

1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 スタートメニューから「各種設定」を選びます 143ページ

3 「デジタル設定」－「通信設定」を選んで決定します

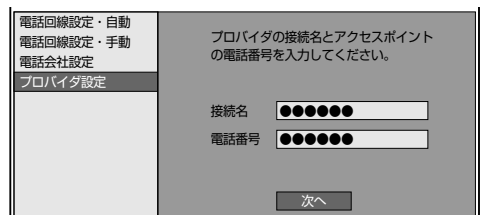
4 「プロバイダ設定」を選んで決定します

5 現在の設定を確認して「次へ」で決定します

6 (決定)を押して文字入力画面を表示し、接続名を入力します

- 文字入力方法については、**138**ページ
- 通常は契約しているプロバイダの事業者名を入力します。

7 (決定)を押して文字入力画面を表示し、アクセスポイントの電話番号を入力します

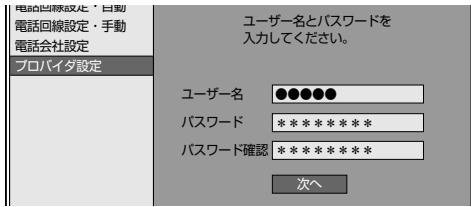
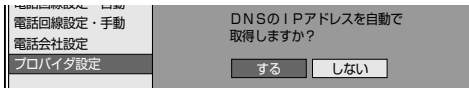
- 契約しているプロバイダの電話番号を入力します。

8 「次へ」で決定します

9 (決定)を押して文字入力画面を表示し、ユーザー名を入力します

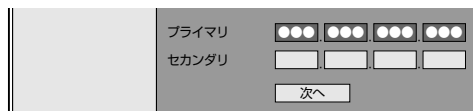
- 文字入力方法については、**138**ページ
- プロバイダと契約時に提供されたものを入力します。

10 (決定)を押して文字入力画面を表示し、パスワードを入力します

- プロバイダと契約時に提供されたものを入力します。
- (決定)を押し、パスワード確認欄に同じパスワードをもう一度入力します。

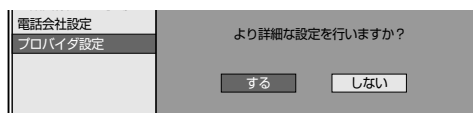
11 「次へ」で決定します

12 DNSのIPアドレス自動取得の「する」「しない」を選んで決定します

「する」
- 「次へ」で決定して手順 14 に進みます。

「しない」
- 手順 13 に進みます。
- プロバイダと契約した際に提供されたDNSのIPアドレスを入力します。

13 決定を押して文字入力画面を表示し、DNSのプライマリのIPアドレスを入力します

- 操作をくり返して各入力欄に3桁の数字を入力します。

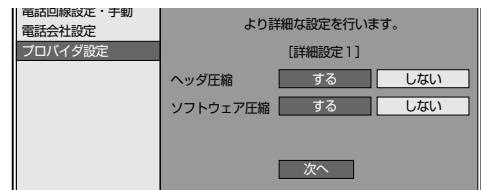
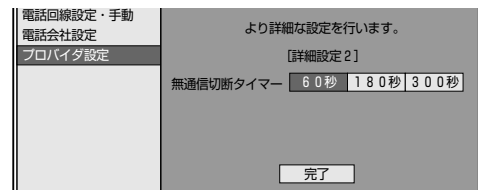
14 同様にセカンダリのIPアドレスを入力し、「次へ」で決定します

15 詳細設定を「する」または「しない」を選んで決定します

- 手順 16 ～ 18 では通信速度を向上させるかさせないかの設定をします。契約しているプロバイダーがこれに対応していない場合は、「しない」に設定してください。
- 手順 19 は、一定時間無通信だった場合に回線を切断する無通信切断タイマー設定です。

「する」	☞	手順 16 へ
「しない」	☞	手順 21 へ

16 ヘッダ圧縮を「する」または「しない」を選んで決定します

17 ソフトウェア圧縮を「する」または「しない」を選んで決定します

18 「次へ」で決定します

19 無通信の場合切断されるまでの時間を選んで決定します

20 「完了」で決定します

21 終了を押して設定を終了します

放送局からのお知らせを見る

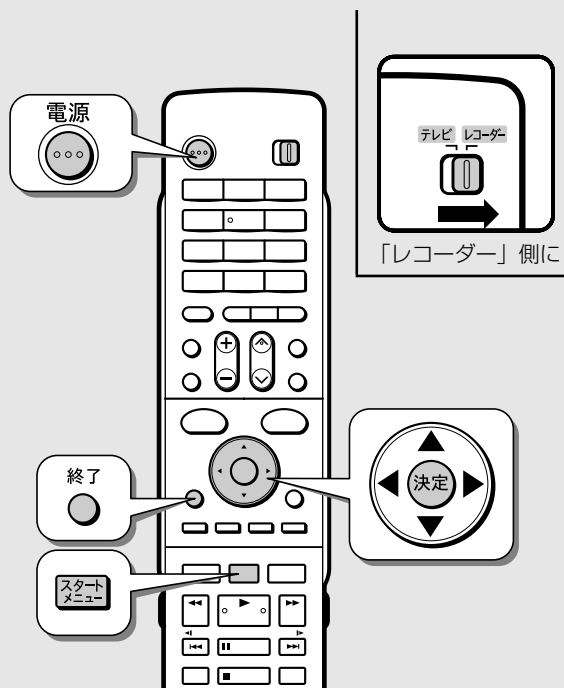
放送局からのメッセージや情報を見ることができます。

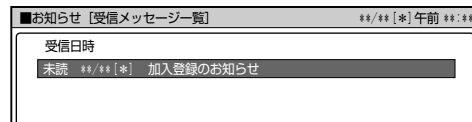
受信メッセージ確認

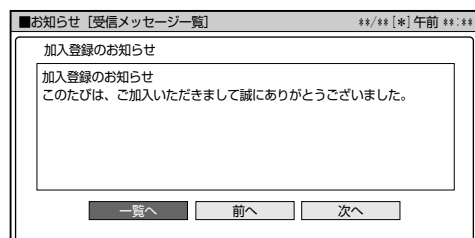
1 テレビと本機の準備をします 35ページ

2 スタートメニューから「お知らせ」を選びます 143ページ

- 常時更新されていますので、「 」のマークが表示され「新しいお知らせがあります。受信したお知らせを確認してください。」の表示が出ているときは、メッセージをお読みください。

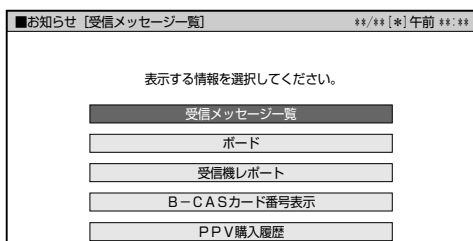
3 「受信メッセージ一覧」を選んで決定します

4 見たいメッセージを選んで決定します

（例：加入登録のお知らせを見る）

5 メッセージの内容を確認します

6 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します

「一覧へ」
- 受信メッセージが一覧表示されます。

「前へ」
- 前のメッセージが見られます。

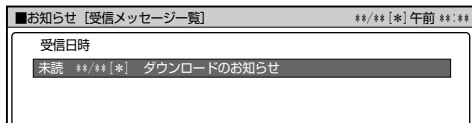
「次へ」
- 次のメッセージが見られます。

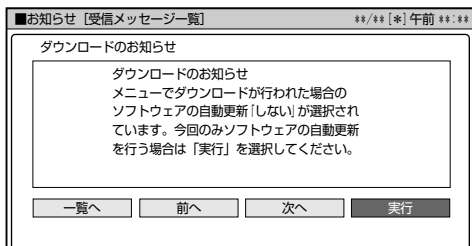
7 終了 ○ を押して設定を終了します

ダウンロードの手動実行

ダウンロードのお知らせメッセージが来ている場合、受信メッセージ一覧でソフトウェアを更新できます。

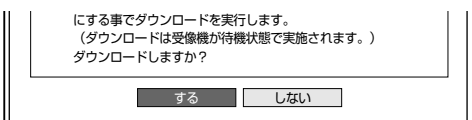
- 「デジタル設定」の「ダウンロード設定」（**151**ページ）を「する」の場合は自動で更新されます。「しない」に設定している場合は、「お知らせ」の受信メッセージ一覧でソフトウェアを更新することができます。

1 「受信メッセージ確認」の手順 **1** 〜 **3** までを行います

2 「ダウンロードのお知らせ」を選んで決定します

3 メッセージの内容を確認します

4 「実行」を選んで決定します

5 メッセージの内容を確認します

6 「する」を選んで決定します

にする事でダウンロードを実行します。
（ダウンロードは受像機が待機状態で実施されます。）
ダウンロードしますか？
する　しない

7 ディスクが本機にセットされている場合は取り出し、リモコンの 電源 で本機の電源を切ります（電源待機状態にします）

⇨ ダウンロード中は本体表示部に「DL」と表示されます。

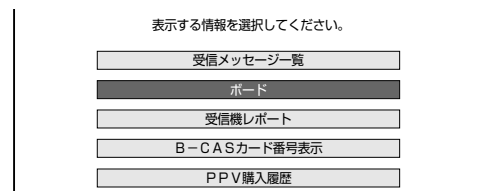
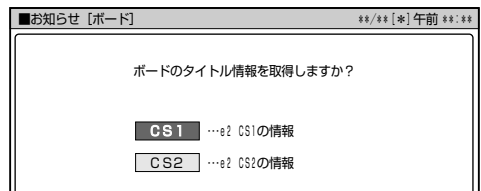
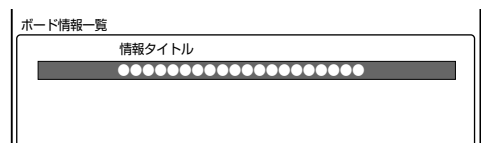
- 「一発起動（クイック起動）」機能は、ダウンロードを始める５分前になると一時的に解除されます。そのため、電源がすぐに入らない場合があります。

ボード（掲示板）確認（CS放送）

CS各ネットワークから送られてくるボード（掲示板）の情報を見ることができます。

- ボード情報は消去することはできません。

1 「受信メッセージ確認」の手順 **1** ～ **2** までを行います ☞ 232ページ

2 「ボード」を選んで決定します

3 情報を見たいネットワークを選んで決定します

4 メッセージの内容を確認します

5 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します

6 終了 を押して設定を終了します

受信機レポート確認

B-CAS カードが壊れたときや、有料放送の課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したとき、予約を実行できなかったときなど、受信機に関係したレポートを読むことができます。

1 「受信メッセージ確認」の手順 **1** 〜 **2** までを行います 232ページ

2 「受信機レポート」を選んで決定します

3 見たいレポートを選んで決定します

- アップロードに失敗したときは「再発信」を選んで決定してください。アップロードし直すことができます。

4 レポートの内容を確認します

5 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します

6 終了 を押して設定を終了します

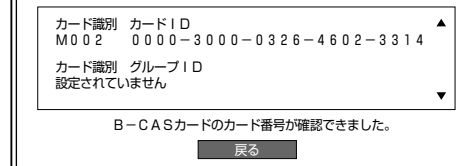
B-CAS カード番号表示

受信機レポートで報告された不具合に関して放送事業者のカスタマーセンターに連絡する場合には、B-CASカード番号が必要です。本機にセットされているB-CASカード番号を表示します。

1 「受信メッセージ確認」の手順 **1** 〜 **2** までを行います 232ページ

2 「B-CASカード番号表示」を選んで決定します

3 「実行」で決定します

4 B-CAS カード番号を確認します

「カード識別」
メーカー識別用のアルファベット1文字と3文字の数字からなります。

「カードID」
カード固有の番号です。

「グループID」
複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループIDが、異なるB-CASカードに書き込まれます。

5 「戻る」で決定します

6 終了 を押して設定を終了します

PPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）購入履歴確認

購入した最新24個のPPV（ペイ・パー・ビュー、有料番組）の情報を確認することができます。

1 「受信メッセージ確認」の手順 **1** 〜 **2** までを行います 232ページ

2 「PPV購入履歴」を選んで決定します

3 履歴を確認します

購入日時	CH	番組名	購入金額
/[*]午前10:00	BS　101	●●●●　●●●●	500円
/[*]午後11:00	BS　141	●●●●　●●●●	500円
/[*]午後11:00	BS　141	●●●●　●●●●	500円
/[*]午後11:00	BS　141	●●●●　●●●●	500円

4 「確認」で決定します

5 終了 を押して設定を終了します

こんなときは

この章では、録画や再生ができないときなど、困ったときに確認していただきたいことを説明しています。

録画フォーマットについて

本機の録画フォーマットの種類とおもにできること

●本機では、以下の２つのフォーマットで録画できます。

● **HDD(ハードディスク)にデジタル放送をそのままの画質(ハイビジョン画質)で記録する「HD／SD録画」**
デジタル放送から送られてくる信号をそのまま録画する方式です。
ハイビジョン画質や5.1ch音声をそのまま録画できます。
録画画質は、デジタル放送の番組に合わせHD(ハイビジョン)またはSD(標準)に自動的に切り換わります。
プレイリスト編集ができないなど、編集機能に制限があります。

● **HDD(ハードディスク)に録画画質を選んで記録する「VR録画」**
任意の録画画質(XP、SP、LP、EP、MN)で録画することができます。
録画したタイトルは、さまざまな編集ができます。
ただし、ハイビジョン画質や5.1ch音声などデジタル放送をそのままのクオリティで録画することはできません。

●本機では、以下の２つのフォーマットで HDD（ハードディスク）から DVD へダビングできます。

● **DVDディスクへ「VRフォーマット」でダビング**
任意の録画画質で記録することができます。
記録したディスクはVRフォーマット対応のDVDプレーヤーでのみ再生できます。
また、デジタル放送の「1回だけ録画可能」の番組をDVD-RW/-R(CPRM対応)ディスクに記録することができます。

● **DVDディスクへ「ビデオフォーマット」でダビング**
任意の録画画質で記録することができます。
市販のDVDプレーヤーやDVD-ROMドライブのほとんどで再生できる方式です。
デジタル放送の「1回だけ録画可能」の番組を記録することはできません。

録画フォーマットで、おもにできること／できないこと

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">HDD(ハードディスク)</th><th colspan="3">DVDディスク</th></tr>
<tr><th>HD/SD録画</th><th>VR録画</th><th colspan="2">VRフォーマットで記録</th><th>ビデオフォーマットで記録</th></tr>
<tr><td>デジタル放送録画</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="9">HDDからのダビング</td><td>○※1</td><td>×</td></tr>
<tr><td>アナログ放送録画</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td>○※2</td></tr>
<tr><td>ハイビジョン画質での録画</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>デジタル放送5.1ch音声記録</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>字幕記録</td><td>○</td><td>×※3</td><td>×※3</td><td>×※3</td></tr>
<tr><td>連動データ記録</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>ステレオ二ヶ国語音声記録</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>モノラル二ヶ国語音声記録</td><td>○</td><td>○※4</td><td>○</td><td>×</td></tr>
<tr><td>高速ダビング</td><td>×</td><td>○※5</td><td>○※6</td><td>○※2</td></tr>
<tr><td>追いかけ再生</td><td>○</td><td>○※7</td><td colspan="2">－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>同時録再</td><td>○</td><td>○※7</td><td colspan="2">－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>i.LINK(TS)出力※8</td><td>○</td><td>×</td><td colspan="2">×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>デジタルスーパーピクチャー</td><td>×</td><td>○</td><td colspan="2">○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ドルビーバーチャルサラウンド</td><td>×</td><td>○</td><td colspan="2">○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>任意のチャプター設定</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2">×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>シーン消去</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2">×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>チャプター消去</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2">×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>プレイリスト編集</td><td>×</td><td>○</td><td colspan="2">×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>フレーム単位編集</td><td>○</td><td>○※4</td><td colspan="2">×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>プログレッシブ再生(525i→525p)</td><td>×</td><td>○</td><td colspan="2">○</td><td>○</td></tr>
</table>

※1 DVD-RW/-R(CPRM対応)ディスクでのダビングのみ可能。
※2 ファイナライズ後はダビングできません。
※3 字幕が映像として送られてきている場合のみ可能です。（字幕の入／切の切換ができない映像のみ録画されます。）
※4 高速ダビング優先「しない」に設定しているとき。
※5 ビデオフォーマットのDVDへダビングするときは、高速ダビング優先を「する」に設定しているときのみ高速ダビングが可能。
※6 HDD(ハードディスク)に録画画質「HD/SD」(放送画質)で録画した番組は、高速ダビングできません。
※7 デジタル放送録画時は不可。
※8 本機からi.LINK(TS)機器へ出力できる映像は、HDD(ハードディスク)に録画画質「HD/SD」(放送画質)で録画した番組です。スタートメニューから「ダビング」ー「HDD→i.LINK (TS)」を選んだときのみ出力します。本機のチューナーで受信した映像をそのまま出力したり、録画画質「HD/SD」(放送画質)以外で録画した番組を出力することはできません。

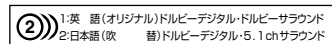
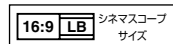
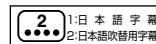
本機で使えるディスクについて

本機で再生できるディスク

ディスクの種類 ＼ 再生できる条件		ディスクの大きさ	録画方式（フォーマット）	再生できる内容
DVDビデオ	リージョン番号 ALL または 2 の含まれるディスク	12cm盤 / 8cm盤	ビデオフォーマット 1層/2層	音声＋映像（動画）
DVD-RW　DVD-R		12cm盤 / 8cm盤	VRフォーマット ビデオフォーマット（ファイナライズ済ディスク）	音声＋映像（動画）
DVD+RW DVD+R		12cm盤 / 8cm盤	ビデオフォーマット（ファイナライズ済ディスク）	音声＋映像（動画）
DVD-RAM［カートリッジからディスクを取り出せるタイプ］	4.7/9.4 GB	12cm盤 / 8cm盤	VRフォーマット	音声＋映像（動画）
音楽用CD		12cm盤 / 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
CD-R　CD-RW		12cm盤 / 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声

DVD ビデオについて

- DVD ビデオにはいろいろな機能があり、つぎのようなマークでパッケージに表記されています。

音声トラック数：2　1:英　語（オリジナル）ドルビーデジタル・ドルビーサラウンド　2:日本語（吹　替）ドルビーデジタル・5.1chサラウンド
画面サイズ：16:9 LB シネマスコープサイズ
収録時間：約166分
字幕：2　1:日 本 語 字 幕　2:日本語吹替用字幕
リージョン番号：2　N T S C　日本市場向

本機で再生できないディスク

- 本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

DVDビデオ	● リージョン番号「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） ● PAL方式、SECAM方式のディスク（海外で製造されたディスク） ● 無許諾のディスク（海賊版のディスク） ● 業務用のディスク
DVD-RW DVD+RW DVD-RAM DVD-R DVD+R	● データが記録されていないディスク ● 記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。 ● 他機でビデオフォーマット録画して、ファイナライズされていないディスク **次のディスクは再生できない場合があります。** ● 本機以外で録画したDVD-R（VRフォーマット）ディスク ● 本機以外で録画したDVD-R DL（2層）ディスク ● DVD+R DL（2層）ディスク

CD-R CD-RW	● データが記録されていないディスク ● ファイナライズされていないディスク ● 音楽用CDフォーマット以外のフォーマットで記録されたディスク ● MP3ファイル形式、JPEGファイル形式などのデータが記録されたディスク ● 音楽や映画などと静止画（JPEGファイル）が混在したディスクは、静止画（JPEGファイル）を再生できません。または、ディスクによってはまったく再生できません。 ● ディスクの記録状態/ディスク自体の状態によっては、再生できません。 ● ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。
音楽用CD	● 著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入ったCDは再生できない場合があります。 **本製品は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用CDの再生を前提として設計されています。**

本機でダビング・再生できるディスク

ディスクの種類 / ディスクの特長		ダビングと再生ができるディスク（必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをお使いください。）							
		DVD-RW				DVD-R			
録画フォーマット		VRフォーマット		ビデオフォーマット		VRフォーマット		ビデオフォーマット	
ディスク盤の大きさ	12cm 1層/2層	○		○		○		○	
	8cm※1	再生のみ可能		再生のみ可能		再生のみ可能		再生のみ可能	
繰り返し録画		○		○※2		×		×	
追加録画		○		○※2		○※3		○※3	
ディスクのバージョン		Ver.1.0 Ver.1.1	CPRM対応 Ver.1.1 Ver.1.1/2× Ver.1.2/4× Ver.1.2/6×	Ver.1.1	CPRM対応 Ver.1.1 Ver.1.1/2× Ver.1.2/4× Ver.1.2/6×	Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8×	CPRM対応 Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8× Ver.2.1/4× Ver.2.1/8× Ver.2.1/16×	Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8×	CPRM対応 Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8× Ver.2.1/4× Ver.2.1/8× Ver.2.1/16×
デジタル放送をHDDに録画し、DVDにダビングする場合	録画可能	○コピー	○コピー	○コピー		○コピー	○コピー	○コピー	
	1回だけ録画可能	×	○移動（ムーブ）	×		×	○移動（ムーブ）	×	
	録画禁止	×	×	×		×	×	×	
新品のディスクを使うとき		VRフォーマットで初期化が必要です。		ビデオフォーマットで初期化が必要です。		VRフォーマットで初期化が必要です。※4		初期化の必要はありません。	
再初期化		○		○		×		×	
プレイリスト作成		×		×		×		×	
本機でダビングした内容を他の機器で再生する		DVD-RW対応DVDプレーヤーでのみ再生できます。※5		本機でダビング後にファイナライズ処理をすることで、他のDVDプレーヤーで再生できるようになります。		DVD-R（VRフォーマット）対応機器でのみ再生できます。※6		本機でダビング後にファイナライズ処理をすることで、他のDVDプレーヤーで再生できるようになります。	

上記ロゴマークがディスクレーベル面に入った、JIS規格に合格したディスクをご使用ください。
規格外のディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できても、画質・音質の保証はいたしかねます。

※1 ● DVD 8cm盤ディスクは、本機でのダビングは行えません。
※2 ● ファイナライズ処理をすると、ダビングができなくなります。（ファイナライズ解除をすると、再びダビングができるようになります。）
※3 ● ディスクに残量がある限り、ダビングができます。ただし、ファイナライズ処理をすると以降のダビングができなくなります。（ファイナライズ解除はできません。）
※4 ● VRフォーマットで初期化せずに録画をすると、ビデオフォーマットで録画されます。（デジタル放送は録画できません。）
※5 ● ファイナライズ処理が必要な場合もあります。
● DVD-RW対応のDVDプレーヤーには、右記の表示が付いています。
● DVD-RW（CPRM対応）に録画した「1回だけ録画可能」の番組は、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生できます。
● DVDプレーヤーによっては再生できないものもあります。

RW COMPATIBLE　これは、DVD レコーダーで VR（ビデオレコーディング）フォーマット記録されたDVD-RWが再生できる機能を示しています。

※6 ● DVD-RをVRフォーマットで初期化してダビングしたディスクは、DVD-R VRフォーマット対応のDVDプレーヤーで再生できます。
DVD-R VRフォーマット対応のDVDプレーヤーでも再生できないときは、ファイナライズをしてください。
● DVD-R（CPRM対応）にダビングした「1回だけ録画可能」の番組は、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生できます。（再生できない機器もあります。）
移動（ムーブ）：HDDに録画した「1回だけ録画可能」の番組をDVDへダビングする場合は、移動（HDDのダビング内容は消去）となります。

DVD-R DL（2層）ディスクについて

- 本機以外で録画したDVD-R DL（2層）ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 本機以外で録画したディスクは、ファイナライズされていなくても本機での追加録画は行えません。

ファイナライズ後のディスクについて

DVD-RW（VRフォーマット）をファイナライズしても… ➡	**ダビングが行えます。**
DVD-RW（ビデオフォーマット）または**DVD-R**をファイナライズすると… ➡	**再生専用のディスク**になります。（ダビングは行えません。）

本機でダビング・再生できないディスク

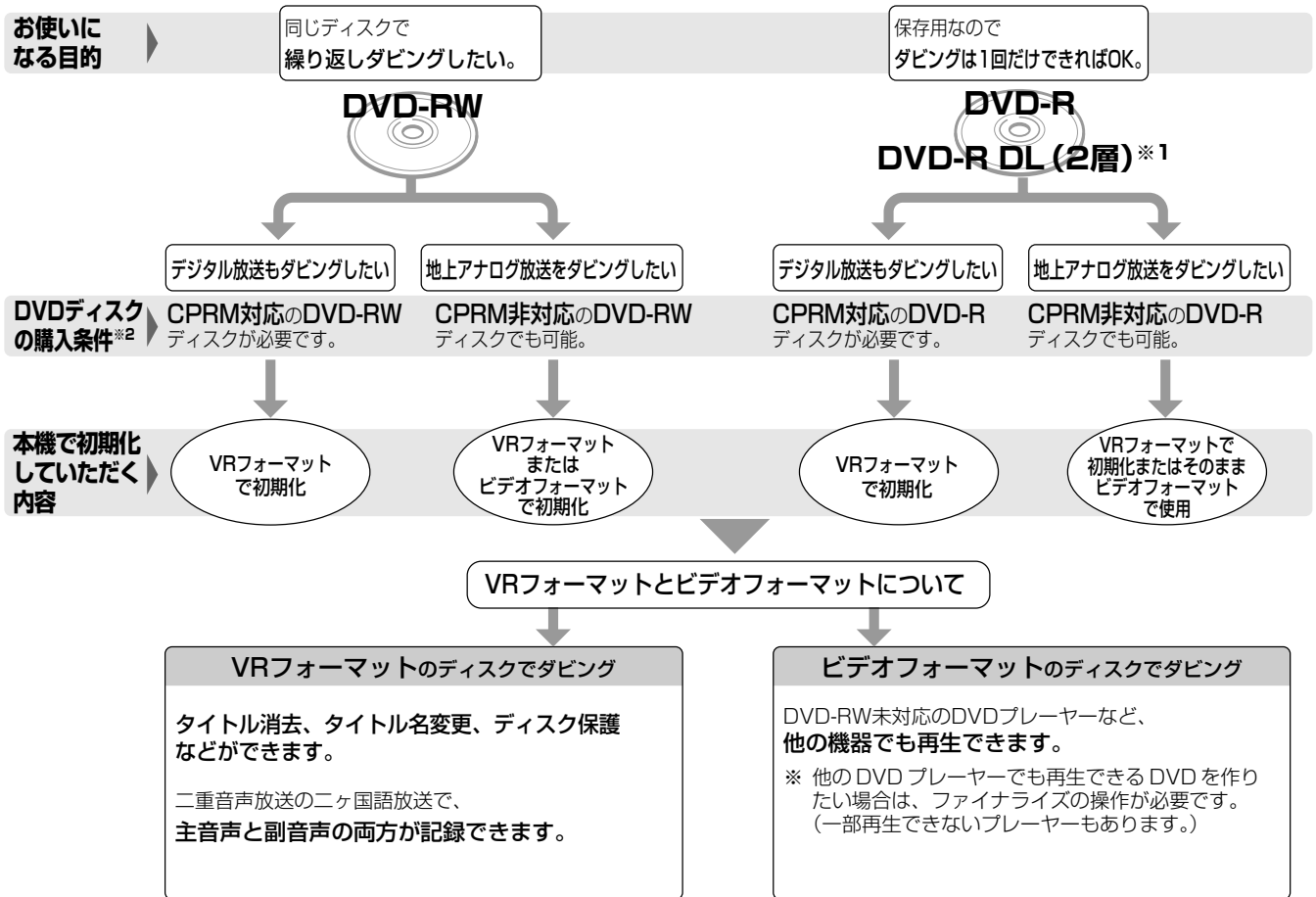
- 次のディスクは、本機でダビング・再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

CDG、フォトCD、ビデオCD、CD-ROM、CD-TEXT、CD-EXTRA、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-ROM、DVDオーディオ、DVD-RW/-R（JPEGファイル）、BD（ブルーレイディスク）、BD-ROM、HD DVDなど

その他、特殊な形のディスク（♡ハート型や⬡六角形のディスクなど）

DVD ディスクについて

ディスクの種類とフォーマットについて

●DVD-RW/-R ディスクとフォーマットの種類を、お使いになる目的に合わせてお選びください。

※1　DVD-R DL（2層）ディスクは、2005年2月にDVDフォーラムで承認された新しい規格です。
そのため、機器によっては、ファイナライズを行ったディスクでも再生できない場合があります。

※2　DVD-RWまたはDVD-Rディスクを購入するときは、デジタル放送も地上アナログ放送もダビングできるCPRM（デジタル放送）対応のディスク購入をおすすめします。

DVD-RW を使うとき

- 本機をお買いあげの時点では、新品のDVD-RWをセットすると自動的に VR フォーマットで初期化されます。
- ビデオフォーマットでご使用になるときは、「初期化」という操作を行い、ダビングをするための準備をします。初期化をするときに、ダビングフォーマット（ビデオフォーマット）を選びます。
  初期化のしかたについては、**32** ページをご覧ください。
- DVD-RWをおもにビデオフォーマットで使いたいときは、セットしたDVD-RWを自動的にビデオフォーマットで初期化するように設定できます。設定のしかたは、「DVD 自動初期化設定」（**146** ページ）をご覧ください。
- ダビングしたDVD-RWディスクを新品同様に使いたいときは、もう一度初期化します。

※ 初期化すると、ダビングした内容はすべて消去されます。

DVD-R を使うとき

- 新品の DVD-R をビデオフォーマットで使うときは、「初期化」の操作は必要ありません。販売時からビデオフォーマットで初期化されています。

DVD-R VR フォーマットについて

- 新品の DVD-R は、VR フォーマットで初期化できます。
- DVD-RをVRフォーマットで初期化できるのは、未使用の状態で、1 回だけです。（ビデオフォーマットに初期化し直すことはできません。）
- 不用なタイトルを削除できますが、削除した分のデータ容量は復帰しません。

推奨ディスク

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- ディスクによっては本機の性能を十分に発揮できない場合があります。
  本機との相性が確認されている次のメーカー製ディスクの使用をおすすめします。

DVD-RW(Ver.1.1/1×-2×、Ver.1.2/2×-6×)に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー		
Ver.1.1/2×	日本ビクター(JVC)	三菱化学メディア	TDK
Ver.1.2/4×	日本ビクター(JVC)	三菱化学メディア	

DVD-R(for General Ver.2.0/1×-8×、Ver.2.1/4×-16×)に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー		
Ver.2.0/4×	太陽誘電(That's)	三菱化学メディア	日立マクセル
Ver.2.0/8×	太陽誘電(That's)	三菱化学メディア	
Ver.2.1/4×	太陽誘電(That's)	三菱化学メディア	日立マクセル
Ver.2.1/8×	太陽誘電(That's)	三菱化学メディア	
Ver.2.1/16×	太陽誘電(That's)		

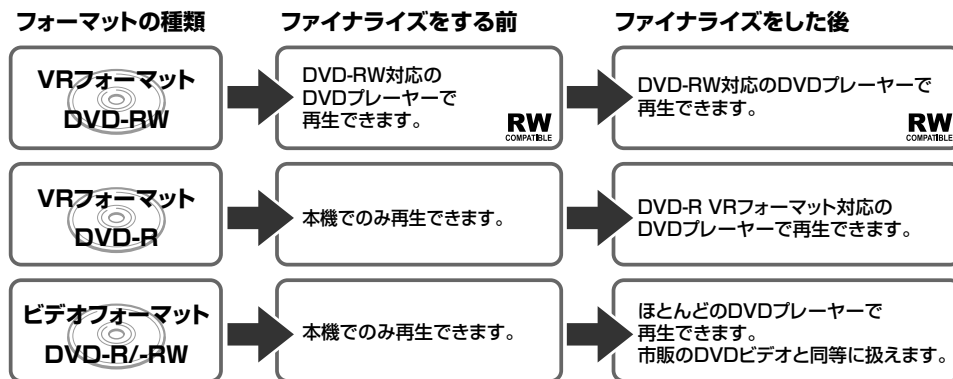
DVD-R DL(2層/for General Ver.3.0/2×-4×)に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー
Ver.3.0	三菱化学メディア

お知らせ

・上記推奨メーカー製のディスクにつきましては、実際にテストを行い、動作の確認ができたものですが、ディスクごとの相性に対して動作を保証するものではありません。
・デジタル放送などのコピー制御信号の含まれた番組をダビングするときは、CPRM対応のDVD-RW/-RディスクをVRフォーマットで使用してください。

他の DVD プレーヤーで再生するときは（ファイナライズ）

- ダビングした後に「ファイナライズ」という操作をすると、他の DVD プレーヤーでも再生できる（互換性のある）ディスクができあがります。

- ファイナライズのしかたについては **141** ページをご覧ください。

DVD-RW にダビングしたとき

- DVD-RW にビデオフォーマットでダビングしたときは、「ファイナライズ」という操作を行います。ファイナライズをすることによって、本機でダビングしたディスクを他の DVD プレーヤーで再生できるようになります。(再生できない機器もあります。)
- DVD-RWにVRフォーマットでダビングしたときは、DVD-RW対応のDVDプレーヤーで再生してください。ファイナライズをしなくても再生できます。DVD-RW対応のDVD プレーヤーでも再生できないときは、ファイナライズをしてください。
  DVD-RW（CPRM対応）にダビングした「1 回だけ録画可能」の番組は、CPRM 対応の DVD プレーヤーで再生できます。

DVD-R にダビングしたとき

- DVD-Rを初期化しないでダビングしたディスクは、ファイナライズをすると、市販の DVD ビデオと同じように扱うことができ、ほとんどのDVD プレーヤーで再生できます。（再生できない機器もあります。）
- DVD-RをVRフォーマットで初期化してダビングしたディスクは、DVD-R VR フォーマット対応の DVD プレーヤーで再生できます。DVD-R VR フォーマット対応の DVD プレーヤーでも再生できないときはファイナライズをしてください。DVD-R（CPRM 対応）にダビングした「1 回だけ録画可能」の番組はCPRM対応のDVDプレーヤーで再生できます。(再生できない機器もあります。)

故障かな？と思ったら

次のような現象は故障でない場合がありますので、修理をお申しつけになる前にお確かめください。
●「よくあるお問い合わせ」（**255** ページ）も、あわせてご覧ください。

操作ができない

操作ボタンを受けつけない。

●リモコンの操作範囲内で使用してください。（**22** ページ）
●リモコンの乾電池を新しいものと交換してください。（**22** ページ）
●リモコンの番号設定が合っているか確認してください。（**198** ページ）

初期設定画面が表示される。

●接続後、初めて電源を入れたときは、初期設定画面が表示されます。
設定を行って設定画面を終了させないと、本機の操作が行えません。（**192** ページ）

極端に寒い場所でお使いのとき。

●使用温度範囲内でお使いですか（**12**、**266**ページ）。極端に寒い場所で本機を使用するときは、HDD（ハードディスク）保護のため（暖機のため）にHDDの準備が必要です。電源を入れてから使用できるまで、時間がかかりますのでしばらくお待ちください。

HDDの空き容量が無くなったとき。

● HDDの空き容量が無くなるまでたくさんの番組を録画したときは、本機の操作ができなくなる場合があります。
見終わった番組は消去する、大切な番組はDVDにダビングするなどしてご使用ください。

操作の途中で画面が止まり、操作ボタンを受けつけない。

●一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してください。
●電源が切れない、または症状が改善しない場合は、本体表示部に「RESEt」が表示されるまで（約10秒間）本体の電源ボタンを押し続けてください。（※リセットしても、録画したタイトルや予約情報などはそのまま保存されています。ただし、録画途中や保存前の情報は、残らない場合があります。）
電源ボタンを押し続けると電源が「切」になります。電源ボタンから手を離し、再度電源を入れ直してください。
●本体の電源ボタンを押し続けてリセットしても改善されない場合は、電源を「切」にします。その後、電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んでください。
●電源を入れるとシステムの確認のため「ディスクを確認しています。完了まで10分以上かかる場合があります。」のメッセージが表示されたときは、表示が消えるまでお待ちください。
※状況が改善されない場合は、販売店またはシャープお客様相談センター（**265** ページ）にご相談ください。

電源

電源が入らない。

●電源プラグ（**190**ページ）をコンセントに正しく接続してください。それでも直らない場合は、本機をリセット（上記参照）してください。
●電源プラグがコンセントに差し込まれている場合は、いったん電源プラグを抜き、約1分後にもう一度電源プラグを差し込んでから、電源を「入」にしてください。
●電源ボタンは、電源ランプが赤点灯してから押してください。
●リモコンの乾電池を新しいものと交換してください。（**22** ページ）
●リモコンの番号設定が合っているか確認してください。（**198** ページ）

電源が勝手に入る。

●本機の機能を向上させるためのソフトウェアの更新（ダウンロードサービス）を電波を通して実行しているときは、本機の電源が入りファンが回転します。本体表示部に「DL」の表示が出ます。（**23** ページ）
●B-CASカード通信中／電話回線使用中は本機の電源が入りファンが回転します。本体表示部に「ACCESS」の表示が出ます。（**23** ページ）

●リモコンの乾電池を新しいものと交換してください。（**22** ページ）
●リモコン番号設定が合っているか確認してください。（**198** ページ）

電源が切れる。

●「無操作オフ設定」（**148**ページ）を「する」に設定されていませんか。「する」に設定されている場合、何も操作していない状態（放送視聴状態）が3時間続くと自動的に電源が切れます。
●本機で「機能切換」－「ファミリンク設定」－「連動設定」を「する」にしている場合、ファミリンク対応のテレビの電源を切ると、本機の電源も切れます。（**158** ページ）

一発起動（クイック起動）が設定されているのに電源がすぐに入らない。

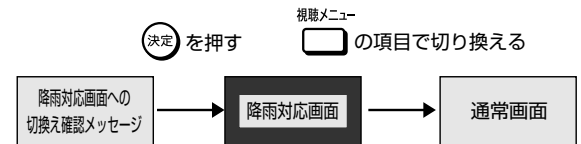
●一発起動（クイック起動）が設定されている状態でダウンロードサービスを行うとき、ダウンロードサービスを開始する5分前になると、一時的にクイック起動設定を解除します。そのため、すぐに電源が入らない場合があります。

強い雨や雪の日に映像が映らない

積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

• 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。

BSデジタル放送の降雨対応放送について

• BSデジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できないことがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像･音声を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。

※降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ可能です。
※降雨等によって受信しにくくなった場合、自動的に録画が停止することがあります。
※通常画面に戻したいときは、視聴メニュー の項目「アングル番号／映像切換」で切り換えます。

チャンネルや番組を変えても映像が映らない

画面が映らない。

- 接続が正しいか確認してください。（**176**～**182**ページ）
- テレビまたは AV アンプ側で、本機をつないだ入力端子を選択してください。
- HDCPに対応していないDVI機器には映像が映らない場合があります。（本機のHDMI出力端子は、HDMI機器との接続を目的に設計されています。）
- 映像端子の設定を間違えて画面が映らなくなったときは、リモコンの接続設定リセットボタンを5秒以上長押しして接続設定をリセットしてください。（**201** ページ）
- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。
- 電源「切」の状態になっていませんか。
- B-CAS（ビーキャス）カードが入っていますか。（**189**ページ）

放送の映像も音声も出ない。

- 外部入力が選択されていませんか。本体表示部の表示（**23** ページ）を確認してください。
- テレビとの接続は正しいですか。（**180** ～ **182** ページ）
- 映像、音声のない放送ではありませんか。
- D映像出力端子とHDMI出力端子の両方でテレビと接続している場合、信号はどちらか一方からしか出力されません。HDMI切換を押し続けると本体表示部に出力端子が表示されるので、「D-oP」（D映像端子）または「H-oP」（HDMI端子）を選択してください。（**180** ページ）
- D映像出力端子またはHDMI出力端子を接続している場合、S映像･映像出力端子からはスタートメニューや録画リストなどの画面表示が表示されません。（**254** ページ）

放送の映像が出ず、音だけ出る。

- 映像出力の接続ケーブルがはずれていませんか。（**178**、**181** ～ **182** ページ）

テレビの1chまたは2chで本機の映像が見られない。

- AV 入力端子付きテレビでお楽しみください。

D映像出力端子/HDMI出力端子でテレビと接続している場合は。

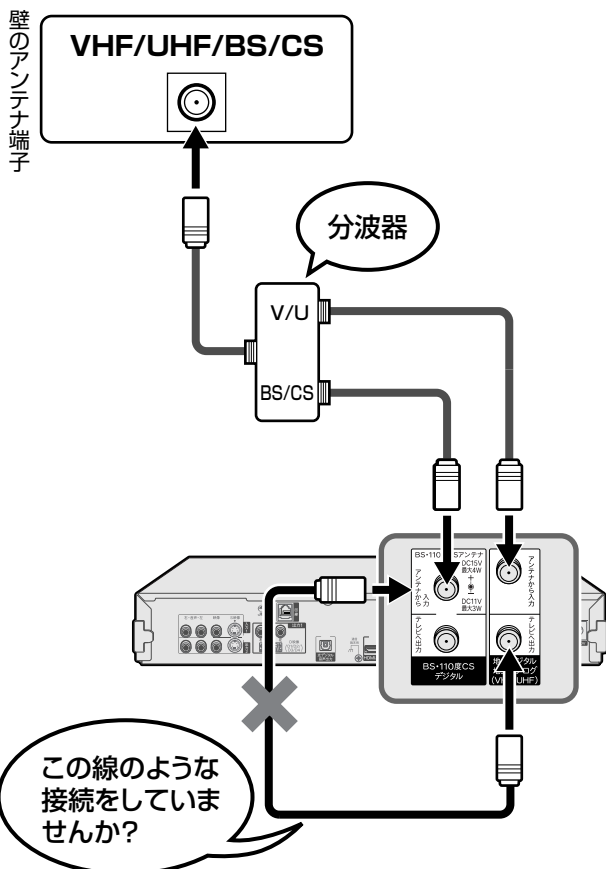
- D 端子でハイビジョン対応テレビと接続しているときは、「ハイビジョン対応テレビ」（**201** ～**202**ページ）でテレビ側の端子の設定をしてください。
- テレビに装備されている D 映像入力端子には「D1/D2/D3/D4」の種類があります。本機の D 端子と接続したテレビの入力端子に合わせて、本機の「D 映像出力設定」（**147** ページ）を変更してください。
- D映像出力端子とHDMI出力端子の両方でテレビと接続している場合、信号はどちらか一方からしか出力されません。HDMI切換を押し続けると本体表示部に出力端子が表示されるので、「D-oP」（D映像端子）または「H-oP」（HDMI端子）を選択してください。（**180** ページ）
- D映像出力端子またはHDMI出力端子を接続している場合、S映像･映像出力端子からはスタートメニューや録画リストなどの画面表示が表示されません。（**254** ページ）

特定の放送やタイトル（録画した番組）で映らない

デジタル放送の画面が映らない。

- B-CAS カードがセットされているか確認してください。
- 「BS・CS アンテナ電源」（**216** ページ）が「切」になっていませんか。
- 映像、音声のない放送ではありませんか。
- 有料チャンネルは、契約しないと映像・音声が映りません。

BSアンテナを接続したが、BS・110度CS放送が映らない。

- BSアンテナは110度CS放送に対応したアンテナですか。
- 衛星放送用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。
- アンテナケーブルは「衛星放送用同軸ケーブル」（市販品）をお使いください。
- 「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「アンテナ設定」－「電源・受信強度表示」（**216**ページ）で下記①②を行ってください。
  ①ご自宅にアンテナを単独で設置された場合は、「BS・CS アンテナ電源」を「入」に設定してください。
  ②アンテナ受信強度が最高レベル（60 以上）になるように、アンテナの向きを調整してください。
- ご家庭のアンテナ端子がBS・UV（地上アナログ・地上デジタル）信号が混合されている端子の場合、BS・UV 分波器を使用して正しくアンテナを接続していますか。（**176** ～ **177** ページ）

地上デジタル放送が映らない、映りが悪い。

- お使いのアンテナは UHF アンテナですか。
  地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。
- 地上デジタル放送を視聴するための準備（アンテナ接続、地域選択、チャンネル設定など）ができているか、ご確認ください。（**176** ～ **178**、**214** ～ **225** ページ）
- VHF/UHF用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。
- アンテナケーブルは「VHF/UHF 用アンテナケーブル」（付属品または市販品）をお使いください。
- 「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「アンテナ設定」－「電源・受信強度表示」（**216**ページ）で下記を行ってください。
  アンテナ受信強度が最高レベル（60 以上）になるように、アンテナの向きを調整してください。
- ケーブルテレビ（CATV）の会社で地上デジタル放送を配信している場合でも、トランスモジュレーション方式の地上デジタル放送には対応していません。

※状況が改善されない場合は、販売店にご相談ください。

ハイビジョン対応テレビとD映像ケーブルで接続したが、映りが悪い。

- 「スタートメニュー」－「各種設定」－「かんたん設定」－「テレビとの接続」－「ハイビジョン対応テレビ」（**183**、**201** ～**202**ページ）でテレビ側の端子の設定をしてください。

地上アナログ放送が映らない、映りが悪い。

- 地上アナログ放送のチャンネル設定ができているか、ご確認ください。（**205** ～ **213** ページ）
- VHF/UHF用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。（**176** ～ **178** ページ）
- アンテナケーブルは「VHF/UHF 用アンテナケーブル」（付属品または市販品）をお使いください。

※状況が改善されない場合は、販売店にご相談ください。

地上アナログ放送のチャンネル設定を地域番号を使って設定したが、放送が受信できない。

- 「地上アナログ－個別」（**212**ページ）で、個別に設定をしてください。

今まで視聴できていた放送が、受信できない。

- はじめてB-CASカードをセットしたときは、有料放送番組でも、一定期間だけ視聴できる自動仮視聴サービスを行っている放送局があります。そのため、自動仮視聴期間が過ぎたあとに受信契約を行わないと受信できなくなる放送があります。

DVDディスクの画面が映らない。

- DVDディスクをクリーニングしてください。（**15**ページ）

映像が正常に映らない

横長の映像や縦長の映像になる/画面の上下に黒い帯が出る。

- 「画面サイズ設定」（**147**ページ）は、接続されているテレビに合っていますか。
- ワイドテレビの場合、「画面サイズ設定」（**147**ページ）が「16：9（ワイド）」に設定してありますか。
  ただし、「16：9（ワイド）」に設定しても、「録画画質をLP～EP（またはMN25～MN01）に設定し、HDD（ハードディスク）に高速ダビング優先またはDVD-RW/-Rディスクにビデオフォーマットで録画したタイトル」はレターボックスやパンスキャンの表示ができません。
- HDMI出力端子/D映像出力端子でテレビと接続している場合、画面サイズを16：9に設定していると、S映像出力端子/映像出力端子からは16：9（スクイーズ）縦長の映像が出力されます。

画面に四角のノイズ（モザイク）が出る。

- デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの速い場面などでブロック状の画像が目立つことがあります。

左右に黒帯がついた映像になる（D映像端子でテレビと接続している場合）。

- D映像出力設定が「1125i優先」時は、4：3映像は左右に黒帯をつけて出力します。
- 地上デジタル放送やBS・110度CS放送では、番組によっては16：9サイズの映像に4：3の映像を入れ、左右に黒帯の付いた映像で放送されていることがあります。

外部入力の映像が乱れる（正常に見えない）。

- 「3次元Y／C分離設定」（**147**ページ）を「しない」に設定してください。
- コピーガード入りの映像（信号）をご覧になるときは、本機を通さず、外部機器を直接テレビに接続してください。

外部入力の映像がワイド画面に切り換わらない。

- 本機のS映像入力端子は、アスペクト信号（ID-1）に対応してワイド切り換えを行います。そのため接続されている機器がID-1に対応していない場合は、ワイドにならない場合があります。テレビ側で切り換えてください。

映像が停止する。

- 本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。
- HDD（ハードディスク）の特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。
- 電波状態が悪くなっていませんか。

電波状態が悪く、映像が乱れる（正常に見えない）。

- BS・110度CS放送用アンテナの向きを調整してください。（**216**ページ）
- アンテナケーブルがきちんと接続されているか確認してください。

HDMIケーブルでテレビと接続しているが映像が映らない、正常な映像が映らない。

- 電源を入れた状態でHDMIケーブルを抜き差ししていませんか。電源を入れた状態でHDMIケーブルを抜き差しすると、映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。
  電源を入れた状態で誤ってHDMIケーブルを抜いたときは、電源を切ってからHDMIケーブルを接続し直し、電源を入れてください。
- 本機の映像出力設定がD映像出力になっていませんか。
  HDMI切換 を押し続け、本体表示部に「H-oP」と表示させてください。（**180**ページ）

映像が出ない。

- D端子/HDMI端子でテレビと接続している場合、S映像、映像出力端子からは、スタートメニューや録画リストなどの画面表示は出力されません。（**254**ページ）

音声

スピーカーから音が出ない、音が歪む。	音が左右逆になる／片方しか音が出ない。
●一時停止またはスロー再生/早送り/早戻し中は、音声が出ません。 ●接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れていないか確認してください。 ●テレビまたはAVアンプなどの音量が「MIN（最小）」になっている場合はボリュームを上げてください。 ●DTS収録のDVD音声は、光デジタル音声出力端子から出力されます。本機の光デジタル音声出力をDTS対応アンプまたはデコーダーとデジタル接続してください。（**187**ページ） ●接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。 ●DVDディスクをクリーニングしてください。（**15**ページ） ●DVDディスクに記録されている音声に、オーディオ信号以外の音声や規格外の音声が記録されているなど音声の記録状態によっては、音声が出ない場合があります。	●音声コードが左右逆に接続されたり、片方がはずれたりしていませんか。（**178**、**181**～**182**、**186**ページ） **2つの音が混ざって聞こえる。** ●音声切換が間違っていませんか。リモコンふた内の[音声]を押し、音声を切り換えます（**42**、**92**ページ）。ただし、ダビング時は、デジタル音声出力は音声切換できません。 ●二重音声の録画については、**257**ページをご覧ください。

電子番組表

地上デジタル放送の電子番組表が表示されない。	110度CSデジタル放送の電子番組表が表示されない。
●「番組表取得設定」（**151**、**219**ページ）を「する」に設定し、取得したい時刻を設定してください。その後電源切の状態で設定した時刻から40分程度取得動作をします。（「番組表取得設定」にかかわらず、放送を受信するとその放送局の番組表は表示されます。） **電子番組表が表示されない。** ●本機は地上アナログ放送の電子番組表には対応していません。 ●D映像ケーブルまたはHDMIケーブルとS映像コード／映像コードの両方を接続している場合は、S映像コード／映像コードからは番組表が表示されません。	●番組表データが取得できていないチャンネルは、電子番組表を表示させたときに番組表内が何もない状態となります。 ●電子番組表が表示されない放送局があるときは、その放送局を一度、受信してください。しばらくすると電子番組表が表示されます。

HDD(ハードディスク)への録画

録画が中断されている。

- HDDの録画中に停電などで録画が中断された場合は、その番組は保存されません。

録画したが何も録画されていない。

- 映像がないデジタル放送を「HD/SD（放送画質）」以外の録画画質で録画したときは何も録画されません。
- 放送のない（放送が終了している）チャンネルを録画しているときは、映像のない状態で録画されます。電波状態の悪いチャンネルを録画したときも、映像のない状態で録画される場合があります。

録画ができない、録画が途中で止まる。

- HDD の残量は足りていますか。（**49** ページ）
- HDD内に記録できるタイトル（オリジナルのタイトル）やチャプターの限界は下記のとおりです。次の限界に1つでも当てはまる場合、それ以上 HDD へ録画することはできません。
  - 録画画質「HD/SD（放送画質）」のタイトルは、999まで。
  - 録画画質「HD/SD（放送画質）」以外のタイトルは、999まで。
  - 録画画質「HD/SD（放送画質）」のタイトルでは、1つのタイトルにつきチャプターは99まで。
  - 録画画質「HD/SD（放送画質）」以外のタイトルでは、1つのタイトルにつきチャプターは999まで。
  - 録画画質「HD/SD（放送画質）」のすべてのタイトルに設定されているチャプターの合計は、4000まで。
  - 録画画質「HD/SD（放送画質）」以外のすべてのタイトルに設定されているチャプターの合計は、4000まで。
- 録画を始めた状態、録画中の状態をご確認ください。
  - HDD または DVD ディスクの再生中、ダビング中は、録画できません。
  - 本機がHDDを判別し終える前に、録画の操作を始めませんでしたか。HDD ランプが白色点灯するまで、操作はお待ちください。
  - 録画中に電源プラグを抜いてしまったり、停電になったりしませんでしたか。
- 録画が禁止された映像は録画できません。（**17**、**49**、**69** ページ）
- デジタル放送のラジオ放送は記録できません。
- デジタル放送は、電波状態が悪い場合は録画できません。

外部機器から録画中、別の放送が視聴できない。

- 録画中は、録画中の映像（放送）のみ視聴できます。
- i.LINK 入力録画中の映像はご覧いただけません

ワンタッチ録画ができない。ファミリンク機能で録画しようとしたが録画されない。

- 「ワンタッチ録画」とは、今テレビで見ている番組をファミリンク機能を使って録画する機能です。ワンタッチ録画は本機が停止状態のときに働きます。
- 本機が録画中、予約録画中、ダビング中、再生中などの動作中は、ワンタッチ録画が行えません。テレビ画面には「録画が失敗しました。」と表示されます。

ファミリンクの録画停止が働かない。（テレビのリモコン、または本機のリモコンで録画停止ができない。）

- ファミリンクを使った録画停止は、ワンタッチ録画、ファミリンク［1］（標準）予約録画など、ファミリンク機能を使った録画を停止するものです。（**161** ページ）
- ファミリンクを使った録画（予約録画）が停止しないときは、本機のリモコンの、テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にして 録画停止 を押します。

予約録画

予約ができない。

●65番組まで予約できます。（電子番組表予約、日時指定予約、ダビング予約、休止中の予約の合計）

予約録画の開始・終了時刻が微妙にずれる。

●連続した予約の設定をしている場合、次の番組の先頭から録画を開始するため、前の番組は予約録画終了時刻よりも早く録画が終了します。

予約したのに録画されていない、途中で切れている。

●録画先の状態を確認してください。（**246**ページ「HDD（ハードディスク）への録画」の「録画ができない、録画が途中で止まる。」）
●録画開始時間に下記の状態であった場合は、録画されません。
- ダビング中（録画開始時刻の3分前までに、操作を終えてください。）
- DVD-RW/-Rディスクのタイトル名変更などは、（録画開始時刻の3分前までに、操作を終えてください。）

●予約待機中/録画中に停電がありませんでしたか。HDDの録画中に停電などで録画が中断された場合は、その番組は保存されません。
●停電などで録画が中断された場合、録画が中断された時点より前の部分の内容が数分ぶん損なわれることがあります。
●録画先の残量は充分でしたか。残量が少ない場合、不用なタイトル（録画した番組）を消去してください。（**49**、**72**、**134**～**136**ページ）
●録画予約を「休止」にしていませんでしたか。（**71**ページ）
●放送時間が変更されていませんか。
●番組が延長されていませんでしたか。
●電波状態が悪い番組では、途中で録画が停止する場合があります。
●温度の低い場所で使用すると、HDD（ハードディスク）が準備状態になることがあります。予約実行前しばらくの間、電源を「入」のままにしておきます。
●電源プラグがコンセントから抜けていませんでしたか。
●「お知らせ」の「受信機レポート」を確認してください。（**234**ページ）
●途中から録画禁止の番組が始まったときなどは、録画は中断されます。
●予約した番組の前の番組が時間延長になりませんでしたか。予約を開始しようとしたときに、放送局から送られてくる番組の開始時刻の情報が正しく更新されていない場合があります。この場合は予約が失敗となります。日時指定予約の場合、前の番組が延長しそうなときは最大延長時間を加味し、予約することをおすすめします。

「番組延長設定」をしたのに、途中で番組が終わっている。

●デジタル放送の場合、放送局から番組延長の情報が送られてこないと番組延長機能が働きません。

録画予約した番組が消されている。

●毎週・毎日録画予約した番組を詳細設定の「保存設定」（**65**、**67**ページ）で「重ね録り」に設定しませんでしたか。「重ね録り」に設定した番組は、自動的に上書き録画されます。

BSデジタル放送のラジオ放送、データ放送が記録されていない。

●ラジオ放送、データ放送は記録できません。

「アクオス」の電子番組表から（ファミリンク[1]（標準）予約）をしたが予約録画が働かない。

●「アクオス」の電子番組表を使った（ファミリンク［1］（標準）予約）は、本機が停止状態のときに働く機能です。
●本機が録画中、予約録画中、ダビング中、再生中などの動作中は、（ファミリンク［1］（標準）予約）が行えません。テレビ画面には「録画に失敗しました。」と表示されます。
●予約が重なったときは、本機の予約が優先されます。

連続した番組を予約録画したときに、1つのタイトルとして録画される、番組の最後が録画されない。

●シャープ製テレビ「アクオス」とi.LINK接続して連続した番組（例: 午後7:00～8:00の番組と午後8:00～9:00の番組など）を予約したときには、次のように録画されます。
- 予約した番組が同じチャンネルの場合は、1つのタイトルとして録画されます。
- 予約した番組が別のチャンネルの場合は、2つのタイトルとして録画されます。このとき、前の番組の録画終了後、一度録画停止を行うため、後ろの番組の先頭が数秒間録画されません。

再生

DVDディスクが再生できない。

- DVDビデオの場合、リージョン番号が一致しているか確認してください。（**237** ページ）
- DVD-RW/-R ディスクへダビングしながら、その DVD-RW/-R ディスクを再生することはできません。
- デジタル放送をHDD（ハードディスク）に「HD/SD（放送画質）」以外の録画画質で録画しているときは、同時録画再生ができません。（**97** ページ）
- DVDディスクをクリーニングしてください。（**15**ページ）
- DVDディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。（**30** ページ）
- 本機内部の結露（つゆつき）を除去してください。（**14**ページ）
- PAL/SECAM 方式のディスクは再生できません。
- ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な再生ができない場合があります。

市販のDVDビデオが再生できない。

- 本機で市販の DVD ビデオを再生すると、「D 映像出力設定」を「1125i 優先」（または「750p 優先」）に設定してあっても、525i（または525p：「プログレッシブ設定」を「する」に設定した状態）の信号が出力されます。そのためテレビやプロジェクターが 1125i/750p 専用の場合は、市販のDVDビデオの再生映像が楽しめません。

本機でダビングしたDVD-RW/-Rディスクを他のDVDプレーヤーで再生できない。

- ビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスクの場合は、ファイナライズを行ってください。（**141** ページ）
- 再生できない DVD プレーヤーがあります。
- VRフォーマットのDVD-RWディスクは、RW対応のDVDプレーヤー以外では再生できません。ファイナライズが必要なこともあります。（**141**、**238**、**240** ページ）
- 「1 回だけ録画可能」のタイトルは、CPRM 対応の DVD プレーヤーで再生してください。

市販のDVDビデオをセットしたが再生が自動的に始まらない。

- HDD モードのときは自動再生されません。DVD モードに切り換えてください。
- DVD ビデオが自動再生に対応しているか確認してください。

市販のDVDビデオを再生中、吹き替え音声が切り換わってしまう。

- 市販のDVDビデオによっては、テレビ放映当時の音声をそのまま収録しているものがあります。そのため、吹き替えの音源がない部分は、オリジナルの音源になりますので、日本語と外国語が交互に切り換わる動作をする場合があります。

他のDVDレコーダーで録画・編集したDVDディスクが途中で再生されなくなる。

- 他の DVD レコーダーで編集したディスクのプレイリストは、12 時間以上再生できません。
- 本機以外で録画したDVD-R DL（2層）ディスクは再生できない場合があります。

つづき再生が働かない。

- DVDディスクのつづき再生は、ディスクを取り出すと働かなくなります。
- 市販のDVDビデオ、ファイナライズしたビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク、音楽用 CD は、ディスクを取り出す、HDD（ハードディスク）/DVD ディスクの切り換え操作をする、電源を切る、などの操作を行うと、つづき再生されません。
- その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。

二ヶ国語の音声が切り換えられない。

- 下記のタイトル（録画した番組）は、録画時に「主音声」または「副音声」のいずれか 1 つのみが記録されているので、音声を切り換えることはできません。なお、どちらの音声が記録されているかは、録画時の「二ヶ国語音声設定」（**145** ページ）によります。
  - ビデオフォーマットで録画されたタイトル
  - HDD（ハードディスク）に「高速ダビング設定」（**146** ページ）が「する」で録画されたタイトル
  - HDD（ハードディスク）に「高速ダビング優先」（**65**、**68** ページ）が「する」で予約録画されたタイトル
  - 録画画質が「XP（高画質）」で、「音声記録方式設定」（**145** ページ）が「リニア PCM」で記録されたタイトル
  - 外部機器から「外部入力音声設定」（**145** ページ）が「ステレオ」でダビングされた二重音声のタイトル
- オーディオ機器とデジタル接続して使用している場合は、アンプ側で音声切換の操作を行ってください。アンプ側に音声切換機能がないときは、アナログ接続して本機側で切り換えてください。
- ダビング中は音声の切り換えはできません。

DVD映像を、ビデオデッキなどに録画したりビデオデッキなどを通して再生すると、再生画面が乱れる。

- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号が入っている DVD ディスクの場合、ビデオデッキなどを経由して再生したり、ビデオデッキなどに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。

録画リスト(録画番組一覧)が表示されない。

- タイムシフト視聴中や追いかけ再生中は、録画リストを表示できません。■ 停止 を押し、現在放送中の画面に戻ってから操作してください。
- D端子/HDMI端子でテレビと接続している場合、S映像、映像出力端子からは、スタートメニューや録画リストなどの画面表示は出力されません。
- 温度の低い場所で使用すると、HDD（ハードディスク）が準備状態になることがあります。しばらくお待ちください。
- 本機をリセット（**241** ページ）してください。
- 上記を確認しても表示されない場合は、HDD（ハードディスク）の異常が考えられます。お買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センター（**265** ページ）にご連絡ください。

録画リストのタイトル名に「＊」が表示される。

- 他のDVDレコーダーで付けたタイトル名で本機で表示できない文字は、「＊＊＊＊・・・・」（最大32文字分）と表示されます。

録画リストに「XP」や「SP」などの画質表示が出ない。

- DVDディスクの場合、ディスクをトレイから取り出すと画質表示は出なくなります。
- 高速ダビングしたタイトルには画質表示は出ません。

録画した最後の数秒間が再生されない。

- 再生した番組の終了位置は、録画時に録画を停止した位置と多少ずれることがあります。
- 連続した予約設定で先に録画した番組は番組の終了が数秒早くなるため、番組の最後が録画されません。

スキップ(◀前 次▶)が働かない。

- タイムシフト視聴中は働きません。
- HDD（ハードディスク）の場合は、タイトルをまたぐ頭出しはできません。最後のチャプター（トラック）まで進むと画面にENDが表示されます。

静止画再生／コマ送り(戻し)再生がうまくいかない。

- DVD-RW/-Rディスク（VRフォーマット）以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
- 市販のDVDビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送りの操作が禁止されているものがあります。

早送り／早戻しがうまくいかない。

- 早送り／早戻し中は、字幕は再生されません。（早見・早聞き視聴、音楽用CDを除く）
- ディスクや再生しているシーンによっては、早送りサーチをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。
- HDD（ハードディスク）の場合は、タイトルの最後までサーチされると、再生が停止します。
- タイトルをまたぐサーチはできません。（音楽用CDは除く。）DVDディスクの場合は、再生状態になります。

スロー再生がうまく行かない。

- タイトルの最後になると、スロー再生が解除されます。
- タイトルをまたぐスロー再生はできません。
- 逆スロー再生またはスロー再生をするときは、一時停止をした後、◀前 または 次▶ を2秒以上押し続けます。

再生できない/再生が中断される。

- HDD（ハードディスク）にデジタル放送を「HD/SD（放送画質）」以外の録画画質で録画予約しているときに再生している場合は、録画開始時刻になると自動的に再生が停止し録画が実行されます。
- デジタル放送をHDD（ハードディスク）に「HD/SD（放送画質）」以外の録画画質で録画しているときは、再生ができません。
- HDD（ハードディスク）とDVDディスクの同時再生はできません。
- 重ね録りで録画した番組を再生中に、重ね録り設定されている予約が始まったときは再生が停止し、重ね録りされます。（番組は消去されます。）

録画中に再生すると、画像や音声が乱れる。

- 録画の状態によっては再生に影響が出る場合がありますが、録画は正常に行われます。

再生できないタイトルがある。

- 正常に録画できなかった映像は再生できません。
- 録画時間が短い場合は、再生できないことがあります。

データ放送が視聴できない、字幕などが表示できない、スロー再生などの特殊再生ができない。

- マルチビューサービス放送をHDD（ハードディスク）に録画して主映像以外の映像を再生すると、データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。

追いかけ再生／タイムシフト視聴

追いかけ再生が自動的に解除された。

- 追いかけ再生時に早送り視聴（早送りサーチ）をしたとき、現在録画されている番組の手前になると自動的に追いかけ再生が解除され、現在放送中の画面に戻ります。自動的に現在放送中の画面に戻るタイミングは、早送りスピードや録画画質により異なります。

タイムシフト視聴ができない。

- タイムシフト視聴中に、予約録画の開始５分前になると、メッセージが表示されます。予約録画開始の２分前になるとタイムシフト視聴が解除されます。
- 番組によっては、著作権保護により、タイムシフト視聴ができないものがあります。
- タイムシフト視聴ができるようになるまで、多少時間がかかることがあります。
- タイムシフト視聴中に放送が録画禁止になったときは、タイムシフト視聴のための録画を停止します。
- DVD モードでは、タイムシフト視聴はできません。

編集 **（本機はDVD編集はできませんが、DVDのタイトル消去、タイトル名変更、ディスク保護の機能があります）**

消去や編集ができない。

- ダビング予約（**128**ページ）待機中は、ダビング元の編集操作はできません。
- i.LINK 入力録画中は消去や編集ができません。

シーン(部分)消去ができない。

- ３秒より短い範囲は設定できません。
- １タイトル（番組）あたりシーン（部分）消去できる回数は 50 回までです。
- １度の操作で「シーン（部分）消去」ができるのは、１シーンまでです。２つ以上のシーンを１度の操作で消去することはできません。
- i.LINK 入力録画中は「シーン（部分）消去」ができません。
- DVD ディスクの「シーン（部分）消去」はできません。

シーン(部分)追加ができない。

- 「オリジナル」のタイトルには、「シーン（部分）追加」ができません。
- ３秒より短いシーンは追加できません。
- 「シーン（部分）追加」をした結果 12 時間を超えるタイトルには、シーン追加ができません。
- １タイトルあたり「シーン（部分）追加」ができる回数は 50 回までです。
- １回の操作で「シーン（部分）追加」ができるのは１シーンです。
- i.LINK 入力録画中はシーン（部分）追加ができません。
- DVD ディスクの「シーン（部分）追加」はできません。

チャプター(章)分割ができない。

- ３秒より短い間隔では分割できません。
- HDD（ハードディスク）に録画画質「HD/SD（放送画質）」で録画したタイトルと「HD/SD（放送画質）」以外の録画画質で録画したタイトルそれぞれにチャプター（章）が 4000 あるとき、それ以上分割することはできません。
- i.LINK 入力録画中はチャプター（章）分割ができません。
- DVD ディスクのチャプター（章）分割はできません。

チャプター(章)結合ができない。

- 「シーン（部分）消去」（**102**ページ）または「シーン（部分）追加」（**112**ページ）で自動的に記録されたチャプターは結合できません。
- i.LINK 入力録画中はチャプター（章）結合ができません。
- DVD ディスクの「チャプター（章）結合」はできません。

シーン(部分)消去でコマーシャルを削除したのに、早戻しすると削除した映像の一部が一瞬映る。

- 消去終了地点を設定した箇所によっては、早戻しした際にシーン消去した映像の一部が一瞬映ることがあります。これは、映像データを特定の単位で処理するために起こるもので、故障ではありません。

編集が中断される。

- HDD（ハードディスク）の編集中に録画予約開始時刻になると、編集を中断し、録画予約が実行されます。
- i.LINK 入力録画中は編集できません。

DVD-R DL(2層)ディスクの編集ができない。

- DVD-R DL（２層）ディスクの編集はできません。

HDD（ハードディスク）からDVDディスクへのダビング

HDDからDVDディスクにダビングしたら、HDDからタイトルが消えてしまった。

- ダビングしたタイトルが「1回だけ録画可能」のものではありませんか。「1回だけ録画可能」のタイトルは複製が禁止されているので、DVDディスクへダビングすると複製ではなく移動となり、HDDからは消去されます。（**117**ページ）
- 「1回だけ録画可能」のタイトルでは、ダビングを途中で止めた場合は、ダビングしたところまでがHDDから消去されます。

HDDから、DVDディスクへダビングできない。

- 「1回だけ録画可能」のタイトルをダビングする場合は、CPRM対応のDVD-RW/-RディスクにVRフォーマットでダビングしてください。（**115**、**239**ページ）
  なお、「1回だけ録画可能」のタイトルは複製が禁止されているので、DVDディスクへダビングすると複製ではなく移動となり、HDDからは消去されます。
- HDDが録画中や再生中の場合またはDVDディスクが再生中の場合は、ダビングできません。
- 本機で録画できるDVDディスクをセットしてありますか。
  - 本機で録画できるDVDディスクについては、**238**～**239**ページをご覧ください。
  - DVD-RW/-Rディスクの残量は足りていますか。（**49**ページ）
  - デジタル放送は、CPRM対応のDVD-RW/-Rディスクを使用してVRフォーマットで録画してください。DVD-RディスクをVRフォーマットで使用するには、初期化が必要です。（**30**、**32**ページ）
  - ファイナライズされたDVD-RやDVD-RWビデオフォーマットのディスクに録画しようとしていませんか。残量があるDVD-RWビデオフォーマットの場合、ファイナライズを解除すれば録画をすることができます。（**141**ページ）
  - DVDディスクが保護されていませんか。（**133**ページ）
  - CPRM Ver.1.0のDVD-RWディスクにはビデオフォーマットでの録画はできません。Ver.1.1以降のDVDディスクを使用してください。（バージョンはDVDディスクのジャケットの裏面などに表示されています。）
  - DVD-RW/-Rディスクをクリーニングしてください。（**15**ページ）
- 録画を始めた状態、録画中の状態をご確認ください。
  - 本機がDVDを判別し終える前に、ダビングの操作を始めませんでしたか。DVDランプが白色点灯するまで、操作はお待ちください。
  - ダビング中に電源プラグを抜いてしまったり、停電になったりしませんでしたか。
- 1つのDVD内に記録できるタイトル（オリジナルのタイトル）やチャプターの限界は下記のとおりです。下記の限界に1つでも当てはまる場合、それ以上そのDVDへ録画することはできません。
  - 1つのディスク内にタイトルは、99まで。
  - 1つのタイトルにつきチャプターは99まで。
  - 1つのディスク内にチャプターは、999まで。
- 傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な録画ができない場合があります。
- 他のDVDレコーダーでシーンの追加や消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクでは、ダビングができない場合があります。
- 他機で長時間録画したディスクは、ダビングができない場合があります。
- 高速ダビング時の制限事項があります。「ダビングができる組み合わせ」（**116**～**117**ページ）および「高速ダビングができない。」（**252**ページ）をご覧ください。
- アナログ放送のみ受信している場合は、あらかじめ時計合わせをしてください。（**196**ページ）（デジタル放送受信時は、自動的に時計合わせが行われています。）
- 他のDVDレコーダーでシーンの追加やシーンの消去をたくさん行ったディスクでは、ダビングができない場合があります。
- 他社のレコーダーで記録されたDVD-R DL（2層）ディスクでは、ダビングができない場合があります。

DVDディスクからHDDにダビングできない。

- 本機は、DVDからHDD（ハードディスク）へのダビングはできません。

ダビング予約ができない。

- 本機で録画できるDVDディスクをセットしてありますか。
  - 本機で録画できるDVDディスクについては、**238**～**240**ページをご覧ください。
  - DVD-RW/-Rディスクの残量は足りていますか。（**49**ページ）
  - デジタル放送は、CPRM対応のDVD-RW/-Rディスクを使用してVRフォーマットで録画してください。DVD-RディスクをVRフォーマットで使用するには、初期化が必要です。（**30**、**32**ページ）
  - ファイナライズされたDVD-RやDVD-RWビデオフォーマットのディスクに録画しようとしていませんか。残量があるDVD-RWビデオフォーマットの場合、ファイナライズを解除すれば録画をすることができます。（**141**ページ）
  - DVDディスクが保護されていませんか。（**133**ページ）
  - CPRM Ver.1.0のDVD-RWディスクにはビデオフォーマットでの録画はできません。Ver.1.1以降のDVDディスクを使用してください。（バージョンはDVDディスクのジャケットの裏面などに表示されています。）
  - DVD-RW/-Rディスクをクリーニングしてください。（**15**ページ）
- 録画を始めた状態、録画中の状態をご確認ください。
  - 本機がDVDを判別し終える前に、ダビングの操作を始めませんでしたか。DVDランプが白色点灯するまで、操作はお待ちください。
  - ダビング中に電源プラグを抜いてしまったり、停電になったりしませんでしたか。

ダビング予約ができない。（つづき）

- 1つのDVD内に記録できるタイトル（オリジナルのタイトル）やチャプターの限界は下記のとおりです。下記の限界に1つでも当てはまる場合、それ以上そのDVDへ録画することはできません。
  - 1つのディスク内にタイトルは、99まで。
  - 1つのタイトルにつきチャプターは99まで。
  - 1つのディスク内にチャプターは、999まで。
- 傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な録画ができない場合があります。
- 他のDVDレコーダーでシーンの追加や消去を1タイトルあたり51回以上行ったディスクでは、ダビング予約ができない場合があります。
- 他機で長時間録画したディスクは、ダビング予約ができない場合があります。
- 番組予約の合計が65番組（電子番組表予約、日時指定予約、休止中の予約を含む。）になっているときは、ダビング予約ができません。このときは、「予約リスト」で不要な予約を取り消してください。（**70**ページ）
- ダビング予約は、1件のみ可能です。
- アナログ放送のみ受信している場合は、あらかじめ時計合わせをしてください。（**196**ページ）（デジタル放送受信時は、自動的に時計合わせが行われています。）

ダビング予約したのにダビングされていない。

- ダビング開始時間に下記の状態であった場合は、ダビングされません。
  - 録画中（ダビング開始時刻の3分前までに、操作を終えてください。）
  - 再生中（ダビング開始時刻の3分前までに、操作を終えてください。）
  - 予約録画実行中（ダビング開始時刻の3分前までに、録画が終了している必要があります。）
  - ダビング中（ダビング開始時刻の3分前までに、操作を終えてください。）
- タイトル保護が設定されている「1回だけ録画可能」のタイトル（録画した番組）は、ダビング予約を設定しても、ダビングできません。
- アナログ放送のみ受信している場合は、あらかじめ時計合わせをしてください。（**196**ページ）（デジタル放送受信時は、自動的に時計合わせが行われています。）

ダビング中、2つの音声が混ざって聞こえる。

- 「高速ダビング設定」（**146**ページ）を「しない」に設定して二重音声の番組を録画したタイトル（録画した番組）をダビングしているときは、主音声と副音声が混ざって聞こえます。このとき「主」「副」の切り換えはできません。

DVDディスクへハイビジョン画質でダビングできない。

- ハイビジョン番組はDVDディスクにダビングすると、録画画質が変換されます。（ハイビジョン画質で録画できるのはHDDのみです。）

HDDからビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクにダビングすると、映像の縦横比がおかしくなる。

- 16：9（ワイド）の番組は、ダビングすると映像が縦長に見えることがあります。テレビで画面サイズの設定を変更して、見やすい映像にしてください。（テレビの設定についてはテレビの取扱説明書をご覧ください。）
- HDDからビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクにダビングしたときは、1つのタイトル内に16：9（ワイド）と4：3（ノーマル）の映像を混在させることはできません。タイトルの途中で画面サイズが変わったときも、ダビング開始時の画面サイズが継続されます。

ダビング元とダビング先でチャプターの位置がずれる。

- ビデオフォーマットのディスクに録画画質変換ダビング（**118**、**123**ページ）した場合は、ダビング元のチャプターマークがコピーされません。
- i.LINKを使ったダビングでは、チャプターマークはコピーされません。

高速ダビングができない。

- 下記の場合は、高速ダビングできません。（故障ではありません。）
  - プレイリストから、ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクへの高速ダビング
  - 「高速ダビング設定」（**146**ページ）、「高速ダビング優先」（**65**、**68**ページ）を「しない」でHDDに録画したタイトルの、ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクへの高速ダビング
  - HDD（ハードディスク）にHD/SD録画したデジタル放送
  - 高速記録対応DVD-RW/-Rディスク以外への高速ダビング

  ※高速記録対応のディスク（2倍速、4倍速、8倍速）を使用してください。ディスクの種類や状態等によっては、高速記録対応のディスクでも速度を落としてダビングする場合があります。

高速ダビングすると、動作音が大きくなる。

- 「高速ダビング（最大約65倍速）」時は、ディスクの回転数が上がるため、動作音が大きくなりますが故障ではありません。「高速ダビング（最大約16倍速）」または「録画画質変換ダビング（1倍速）」を選択すると、動作音は抑えられます。（**123**ページ）

DVD-R DL(2層)ディスクにダビングがうまくできない。

- ビデオフォーマットしたディスクを録画画質変換ダビングで1層目と2層目にまたがるダビングをしたときは、1層目と2層目が別タイトルとして記録されます。
- 高速ダビングで1層目と2層目にまたがるような番組をダビングしたときは、1つのタイトルとして記録されますが、再生したとき、1層目と2層目のまたがる部分で映像が止まる、または音声が途切れる場合があります。
- VRフォーマットのディスクにダビングしたときは、連続でダビングできる時間は9時間です。

本体の音／動作

電源を「切」にしたのに動作音がする。

- 録画予約、ダウンロード、番組表情報取得、B-CASカード内の契約情報の更新などを実行しているときは本体内部の電源が入っているため、動作音（冷却ファンが回転）がします。
- 一発起動（クイック起動）待機中は本体内部の電源が入っているため、動作音（冷却ファンが回転）がします。

ディスクトレイを閉めても出てきてしまう。

- 市販のDVDビデオの場合、リージョン番号が一致しているか確認してください。（**237**ページ）
- 再生できるディスクかどうか、確認してください。（**237**ページ）
- DVDディスクをディスクトレイに正しくセットしてください。（**30**ページ）
- DVDディスクをクリーニングしてください。（**15**ページ）
- 録画されていないDVD-RAMを挿入していませんか。

ディスクトレイが出ない。

- 録画リストを表示させていませんか。録画リストを終了させてから操作してください。
- 本体表示部に「RESEt」が表示されるまで本体の電源ボタンを押し続けて、本機をリセットしてください。電源が切れ、電源ランプが点灯してから、トレイ開／閉ボタンを押し電源を入れてください。
- 上記の操作を行ってもディスクトレイが出てこないときは、お買いあげの販売店またはシャープお客様相談センター（**265**ページ）にお問い合わせください。

何も操作していないのに音がする。

- 電源が入った状態で一定時間何も操作していないとき、HDD（ハードディスク）の動作音がする場合があります。

録画時や再生時に「カチャ」や「コトコト」と音がする。

- 本機を使用していてしばらく操作をしていなかった場合は、録画開始時および再生開始時に本体から「カチャ」という音がする場合があります。本体の動作音で故障ではありません。
- HDD（ハードディスク）への録画時は本体から「コトコト」という音がする場合があります。HDD（ハードディスク）の動作音で故障ではありません。

「Hi-Vision」ランプが点灯しない。

- バックライトを消灯させているときは、「Hi-Vision」ランプも消灯します。

電源を切った後、時計表示が出ない。

- 電源オフ時計表示設定を「する」に設定してください。（**150**ページ）
- 電源を切った後、電子番組表データの取得中やB-CASカード通信中は「ACCESS」と表示され、時計は表示されません。

リモコン

リモコンで操作できない。

- リモコンの操作範囲内で使用してください。（**22**ページ）
- リモコンの乾電池を新しいものと交換してください。（**22**ページ）
- リモコンの設定番号と本機の設定番号が合っていることを確認してください。（**198**～**199**ページ）

本機のリモコンで操作すると、他のDVD機器（当社製）やテレビも動作してしまう。

- 他のDVD機器（当社製）の場合は、リモコン番号を切り換えてください。（**198**～**199**ページ）
- ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。

画面が止まり、リモコンで操作できない。

- DVD-RW/-Rディスクに傷や汚れがありませんか。ディスクを確かめてください。ディスクのクリーニングについては**15**ページをご覧ください。
- 本体の電源ボタンで電源を「切」にし、再度電源を入れ直してみてください。
- 電源が切れないときは、本体表示部に「RESEt」の表示が出るまで本体の電源ボタンを押し続けてください。（**241**ページ）

ファミリンク機能

映像が映らない、正常な映像が映らない。

●HDMI ケーブルをお使いの場合は、電源を入れた状態でHDMIケーブルを抜き差ししないでください。映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。

ファミリンクが正常に働かない。

●電源を入れた状態でHDMIケーブルを抜くと、ファミリンクが正常に働かない、正しく動作しない、などの場合があります。電源の入／切は、HDMI ケーブルの接続が済んでから行ってください。

●ファミリンク機能が正常に働かなくなったときは、次の手順で接続と設定を確認してください。
- 本機の電源を「切」にする
- HDMIケーブルの接続を確認する（**157**、**180**ページ）
- 本機の電源を「入」にする
- 「ファミリンク設定」を確認する（**158** ページ）

その他

[スタートメニュー]を押してもスタートメニューが表示されない。

●メッセージが表示されたときは、メッセージに従って操作してください。

●テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えてから、[スタートメニュー]を押してください。

●再生中や追いかけ再生中、ダビング中は、スタートメニューを表示できません。

D映像出力端子またはHDMI出力端子にケーブルを接続したときは…

●S映像出力端子･映像出力端子からはスタートメニューや録画リストなどの画面表示が表示されません。
スタートメニューなどを表示させたいときは、テレビの入力切換を、D映像出力端子またはHDMI出力端子を接続した外部入力に切り換えてお楽しみください。

●D映像出力端子とHDMI出力端子の両方にケーブルを接続しても同時に出力することはできません。出力は、どちらか一方となります。リモコンふた内の[HDMI切換]を押して、出力を切り換えてください。

[スタートメニュー]を押すと、本体表示部には「MENU（メニュー)」と表示されるのに、テレビ画面にはスタートメニューが表示されない。

●HDMI 出力端子または D 映像出力端子を接続している場合、S映像出力端子･映像出力端子からはスタートメニューや録画リストなどの画面表示が表示されません。（映像や音声の信号は出力します。）
そのため、テレビの入力で S 映像出力端子 / 映像出力端子からの入力を選択していると、スタートメニューはテレビ画面に表示されません。**HDMI 出力端子または D 映像出力端子を接続している場合は、テレビの入力をHDMI 出力端子またはD映像出力端子からの入力に切り換えてください。**
HDMI 出力端子と D 映像出力端子は、どちらか一方からしか出力しません。
[HDMI切換]を押し続けると本体表示部に出力端子が表示されるので、「D-oP」（D映像端子）または「H-oP」（HDMI端子）を選択してください。

本機の設定内容が消える。

●停電や、電源プラグが抜かれた状態で 10分以上放置したときは、設定内容が消えてしまう場合があります。

●電源が入っている状態で、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れたときは、番組情報や予約内容が消えたり、「各種設定」で設定した内容が工場出荷状態となる場合があります。また録画中は、録画していた内容が消去される場合があります。

●D映像ケーブルを抜くと、D映像出力設定が「D1」に戻ります。（**147**、**181** ページ）

使用中に本体が熱くなる。

●本機を使用中、使用環境によっては本体キャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。安心してお使いください。

●「BS・CS アンテナ電源」（**192**、**216** ページ）を「入」に設定している場合は、本機の電源を切っても本体キャビネットの温度が多少高くなります。

[画面表示]を押して残量表示を確認したとき、残量表示が増減する。

●タイムシフト視聴（**150** ページ）を設定しているときは、見ている放送の画質の違いにより、残量時間表示が増減する場合があります。（録画画質が低いほど、増減する量は増えます。）

MDレコーダーとデジタル接続をしてCDからMDに録音したとき、CDとMDの曲番が合わない。

●CDの曲間が短い場合は、CDと録音したMDの曲番が一致しないことがあります。

●視聴メニューでトラックの指定を行った場合（**99**ページ）などは、CD と録音した MD の曲番が一致しないことがあります。

よくあるお問い合わせ

「故障かな？と思ったら」（**241** ページ）も、あわせてご覧ください。

アンテナ／接続

110度CSデジタル放送は、チューナーを接続しなくても録画できますか?

- 本機は110度CSデジタルチューナーを内蔵していますので、放送各社と受信契約をすれば、110度CSデジタル放送をお楽しみいただけます。

2台以上D-VHS機器を登録できますか?

- 登録は 16 台までできます。誤って登録した場合にも、登録解除もできます。
  登録の認識が不十分である場合は、両方の機器の電源を入れ直してみてください。

ケーブルテレビ(CATV)で地上デジタル放送は受信できますか？

- CATVパススルー方式でサービスが行われていれば、受信できます。受信できるのは「UHF、VHF、ミッドバンド(MID：C13～C22)帯、スーパーハイバンド(SHB：C23～C63）帯」です。（トランスモジュレーション方式には対応しておりません。）

チャンネル／リモコンの設定

使わないチャンネルをスキップさせたい。

- VHF/UHF（地上アナログ）放送は、「一局ずつ手動で個別設定」（**212** ページ）でスキップを設定してください。
- 地上デジタル放送は、「チャンネルの個別設定」（**220** ～ **221** ページ）でスキップ設定をしてください。
- BS・110度CSデジタル放送は、「BS・110度CSデジタル放送のチャンネル設定」（**223**～**224**ページ）でスキップ設定をしてください。

ケーブルテレビ(CATV)へ加入した場合に、C13ch、C14ch、C15chを見るには設定が必要ですか?

- 「地上アナログ－個別」（**212**ページ）で「受信チャンネル」をケーブルテレビ放送の受信チャンネルに設定します。

本機のリモコンでテレビの操作もしたい。

- リモコンに、テレビのメーカー指定の設定をしてください。（**197** ページ）
- シャープ製デジタルチューナー内蔵のテレビ「アクオス」の場合は、リモコンのテレビメーカー指定を「シャープC」に設定すればテレビのすべての操作ができます。その他のテレビでは、電源、音量、選局、入力切換が操作できます。（**197** ページ）

リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にしても、テレビの入力が自動で切り換わらない。

- この機能が使えるのは、シャープ製デジタルチューナー内蔵のテレビ「アクオス」を接続したときです。
- リモコンのメーカー指定の設定が「シャープ C」になっていますか？（**197** ページ）
- リモコンの入力自動切換の設定は済んでいますか。（**173** ～ **174** ページ）
- リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを操作するときは、リモコンをテレビに向けて操作してください。

4：3 テレビで放送を見る

4：3テレビでデジタル放送の映像を画面いっぱいにできますか？

- 現在放送されているデジタル放送などを受信すると4：3テレビでは、上下や上下左右に黒帯の付いた映像になるものと、画面いっぱいになる映像があります。これらの映像は、放送局側からの信号によるもので、本機で変更することはできません。

録画／予約録画

ケーブルテレビ(CATV)ボックスから録画するには？

●リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にしてから 入力切換 を押し、ケーブルテレビ（CATV）ボックスを接続した外部入力に切り換えてください。

外部機器から録画するには?

●リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にしてから 入力切換 で外部機器を接続した外部入力に切り換えてください。

デジタル放送の5.1chの音声は記録できますか?

●HDD（ハードディスク）に録画画質「HD/SD（放送画質）」で録画した場合は可能です。

デジタル放送を日時指定予約で録画するには?

●「日時指定予約」（**62** ページ）を選び、日時指定予約を行います。このとき、チャンネルをデジタル放送のチャンネルに設定してください。

デジタル放送の録画予約時に「番組延長設定」する方法は?

●電子番組表で番組を選んで 決定 を押し、◀▶で「延長」の項目を選び、▲▼で「入」にしてください。既に予約を完了している場合は、予約変更の操作後に予約変更画面で延長を「入」にしてください。

番組録画予約で、時刻の重なる別のチャンネルの番組を録画予約できますか?

●シャープ製のテレビ「アクオス」とi.LINK接続することで、テレビのチューナーと本機のチューナーを利用した２番組同時録画（ハイブリッドダブレコ）が行えます。（テレビのチューナーから入力できるのはデジタル放送です。）

シャープ製のテレビ「アクオス」とi.LINK接続して予約録画するときに気をつけることは何ですか？

●連続した番組を「（例）午後 7:00 ～ 8:00 までの番組と午後 8:00～9:00 など）を予約したときは次のように録画されます。
- 予約した番組が同じチャンネルの場合は1つのタイトルとして録画されます。
- 予約した番組が別のチャンネルの場合は2つのタイトルとして録画されます。このとき前の番組の予約録画終了後に一度録画停止を行うため、後ろの番組の先頭が数秒間録画されません。

ダビング

HDD(ハードディスク)に録画された「1回だけ録画可能」のタイトルをダビングするには？

●DVDディスクへのダビングはできますが、ダビングした時点でHDD（ハードディスク）のデータは消去されます（移動になります）。ダビングに使えるディスクは、CPRM 対応のDVD-RW/-Rディスクで、VR フォーマット録画方式に限ります。
「1 回だけ録画可能」の番組のダビングについては、**115** ～ **116** ページをご覧ください。

ダビング中の表示を消すには?

●リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にしてから 終了 または 画面表示 を押してください。

ダビングの進行状況を表わす表示が消えた場合は？

●リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側にしてから 画面表示 を押してください。

編集

チャプターマークを消去したい。(チャプター(章)結合)	コマーシャルを削除したい。
●録画リストの「機能メニュー」－「編集」でチャプターマークを消去したいタイトルを選び、チャプター単位の表示にしてから「チャプター（章）結合」（**106**ページ）で、チャプター結合の操作をしてください。 ●シーン（部分）消去でできた赤色チャプターマークは消去（チャプター結合）はできません。 ●この操作は、HDD（ハードディスク）に記録されたタイトルで行えます。	●録画終了後、「シーン（部分）消去」（**102**ページ）でコマーシャルなど不用な部分を削除します。（自動でコマーシャルの削除はできません。） ●DVD-RW/-Rディスクは、不用な部分の削除はできません。

再生

録画リストの静止画(インデックス画面)を変更したい。	本機でダビングしたDVDディスクを他のDVDプレーヤーなどで再生するには?
●「インデックス画面変更」（**108**ページ）の操作で変更してください。この操作は、HDD（ハードディスク）に記録されたタイトルで行えます。	●ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクにダビングし、ファイナライズをしてください。 VRフォーマットのDVD-RW/-RディスクはVRフォーマット対応のDVDプレーヤーで再生してください。 「1回だけ録画可能」の番組をダビングしたDVD-RW/-Rディスクは、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生してください。

その他

予約録画実行中、本体表示部が点灯しないようにしたい。	二重音声放送の録画で気をつけることを教えてください。
●電源を切った状態で予約録画待機状態にしているとき、予約した録画が始まると本体表示部が点灯します。本体表示部を消したいときは、「液晶設定」の「液晶バックライト」（**150**ページ）を「予約実行時のみ消灯」に設定します。 **録画や再生の時間表示はどこまで正確ですか?** ●ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクで録画した場合、本機での時間表示は、実際の録画･再生時間より0.1%ほど短く表示されます。放送などの映像は、1秒あたり29.9フレームの映像が送られますが、これを本機では便宜上30フレームを1秒として計算するためです。 （1時間録画した場合、「60分×0.999＝59.94分＝59分56秒」と表示されます。）	●下記の場合は、二重音声放送の主音声と副音声を同時に記録できません。録画の前に「二ヶ国語音声設定」（**145**ページ）で記録する音声を選んでください。また、選んだ音声のみが記録されるため、再生中に音声を切り換えることはできません。 • 録画先をHDD（ハードディスク）にしていて、「高速ダビング設定」（**146**ページ）を「する」にして録画したとき。 • 録画先をHDD（ハードディスク）にしていて、「高速ダビング優先」（**68**ページ）を「する」にして予約録画したとき。 • 録画画質を「XP（高画質）」に設定していて、「音声記録方式設定」（**145**ページ）を「リニアPCM」にしているとき。 • 外部機器から二重音声を録画（ダビング）するときは、「外部入力音声設定」（**145**ページ）で「二ヶ国語」に設定してください。「ステレオ」に設定されているときは音声が切り換わりません。 • ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクにダビングしたとき。

エラーメッセージ（例）

ディスクが正しくなかったり操作を誤ったときは、テレビ画面に次のような表示が出ます。

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
このディスクは再生できません。	• 本機で再生できないディスクが入っているとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。 • 録画中に停電したり、誤って電源コードを抜きませんでしたか。そのようなディスクは認識できなくなる場合があります。
ディスクが読み込めませんでした。	• ディスクに傷があるなど本機で再生できないディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき、表示が出てきます	
ディスクが入っていません。		
この操作はできません。	• 誤った操作をしたとき	――――
ディスクが修復できませんでした。	• DVD-RW/-Rディスクのダビング中に停電があった場合、停電回復後データの修復を自動的に行いますが、ディスクに傷や汚れなどがあり修復できなかったとき	――――
ファイナライズできませんでした。 ／初期化できませんでした。	• ディスクに傷、汚れなどがあるとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。
録画禁止の番組です。録画できません。	• コピーガード信号が入った映像が入力されたとき	• 録画できません。
タイトルが一杯でこれ以上録画できません。 不要なタイトルを消去してください。	• タイトルやチャプターマークが、記録できる上限を超えたとき • タイトル数が制限を超えているとき タイトル数： HDD（ハードディスク） HD/SD録画　999 HD/SD以外　999 DVD-RW/-Rディスク　99 チャプター数： HDD（ハードディスク） HD/SD録画　4000 HD/SD以外　4000 DVD-RW/-Rディスク　999	• 不用なタイトルを消去してください。 • HDD（ハードディスク）の場合は、不用なチャプターを消去するかチャプターを結合してください。
タイトルが一杯でこれ以上録画できません。 不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。		
チャプターが記録できる上限を超えましたので録画できません。不要なタイトルやチャプターを消去してから録画してください。		
このディスクは録画できません。	• 本機で録画できないディスク（CD-Rなど）や傷、汚れのあるディスクがセットされているとき	• 録画用ディスクをセットし直してください。
ハードディスクが満杯で、録画できません。 不要なタイトルを消去してください。	• ディスクの空き容量がないとき	• 空き容量のあるディスクを入れてください。 • 不用なタイトルを消去してください。
ディスクが満杯なので録画できません。 不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。		
番組放送時間が変更されたため、予約の開始ができませんでした。	• 録画予約した番組の放送時間が変更されたため予約実行されなかったとき	――――
日付・時刻が設定されていません。 日付・時刻を設定してください。	• 本機の時計合わせをしていない状態で予約設定やダビング操作を行ったとき	• 時計合わせを行い、再度予約し直してください。
ハードディスクが満杯なので録画を停止しました。不要なタイトルを消去してください。	• ディスクの空き容量がなくなりました	――――
ディスクが満杯なので録画を停止しました。 不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。		
ディスクを確認しています。 完了まで10分以上かかる場合があります。	• リセット操作により、電源を切った場合など • 停電などにより、DVD-RW/-Rディスクにディスク情報が正しく書き込まれない状態で録画が停止した場合など	• HDD（ハードディスク）またはDVD-RW/-Rディスクの確認が完了するまでお待ちください。 確認は10分以上かかる場合があります。
HD/SD以外で デジタル放送を録画しているときは この操作はできません。	• HDD（ハードディスク）にデジタル放送を「HD/SD（放送画質）」以外の録画画質で録画しているときに、再生の操作をしたり録画リストを表示させようとしたとき • HDD（ハードディスク）にデジタル放送を「HD/SD（放送画質）」以外の録画画質で録画しているときに、タイムシフトの操作をしたとき • HDD（ハードディスク）にデジタル放送を「HD/SD（放送画質）」以外の録画画質で録画しているときに、HDDモード／DVDモードの切り換え操作をしたとき	• 録画を停止してから再生などの操作をしてください。 • デジタル放送を録画しながら再生をしたいときは、HDD（ハードディスク）にデジタル放送を録画画質「HD/SD（放送画質）」で録画してください。
HDMI自動切換ができません。ライブ視聴に戻ってからリモコンで切換えてください。	• 録画中や再生中などにHDMI切換を行ったとき	• 録画中や再生中は、自動切換は働きません。停止してから切り換えてください。
選局・再生に失敗しました。 チャンネルを切り換えてください。	• 受信状況、再生状況により、処理が間に合わないとき • 放送視聴時に電波状態が悪く選局に失敗したとき • 再生時に記録したデータがこわれていて再生に失敗したとき	• 電源ボタンを「RESEt」表示が出るまで（約10秒間）押しつづけてリセットしてください。 • 電源を入れるとシステム確認のため「ディスクを確認しています。完了まで10分以上かかる場合があります。」のメッセージが表示されたときは、表示が消えるまでお待ちください。 ※ 状況が改善されない場合は、販売店またはシャープお客様相談センター（**265**ページ）にご相談ください。

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
ハードディスクにエラーが発生しましたので操作できません。 ライブ視聴のみ可能です。お早めに最寄のご販売店またはシャープ修理相談センターまでご連絡ください。	• HDD（ハードディスク）に問題がある場合、特殊再生や録画など、HDD（ハードディスク）の動作が必要な操作を行ったとき	• 一度HDD（ハードディスク）を初期化してください。初期化しても改善されないときはなるべくお早めにお買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センター（**265**ページ）にご連絡ください。
システムエラーが発生しました。 電源を「切」にします。	• 電源「入」のときに、HDD（ハードディスク）に問題が生じたとき （自動的に電源が切れます。）	――――
ハードディスクを確認中です。確認完了までは、ライブ視聴のみ可能です。	• 停電の後や、電源「入」のまま電源プラグを抜き差ししたとき	• HDD（ハードディスク）の確認に1～2分かかる場合があります。その間は、放送視聴のみの動作となります。しばらくお待ちください。
録画禁止の番組です。 タイムシフト視聴できません。	• 著作権保護のため、放送そのものが録画禁止になっていて、タイムシフト視聴ができないとき	• 放送中の映像のみ視聴いただけます。
録画禁止になりましたので、録画を停止しライブ放送に戻りました。	• 録画中に、著作権保護のため、放送そのものが録画禁止である番組が始まったとき	――――
録画禁止の番組です。 録画できません。	• 著作権保護のため、放送そのものが録画禁止になっている番組を録画しようとしたとき	――――

■特殊再生時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
ハードディスクの状態が悪いので 操作できません。	• HDD（ハードディスク）に異常があるときに、特殊再生などの操作を行ったとき	• HDD（ハードディスク）の修理が必要ですので、お早めにお買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センター（**265**ページ）にご連絡ください。
ハードディスク準備中です。 操作できません。	• HDD（ハードディスク）が準備中のときに、特殊再生や録画など、ハードディスクの動作が必要な操作を行ったとき	• 準備が終わるまでは放送視聴のみ可能です。操作可能になるまで、しばらくお待ちください。（寒い場所で使用している場合など、HDD（ハードディスク）の温度が低くなっていると、HDD（ハードディスク）の準備に時間がかかることがあります。）

■DVDディスクへのダビング時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
録画制限のある番組のため、 ダビングできません。	• 「1回だけ録画可能」の部分を含んだタイトルを、CPRM非対応のDVD-RW/-Rディスクにダビングしようとしたとき	• CPRM対応のDVD-RW/-Rディスクに、VRフォーマットでダビングしてください。
デジタル放送のダビングには、CPRM対応DVDをＶＲに初期化してご使用ください。	• 「1回だけ録画可能」の部分を含んだタイトルを、CPRM非対応のDVD-RW/-Rディスクにダビングしようとしたとき	• CPRM対応のDVD-RW/-Rディスクに、VRフォーマットでダビングしてください。
1度にダビングできる数を超えています。 次回のダビングで選択してください。	• ダビング元タイトルやチャプターを選択する画面で、11タイトル（またはチャプター）を選ぼうとしたとき	• 最大10タイトル（またはチャプター）ずつダビングしてください。
高速ダビング優先設定されていない 番組はダビングされません。	• 「高速ダビング設定」をしていないタイトルを、ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rディスクに高速ダビングしようとしたとき、または、「高速ダビング設定」を解除したタイトルを高速ダビングしようとしたとき	• 「録画画質変換ダビング」をしてください。
タイトル保護が設定されています。 解除してからダビングしてください。	• 「1回だけ録画可能」の部分を含んだタイトルで、タイトル保護をかけたものをダビングしようとしたとき	• 「1回だけ録画可能」の部分を含んだタイトルは、オリジナルの移動のみ可能です。タイトル保護がかかったタイトルは、移動ができませんので、タイトル保護を解除してからダビング（移動）してください。
このディスクでは録画できない タイトルが含まれています。	• 「1回だけ録画可能」の部分を含んだタイトルを、ビデオフォーマットのDVD-RW/-Rや、CPRM非対応のDVD-RW/-Rにダビングしようとしたとき	• CPRM対応のDVD-RW/-Rディスクに、VRフォーマットでダビングしてください。
予約できる番組数を超えているため予約できません。	• 最大予約番組数を超えて予約しようとしたとき	• 予約を取り消してから（**70**ページ）、ダビング予約を設定してください。
このディスクにはダビングできません。 録画のできるDVDを挿入してください。	• 録画不可ディスクが入っていたとき（タイトル・チャプター数オーバー、保護されたディスク、傷や汚れのあるディスクなど） • DVD-RW/-R以外のディスクが入っていたとき	• 記録可能なディスクに入れ換えてください。（**238**ページ）

■i.LINK機器ダビングのメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
選択した機器はダビングできない状態です。録画の準備をしてから機器を選んでください。	• BDプレーヤーの電源が切れている • BDプレーヤーに録画用のディスクが入っていない	• BDプレーヤーの電源を入れてから操作をやり直してください。 • BDプレーヤーに録画用のディスクを入れてください。
HD/SD録画タイトル以外はi.LINKダビングできません。	• HD/SD以外の録画画質で記録されているタイトルをダビングしようとしている	• i.LINKダビングできるのは、HD/SD録画画質で記録されているタイトルです。

■編集・消去・タイトル名変更時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
このディスクは保護されています。保護解除してから行ってください。	• ディスク保護されているディスクのタイトル名などを変更しようとしたとき	• ディスク保護を解除してから行ってください。
これ以上選択できません。	• タイトル選択消去で、20タイトル（またはチャプター）を超えて選択しようとしたとき	• 最大20タイトル（またはチャプター）ずつ消去してください。
この位置は指定できません。	• 3秒以内の範囲を指定して編集しようとしたとき	• 範囲を3秒以上に指定しなおしてください。
チャプターが一杯です。この操作はできません。	• 編集結果がチャプター数上限（HDDは録画画質「HD/SD（放送画質）」で録画した番組と「HD/SD（放送画質）」以外の録画画質で録画した番組それぞれ4000／DVDは999）を超えるとき	• チャプター結合により、不用なチャプターマークを消去してから編集してください。
結合できないチャプターです。	• 結合できないチャプターを結合しようとしたとき（1タイトル内でシーン消去やチャプター消去をした際にできるチャプターは結合できません）	――

■i.LINK（TS）入力録画時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容	対応
i.LINK入力の状態が悪くなったため録画を停止しました。	• 本機にi.LINK入力録画中、接続しているi.LINK機器の再生が停止したとき	• 録画を行いたいときは、再度再生を行い録画を開始してください。
	• 一時停止、早送り、早戻しサーチを行ったとき	
	• ケーブルが抜けたときや、機器接続が解除されたとき	• ケーブル接続、機器選択を確認してください。
この番組は録画できません。	• データ放送を録画しようとしたとき • TS入力から5秒以内に録画を開始しようとしたとき	• データ放送は録画できません。 • TS入力から5秒以上経過してから録画を開始してください。
録画禁止の番組です。 録画できません。	• 「1回だけ録画可能」の番組を録画しようとしたとき	• 「1回だけ録画可能」の番組は、録画できません。

■ファミリンク録画時のエラーメッセージ

テレビ画面表示		対応
録画に失敗しました	S05	• 録画ができないコンテンツ（放送や番組）、または録画ができない録画メディア（HDD/DVDなどの録画媒体）です。コンテンツまたは録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました	S16	• 録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました	S17	• 現在再生中です。再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました	S18	• 現在録画中のため、あらたに録画できません。
録画に失敗しました	S19	• 録画メディアが書き込み禁止です。録画メディアを確かめてください。
録画に失敗しました	S20	• 放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました	S21	• 録画メディアに録画できません。録画メディアを確かめてください。
録画に失敗しました	S31	• 録画機器が録画できない状態です。録画機器を確認してください。

■その他のメッセージ

テレビ画面表示		エラーの内容	対応
B-CAS カードを正しく装着してください。	−	• B-CAS カードの装着が不完全です	• B-CAS カードを正しく挿入してください。
この B-CAS カードは使用できません。 正しい B-CAS カードを装着してください。	A102	• B-CASカードが割れているなど、破損していたり、IC チップが壊れている	• B-CAS カードを一度抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
この B-CAS カードには必要な情報がありません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	A107	• ご覧のチャンネル用の B-CAS カードではありません	• ご覧のチャンネル用の B-CAS カードを挿入してください。
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	A103	• WOWOW 放送や CS デジタル放送などの有料放送を無契約状態で選局した場合	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
放送チャンネルではないため視聴できません。	E200	• このチャンネル(番組）は視聴できません	• 別のチャンネルを選局してお楽しみください。

■その他のメッセージ（つづき）

テレビ画面表示		エラーの内容	対応
• ライブ放送の受信状態が回復しました。 • 降雨対応画面選択中です。	−	• 降雪や降雨障害などの電波障害またはアンテナの方向や角度がずれたことによりアンテナ信号が弱くなったとき	• アンテナの向きがずれていませんか。 • 降雪や降雨により電波障害が起こりアンテナ信号が弱くなる場合があります。
• 天候の影響やアンテナの接続状況などにより、受信状態が悪くなっています。	E201		
• 放送が受信できないため 録画を停止しライブ放送に戻りました。 • 放送が受信できないため録画を停止しました。 • 受信状態が悪くなっていますので録画を停止しライブ放送に戻りました。 • ライブで放送が受信しにくくなっています。	−	• アンテナが接続されていないときや、放送が受信できないとき • 電波状態が悪く放送が受信できないとき	• アンテナ線やチャンネル設定は正しいですか。
• 放送が受信できません。 アンテナの接続状況や調整をご確認ください。 • 放送が受信しにくくなっています。 アンテナの接続状況や調整をご確認ください。	E202		
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	E203	• 選ばれている放送局で、番組の放送が終了している。	• 選ばれている放送局で、番組が放送されていないときに表示されます。
○○ チャンネルが見つかりません。番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	• 放送の無いチャンネルを選局したとき	• 番組表などでチャンネルを確認してください。
アンテナ線がショートしているか、接続や設定に不具合があるためアンテナ電源を「切」にしました。本体の電源を切ってからアンテナとの接続を確認してください。	E209		• アンテナ線の接続を確認してください。
○○ チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	• 本機で受信できないチャンネル（サービス）を受信しようとしたとき	• 別のチャンネルを選局してお楽しみください。
データが受信できません。	E400	• 電波障害等によりデータを受信できない場合など	• 一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。
対象地域外のため、データを表示できません。 この受信機では、データを表示できません。	E401	• 対象地域外のデータ放送を選局しているとき	• 別のチャンネルを選局してお楽しみください。
データの表示に失敗しました。	E402	• 選んだチャンネルのデータの表示に失敗したとき	• 一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。
アクセスできませんでした。	C000	• 接続しましたが、サーバーへのアクセスができないとき	• 一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。	C104	• 電話回線の接続や電話回線の設定が正しくありません	• 電話回線の接続を確認した上で、電話回線の設定内容をご確認ください。
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。	C105	• 電話回線の接続や電話回線の設定が正しくありません	• 電話回線の接続を確認した上で、電話回線の設定内容をご確認ください。
番組で指定された情報センターへの接続に失敗しました。	C006	• 電話回線の接続や電話回線の設定が正しくありません	• 電話回線の接続を確認した上で、電話回線の設定内容をご確認ください。
アクセスできませんでした。	C204	• 接続しましたが、サーバーへのアクセスができないとき	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
サーバー証明書が不正のため、アクセスを中断します。	C208	• 放送で送られたルート証明書が信頼できないため、アクセスを中断したとき	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
サーバー証明書に問題があり、アクセスを中断します。	C209	• 放送で送られたルート証明書の形式が不正なため、アクセスを中断したとき	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
• このネットワークにはテレビサービスはありません。 • このネットワークにはラジオサービスはありません。 • このネットワークにはデータサービスはありません。	−	• 放送サービスの無い放送を選んだとき	• 別の放送に切り換えてお楽しみください。
データの通信に失敗しました。	E301	• 電話回線の接続や通信設定が正しくありません	• 電話回線の接続を確認して通信設定を正しく行ってください。
現在接続されている機器には、コンテンツ保護の必要な映像信号を出力できません。	−	• HDMI-DVI 変換ケーブルを使用し HDCP 非対応のモニターと接続した場合に表示されます	―――

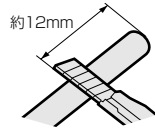
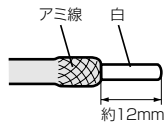
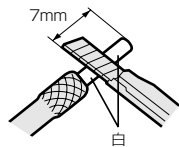
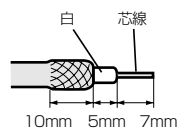
接続に関する補足説明

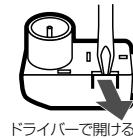
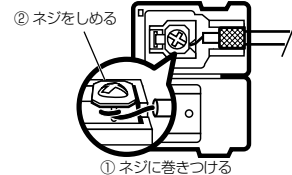
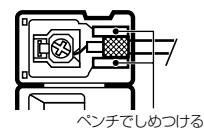
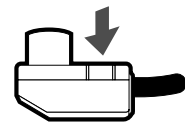
アンテナとの接続に関する補足説明

アンテナ線がＦ型コネクターのついていない同軸ケーブルのときは、先端を加工してアンテナ線接続プラグ（市販品）を取り付けます。

同軸ケーブルの先端加工のしかた

アミ線や芯線の長さは、取り付ける機器の説明書で確認してください。

1 黒い被覆にすじを入れ、切り取る。

2 アミ線を折り返す。

3 芯線に傷が付かないように、白い被覆を切り取る。

4 芯線を出す。

アンテナ線接続プラグの取り付け例

1 ツメを外側にひらき、カバーを外す。

2 同軸ケーブルの先端をネジに巻き、ドライバーでネジをしめる。

3 ペンチでケーブルをしめつける。

4 カバーをもとどおりにはめ込む。

テレビとの接続に関する補足説明

ここでは本機とテレビを接続したときの補足説明をします。

映像が乱れたり雑音が聞こえる場合は

- 本機とテレビを接続しているコード類をアンテナ線と一緒に束ねないでください。テレビ放送を見るときに画面にノイズが出るなど、電波妨害の原因となることがあります。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、電源コードや他の接続コード類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。
- 「プログレッシブ設定」（**147**ページ）を「する」に設定しているときは、DVDの再生映像が乱れて見える場合があります。そのようなときは、「スタートメニュー」－「各種設定」－「本体設定」－「映像・音声設定」－「プログレッシブ設定」を「しない」に設定し直してください。

テレビのオートワイド機能が働かないとき

- コンポーネント映像入力端子に接続したときは、テレビのオートワイド機能は働きません。

初めて電源を入れたが、「初期設定」画面が表示されない

- 接続後、初めて電源を入れたときに「初期設定」画面が表示されない場合は、次の操作をしてください。

設定をリセットする

①

②

決定 ▶ 決定 ▶ 決定 決定する

「本体設定」選択　「設定リセット」選択

③

決定 ▶ 決定 決定する ▶ **設定リセット後、電源「切」**

「する」選択

④ **電源ボタンの赤ランプ点灯後、再度電源を入れる**
⇨ 初期設定画面表示

- 「初期設定」（**192**ページ）操作を行ってください。

外部機器との接続に関する補足説明

ここでは本機と外部機器を接続したときの補足説明をします。

ビデオデッキを接続していて、テレビの映りが悪いときは

- ビデオデッキなどを中継してアンテナ線を接続すると、テレビの映りが悪くなる場合があります。そのときは、市販のブースターをご使用ください。

ビデオデッキからの映像を正常に録画できないときは

- 市販のビデオソフトなど、コピー防止機能の入ったテープを再生すると、コピー防止機能の働きにより本機では録画（正常な録画）ができません。

本機に接続したビデオデッキの再生映像が見られないときは

- 本機を使用（再生や録画）しているときは、接続したビデオデッキで再生しているビデオの映像が見られません。接続したビデオデッキからの映像を見るときは、本機の録画や再生を停止してからビデオデッキを接続している外部入力に切り換えてご覧ください。

ディスクの再生時に音声が正常に聞こえないときは

- オーディオ機器と接続したときは、「スタートメニュー」−「各種設定」−「本体設定」−「映像・音声設定」−「DVD 音声出力レベル」（**148** ページ）で設定を「ノーマル」にすることをおすすめします。「シフト」に設定すると、ディスク再生時に音声が正常に聞こえない場合があります。

「デジタル音声出力設定」の各項目の設定について

- 市販の光デジタルケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは、接続するプロセッサーやアンプ、オーディオ機器の種類に応じて、かんたん設定（**203** ページ）で次の設定を行ってください。

設定する項目	接続する機器			選ぶ内容	設定し直すとき
オーディオ機器	2chオーディオ機器	———	———	ステレオオーディオ	「スタートメニュー」−「各種設定」−「かんたん設定」−「オーディオ機器との接続」（**203**ページ）で設定し直します。 •「各種設定」の「本体設定」−「映像・音声設定」−「デジタル音声出力設定」（**148**ページ）でも設定し直すことができます。
	5.1ch オーディオ機器	「AAC デコーダー」	内蔵している	「5.1ch オーディオ」−「AAC デコーダー対応」	
			内蔵していない	「5.1ch オーディオ」−「AAC デコーダー非対応」	
		「ドルビーデジタルデコーダー」	内蔵している	「5.1ch オーディオ」−「ドルビーデジタルデコーダー対応」	
			内蔵していない	「5.1ch オーディオ」−「ドルビーデジタルデコーダー非対応」	

正しく設定されていないと、正常な音声が出力されません。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

● 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

● **保証期間**
お買い上げの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

使い方や修理のご相談など

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。（**265**ページ）

補修用性能部品の保有期間

● 当社は、デジタルハイビジョンレコーダーの補修用性能部品を、製品の製造打切後8年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

● 「故障かな?と思ったら」（**241**ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　　名：デジタルハイビジョンレコーダー
- 形　　　　名：DV-AC72/DV-AC75
- お買い上げ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

長年ご使用のデジタルハイビジョンレコーダーの点検を！
こんな症状はありませんか？
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 映像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にご相談ください。
電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。 ▶▶▶ シャープサポートページ http://www.sharp.co.jp/support/

使い方や修理のご相談など

※「修理品引き取りサービス」をご希望の方は、枠外の〈補足〉をご覧ください。

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間 ●月曜～土曜：**9:00～20:00** ●日曜・祝日：**9:00～17:00** （年末年始を除く）

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。 (2007.08)

補足 「修理品引き取りサービス」のご案内。

修理品引き取りサービスとは、お持込みいただける商品について電話で修理依頼をいただきますと、業務委託した宅配業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、弊社で修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用内容

ご利用料金

※お申し込みの前にご確認ください。
※サービスエリア：日本国内すべての地域。ただし、沖縄県全域（離島を含む）及び鹿児島県奄美市・大島郡を除きます。

■運送費

保証期間内	無　料
保証期間外	1,000円+梱包資材費+代引き手数料

※梱包料を含む往復料金（税別）

■修理料金

保証期間内	無料（保証書記載の「保証規定」に準じます）
保証期間外	有料（修理内容により異なります）

※保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証書をご確認ください。

お申し込み

【お客様相談センター】（上記参照）にお電話でお申し込みください。

お引き取り

当社指定の業者（ヤマト運輸）がお引き取りに伺います。

■お引き取りの時間は下記時間帯よりお選びいただくことができます。

午前中	12:00～14:00	14:00～16:00	16:00～18:00	18:00～21:00

■お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。
■18:00～21:00の時間帯は土、日、祝日は除きます。
■交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は宅配業者が梱包箱を持参してお伺いし、梱包させていただきます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング（株）よりご連絡いたします。

■ご連絡時にサービス料金（修理料金+利用料）と発送日をご連絡いたします。
■ヤマト運輸が修理完了品をお届けに伺います。
■サービス料金（修理料金+利用料）をヤマト運輸に、現金でお支払いください。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。

仕様

区分	項目			DV-AC72	DV-AC75
	品名			デジタルハイビジョンレコーダー	
	形名			DV-AC72	DV-AC75
一般	ハードディスク容量			250GB(ギガバイト)	500GB(ギガバイト)
	電源電圧			AC 100V、50/60 Hz	
	外形寸法			幅434mm、奥行343mm、高さ68mm (突起部を除く)	
	本体質量			4.9kg	5.0kg
	使用温度範囲			+5℃～+35℃	
	使用湿度範囲			10%～80%(結露なきこと)	
	動作姿勢			水平	
記録	録画可能ディスク			DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL(2層)	
	記録圧縮方式 (HDD)		映像 音声	MPEG(リアルタイムVBR) MPEG AAC/ドルビーデジタル(2ch)/リニアPCM(2ch)(録画画質「XP」時)	
	記録圧縮方式 (DVD-RW/-R)		映像 音声	MPEG2(リアルタイムVBR) ドルビーデジタル(2ch)/リニアPCM(2ch)(録画画質「XP」時)	
	録画時間 ※1 (HDD)	デジタル放送	HD (BSハイビジョン画質)	約22時間	約44時間
			HD (地上D/CSハイビジョン画質)	約31時間	約63時間
			SD(標準画質)	約66時間	約134時間
		デジタル放送 アナログ放送 外部入力	XP(高画質)	約60時間	約121時間
			SP(標準画質)	約106時間	約214時間
			LP(2倍長時間)	約213時間	約429時間
			EP(3倍長時間)	約319時間	約644時間
			MN(マニュアル)	65段階(MN65(XP相当)～MN01から選択可能)※2	
		連続録画可能時間		最大12時間	
	録画時間 ※1 (DVD-RW/-R: 4.7GB時)		XP(高画質) SP(標準画質) LP(2倍長時間) EP(3倍長時間) MN01	約1時間 約2時間 約4時間 約6時間 約8時間	
			MN(マニュアル)	65段階(MN65(XP相当)～MN01から選択可能)	
再生	再生可能ディスク			DVDビデオ、DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL(2層) DVD+RW(ビデオフォーマットファイナライズ済)、DVD+R(ビデオフォーマットファイナライズ済) DVD-RAM(ケースから取り出せるもの) 音楽CD CD-R (音楽CDフォーマット) CD-RW (音楽CDフォーマット)	
チューナー	受信チャンネル	BSデジタル		001～999ch	
		110度CSデジタル		000～999ch	
		地上デジタル		011～528ch	
		VHF		1～12ch	
		UHF		13～62ch	
		CATV		C13～C63ch	
タイマー	予約番組数			1年65番組	

※1 **録画可能時間は目安です。**テレビ画面に表示される「残時間」は、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像など(ビットレートの高い映像)が録画できる時間の目安です。
実際の録画可能時間は、放送内容によってはテレビ画面に表示される「残時間」よりも長く録画することができます。

※2 MN01～MN65の録画時間については、**51**ページ。

	形名	DV-AC72	DV-AC75
接続端子	映像入力	入力1の1系統 ピンジャック：1 V p-p(75Ω)	
	S映像入力	入力1の1系統 4ピンミニDIN： Y＝1 V p-p(75Ω) C＝0.286 V p-p(75Ω)	
	音声入力	入力1の1系統 ピンジャック(L/R)：2 V rms (入力インピーダンス 22kΩ以上)	
	i.LINK入力端子	1系統(i.LINK/IEEE1394準拠)	
	HDMI出力	1系統	
	D1/D2/D3/D4映像出力	出力1の1系統 Y：1.0 V p-p(75Ω) C_B、C_R：0.7 V p-p(75Ω)	
	映像出力	出力2の1系統 ピンジャック：1 V p-p(75Ω)	
	S映像出力	出力2の1系統 4ピンミニDIN： Y＝1 V p-p(75Ω) C＝0.286 V p-p(75Ω)	
	音声出力	出力1(D映像出力側)と出力2(映像・音声出力側)の2系統 ピンジャック(L/R)：2 V rms (1kHz 0dB、出力インピーダンス 1.5kΩ以下)	
	光デジタル音声出力	1系統 光コネクタ：角形光ジャック	
	BS・110度CSアンテナ入出力	入力と出力のそれぞれ1系統 75ΩF型コネクター	
	地上デジタル・地上アナログアンテナ入出力(VHF/UHF)	入力と出力のそれぞれ1系統 75ΩF型コネクター	
	電話回線端子	モジュラー式 V.90(56Kbps)	
付属品	リモコン、単4形乾電池2個、映像・音声コード、アンテナケーブル(両側F接栓ケーブル)、電源コード、B-CASカード(B-CASユーザー登録はがき、B-CASカード使用許諾契約約款付き)、取扱説明書(本書)※、かんたん!!ガイド※、接続・設定ガイド※、ファミリンク操作ガイド※、 保証書		

※ **当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。**
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

		DV-AC72	**DV-AC75**
消費電力※		32W	35W
待機時消費電力※	クイック起動「する(設定1)」および「する(設定2)」時	25W	27W
	クイック起動「する(設定2)」時の2時間以降	2.0W(時計表示点灯)/1.1W(時計表示消灯)	
	クイック起動「しない」	2.0W(時計表示点灯)/1.1W(時計表示消灯)	

※ **消費電力、待機時消費電力はBS・110度CSデジタルアンテナ電源供給「切」時の値です。**

- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 海外では使用できません。このデジタルハイビジョンレコーダーは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。<This Digital Hi-Vision Recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.>
- あなたがテレビ(ラジオ)放送や録画(レコード録音)物などから録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上の権利者に無断で使用できません。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

用語の解説

アルファベット

1125i優先
走査線1125本、インターレース(飛び越し走査)方式。デジタルハイビジョンの高画質です。有効走査線数を使って「1080i」と呼ぶこともあります。

525i
走査線525本、インターレース(飛び越し走査)方式。地上放送(VHF/UHF)やBSアナログ放送と同等の画質です。有効走査線数を使って「480i」と呼ぶこともあります。

525p
走査線525本、プログレッシブ(順次走査)方式。有効走査線数を使って「480p」と呼ぶこともあります。

AAC
音声圧縮方式の一つで国際的な標準規格である、Advanced Audio Coding の略です。
地上デジタル/BSデジタル/CSデジタル放送の映像圧縮方式である「MPEG-2」に採用されています。MPEG-1に採用されている音声圧縮方式「MP3」より、1.4倍ほど圧縮効率が高くなっています。

ARIB(社団法人電波産業界)
電波法で規定される「電波有効利用促進センター」として、総務大臣より指定を受けた機関のことです。

B-CAS
デジタル放送は不正コピー等を防ぐためにデータを暗号化しています。番組の著作権保護や有料放送の視聴等に利用されているのがB-CASカードで、暗号化を解除するための鍵データを記録したICカードです。発行しているのが株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(B-CAS)です。

CATV
ケーブルテレビ(有線放送)のことです。

CPRM(Content Protection for Recordable Media)
デジタルメディアに対する著作権保護技術のことです。
デジタル放送の「1回だけ録画可能」などの録画制限のある番組を録画・ダビングするには、CPRM対応の録画用DVDが必要です。

D映像端子
コンポーネントと呼ばれる3本の輝度·色差信号(Y/Cb/Cr およびY/Pb/Pr)のコード接続を、1本のコードで行えるように考案された端子です。D端子は、色差信号の他にも、走査線、アスペクト比、インターレース／プログレッシブの情報を送ることができます。

DTS
デジタルシアターシステムズ社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6chを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサーやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

DVD-R DL
- 片面2層ディスクのことです。
- VRフォーマットで使用しているとき、連続で録画できる時間は9時間です。

DVD音声出力レベル
DVDビデオディスクの再生で、ドルビーデジタル音声の平均音声を上げるかどうかを設定する機能です。

DVI機器
(Digital Video Interface)の略でデジタル入力端子のことです。

HDMI
High Definition Multimedia Interfaceの略で、ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるデジタルAVインターフェースです。デジタル信号を圧縮せずに転送するので、高品位な画質・音質をシンプルな接続で楽しむことができます。

HD/SD録画(当社独自の呼称です。)
デジタル放送をそのままの画質でハードディスク(HDD)に録画する方式です。録画した後の編集操作に制限はありますが、デジタル放送ならではの美しい映像を録画することができます。
ハイビジョン放送を録画するときは「HD録画」になります。
スタンダード放送を録画するときは「SD録画」になります。

HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection system)
映像再生機器から表示機器にデジタル信号を送受信する経路で、不正コピーを防止する著作権保護技術です。

i.LINK(TS)
i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。i.LINKは、IEEE1394をなじみやすく表現するための呼称で、IEEE(米国·電気電子学会)によって標準化された国際標準規格です。
i.LINKはソニー株式会社の商標です。
TSとはトランスポートストリーム(Transport Stream)の略で、多重信号形式の1つです。映像や音声、データなどの個別のストリームを、アプリケーションや伝送路の種類によらずに共通の信号形式で扱い、1つのストリームとして伝送できるシステムのことです。

PCM (Pulse Code Modulation)
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つです。音楽CDはこの方式を利用しています。

PPV (ペイ・パー・ビュー、有料番組)
「見るたびに支払う」という意味で、1回視聴するごとに購入する有料番組のことです。番組単位で購入契約が必要な有料番組です。

RWコンパチブル (RW COMPATIBLE)
VRフォーマットで記録されたDVD-RWが再生できる機能を示しています。
この機能があるDVDプレーヤーには、RW COMPATIBLE 表示があります。

VRフォーマット
- DVDにデジタル放送を録画できる録画方式です。

あ行

追いかけ再生
HDD(ハードディスク)に録画しながら、録画中の番組を再生して見ることができます。

オリジナル／プレイリスト
オリジナル
テレビ放送や外部入力などを録画した映像(タイトル)を「オリジナル」と呼びます。

プレイリスト
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。(オリジナルタイトルはそのまま残ります。)

か行

ケーブルテレビ(CATV)
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。

高速ダビング
パソコン上でのデータコピーのように、タイトル(録画した番組)を画質を劣化させることなく、そのままの画質でダビングする機能です。

高速ダビング優先
- HDD(ハードディスク)に録画する際、高速ダビング優先を「する」に設定して録画すると、ビデオフォーマットのDVDディスクへ高速ダビングできるようになります。
- 予約録画時は詳細設定の「高速ダビング優先」で設定します。

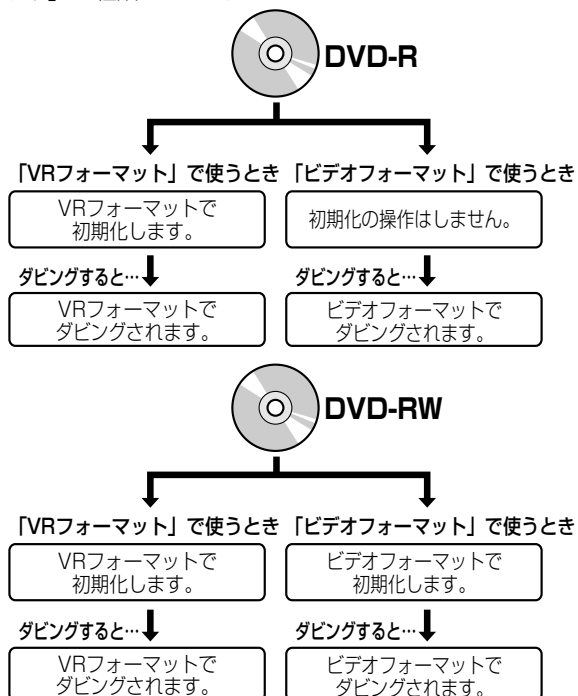
コピーガード(コピー制御信号)
複製防止機能のことです。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

コピー防止機能
複製禁止の機能のことです。著作権者などによって複製を制限する信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。

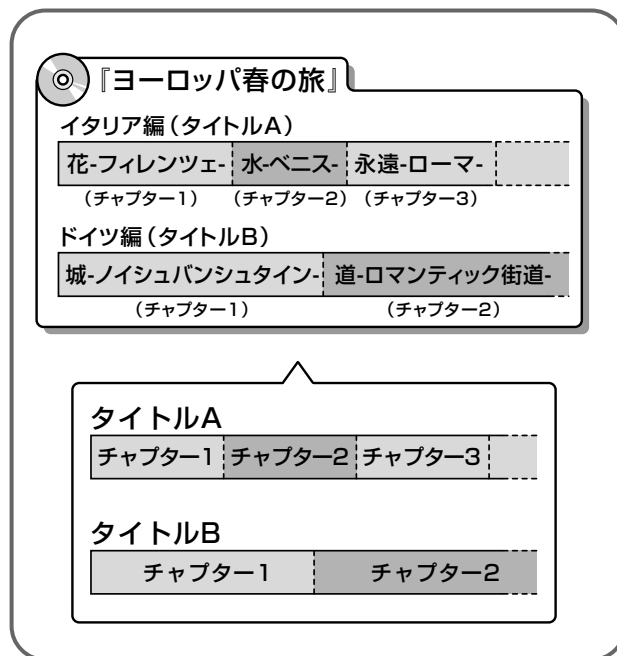
さ行

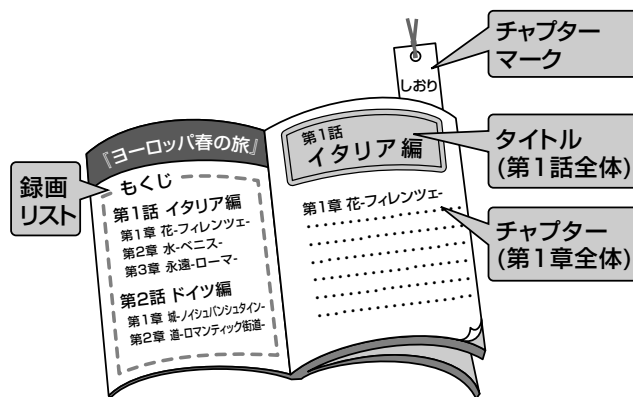
視聴制限(パレンタルレベル)
デジタル放送やDVDビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、放送やディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを設定することができます。

ジャストダビング
HDD(ハードディスク)からDVDディスクへダビングするとき、1枚のディスクに収まるようにタイトルの記録時間に合わせて録画画質を選択し、録画する機能です。

初期化
DVD-RW/-Rディスクを録画／ダビングできるようにすることです。DVD-RW/-Rの初期化には「VRフォーマット」と「ビデオフォーマット」の2種類があります。

スキップ
選局をしたときに放送のないチャンネルをとばして選局できる機能です。

た行

タイトルとチャプター、ディスク内の構成
録画した番組のことを「タイトル」といいます。
タイトルは、さらに「チャプター(章･区切り)」という単位で構成されています。
実際には、次のような構成になっています。

タイトルとチャプターを短編小説に例えると、次のような関係になります。
- タイトル = 話
- チャプター = 章
- チャプターマークを付ける = しおりをはさむ
- 録画リスト = もくじ

本機では、DVDディスクに記録されたタイトルにチャプターマークを追加(チャプター分割)したり、チャプターマークを削除(チャプター結合)したりすることはできません。

タイムシフト
本機は放送視聴中に、タイムシフト視聴設定で設定した一定時間ぶんを自動で録画しています。これにより、後から放送をさかのぼって視聴することができます。

ダウンロードサービス
電波を通して本機の性能を向上させるソフトウェア更新サービスを行うことができます。このサービスをダウンロードサービスといいます。ダウンロードを行うことでデジタル放送の新しいサービスに対応することも可能になります。

地上アナログ放送
従来のUHF･VHF 放送（アナログ放送）のことです。
地上デジタル放送と対比した呼び方です。

チャプター
ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

つづき再生
ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機が記憶し、停止した位置から続けて再生することができる機能です。

デジタル放送
デジタル放送は、ハイビジョン放送（1125i）と標準放送（525i）の2つの放送があります。
- HD放送……ハイビジョン放送のことです。
- SD放送……標準スタンダード放送のことです。

電子番組表
テレビ画面に表示される番組表のことです。テレビ画面で、視聴したい番組や予約録画したい番組を選べます。

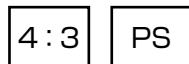
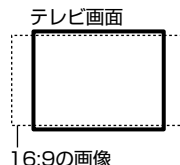
同時録画再生
録画しながら、録画済みの番組を再生して見ることができる機能です。

ドルビーデジタル（5.1ch）
ドルビー社が開発した立体音響効果のことをいいます。ドルビーデジタル（5.1ch）対応プロセッサーやアンプとの接続で、映画館のようなディスクの再生音声が楽しめます。

ドルビーバーチャルサラウンド
テレビやオーディオ機器などの2つのフロントスピーカーだけでも、広がりのある音声が楽しめるサラウンド機能です。

は行

ハイブリッドダブレコ
- シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビとi.LINKケーブル（市販品）を接続することで、テレビのチューナーを使いデジタル放送を裏録することができる機能です。
- 本機のチューナーとテレビのチューナーを使い2番組同時録画が行えます。

パンスキャン
4：3

4:3のテレビと本機を接続しワイド（16:9）記録のディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4:3のサイズにする機能です。

ビデオフォーマット
市販のDVDプレーヤーで再生できる録画方式です。市販のDVDプレーヤーなどで再生するには、ファイナライズという処理が必要です。

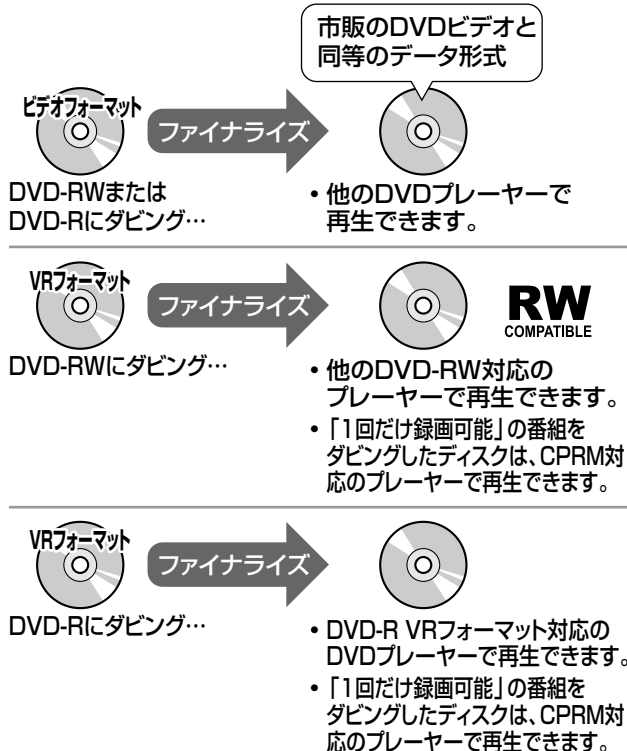
ファイナライズ
DVD-RWやDVD-Rに対応した他のDVDプレーヤーで、本機でダビングしたディスク（ビデオフォーマット）を再生できるようにすることです。（全てのDVDプレーヤーでの再生を保証するものではありません。）
DVD-RW（VRフォーマット）のディスクを再生できるDVDプレーヤーは RW COMPATIBLE 表示の付いたDVDプレーヤーです。

市販のDVDビデオと同等のデータ形式

DVD-RWまたはDVD-Rにダビング…
- 他のDVDプレーヤーで再生できます。

RW COMPATIBLE

DVD-RWにダビング…
- 他のDVD-RW対応のプレーヤーで再生できます。
- 「1回だけ録画可能」の番組をダビングしたディスクは、CPRM対応のプレーヤーで再生できます。

DVD-Rにダビング…
- DVD-R VRフォーマット対応のDVDプレーヤーで再生できます。
- 「1回だけ録画可能」の番組をダビングしたディスクは、CPRM対応のプレーヤーで再生できます。

ファミリンク機能
ファミリンク機能とは、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使用し、HDMIで規格化されているテレビやDVDレコーダー、AVアンプを制御するためのコントロール機能です。テレビのリモコンでレコーダーを再生したり、録画、予約録画などが行えます。

プレイリスト
オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。（オリジナルタイトルはそのまま残ります。）

プログレッシブ（順次走査）方式
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対し、1フレームを1つの画像で表示する方法です。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対し、初めから1秒を60フレームで構成することで高品質な画像を再現できます。

ブロックノイズリダクション
低い録画画質で録画した番組の再生時、動きの速い部分で生じるブロック状のノイズを軽減します。

ま行

マルチアングル
DVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。（マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。）

マルチ音声
デジタル放送やDVDビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。

マルチビューサービス放送
地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号を利用した放送です。最大3つの映像を同じチャンネルで楽しめます。対応した信号を放送局側が送信する必要があります。

モスキートノイズリダクション
画像の輪郭部分等で生じるチラツキを軽減します。

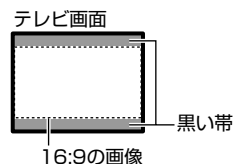
ら行

リージョン番号（再生可能地域番号）
DVDビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。本機では、リージョン番号「2」または「ALL」のソフトが再生できます。

リニアPCM音声
音楽用CDに用いられている信号記録方式です。

リモコン番号
本機を操作するためのリモコンの信号の種類です。リモコン番号は、「リモコン番号1」「リモコン番号2」「リモコン番号3」の3種類があります。

レターボックス

4:3のテレビと本機を接続しワイド（16:9）記録のディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

録画画質
録画するときの画質を設定することができます。
ビデオテープの標準（SP）/3倍（EP）と同じように、本機のHDD（ハードディスク）に録画するときは以下の録画画質を設定できます。
- HD/SD……デジタル放送をそのままの画質でHDD（ハードディスク）に予約･録画したいときに設定する録画画質です。
- XP……高画質で録画したいときに設定する録画画質です。ハイビジョン画質（放送画質）での録画はできません。片面一層のDVDディスクの場合、1時間録画できます。
- SP……標準の画質です。片面一層のDVDディスクの場合、2時間録画できます。
- LP……標準の2倍長い時間録画できる録画設定です。
- EP……標準の3倍長い時間録画できる録画設定です。
- AUTO……デジタル放送は（HD/SD）放送画質で録画します。地上アナログ放送はXP（高画質）で録画します。
- MN○○……録画画質を65段階の中から選択できるマニュアル録画設定です。

記録フォーマット（方式）
DVDに記録する場合は、VRフォーマットとビデオフォーマットの2つの録画フォーマット（方式）があります。録画する前に使用目的に合わせてあらかじめ初期化する必要があります。
- VRフォーマット……HDD（ハードディスク）に録画したデジタル放送の番組をDVDにダビングするときに使う記録方式です。
- ビデオフォーマット……本機で録画したDVDディスクを他のDVDプレーヤーで再生することができる互換性に優れた記録方式です（ファイナライズ処理が必要です）。デジタル放送のダビングはできません。

録画画質変換ダビング
ダビングする際に、録画画質を変更してダビングする機能です。
（ダビング元の映像より高画質になることはありません。）

録画リスト
録画した番組が一覧で確認できるリスト画面です。録画リストは、画面リストとタイトル名リストが選択できます。

録画画質と録画時間

	マニュアル	DV-AC75 HDD(ハードディスク) 録画時間	DVD-R/-RW 録画時間 (4.7GB)	参考画質 (VHSとの比較)
ハイビジョン画質（HD）	——	HD 44時間	——	S-VHSクオリティー以上
デジタル標準画質（SD）	——	SD 134時間	——	S-VHSクオリティー以上
高画質（XP）	MN65	XP 121時間	60分	S-VHSクオリティー以上
標準画質（SP）	MN37	SP 214時間	120分	S-VHSクオリティー
2倍長時間（LP）	MN13	LP 429時間	240分	VHSクオリティー
3倍長時間（EP）	MN05	EP 644時間	360分	VHS 3倍モード以下
	MN01	MN01 859時間	480分	VHS 3倍モード以下

さくいん

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

デジタルハイビジョンレコーダー DV-AC72/DV-AC75

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 省スペース／低消費電力

ハードディスク、DVDドライブの2つのドライブを搭載しつつ、幅434mm×奥行き343mm×高さ68mmのコンパクト設計。（突起部含まず。）
また、消費電力も動作時35W（DV-AC75）、32W（DV-AC72）、待機時1.1W（BS・110度CSデジタルアンテナ電源供給切時・本体時計表示切時）の業界トップクラスの低消費電力を実現しました。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎自動的に電源を切る設定を

① 当機では、予約録画実行中に録画開始地点から再生できる「追いかけ再生」をしたり、別のタイトルを再生したりといった同時操作が可能です。
予約実行中にこのような操作を行ったときは、同時動作終了後に「電源」ボタンを1回押すと、予約録画実行後に自動的に電源を切ることができますので、効率的な省エネになります。

② 各種設定内の「無操作オフ設定」により、操作をしない状態が約3時間続くと自動的に電源が切れるように設定できます。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。 ▶▶▶ シャープサポートページ http://www.sharp.co.jp/support/

使い方や修理のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251
携帯・PHS OK
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間 ●月曜～土曜:9:00～20:00 ●日曜・祝日:9:00～17:00 （年末年始を除く）

●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2007.08）

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

Printed in Malaysia

TINSJA216WJQZⓔ
07P08-MA-NM